

第22回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「ひょうごの少子対策・子育て支援」

平成28年度

兵 庫 県

目次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査概要	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	5
II	調査の結果	
1	「子育てへの地域の支え」に関することについて	6
問1	子育てする人にとっての地域の支えの重要性	6
問2	子育て支援活動への参加希望の有無	10
問3	参加したい子育てに関する活動	14
問4	子育て支援活動へ参加しない理由	18
問5	地域で子育て支援が活発になるために重要なこと	22
問6	地域の子育て環境	26
2	「結婚観・子育て観、少子化の原因」に関することについて	
問7	結婚観	53
問8	子育て観	58
問9	少子化の原因	62
3	「子育てと仕事の両立、行政への意見・要望」に関することについて	
問10	女性が子育てをしながら働く場合に困難な点	66
問11	育児休業取得促進に必要なこと	70
問12	子育てと仕事の両立を促進する制度	74
問13	子育て施策の評価	78
4	毎年調査項目	109
問14	今の生活全般での満足度	109
問15	今の生活の個別側面での満足度	113
問16	去年と比べた生活の向上感	141
問17	大地震発生の可能性	144
問18	地域活動への参加状況	148
問19	県政への関心	151
問20	県政への評価	154
問21	県民局・県民センターの認知度	187
III	調査票	
	第22回 県民意識調査「ひょうごの少子対策・子育て支援」調査票	190
	調査結果を読む際の注意	

結果数値(%)は0.1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。

今回は、年次テーマを「ひょうごの少子対策・子育て支援」とし、誰もが安心して子育てができる地域社会の実現や「ひょうご子ども・子育て未来プラン」及び「兵庫県地域創生戦略」のフォローアップに活用するため、少子化の要因や、子育て支援、子育て環境等に係る県民意識や取組状況等について調査する。

2 調査概要

- (1) 調査地域 県下全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 平成28年8月29日（月）～9月20日（火）
- (6) 県民意識調査有識者会議
設問作成にあたり、県民意識調査有識者会議を開催して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

伊藤 篤 (神戸大学大学院教授)

立木 茂雄 (同志社大学教授)

鳥越 皓之 (大手前大学学長)

吉田 三千代 ((株)サンケイリビング新聞社 シティ事業部長)

[五十音順]

3 回収結果

回収数 2,807件(回収率56.1%)

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	256	51.2%	0	256
阪神南	500	256	51.2%	3	253
阪神北	500	256	51.2%	0	256
東播磨	500	270	54.0%	0	270
北播磨	500	298	59.6%	0	298
中播磨	500	296	59.2%	1	295
西播磨	500	298	59.6%	2	296
但馬	500	313	62.6%	0	313
丹波	500	293	58.6%	3	290
淡路	500	271	54.2%	1	270
全県	5,000	2,807	56.1%	10	2,797

※無効票は属性不明等

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（H28. 3. 31）に記載された県民数
- (2) 標本配分 10の地域毎に500の標本数を市町別・男女別・年齢10歳階級別の母集団構成比に応じて配分（合計5,000人）
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
：住民基本台帳から各地点における各層ごとの対象者を等間隔抽出法(※)により抽出
※全体の人数を抽出数で割って間隔を計算し、等間隔に標本を抽出する方法
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、重み付け集計により、全県内の母集団構成比を復元

地域区分



県民局・ 県民センター	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、 稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、 福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、 宍粟市、太子町、上郡町、 佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、 香美町、新温泉町
丹波	篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

5 回答者のプロフィール

○ 性別 (%)

	男性	女性	不明
全県	38.4	60.3	1.3
神戸	34.0	64.8	1.2
阪神南	40.7	58.5	0.8
阪神北	39.1	59.0	2.0
東播磨	41.5	57.0	1.5
北播磨	40.6	58.1	1.3
中播磨	36.3	63.1	0.7
西播磨	40.9	57.1	2.0
但馬	44.1	54.0	1.9
丹波	45.2	53.8	1.0
淡路	37.8	61.1	1.1

○ 年齢 (%)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明
全県	7.6	12.3	16.5	15.8	21.7	16.5	8.7	0.9
神戸	7.0	12.9	16.0	15.6	21.5	16.4	10.2	0.4
阪神南	7.1	15.0	19.4	16.6	19.4	14.6	7.1	0.8
阪神北	6.6	10.9	16.4	13.7	23.8	18.8	8.2	1.6
東播磨	9.6	14.4	17.4	15.6	18.5	15.9	7.0	1.5
北播磨	8.4	11.7	15.1	16.8	21.8	16.1	9.1	1.0
中播磨	8.5	9.5	18.0	16.6	23.1	16.6	7.1	0.7
西播磨	8.1	7.4	12.8	16.6	25.0	19.6	8.8	1.7
但馬	6.4	8.6	12.5	16.3	24.3	17.9	12.8	1.3
丹波	7.2	10.7	9.3	19.3	24.1	16.9	11.4	1.0
淡路	8.1	8.5	13.0	13.7	27.4	15.2	13.0	1.1

○ 職業 (%)

	職業別								
	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	不明
全県	8.5	22.7	2.4	5.9	14.4	18.2	1.9	23.9	2.0
神戸	8.6	17.6	3.1	5.1	14.8	22.3	2.7	22.7	3.1
阪神南	4.0	28.5	2.0	6.7	16.2	15.8	0.4	25.7	0.8
阪神北	8.2	21.5	2.7	6.3	14.1	20.3	2.0	23.4	1.6
東播磨	7.4	24.8	1.9	8.5	12.6	15.2	2.2	25.6	1.9
北播磨	11.4	28.5	2.0	5.7	14.4	12.4	3.4	20.5	1.7
中播磨	8.8	25.4	1.4	4.7	11.9	18.0	2.0	25.4	2.4
西播磨	10.5	19.3	3.4	2.4	18.9	17.6	1.0	25.0	2.0
但馬	17.9	21.7	2.9	7.3	9.6	17.3	1.3	20.1	1.9
丹波	15.2	21.4	2.8	6.9	14.8	11.0	2.8	22.8	2.4
淡路	20.7	19.6	0.4	4.4	14.4	15.2	2.2	21.1	1.9

○ 世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	8.5	25.9	49.7	11.8	2.4	1.7
神戸	8.6	29.3	47.3	9.0	3.9	2.0
阪神南	15.0	24.1	52.2	6.3	0.4	2.0
阪神北	7.8	27.0	51.6	11.3	1.2	1.2
東播磨	4.8	27.4	56.7	7.4	2.6	1.1
北播磨	6.7	20.5	46.3	21.8	3.4	1.3
中播磨	4.1	21.0	52.2	19.3	1.7	1.7
西播磨	6.1	28.4	41.2	17.9	4.1	2.4
但馬	5.1	20.8	43.8	25.9	2.6	1.9
丹波	8.6	22.8	42.1	22.1	3.1	1.4
淡路	10.4	24.8	40.4	18.9	2.6	3.0

○ 在住年数 (%)

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	不明
全県	1.6	5.6	4.8	11.0	12.6	9.5	53.9	1.1
神戸	0.4	6.3	3.9	12.9	16.0	8.2	51.6	0.8
阪神南	4.0	8.3	7.1	13.8	17.0	10.3	38.3	1.2
阪神北	1.2	5.1	7.8	9.8	12.1	12.1	50.8	1.2
東播磨	1.9	4.4	4.4	11.5	11.1	11.1	54.4	1.1
北播磨	1.3	4.4	2.0	9.1	8.1	5.4	67.8	2.0
中播磨	0.7	5.4	2.7	10.2	7.8	10.2	62.0	1.0
西播磨	1.0	2.0	4.1	3.7	6.8	6.8	73.6	2.0
但馬	1.9	2.2	2.6	5.8	5.1	8.6	72.2	1.6
丹波	0.3	1.4	3.4	5.2	6.9	8.6	73.8	0.3
淡路	2.6	4.1	3.7	3.7	7.0	7.0	71.1	0.7

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出 (層化抽出、信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団 n : 回答者 P : 回答比率(%)

〈例：サンプル数 2, 797 の場合〉

回答比率	10%	20%	30%	40%	50%
(%)	(または90%)	(または80%)	(または70%)	(または60%)	
誤差(%)	±1.13	±1.51	±1.73	±1.85	±1.89

II 調査の結果

1 『子育てへの地域の支え』に関することについて

問1 子育てをする人にとっての地域の支えの重要性

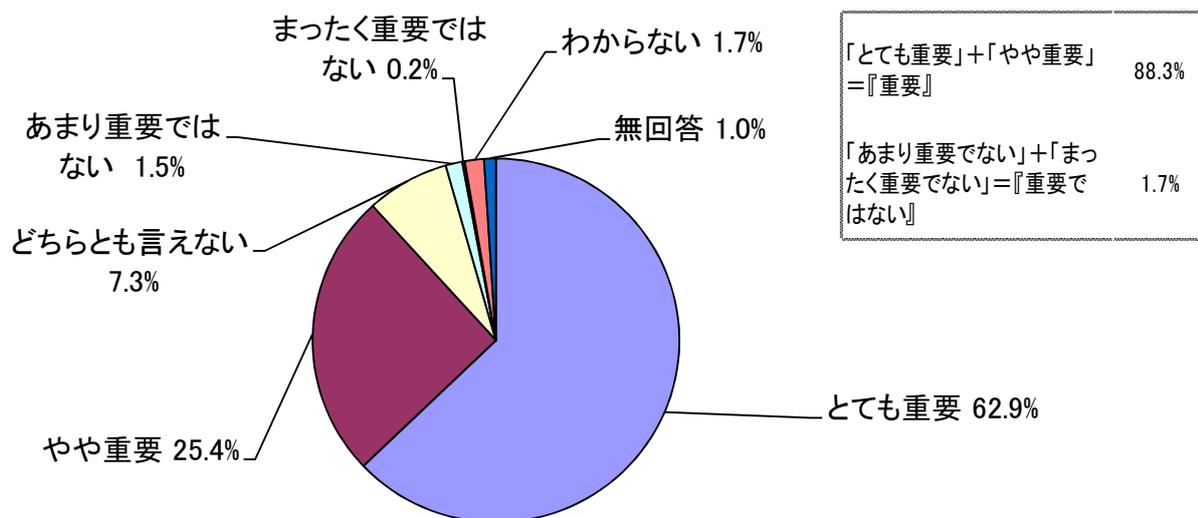
問1

あなたは、子育てをする人にとって、地域の支えは重要だと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1 とても重要 | 2 やや重要 | 3 どちらとも言えない |
| 4 あまり重要ではない | 5 まったく重要ではない | 6 わからない |

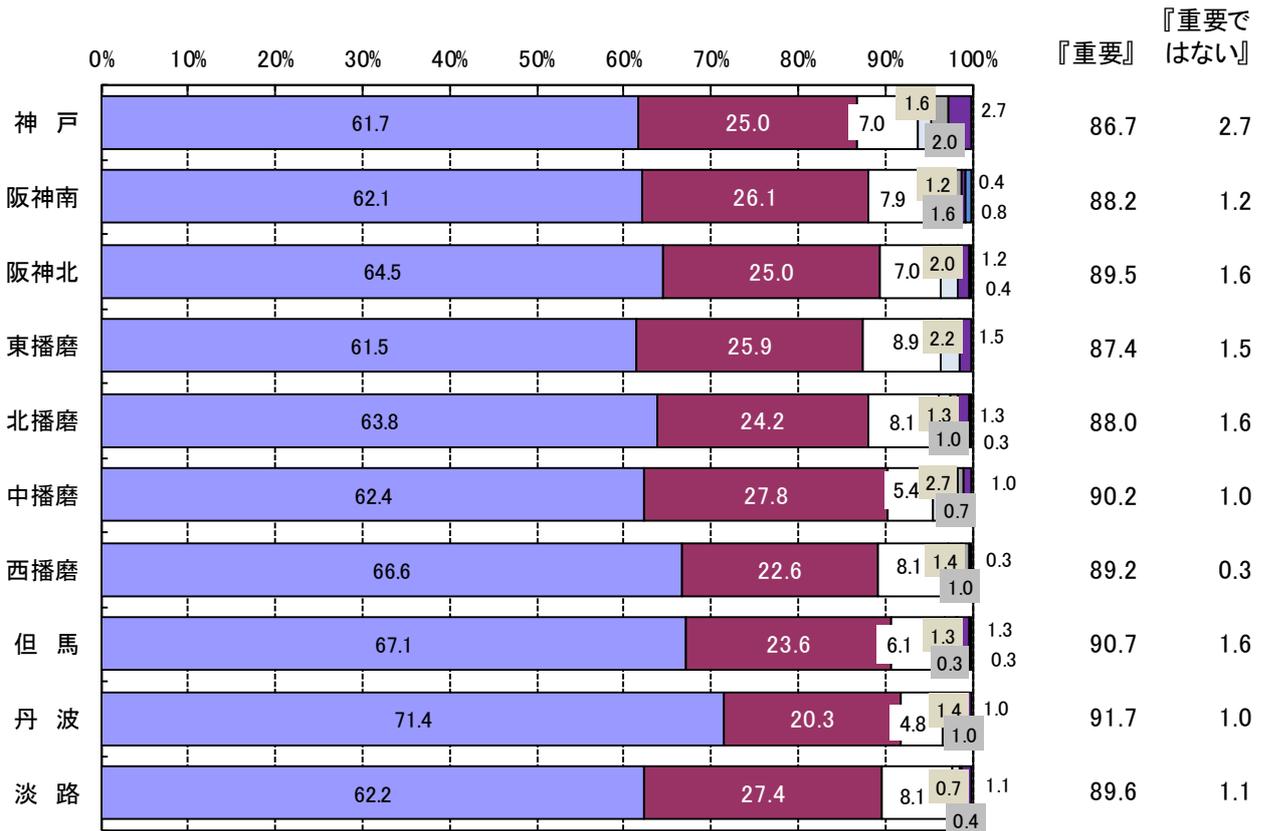
【全 県】

「とても重要（62.9%）」が最も高く、次に「やや重要（25.4%）」が高くなっており、約9割の人が子育てに地域の支えが重要であると考えている。



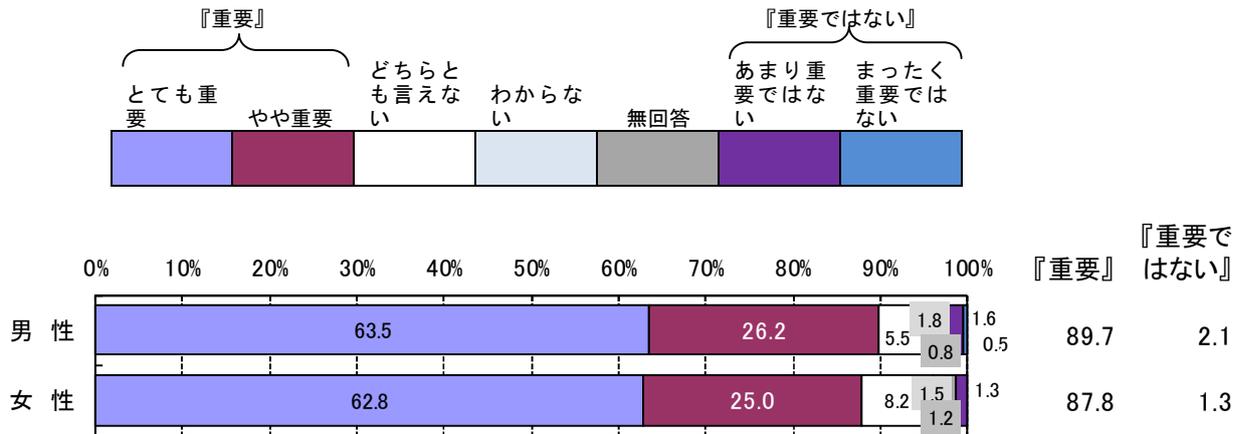
【地域別】

『重要』は丹波が最も高く(91.7%)、続いて、但馬(90.7%)、中播磨(90.2%)が高い。



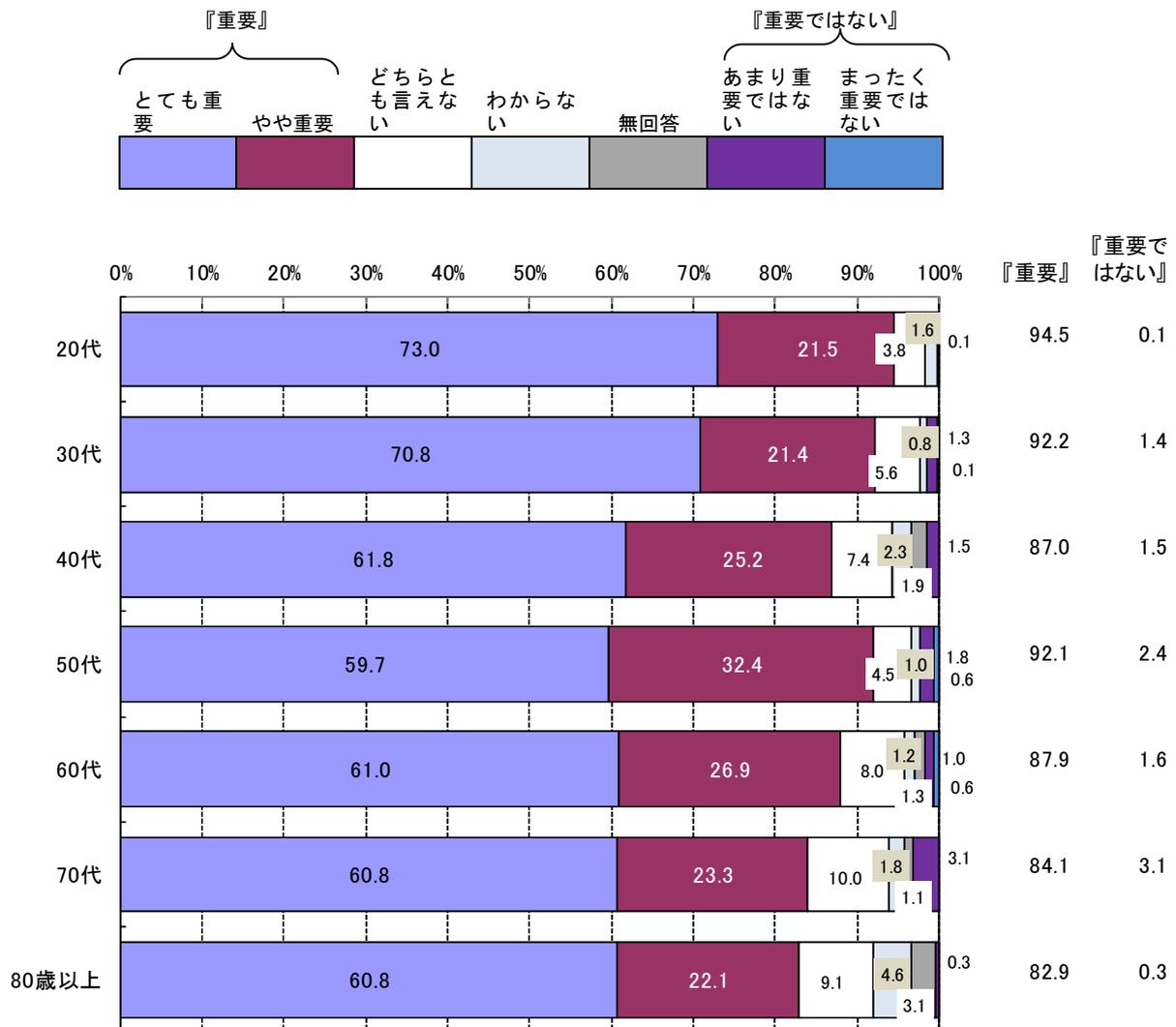
【性別】

『重要』は男性の方が女性より1.9ポイント高い。



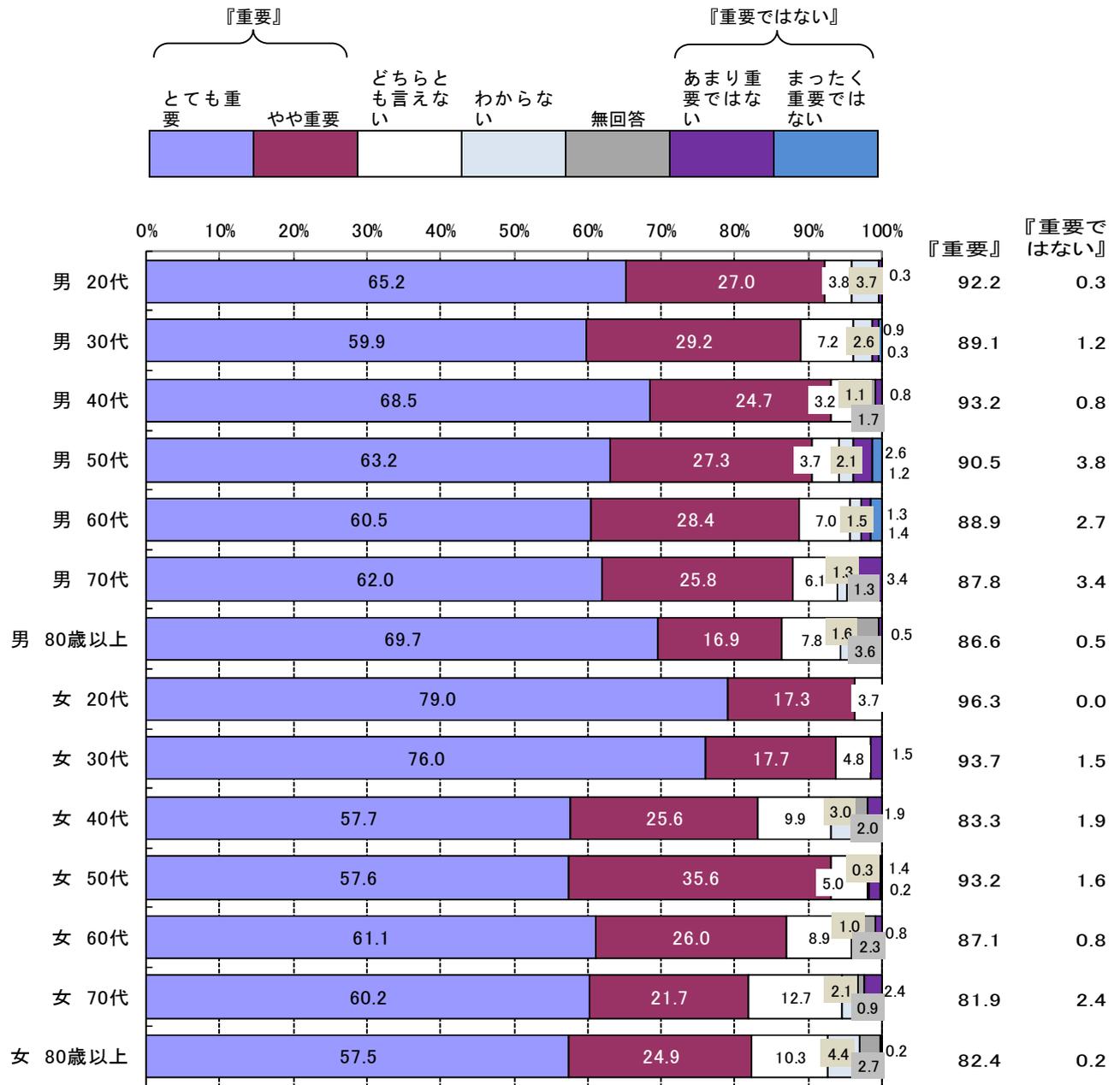
【年代別】

『重要』は20代が最も高く(94.5%)、次に30代が高い(92.2%)。



【性・年代別】

『重要』と考える世代は、男性は40代が最も高く(93.2%)、女性は20代が最も高い(96.3%)。



問2 子育て支援活動への参加希望の有無

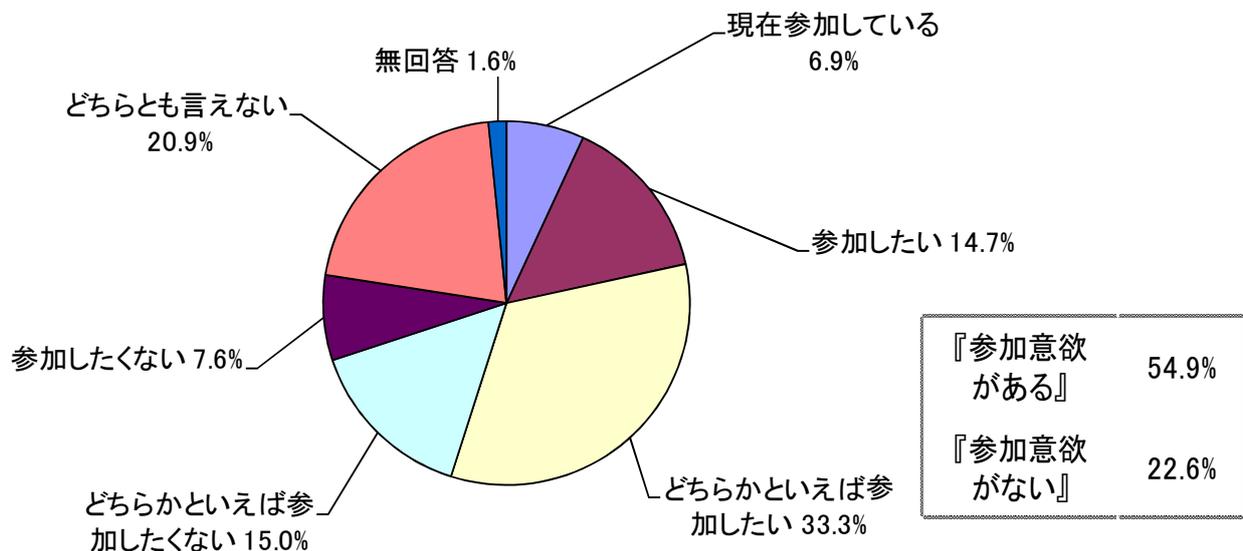
問2

あなたは、地域で子育てを支える活動に参加したいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している 2 参加したい 3 どちらかといえば参加したい
4 どちらかといえば参加したくない 5 参加したくない 6 どちらとも言えない

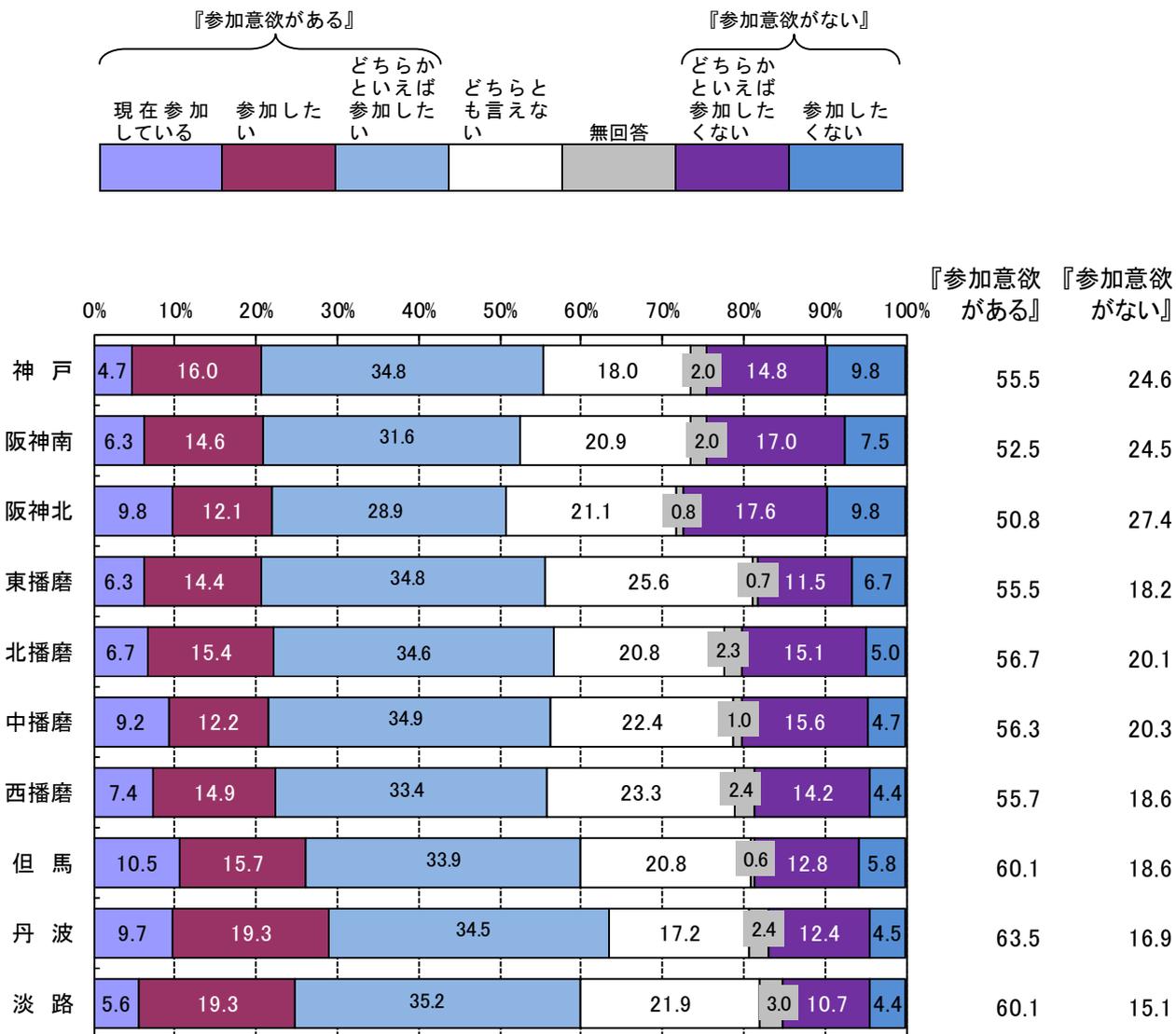
【全 県】

「どちらかといえば参加したい(33.3%)」が最も高い。「現在参加している(6.9%)」、「参加したい(14.7%)」と「どちらかといえば参加したい(33.3%)」を合わせた『参加意欲がある』の割合は54.9%で、「どちらかといえば参加したくない(15.0%)」と「参加したくない(7.6%)」を合わせた『参加意欲がない』の割合は22.6%である。



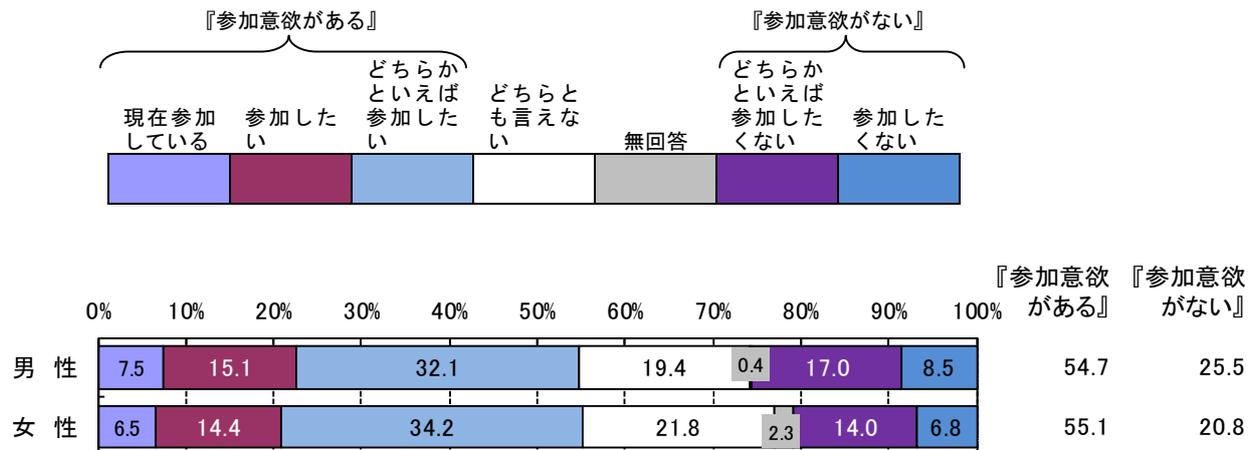
【地域別】

『参加意欲がある』は丹波が最も高く（63.5%）、次に但馬と淡路が高い（60.1%）。



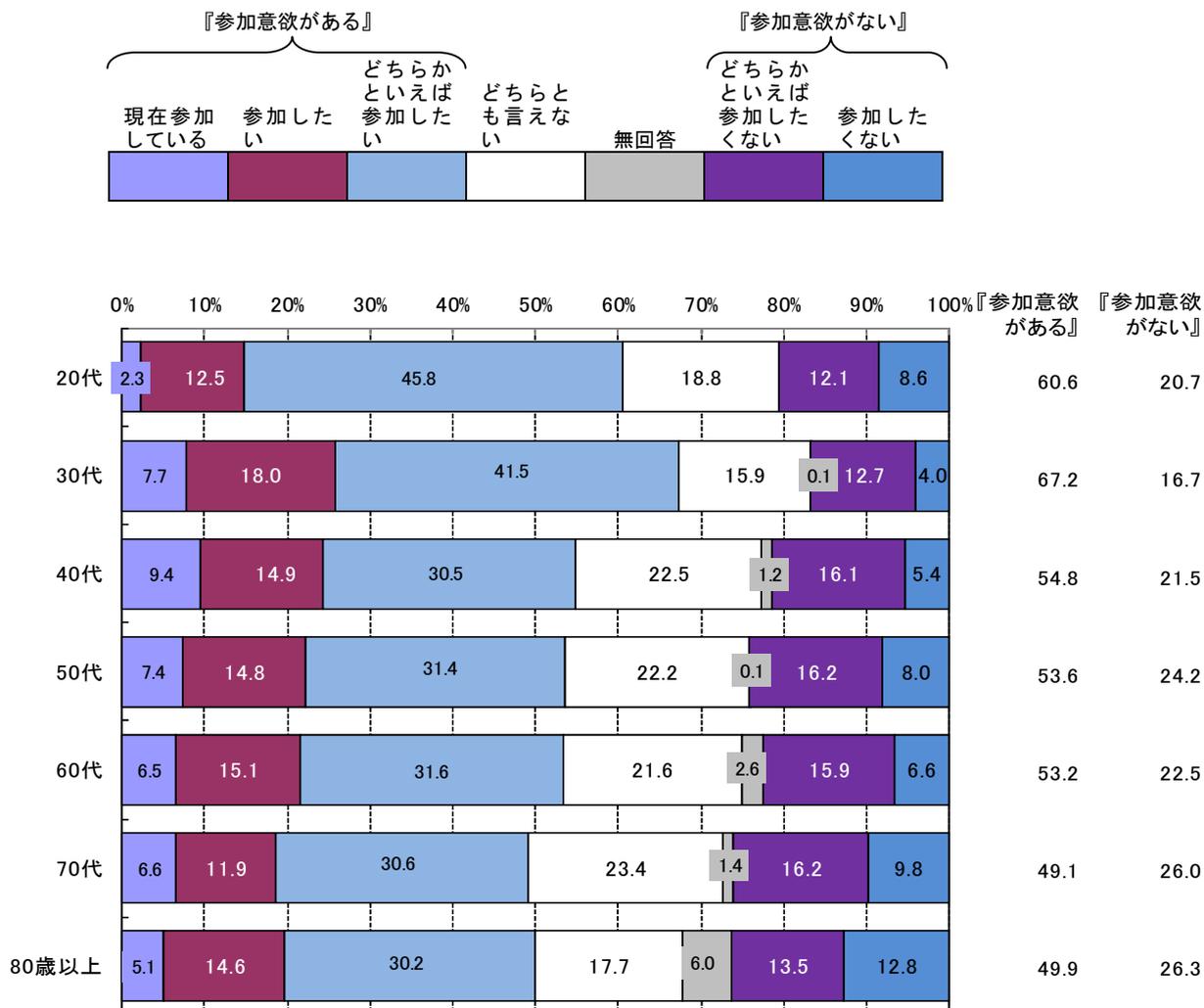
【性別】

『参加意欲がない』は、男性が25.5%と女性より4.7ポイント高い。



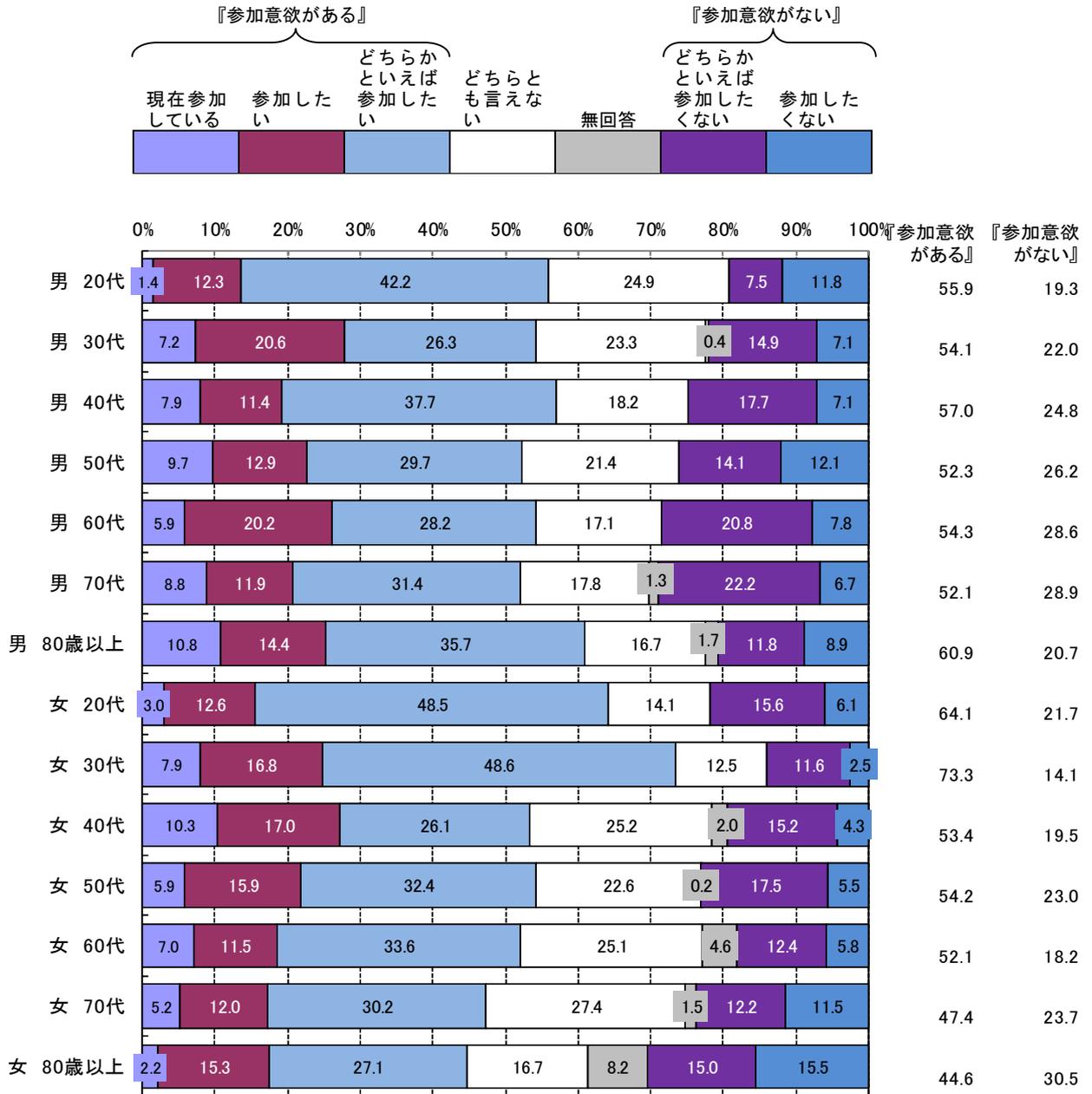
【年代別】

『参加意欲がある』は30代が最も高く(67.2%)、次に20代が高い(60.6%)。



【性・年代別】

『参加意欲がある』は、男性は80歳以上が最も高く(60.9%)、女性は30代が最も高い(73.3%)。



問3 参加したい子育てに関する活動

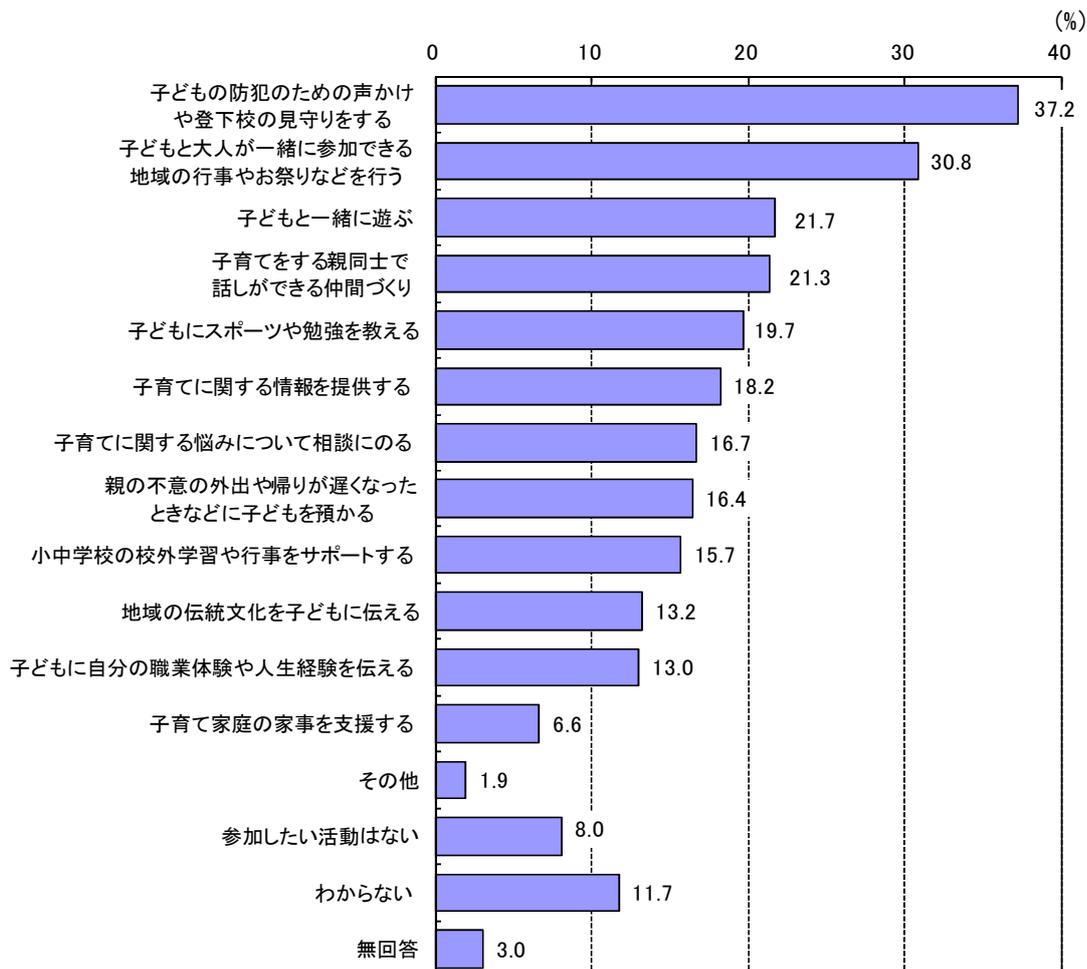
問3

あなたが参加したいと思う、地域で子育てを支える活動はありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 子育てに関する悩みについて相談にのる
- 2 子育てをする親同士で話ができる仲間づくり
- 3 子育てに関する情報を提供する
- 4 子育て家庭の家事を支援する
- 5 親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預かる
- 6 子どもと一緒に遊ぶ
- 7 子どもにスポーツや勉強を教える
- 8 地域の伝統文化を子どもに伝える
- 9 子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える
- 10 小中学校の校外学習や行事をサポートする
- 11 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする
- 12 子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う
- 13 その他 ()
- 14 参加したい活動はない
- 15 わからない

【全 県】

「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする(37.2%)」、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う(30.8%)」が多い。



【地域別】

全県で、最も高い「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする(37.2%)」は、丹波が最も多く(47.9%)、次に西播磨が多い(47.6%)。

区分	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする	子どもと大人が一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う	子どもと一緒に遊ぶ	子育てをする親同士で話しができる仲間づくり	子どもにスポーツや勉強を教える	子育てに関する情報を提供する	子育てに関する悩みについて相談にのる	親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預かる	小中学校の校外学習や行事をサポートする	地域の伝統文化を子どもに伝える	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える	子育てで家庭の家事を支援する	その他	最大値	最小値	無回答	
														(%)	(%)		
全 県	37.2	30.8	21.7	21.3	19.7	18.2	16.7	16.4	15.7	13.2	13.0	6.6	1.9	8.0	11.7	3.0	
地域別	神 戸	31.6	27.7	20.3	21.9	18.4	16.0	16.0	13.7	18.0	9.8	10.9	5.9	3.5	9.0	13.7	3.9
	阪神南	35.2	26.9	21.3	19.8	21.3	20.9	15.8	15.4	15.0	9.5	15.8	6.7	0.8	9.5	14.2	2.4
	阪神北	40.2	32.8	22.7	18.8	17.2	16.8	15.2	16.8	12.1	13.3	12.5	7.0	2.7	10.9	9.4	2.7
	東播磨	34.4	32.2	21.5	21.9	23.3	18.1	18.1	17.8	11.5	13.0	15.9	5.6	1.5	5.6	13.7	2.2
	北播磨	39.9	30.5	22.5	20.5	20.8	17.4	14.8	16.4	15.1	12.1	8.4	6.0	0.7	5.0	10.7	4.4
	中播磨	44.7	34.6	22.0	24.1	23.1	21.4	20.0	18.6	19.0	21.7	14.9	7.8	1.0	5.8	9.5	2.0
	西播磨	47.6	31.4	22.3	18.6	14.5	17.2	17.6	20.3	18.2	12.5	10.1	8.4	1.7	4.7	7.4	2.4
	但 馬	45.4	44.1	25.9	25.9	16.0	19.2	17.3	20.8	17.9	29.4	14.7	5.1	1.0	8.3	5.4	3.2
	丹 波	47.9	42.8	23.1	24.8	16.2	17.9	14.8	19.7	15.5	25.9	10.3	7.2	1.0	3.8	5.2	5.9
	淡 路	38.1	34.4	23.7	23.0	17.4	18.1	20.0	19.3	17.0	19.6	10.7	9.3	0.0	7.0	7.0	3.3
地域間の差	16.3	17.2	5.6	7.3	8.8	5.4	5.2	7.1	7.5	19.9	7.5	4.2	3.5	7.1	9.0	3.9	

【性別】

男性、女性とも上位2番目までは全県と同様「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする」と「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う」が多いが、3番目は男性が「子どもにスポーツや勉強を教える（26.6%）」が多く、女性は「子育てをする親同士で話しができる仲間づくり（23.8%）」が多い。

男女間の差は、「子どもにスポーツや勉強を教える（男性26.6%、女性15.3%）」（11.3ポイント差）が最も大きい。

(%)

区分	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする	子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う	子どもと一緒に遊ぶ	子育てをする親同士で話しができる仲間づくり	子どもにスポーツや勉強を教える	子育てに関する情報を提供する	子育てに関する悩みについて相談のる	親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預かる	小中学校の校外学習や行事をサポートする	地域の伝統文化を子どもに伝える	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える	子育て家庭の家事を支援する	その他	参加したい活動はない	わからない	無回答	
	全 県	37.2	30.8	21.7	21.3	19.7	18.2	16.7	16.4	15.7	13.2	13.0	6.6	1.9	8.0	11.7	3.0
性別	男 性	36.3	32.5	23.4	17.7	26.6	14.7	13.0	12.6	17.0	15.7	17.6	5.6	1.5	9.9	11.9	1.8
	女 性	37.8	29.8	20.6	23.8	15.3	20.3	18.9	18.9	15.0	11.8	10.1	6.9	2.3	6.7	11.8	3.8
性別間の差	1.5	2.7	2.8	6.1	11.3	5.6	5.9	6.3	2.0	3.9	7.5	1.3	0.8	3.2	0.1	2.0	

【年代別】

20代以外は全県と同様「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする」が最も多いが、20代は「子どもにスポーツや勉強を教える（40.2%）」が最も多い。

最大値 最小値 (%)

区分	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする	子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う	子どもと一緒に遊ぶ	子育てをする親同士で話しができる仲間づくり	子どもにスポーツや勉強を教える	子育てに関する情報を提供する	子育てに関する悩みについて相談のる	親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預かる	小中学校の校外学習や行事をサポートする	地域の伝統文化を子どもに伝える	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える	子育て家庭の家事を支援する	その他	参加したい活動はない	わからない	無回答	
	全 県	37.2	30.8	21.7	21.3	19.7	18.2	16.7	16.4	15.7	13.2	13.0	6.6	1.9	8.0	11.7	3.0
年代別	20代	23.6	33.9	36.0	37.8	40.2	26.5	12.0	16.8	17.2	16.8	15.9	9.6	0.0	6.5	11.0	0.2
	30代	40.1	38.6	37.6	36.6	29.8	33.0	19.3	20.6	23.3	17.2	16.0	10.7	2.1	4.4	7.4	1.1
	40代	35.6	34.3	21.9	27.8	22.2	19.7	17.8	15.2	21.9	14.5	15.1	7.0	1.8	7.7	10.8	1.9
	50代	38.0	26.7	18.6	19.7	24.6	19.2	20.5	17.3	19.0	12.2	13.1	5.4	2.0	10.6	8.4	2.4
	60代	41.9	32.2	15.8	15.0	15.1	15.3	16.9	15.0	12.8	12.5	9.4	4.1	1.9	7.0	15.1	4.0
	70代	40.8	29.2	18.9	11.1	9.4	9.6	12.3	16.5	9.4	11.5	12.2	4.9	2.3	7.6	13.4	3.5
	80歳以上	28.4	15.9	11.7	12.3	4.8	8.3	16.0	13.5	5.5	9.8	13.3	6.3	3.1	13.8	15.9	8.1
年代間の差	18.3	22.7	25.9	26.7	35.4	24.7	8.5	7.1	17.8	7.4	6.6	6.6	3.1	9.4	8.5	7.9	

【性・年代別】

男性の年代別間の差は「子どもにスポーツや勉強を教える（20代41.7%、80歳以上5.0%）」（36.7ポイント差）が最も大きく、女性も同じく「子どもにスポーツや勉強を教える（20代39.1%、70代3.7%）」（35.4ポイント差）が最も大きい。

区分		最大値											最小値		（%）		
		子どもにスポーツや勉強を教える	子どもと一緒に遊ぶ	子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う	子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする	子育てをする親同士で話しができる仲間づくり	子どもにスポーツや勉強を教える	子育てに関する情報を提供する	子育てに関する悩みについて相談にのる	親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預かる	小中学校の校外学習や行事をサポートする	地域の伝統文化を子どもに伝える	子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える	子育て家庭の家事を支援する		その他	参加したい活動はない
全 県		37.2	30.8	21.7	21.3	19.7	18.2	16.7	16.4	15.7	13.2	13.0	6.6	1.9	8.0	11.7	3.0
男性・年代別	20代	14.2	30.0	38.0	31.0	41.7	15.7	8.2	14.7	19.6	10.4	18.6	15.4	0.0	5.1	13.8	0.2
	30代	32.9	37.3	37.4	26.8	25.1	20.2	18.1	24.6	17.9	14.9	16.4	11.8	1.3	6.3	11.9	2.9
	40代	33.1	36.3	28.8	26.8	32.1	17.9	14.3	13.9	20.3	18.5	21.1	4.1	1.7	10.0	9.7	0.2
	50代	37.0	32.7	19.3	17.1	37.3	18.3	10.8	9.2	22.4	16.4	18.6	5.7	2.6	11.8	10.2	0.1
	60代	44.9	39.1	17.9	13.1	25.0	13.2	17.5	10.0	16.5	16.5	13.7	2.3	0.4	12.7	11.7	2.7
	70代	41.0	23.6	16.2	8.3	17.1	9.7	6.7	11.9	11.1	14.3	18.1	2.1	2.5	6.6	16.2	3.8
	80歳以上	33.2	20.2	18.8	9.2	5.0	8.5	14.0	7.9	10.5	15.4	19.1	7.8	1.6	15.0	9.4	1.3
男性・年代間の差		30.7	18.9	21.8	22.7	36.7	11.7	11.4	16.7	11.9	8.1	7.4	13.3	2.6	9.9	6.8	3.7
女性・年代別	20代	30.8	36.9	34.5	42.9	39.1	34.7	14.8	18.5	15.4	21.7	13.8	5.1	0.0	7.6	8.9	0.2
	30代	43.5	39.1	37.7	41.2	32.1	39.0	19.8	18.8	25.9	18.2	15.7	10.2	2.4	3.5	5.3	0.2
	40代	37.2	33.1	17.6	28.3	16.2	20.7	19.9	16.0	22.9	12.1	11.4	8.8	1.9	6.4	11.4	3.0
	50代	38.7	22.9	18.1	21.3	16.7	19.7	26.5	22.3	17.0	9.5	9.6	5.2	1.6	9.9	7.2	3.8
	60代	39.2	27.5	14.5	16.5	8.0	17.1	15.7	18.9	10.2	9.6	6.3	5.5	3.0	2.9	17.8	4.9
	70代	40.8	33.1	20.3	12.5	3.7	9.5	16.2	19.7	8.2	9.6	7.7	6.8	2.2	8.3	11.6	3.3
	80歳以上	26.3	14.0	8.2	14.5	4.0	7.5	17.7	17.1	2.9	6.2	10.4	5.7	4.1	11.7	20.1	11.7
女性・年代間の差		17.2	25.1	29.5	30.4	35.4	31.5	11.7	6.3	23.0	15.5	9.4	5.1	4.1	8.8	14.8	11.5

【地域別】

地域間の差は、「いつ、どこで活動しているか分からないから（阪神南 52.2%、但馬 39.0%）」（13.2ポイント差）が最も大きい。

区分		最大値											最小値		無回答
		時間がとれないから	いつ、どこで活動しているか分からないから	一人では参加しにくいから	活動の内容及びよく分からないから	関わる事がわずらわしいから	経験がなく不安だから	知識がなく不安だから	子育てに関係がないから	子育ては家庭内の問題であり、その家庭で行うべきと思うから	お金がかかりそうだから	その他	特になし	わからない	
全 県		49.6	48.3	42.6	37.7	30.4	27.4	20.5	16.3	10.1	5.8	4.5	1.0	3.5	1.7
地域別	神 戸	48.8	50.4	39.8	39.8	30.9	28.5	21.9	16.4	9.4	5.1	5.9	0.8	4.7	2.3
	阪神南	48.2	52.2	43.9	38.7	27.7	26.5	17.4	15.8	7.9	6.3	3.2	2.0	4.3	2.4
	阪神北	52.3	51.2	41.0	35.5	33.6	25.4	17.2	16.0	10.5	3.9	4.7	1.2	1.2	0.0
	東播磨	52.6	48.5	47.8	39.3	33.0	31.1	22.6	20.0	10.7	7.4	5.2	0.4	2.6	0.7
	北播磨	50.3	42.3	41.3	36.2	26.8	29.5	26.5	13.8	12.4	6.7	4.4	0.3	3.7	2.0
	中播磨	48.8	41.4	44.7	36.9	32.5	25.8	21.7	16.3	12.2	8.8	3.7	1.0	3.4	1.0
	西播磨	45.6	42.9	39.2	31.4	26.0	25.0	17.2	14.2	9.5	3.0	3.7	1.7	3.4	2.4
	但 馬	49.5	39.0	44.7	31.6	28.4	24.9	22.0	15.7	11.2	4.2	3.8	1.0	4.2	2.6
	丹 波	50.0	40.0	42.4	35.2	29.0	29.3	22.4	17.9	13.8	4.1	1.0	0.3	2.4	2.8
	淡 路	47.8	48.1	41.9	36.7	24.8	21.5	21.5	9.6	13.3	7.0	3.7	0.4	2.2	1.1
地域間の差		7.0	13.2	8.6	8.4	8.8	9.6	9.3	10.4	5.9	5.8	4.9	1.7	3.5	2.8

【性別】

男性は、全県と同様に「時間がとれないから（51.2%）」が最も多く、女性は「いつ、どこで活動しているか分からないから（49.9%）」が最も多い。

男女間の差は、「一人では参加しにくいから（男性 38.5%、女性 45.3%）」（6.8ポイント差）が最も大きい。

(%)

区分		時間がとれないから	いつ、どこで活動しているか分からないから	一人では参加しにくいから	活動の内容がよく分からないから	関わることがわずらわしいから	経験がなく不安だから	知識がなく不安だから	子育てに関係がないから	子育ては家庭内の問題であり、その家庭で行うべきと思うから	お金がかかりそうだから	その他	特にない	わからない	無回答
全 県		49.6	48.3	42.6	37.7	30.4	27.4	20.5	16.3	10.1	5.8	4.5	1.0	3.5	1.7
性別	男性	51.2	45.5	38.5	35.9	33.0	28.7	21.8	15.5	11.3	6.3	3.6	1.4	3.3	1.1
	女性	48.7	49.9	45.3	39.1	29.0	26.8	19.9	16.5	9.4	5.5	5.2	0.8	3.7	1.8
性別間の差		2.5	4.4	6.8	3.2	4.0	1.9	1.9	1.0	1.9	0.8	1.6	0.6	0.4	0.7

【年代別】

50代以下は、全県と同様に「時間がとれないから」が最も多く、60代以上は「いつ、どこで活動しているか分からないから」が最も多い。

最大値 最小値 (%)

区分		時間がとれないから	いつ、どこで活動しているか分からないから	一人では参加しにくいから	活動の内容がよく分からないから	関わることがわずらわしいから	経験がなく不安だから	知識がなく不安だから	子育てに関係がないから	子育ては家庭内の問題であり、その家庭で行うべきと思うから	お金がかかりそうだから	その他	特にない	わからない	無回答
全 県		49.6	48.3	42.6	37.7	30.4	27.4	20.5	16.3	10.1	5.8	4.5	1.0	3.5	1.7
年代別	20代	71.5	53.0	59.3	38.1	35.9	31.5	24.2	17.1	7.3	10.1	2.6	0.0	0.9	0.2
	30代	65.7	60.8	54.1	39.5	37.0	37.8	24.7	22.1	4.7	9.7	5.4	0.0	1.4	0.0
	40代	66.3	48.1	50.0	37.3	37.3	25.4	18.9	19.5	10.3	5.7	6.2	0.0	2.7	1.1
	50代	59.8	48.0	45.9	42.3	39.7	26.2	16.7	18.8	10.6	8.3	6.1	0.7	2.5	0.0
	60代	40.5	49.7	37.7	42.6	29.1	33.2	24.9	11.9	11.3	4.6	4.5	0.0	2.1	1.7
	70代	26.4	43.6	31.2	33.1	18.1	19.1	20.2	10.1	12.7	2.2	2.9	3.7	7.0	2.0
	80歳以上	24.3	30.7	24.1	23.4	12.8	17.8	12.2	16.3	10.8	1.8	2.4	3.4	9.2	8.5
年代間の差		47.2	30.1	35.2	19.2	26.9	20.0	12.7	12.0	8.0	8.3	3.8	3.7	8.3	8.5

【性・年代別】

男性の年代別間の差は「時間がとれないから（20代 78.3%、70代 26.4%）」（51.9ポイント差）が最も大きく、女性も同じく「時間がとれないから（40代 67.2%、80歳以上 21.9%）」（45.3ポイント差）が最も大きい。

		最大値											最小値	(%)	
区分		時間がとれないから	いつ、どこで活動しているか分からないから	一人では参加しにくいから	活動の内容がよく分からないから	関わるのがわずらわしいから	経験がなく不安だから	知識がなく不安だから	子育てに関係がないから	子育ては家庭内の問題であり、その家庭で行うべきと思うから	お金がかかりそうだから	その他	特にない	わからない	無回答
全 県		49.6	48.3	42.6	37.7	30.4	27.4	20.5	16.3	10.1	5.8	4.5	1.0	3.5	1.7
男性・年代別	20代	78.3	49.6	57.5	35.6	38.4	30.9	26.5	19.2	9.1	15.3	4.1	0.0	1.7	0.0
	30代	67.9	50.7	49.2	35.4	35.4	36.9	27.4	26.1	10.4	7.6	3.1	0.0	2.8	0.0
	40代	64.6	41.8	47.0	30.9	38.8	24.3	19.8	16.1	11.0	9.5	4.1	0.0	3.3	0.0
	50代	61.5	48.3	44.9	37.8	43.5	24.0	13.0	18.7	9.3	7.0	6.8	1.5	3.0	0.0
	60代	43.4	46.8	34.2	43.1	32.8	39.6	25.8	12.0	13.2	4.7	2.1	0.0	1.3	0.8
	70代	26.4	41.4	20.8	34.8	21.9	24.0	24.2	9.1	12.8	1.5	3.1	4.0	7.3	2.2
	80歳以上	30.2	41.0	25.8	24.4	17.0	12.1	14.2	14.9	10.5	1.7	1.6	6.4	3.3	6.7
男性・年代間の差		51.9	9.7	36.7	18.7	26.5	27.5	14.4	17.0	4.1	13.8	5.2	6.4	6.0	6.7
女性・年代別	20代	66.3	55.5	60.6	40.0	34.1	32.0	22.5	15.6	5.9	6.2	1.5	0.0	0.4	0.4
	30代	64.7	65.5	56.5	41.4	37.7	38.2	23.4	20.3	2.0	10.7	6.5	0.0	0.7	0.0
	40代	67.2	51.9	51.8	41.2	36.4	26.0	18.3	21.6	9.9	3.4	7.5	0.0	2.4	1.8
	50代	58.7	47.8	46.5	45.2	37.3	27.6	18.9	18.9	11.4	9.1	5.6	0.3	2.2	0.0
	60代	37.9	51.4	40.6	42.7	26.7	28.8	24.4	12.0	9.9	4.5	6.3	0.1	2.7	2.3
	70代	26.0	45.3	38.4	32.1	15.6	15.4	17.5	10.7	12.2	2.7	2.8	3.5	6.9	1.8
	80歳以上	21.9	25.2	23.9	23.7	11.1	21.4	11.6	17.4	11.4	1.9	2.9	1.9	12.8	7.4
女性・年代間の差		45.3	40.3	36.7	21.5	26.6	22.8	12.8	10.9	10.2	8.8	6.0	3.5	12.4	7.4

問5 地域で子育て支援が活発になるために重要なこと

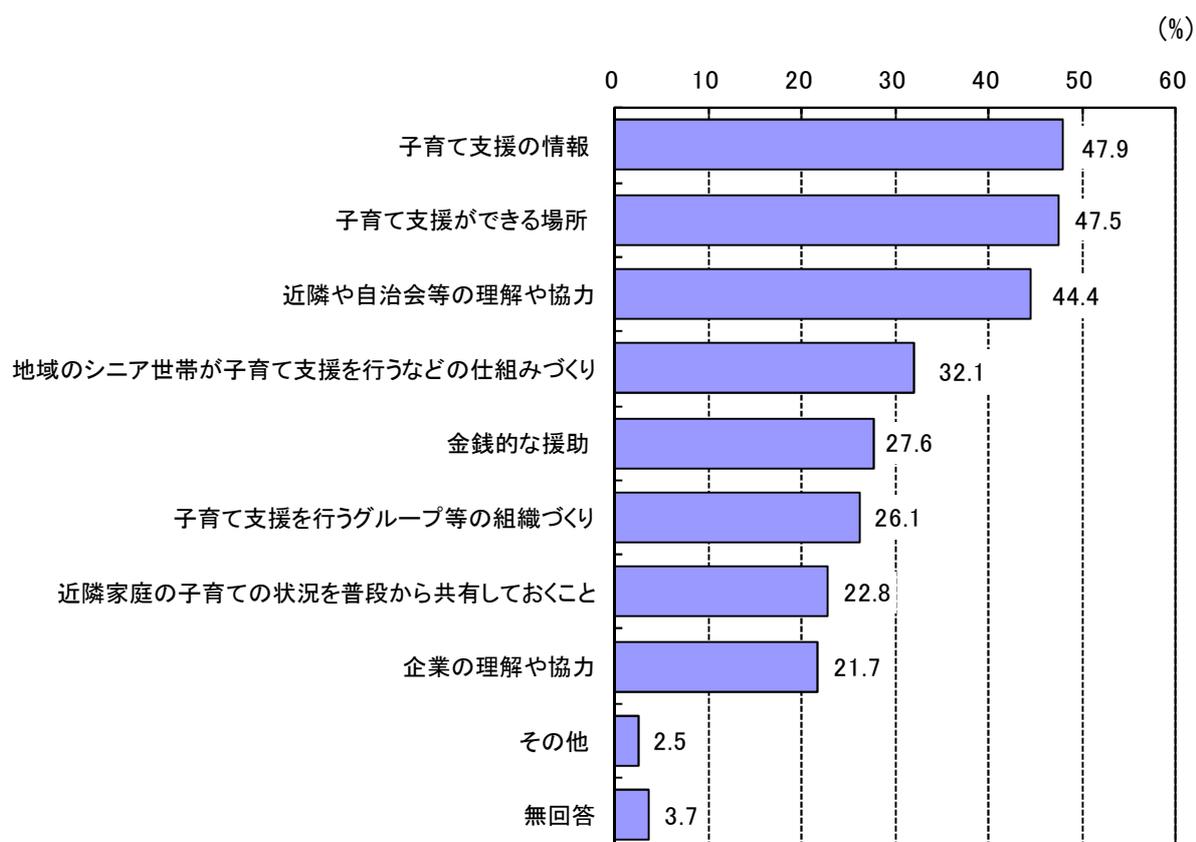
問5

あなたは、地域で子育てを支える活動が活発に行われるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 子育て支援ができる場所
- 2 子育て支援の情報
- 3 近隣家庭の子育ての状況を普段から共有しておくこと
- 4 子育て支援を行うグループ等の組織づくり
- 5 地域のシニア世帯が子育て支援を行うなどの仕組みづくり
- 6 近隣や自治会等の理解や協力
- 7 企業の理解や協力
- 8 金銭的な援助
- 9 その他

【全 県】

「子育て支援の情報(47.9%)」、「子育て支援ができる場所(47.5%)」、「近隣や自治会等の理解や協力(44.4%)」が上位を占めた。



【地域別】

全県で上位にある「子育て支援の情報(47.9%)」、「子育て支援ができる場所(47.5%)」は、東播磨が最も多く(54.8%、50.4%)、西播磨が最も少ない(42.2%、39.9%)。

区分	子育て支援の情報	子育て支援ができる場所	近隣や自治会等の理解や協力	地域のシニア世帯が子育て支援を行うなどの仕組みづくり	金銭的な援助	最大値		最小値		無回答	
						子育て支援を行うグループ等の組織づくり	近隣家庭の子育ての状況を普段から共有しておくこと	企業の理解や協力	その他		
全 県	47.9	47.5	44.4	32.1	27.6	26.1	22.8	21.7	2.5	3.7	
地域別	神 戸	48.4	49.2	45.3	32.8	29.3	24.2	18.8	25.4	2.3	4.7
	阪神南	48.6	47.4	39.5	32.0	26.9	26.5	20.6	22.5	3.6	4.7
	阪神北	48.4	47.3	48.4	33.6	24.2	26.6	24.2	19.9	2.7	3.5
	東播磨	54.8	50.4	44.1	31.5	32.2	26.3	24.1	23.7	2.6	1.5
	北播磨	45.0	44.0	41.6	29.5	27.2	29.9	27.5	17.1	3.4	2.7
	中播磨	42.7	45.8	45.8	33.6	26.1	25.8	25.4	19.3	2.0	3.1
	西播磨	42.2	39.9	44.6	28.7	23.6	25.7	27.0	13.9	2.0	4.1
	但 馬	42.8	44.4	43.8	29.7	25.6	28.1	31.3	17.3	0.6	3.8
	丹 波	43.8	45.9	50.0	27.2	22.1	25.9	30.7	17.9	0.3	3.4
	淡 路	46.3	49.3	47.0	32.6	29.3	31.5	25.6	15.9	0.7	1.5
地域間の差	12.6	10.5	10.5	6.4	10.1	7.3	12.5	11.5	3.3	3.2	

【性別】

男性は「近隣や自治会等の理解や協力（45.9%）」が最も多く、女性は全県と同様「子育て支援の情報（50.2%）」が最も多い。

男女間の差は「子育て支援ができる場所（男性 43.8%、女性 50.0%）」（6.2ポイント差）が最も大きい。

区分		子育て支援の情報	子育て支援ができる場所	近隣や自治会等の理解や協力	地域のシニア世帯が子育て支援を行うなどの仕組みづくり	金銭的な援助	子育て支援を行うグループ等の組織づくり	近隣家庭の子育ての状況を普段から共有しておくこと	企業の理解や協力	その他	無回答
全 県		47.9	47.5	44.4	32.1	27.6	26.1	22.8	21.7	2.5	3.7
性別	男 性	44.9	43.8	45.9	32.1	29.6	28.5	21.9	25.4	2.6	2.1
	女 性	50.2	50.0	43.7	31.9	26.3	24.5	23.4	19.6	2.5	4.4
性別間の差		5.3	6.2	2.2	0.2	3.3	4.0	1.5	5.8	0.1	2.3

【年代別】

20代、60代は「子育て支援ができる場所」、30代、50代は「子育て支援の情報」、40代は前記の2項目が同割合で最も多く、70代以上は「近隣や自治会等の理解や協力」が最も多い。

区分		子育て支援の情報	子育て支援ができる場所	近隣や自治会等の理解や協力	地域のシニア世帯が子育て支援を行うなどの仕組みづくり	金銭的な援助	子育て支援を行うグループ等の組織づくり	近隣家庭の子育ての状況を普段から共有しておくこと	企業の理解や協力	その他	無回答
全 県		47.9	47.5	44.4	32.1	27.6	26.1	22.8	21.7	2.5	3.7
年代別	20代	53.9	54.9	43.7	15.4	36.8	33.3	18.2	35.6	0.6	1.2
	30代	58.8	57.0	45.2	26.7	41.3	26.6	23.2	27.0	3.1	0.0
	40代	51.0	51.0	41.1	30.7	39.2	26.2	15.6	28.3	5.3	2.0
	50代	51.5	47.4	44.0	37.3	31.6	25.2	22.9	24.5	3.9	0.6
	60代	48.4	49.8	45.3	41.1	19.2	28.9	23.8	18.7	1.5	3.7
	70代	36.8	37.9	46.0	34.4	15.0	21.8	27.3	14.3	1.6	4.9
	80歳以上	35.5	34.1	46.5	19.1	15.3	21.9	28.4	6.8	0.2	16.8
年代間の差		23.3	22.9	5.4	25.7	26.3	11.5	12.8	28.8	5.1	16.8

【性・年代別】

男性の年代別間の差は「金銭的な援助（30代 50.0%、70代 12.7%）」（37.3ポイント差）が最も大きく、女性は「子育て支援の情報（30代 62.1%、80歳以上 29.0%）」（33.1ポイント差）が最も大きい。

区分		最大値											最小値											（%）										
		子育て支援の情報	子育て支援ができる場所	近隣や自治会等の理解や協力	地域のシニア世帯が子育て支援を行うなどの仕組みづくり	金銭的な援助	子育て支援を行うグループ等の組織づくり	近隣家庭の子育ての状況を普段から共有しておくこと	企業の理解や協力	その他	無回答																							
全 県		47.9	47.5	44.4	32.1	27.6	26.1	22.8	21.7	2.5	3.7																							
男性・年代別	20代	51.1	48.4	48.2	15.0	40.4	29.8	19.4	40.4	0.0	0.0																							
	30代	51.8	53.8	41.9	26.9	50.0	32.4	21.4	37.9	5.2	0.0																							
	40代	45.1	43.9	45.3	33.1	41.8	31.3	18.7	28.3	3.5	0.2																							
	50代	45.1	46.0	50.2	27.5	36.4	27.0	22.0	31.1	2.6	0.0																							
	60代	47.7	50.0	44.4	41.5	20.5	29.3	24.0	24.6	2.0	3.4																							
	70代	32.1	28.6	44.5	38.5	12.7	24.7	21.7	12.3	3.4	2.8																							
	80歳以上	48.0	36.2	48.9	22.5	17.8	25.9	25.8	6.5	0.0	9.9																							
男性・年代間の差		19.7	25.2	8.3	26.5	37.3	7.7	7.1	33.9	5.2	9.9																							
女性・年代別	20代	56.0	59.8	40.4	15.8	34.0	36.0	17.2	31.9	1.1	2.1																							
	30代	62.1	58.6	46.7	26.6	37.2	23.9	24.1	21.9	2.1	0.0																							
	40代	54.6	55.3	38.5	29.3	37.5	23.1	13.8	28.3	6.4	3.2																							
	50代	55.5	48.3	40.2	43.3	28.6	24.1	23.4	20.5	4.6	1.0																							
	60代	49.3	49.2	46.4	40.3	17.4	28.0	24.0	14.5	1.2	3.9																							
	70代	40.3	44.4	47.2	31.9	16.7	19.4	30.7	15.3	0.3	6.3																							
	80歳以上	29.0	34.0	45.5	18.0	14.5	20.5	31.0	7.2	0.3	18.8																							
女性・年代間の差		33.1	25.8	8.7	27.5	23.0	16.6	17.2	24.7	6.1	18.8																							

問6 地域の子育て環境

問6

あなたがお住まいの地域は、次のようなことが、どの程度あてはまりますか。次のア～シについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

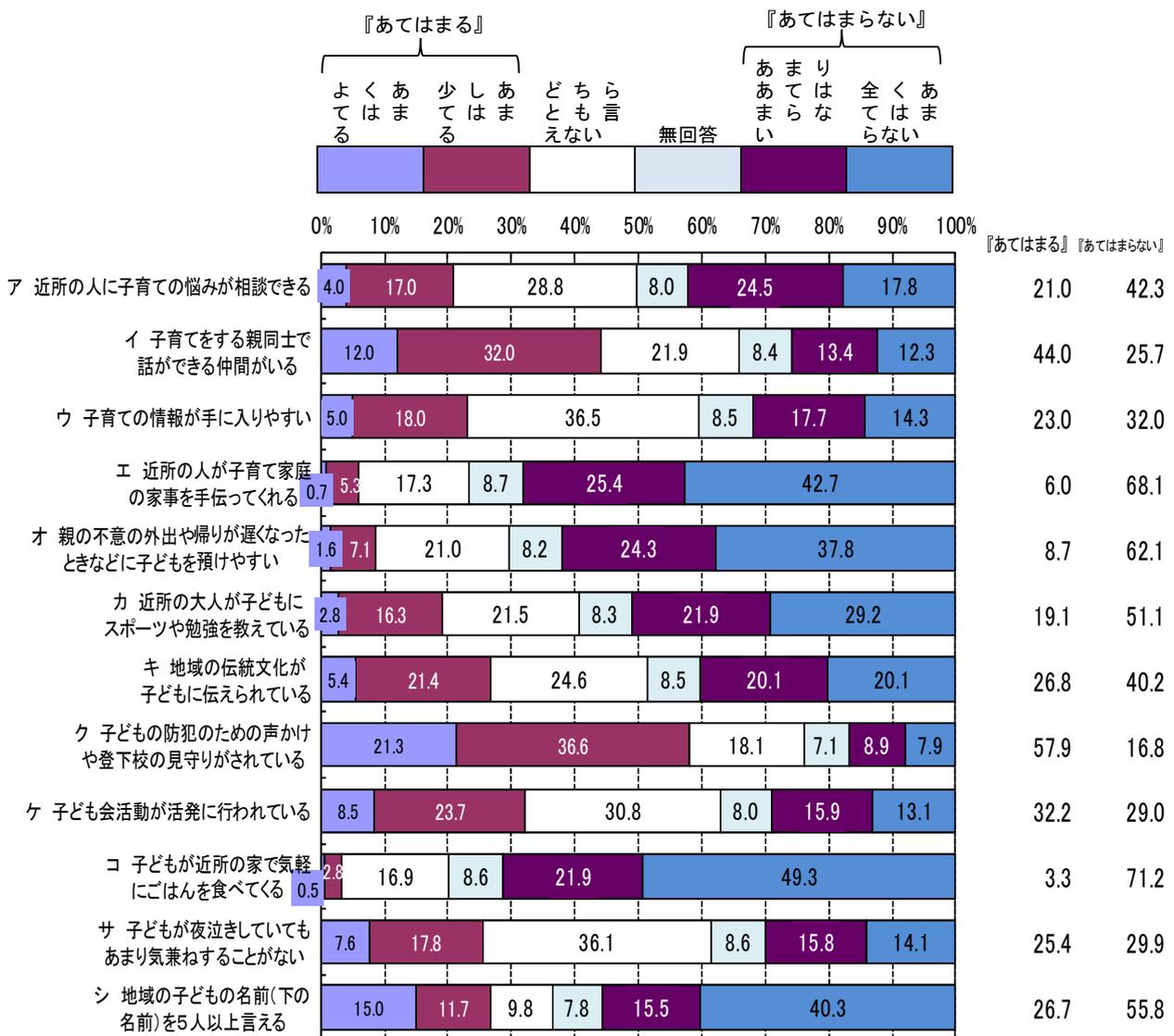
- ア 近所の人に子育ての悩みが相談できる
- イ 子育てをする親同士で話ができる仲間がいる
- ウ 子育ての情報が手に入りやすい
- エ 近所の人の子育て家庭の家事を手伝ってくれる
- オ 親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預けやすい
- カ 近所の大人が子どもにスポーツや勉強を教えている
- キ 地域の伝統文化が子どもに伝えられている
- ク 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りがされている
- ケ 子ども会活動が活発に行われている
- コ 子どもが近所の家で気軽にごはんを食べてくる
- サ 子どもが夜泣きしていてもあまり気兼ねすることがない
- シ 地域の子どもの名前（下の名前）を5人以上言える

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1 よくあてはまる | 2 少しあてはまる | 3 どちらとも言えない |
| 4 あまりあてはまらない | 5 全くあてはまらない | |

【全 県】

「よくあてはまる」と「少しあてはまる」を合わせた『あてはまる』は、「ク 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りがされている（57.9%）」が最も高く、次に「イ 子育てをする親同士で話ができる仲間がいる（44.0%）」が高い。

「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』は、「コ 子どもが近所の家で気軽にごはんを食べてくる（71.2%）」、「エ 近所の人の子育て家庭の家事を手伝ってくれる（68.1%）」、「オ 親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預けやすい（62.1%）」が高い。



【『あてはまる』の地域別】

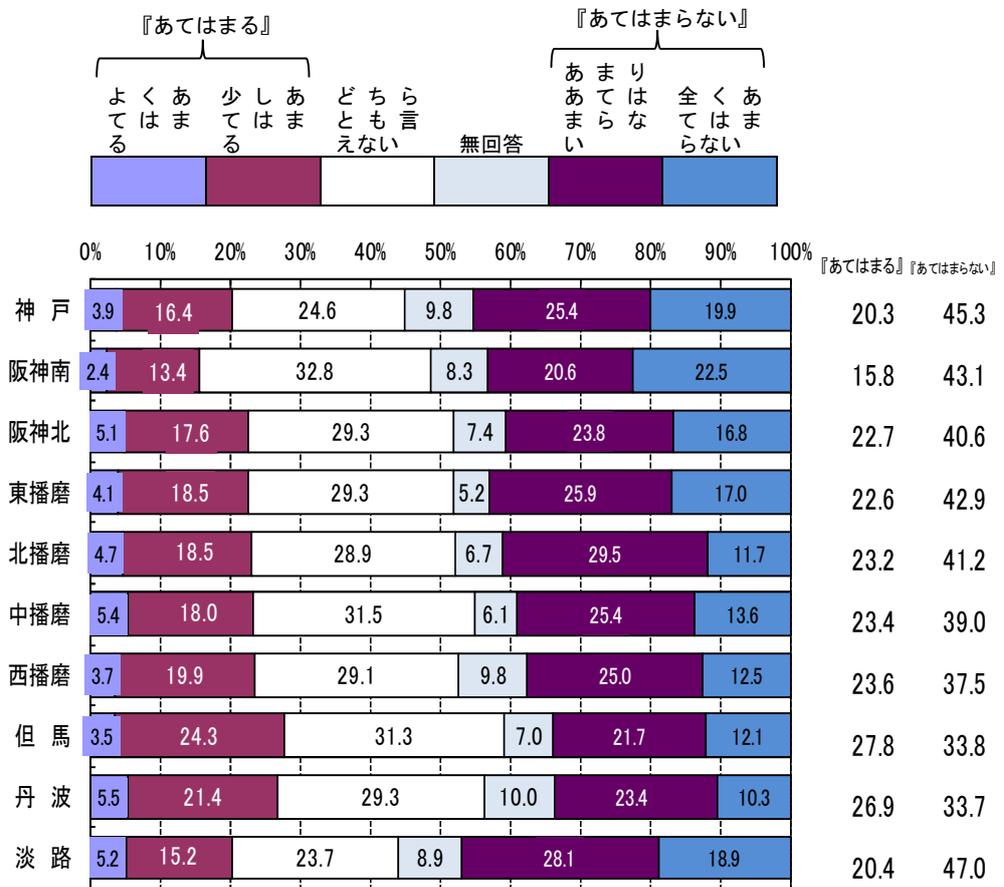
地域間の差は「ケ 子ども会活動が活発に行われている（中播磨 55.6%、神戸 18.3%）」（37.3ポイント差）が最も大きい。

区分	ア 近所の人に子育ての悩みが相談できる	イ 子育てをする親同士で話ができる仲間がいる	ウ 子育ての情報が手に入りやすい	エ 近所の人が子育て家庭の家事を手伝ってくれる	オ 親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預けやすい	カ 近所の大人が子どもにもスポーツや勉強を教えている	キ 地域の伝統文化が子どもに伝えられている	ク 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りがされている	最大値	最小値	シ 地域の子ども名前（下の名前）を5人以上言える	（%）	
									ケ 子ども会活動が活発に行われている	コ 子どもが近所の家で気軽にごはんを食べてくる			サ 子どもが夜泣きしていてもあまり気兼ねすることがない
全 県	21.0	44.0	23.0	6.0	8.7	19.1	26.8	57.9	32.2	3.3	25.4	26.7	
地域別	神 戸	20.3	44.9	22.7	6.3	8.3	15.7	23.1	51.6	18.3	3.1	24.7	22.7
	阪神南	15.8	36.0	22.6	4.0	5.9	19.7	16.3	49.0	21.3	2.8	20.9	20.1
	阪神北	22.7	45.3	26.6	9.4	13.3	19.9	21.5	62.1	31.3	3.5	27.7	27.7
	東播磨	22.6	43.0	20.0	5.9	6.3	17.0	23.7	65.9	42.6	3.4	18.2	25.9
	北播磨	23.2	46.6	23.2	3.4	11.1	22.5	36.3	69.2	47.3	3.7	35.6	35.9
	中播磨	23.4	52.2	24.4	6.1	8.5	24.8	46.1	68.1	55.6	3.4	29.9	34.6
	西播磨	23.6	42.9	18.2	5.7	10.5	22.7	37.8	62.2	46.6	4.4	24.0	33.8
	但 馬	27.8	49.6	25.8	6.0	12.1	17.0	40.0	68.4	48.3	4.4	37.4	39.0
	丹 波	26.9	46.9	24.1	5.2	10.0	24.8	43.4	68.0	46.2	3.4	36.2	35.5
	淡 路	20.4	48.1	25.5	5.9	11.9	20.0	40.8	40.7	34.8	4.1	34.8	30.0
地域間の差	12.0	16.2	8.4	6.0	7.4	9.1	29.8	28.5	37.3	1.6	19.2	18.9	

〔ア 近所の人に子育ての悩みが相談できる〕

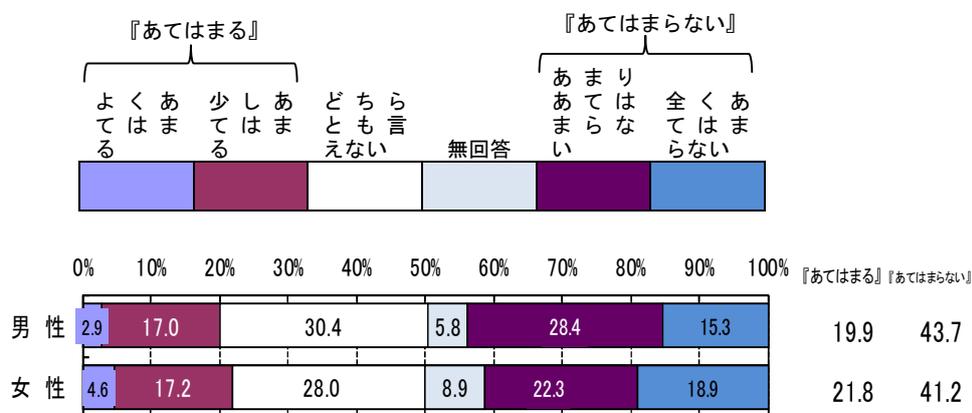
【地域別】

『あてはまる』は但馬が最も高い（27.8%）。



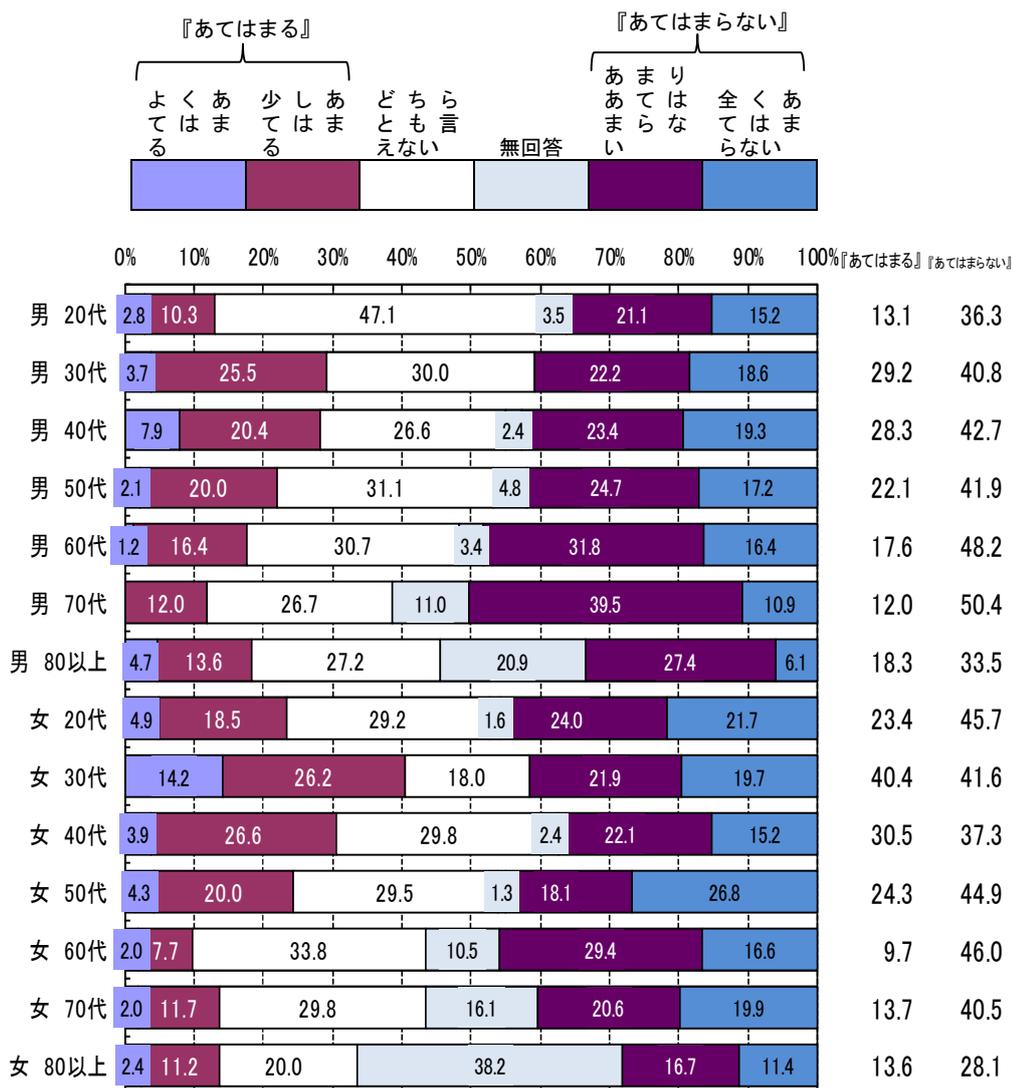
【性別】

『あてはまる』は女性の方が男性より1.9ポイント高い。



【性・年代別】

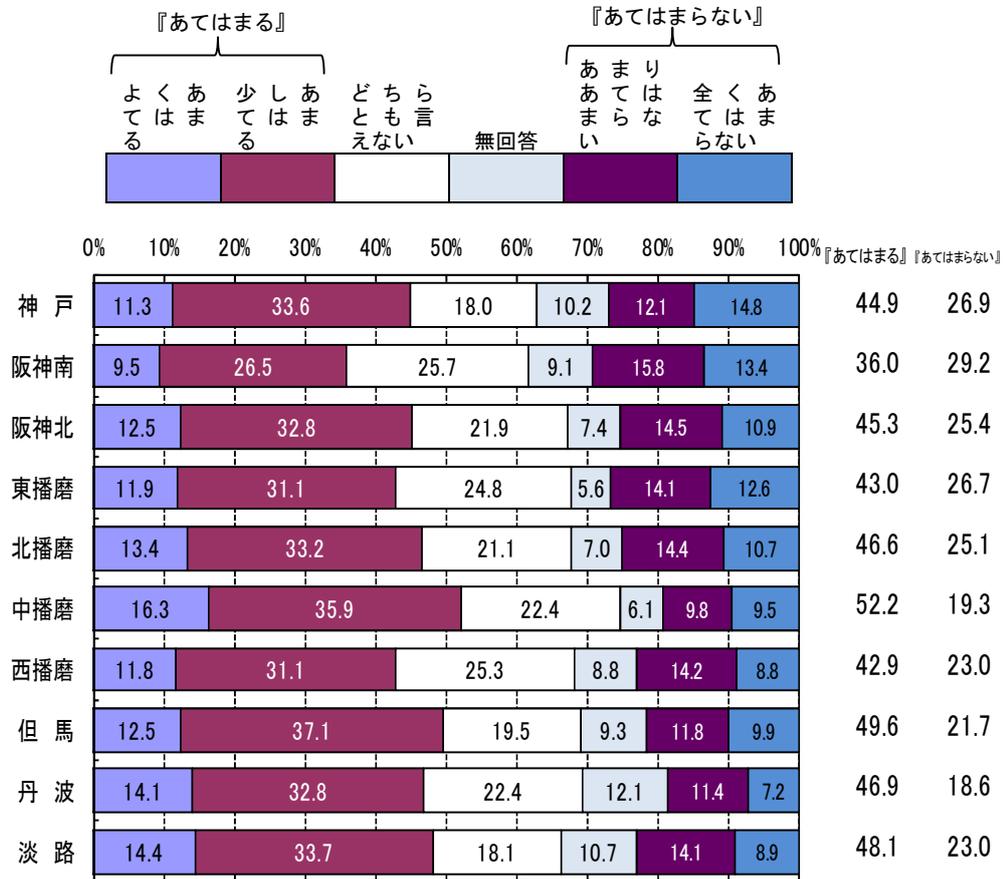
『あてはまる』は、男性は30代が最も高く（29.2%）、女性も30代が最も高い（40.4%）。



〔イ 子育てをする親同士で話ができる仲間がいる〕

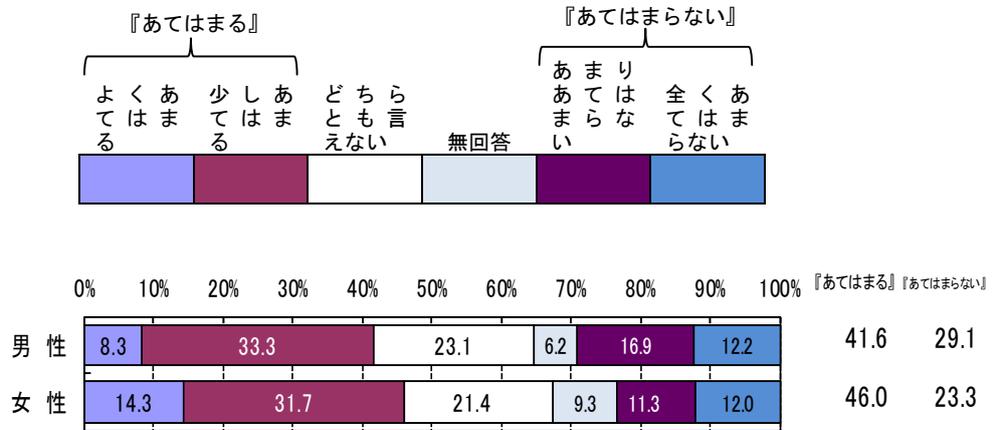
【地域別】

『あてはまる』は中播磨が最も高い（52.2%）。



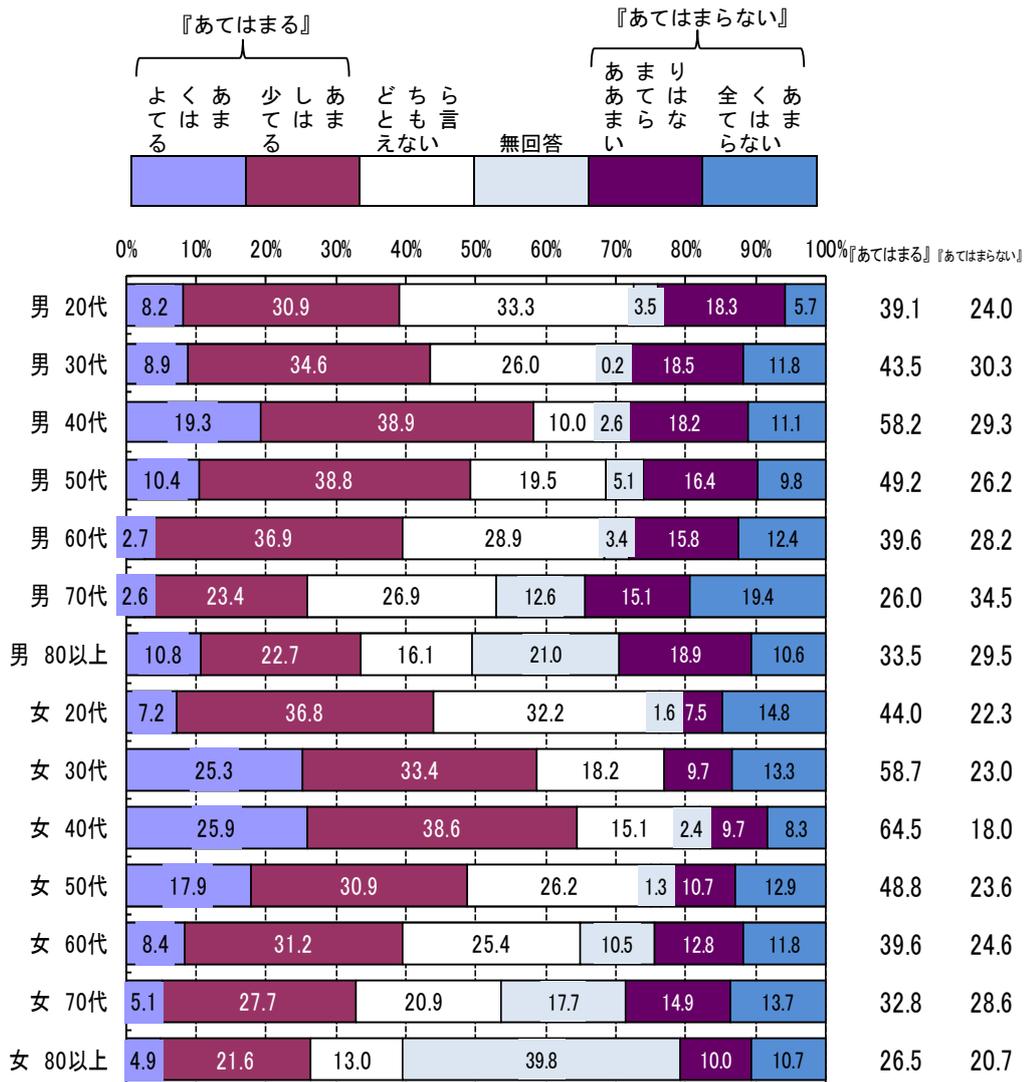
【性別】

『あてはまる』は女性の方が男性より4.4ポイント高い。



【性・年代別】

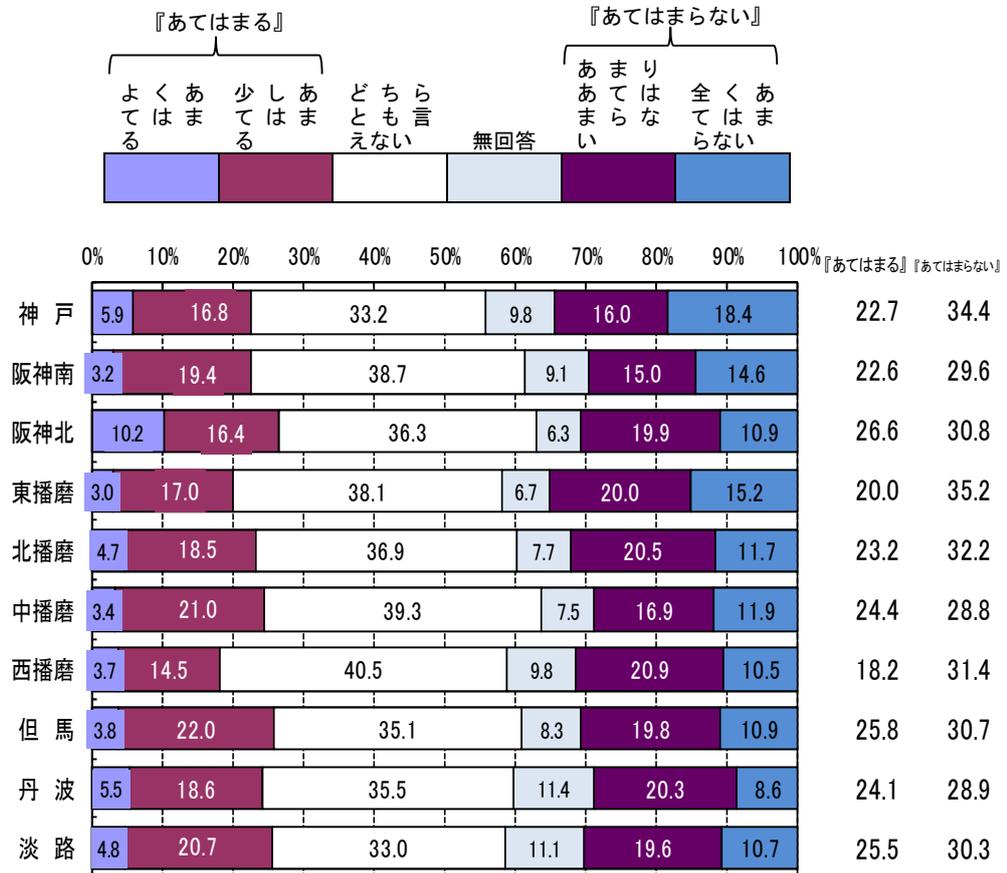
『あてはまる』は、男性は40代が最も高く（58.2%）、女性も40代が最も高い（64.5%）。



〔ウ 子育ての情報が手に入りやすい〕

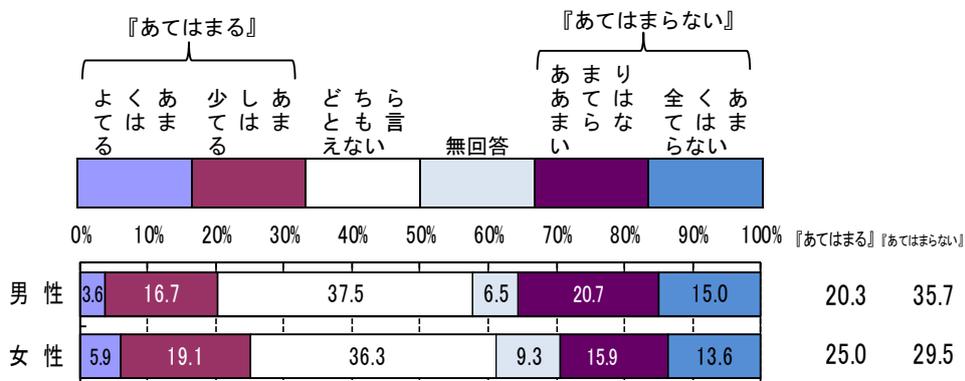
【地域別】

『あてはまる』は阪神北が最も高い（26.6%）。



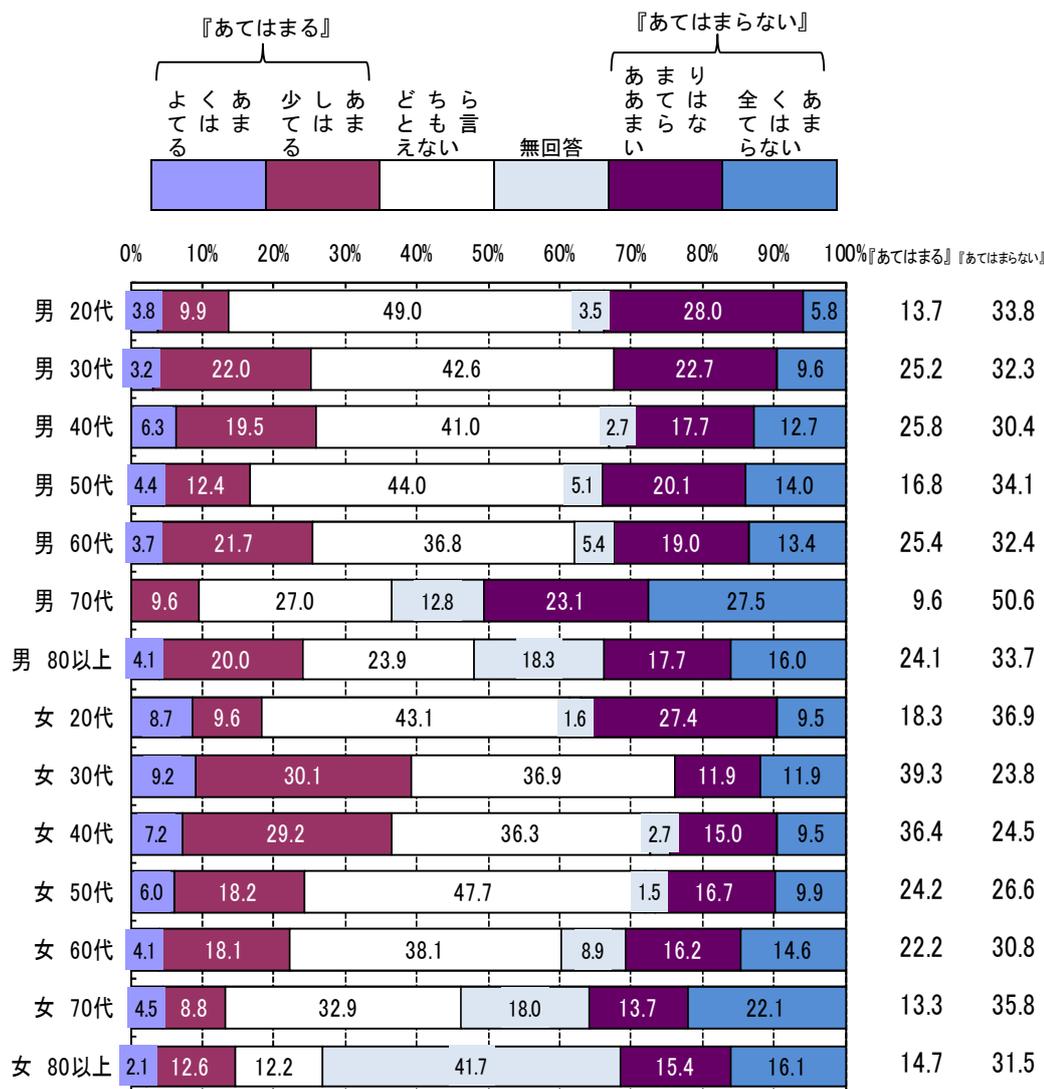
【性別】

『あてはまる』は女性の方が男性より4.7ポイント高い。



【性・年代別】

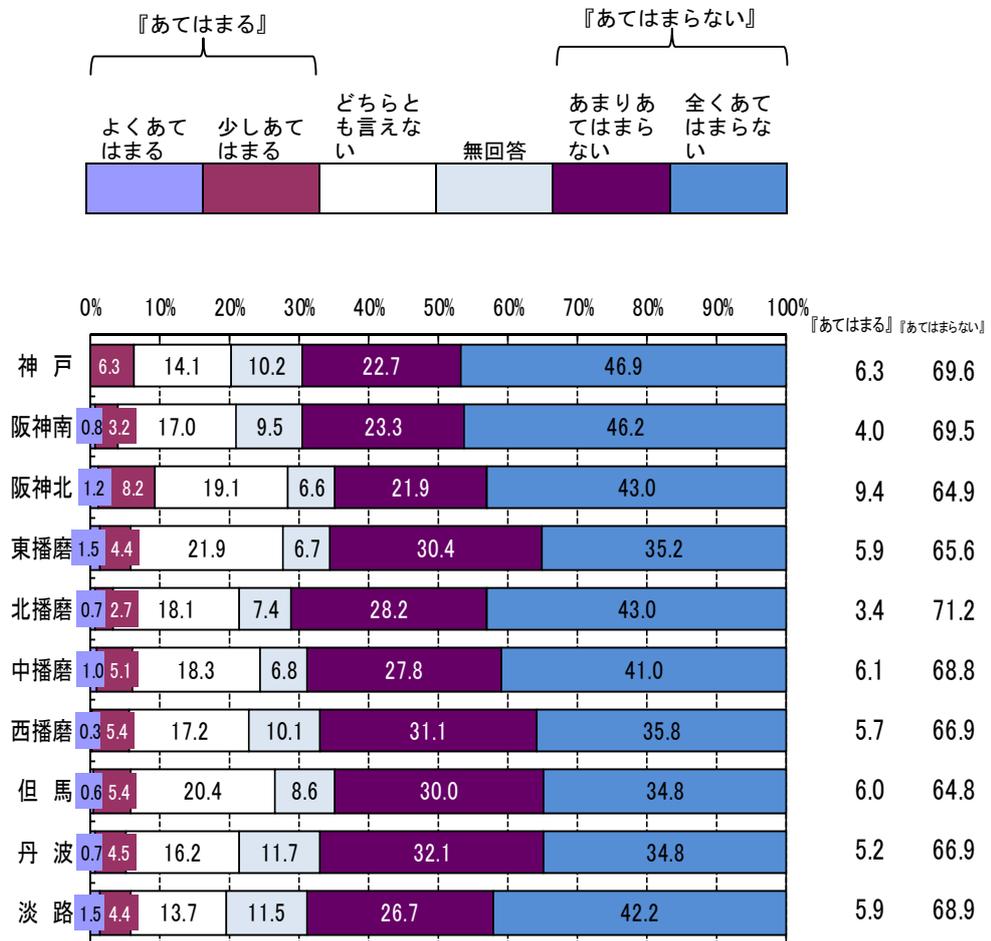
『あてはまる』は、男性は40代が最も高く（25.8%）、女性は30代が最も高い（39.3%）。



〔エ 近所の方が子育て家庭の家事を手伝ってくれる〕

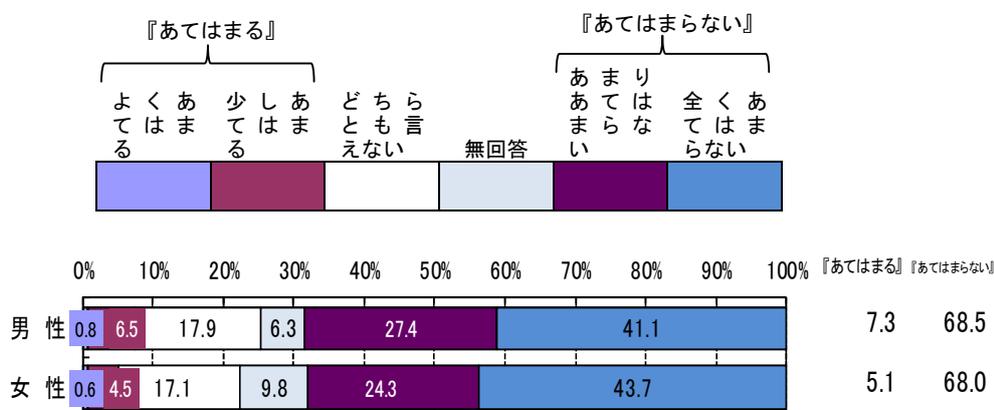
【地域別】

『あてはまる』は阪神北が最も高い（9.4%）。



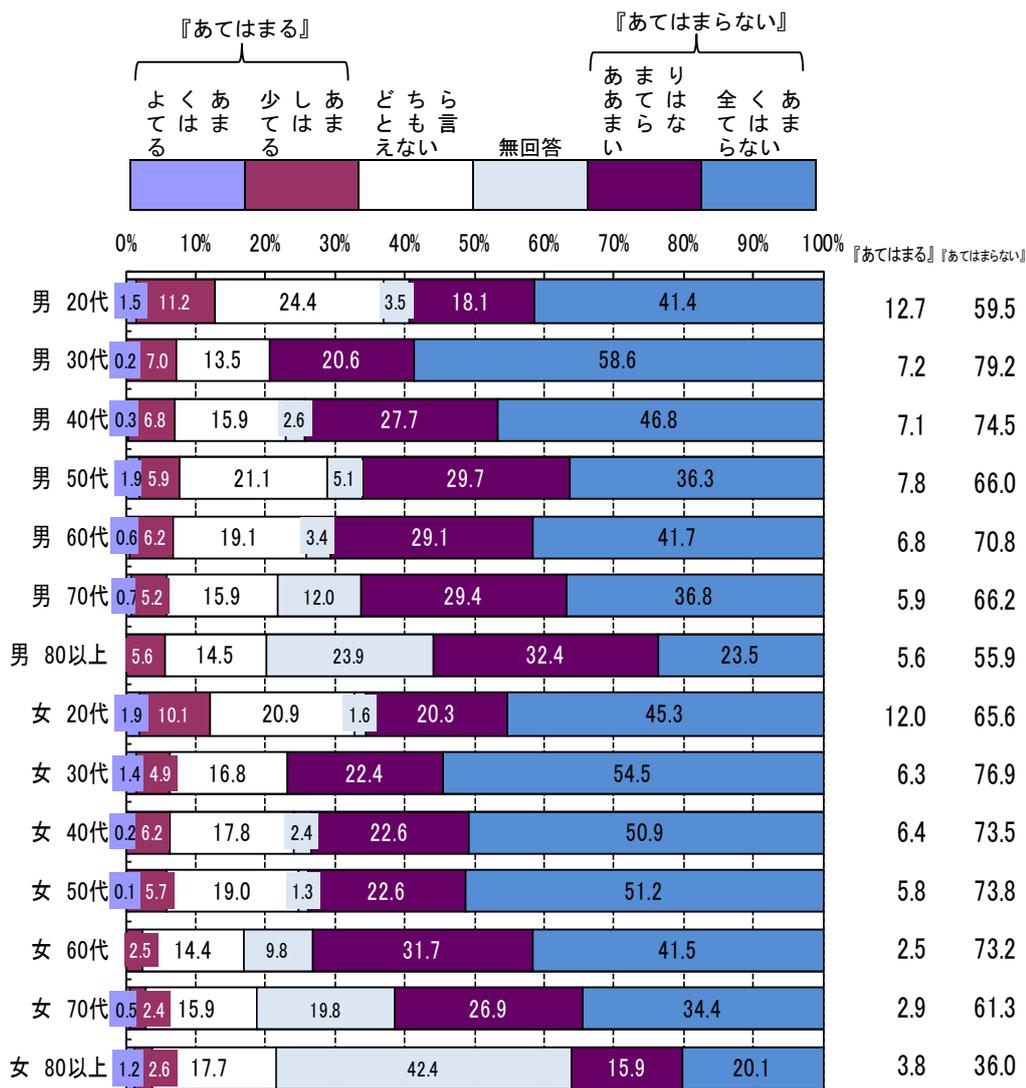
【性別】

『あてはまる』は男性の方が女性より2.2ポイント高い。



【性・年代別】

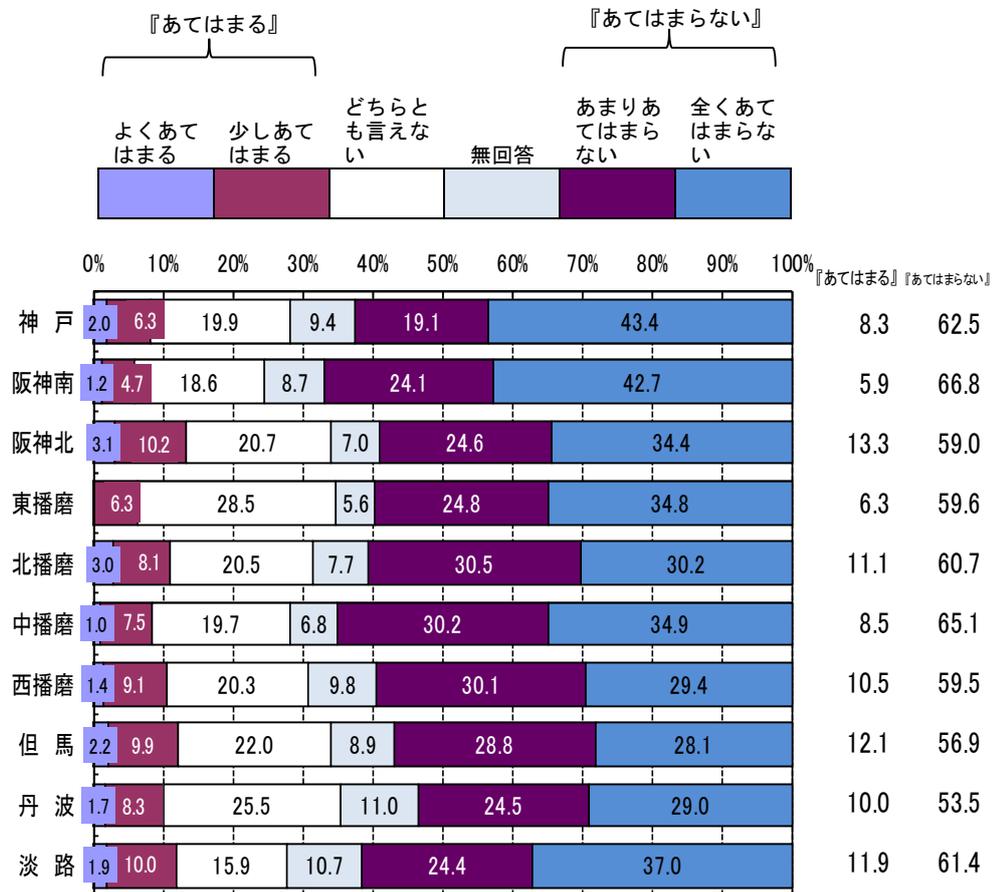
『あてはまる』は、男性は20代が最も高く（12.7%）、女性も20代が最も高い（12.0%）。



〔オ 親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預けやすい〕

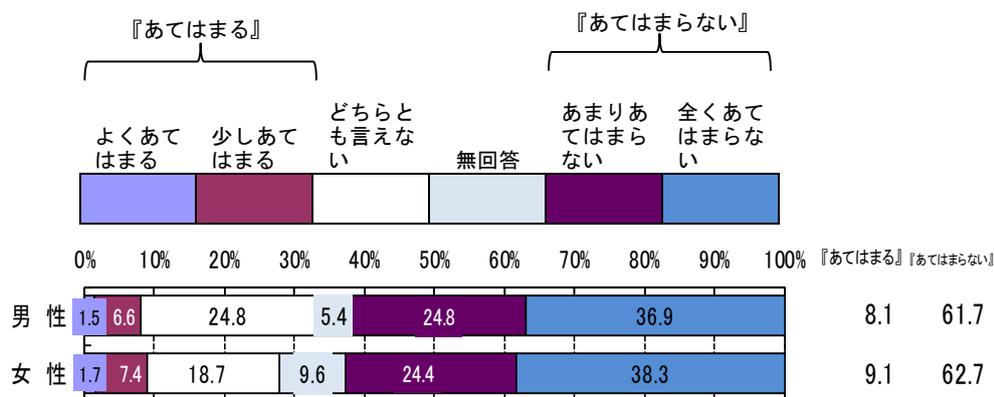
【地域別】

『あてはまる』は阪神北が最も高い（13.3%）。



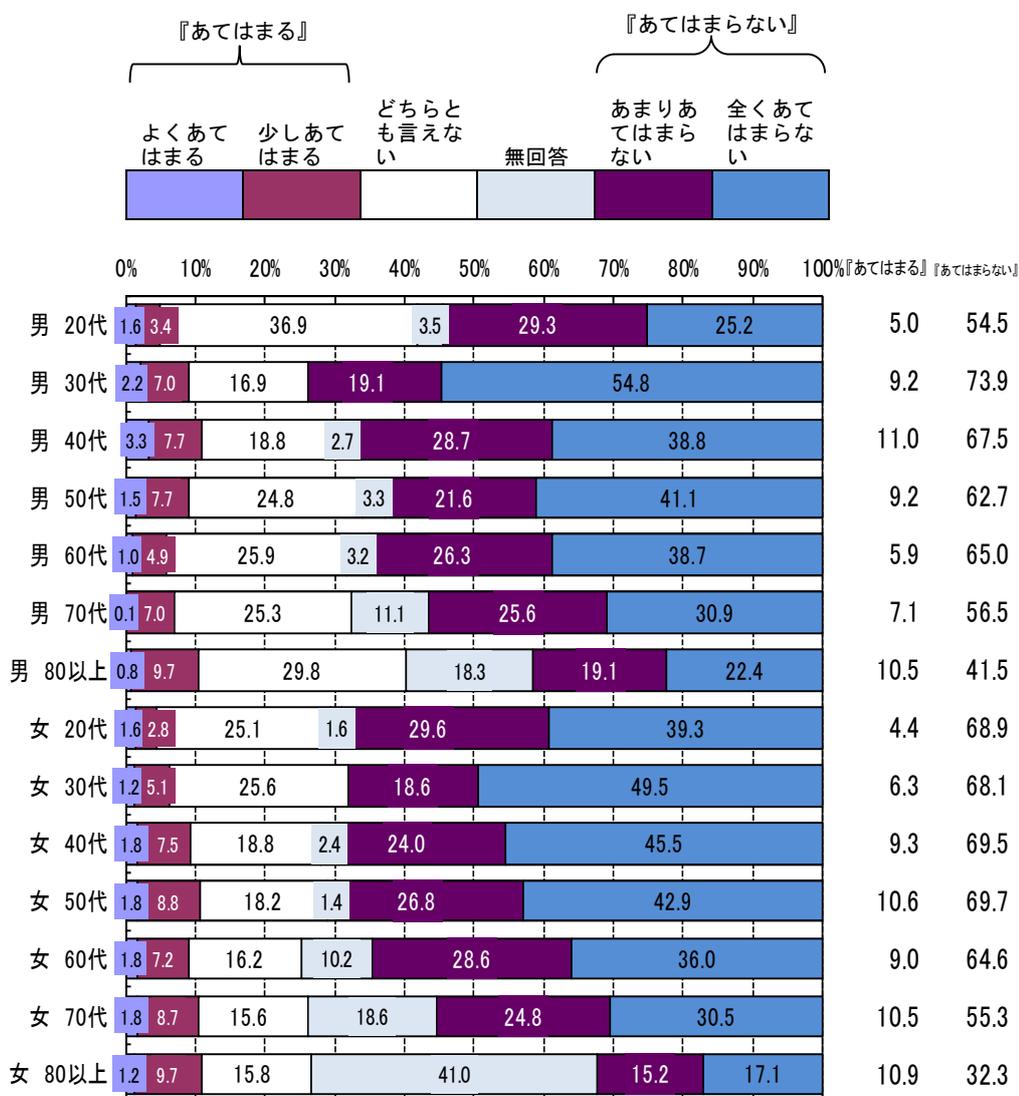
【性別】

『あてはまる』は女性の方が男性より1.0ポイント高い。



【性・年代別】

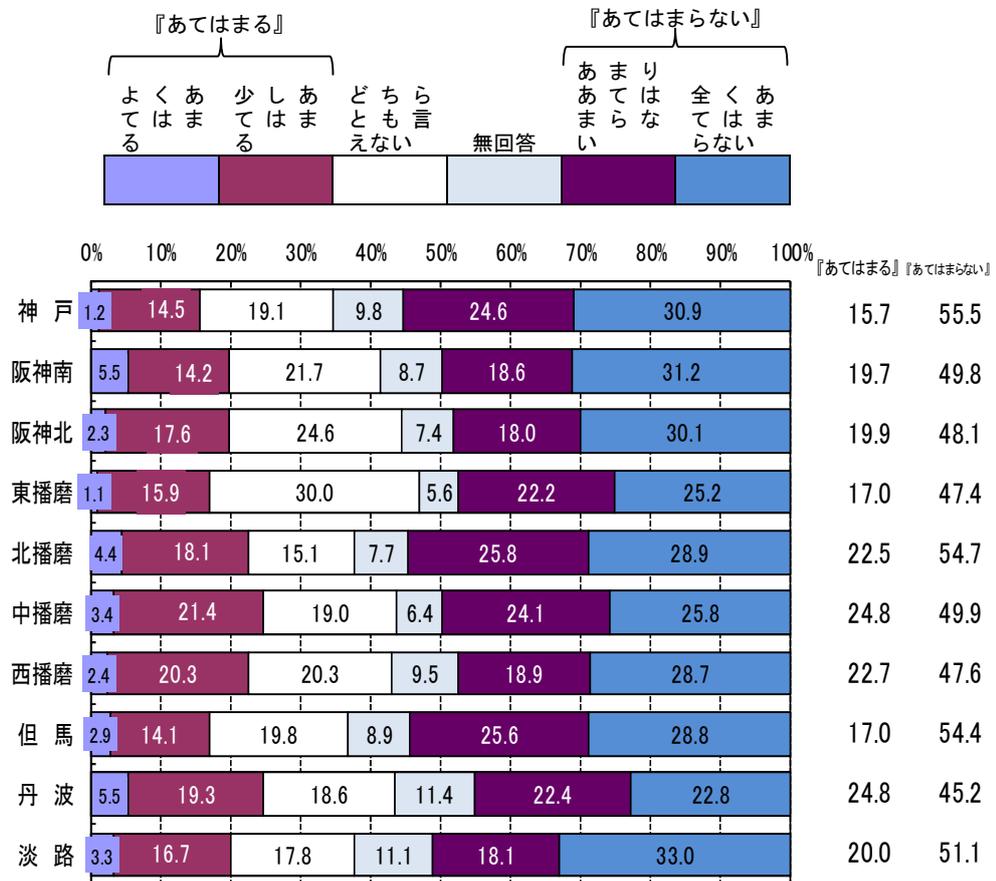
『あてはまる』は、男性は40代が最も高く（11.0%）、女性は80歳以上が最も高い（10.9%）。



〔カ 近所の大人が子どもにスポーツや勉強を教えている〕

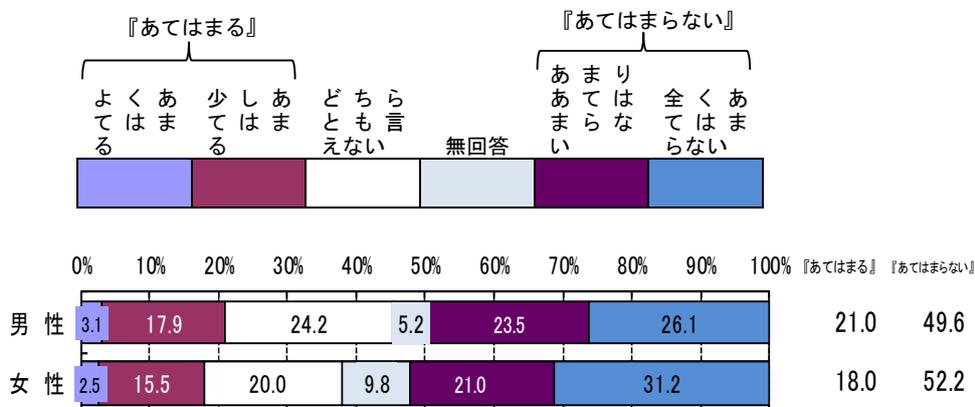
【地域別】

『あてはまる』は中播磨と丹波が高い（24.8%）。



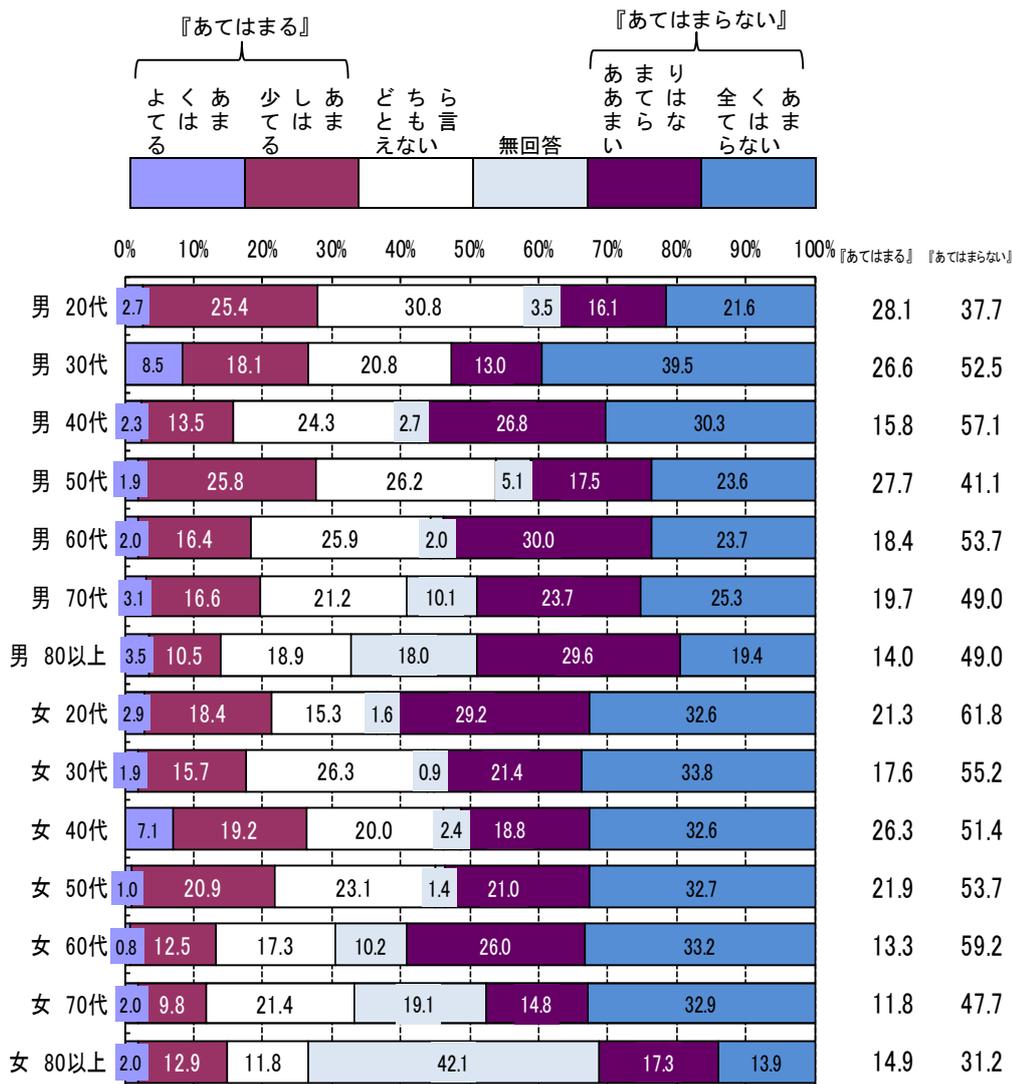
【性別】

『あてはまる』は男性の方が女性より3.0ポイント高い。



【性・年代別】

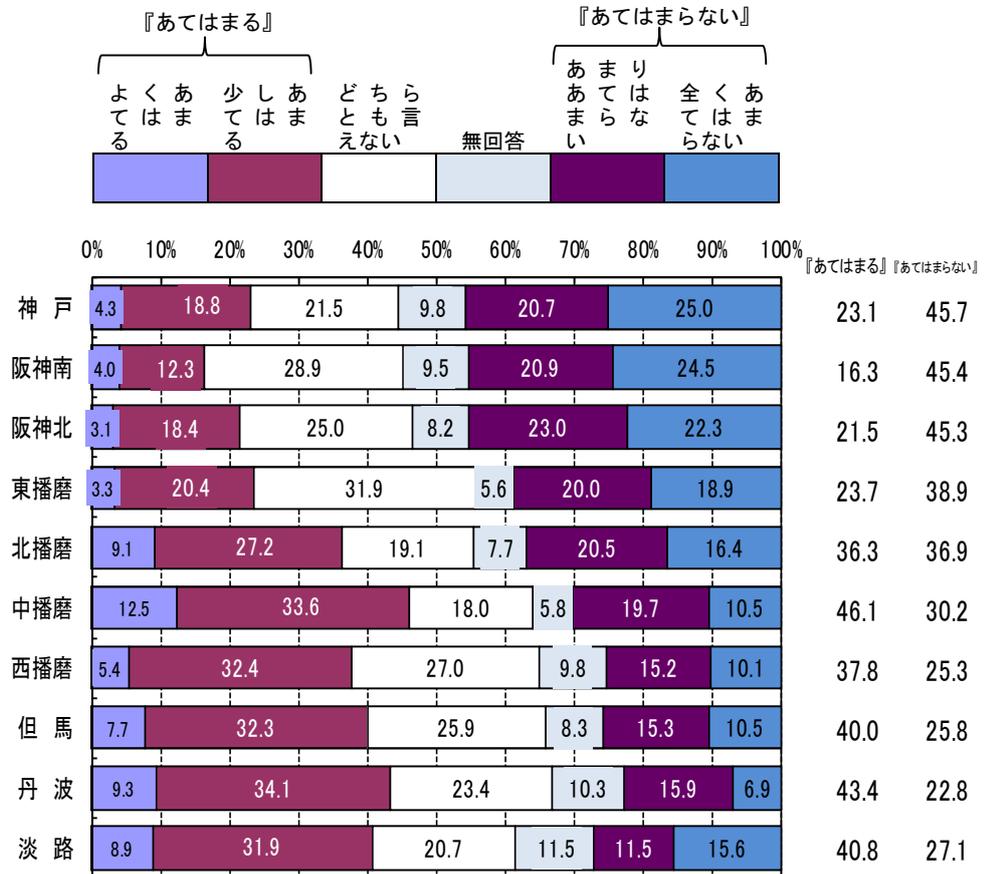
『あてはまる』は、男性は20代が最も高く（28.1%）、女性は40代が最も高い（26.3%）。



〔キ 地域の伝統文化が子どもに伝えられている〕

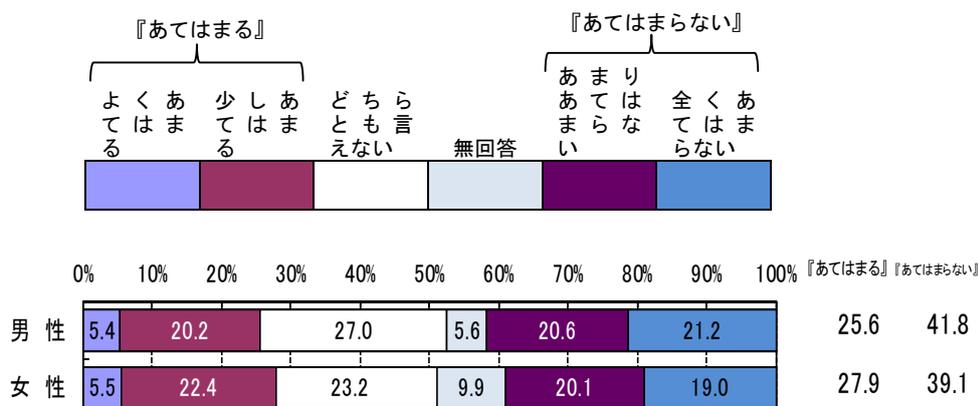
【地域別】

『あてはまる』は中播磨が最も高い（46.1%）。



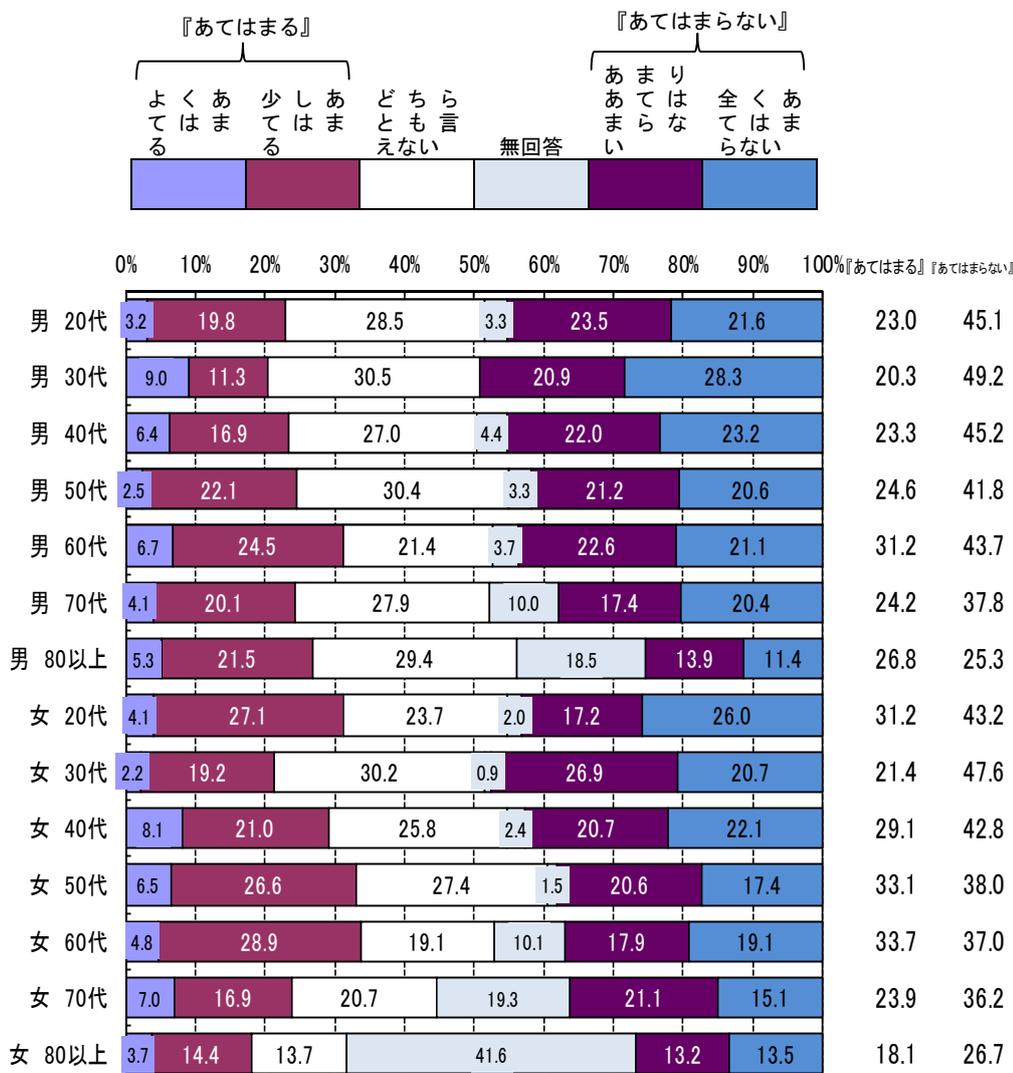
【性別】

『あてはまる』は女性の方が男性より2.3ポイント高い。



【性・年代別】

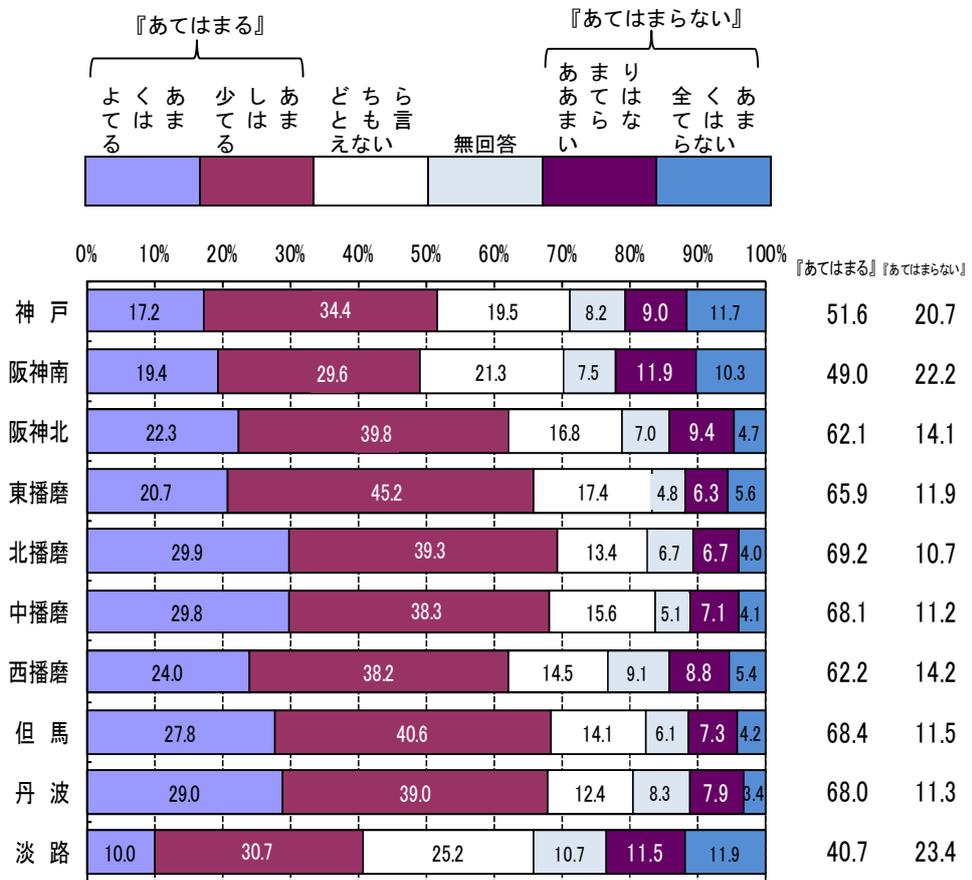
『あてはまる』は、男性は60代が最も高く（31.2%）、女性も60代が最も高い（33.7%）。



〔ク 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りがされている〕

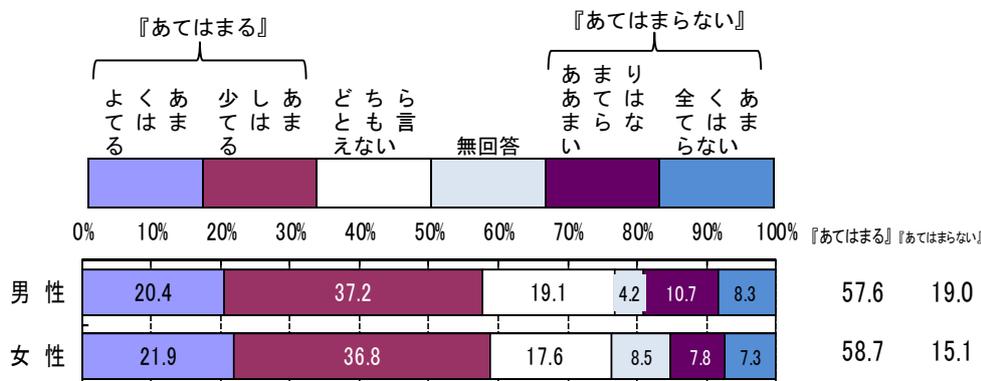
【地域別】

『あてはまる』は北播磨が最も高い（69.2%）。



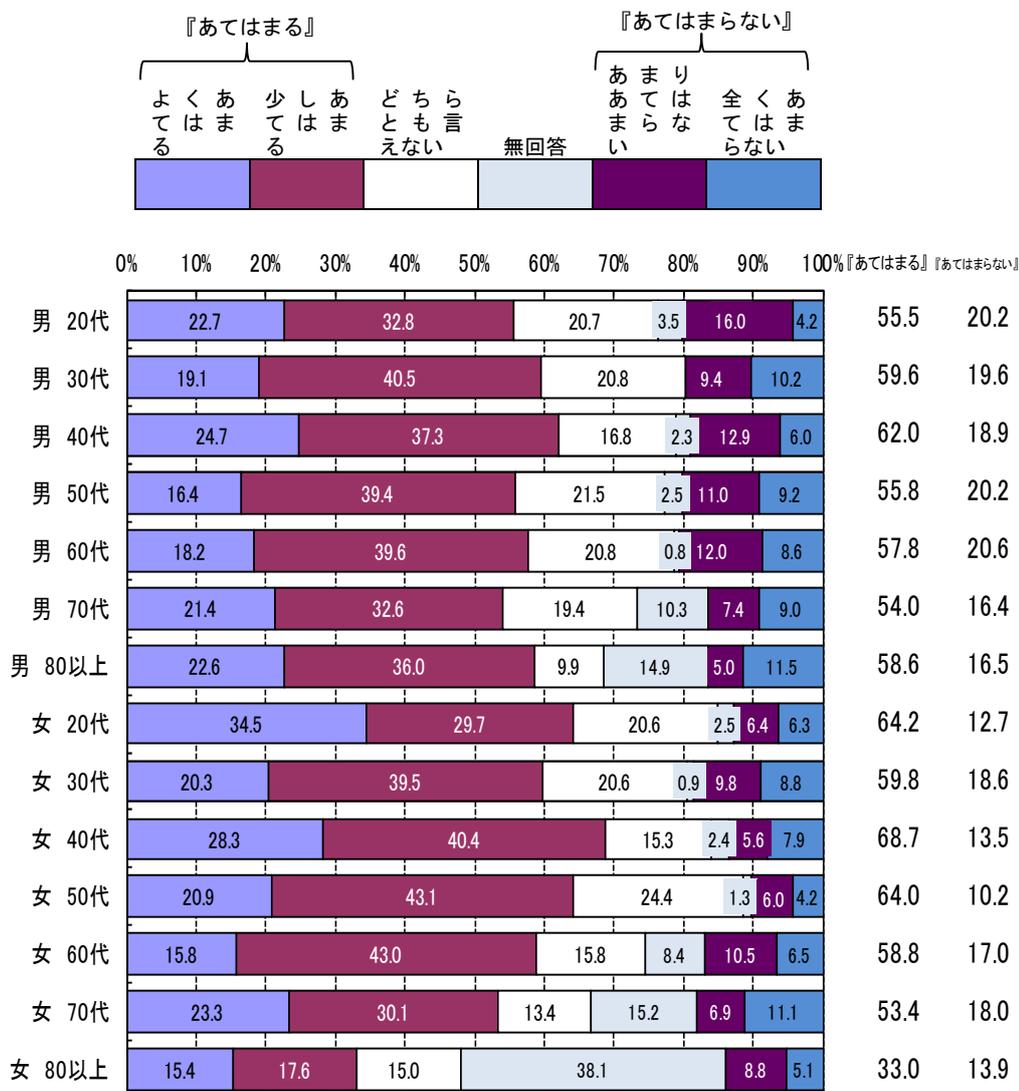
【性別】

『あてはまらない』は男性の方が女性より3.9ポイント高い。



【性・年代別】

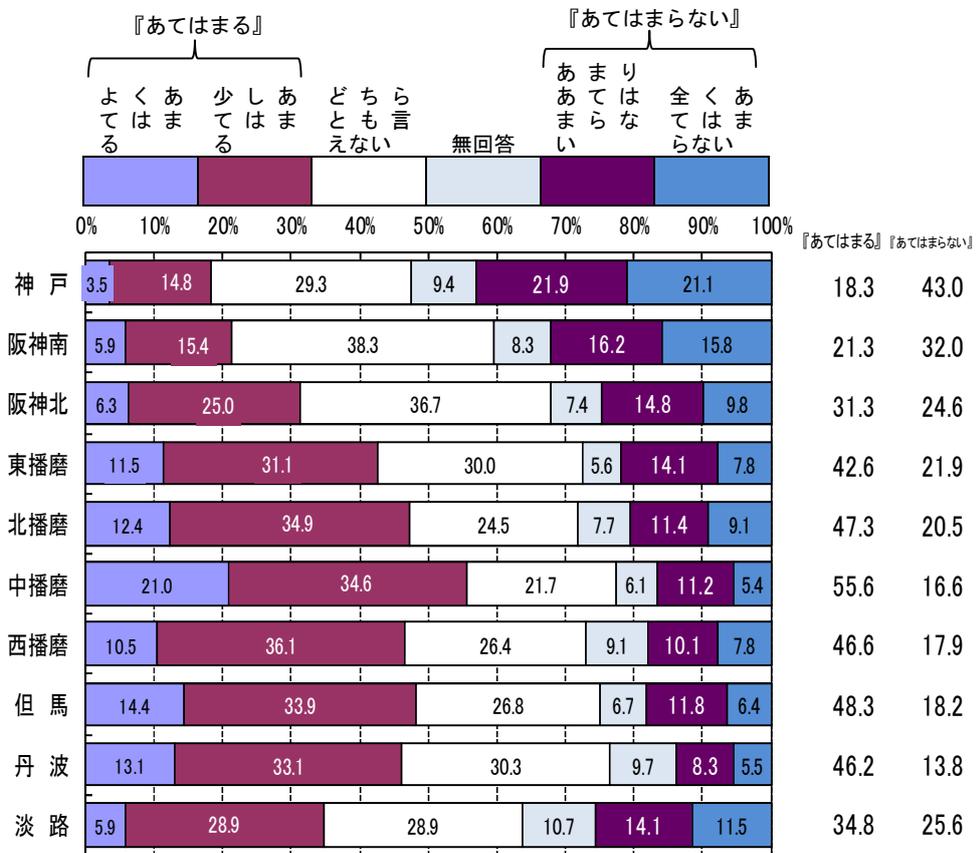
『あてはまる』は、男性は40代が最も高く（62.0%）、女性も40代が最も高い（68.7%）。



〔ケ 子ども会活動が活発に行われている〕

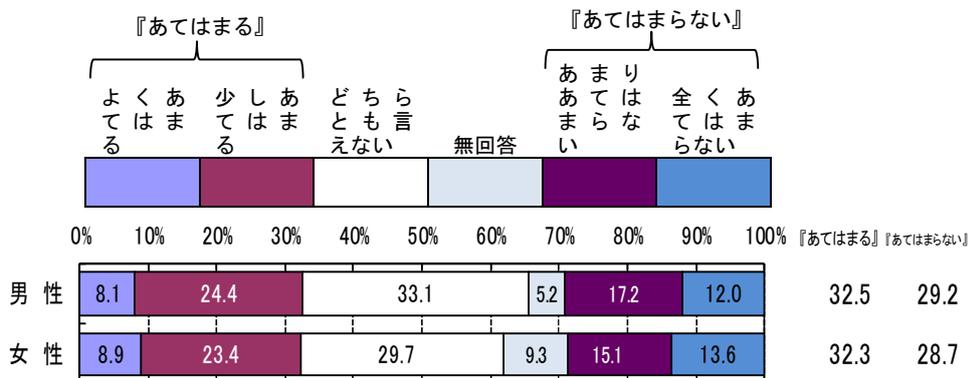
【地域別】

『あてはまる』は中播磨が最も高い（55.6%）。



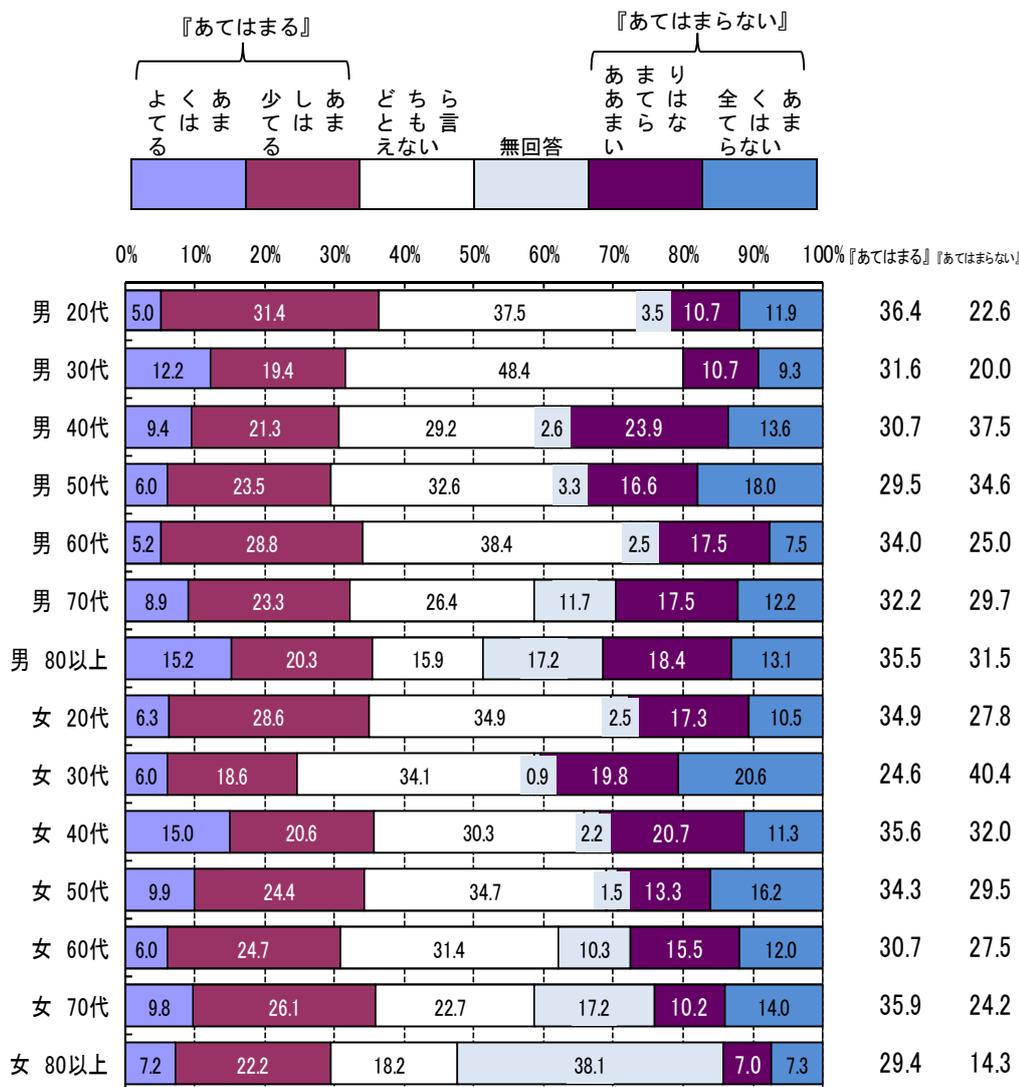
【性別】

『あてはまる』、『あてはまらない』ともに男女間の差はない。



【性・年代別】

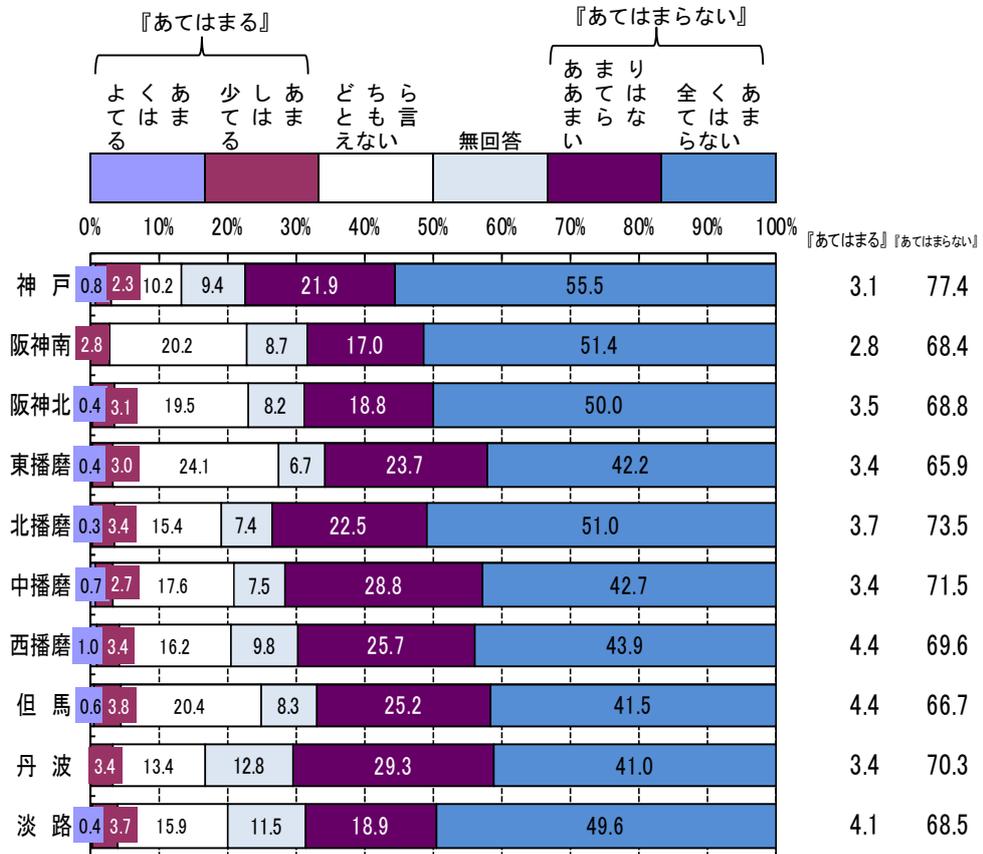
『あてはまる』は、男性は20代が最も高く（36.4%）、女性は70代が最も高い（35.9%）。



〔コ 子どもが近所の家で気軽にごはんを食べてくる〕

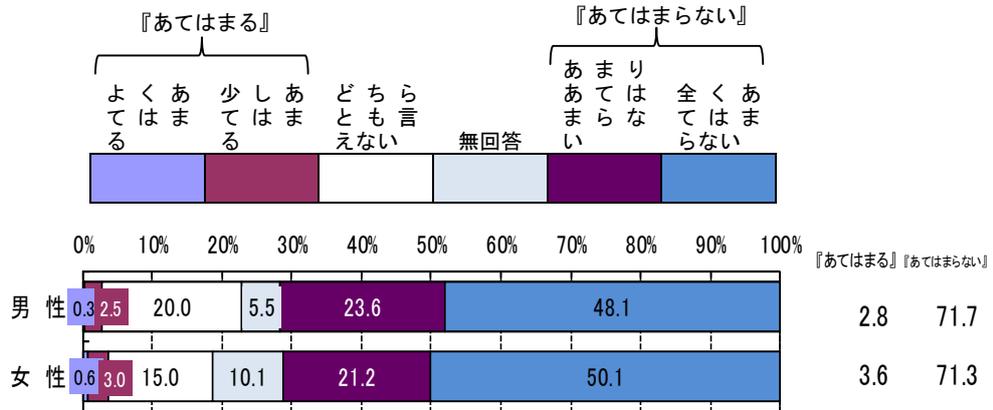
【地域別】

『あてはまる』は西播磨と但馬が高い（4.4%）。



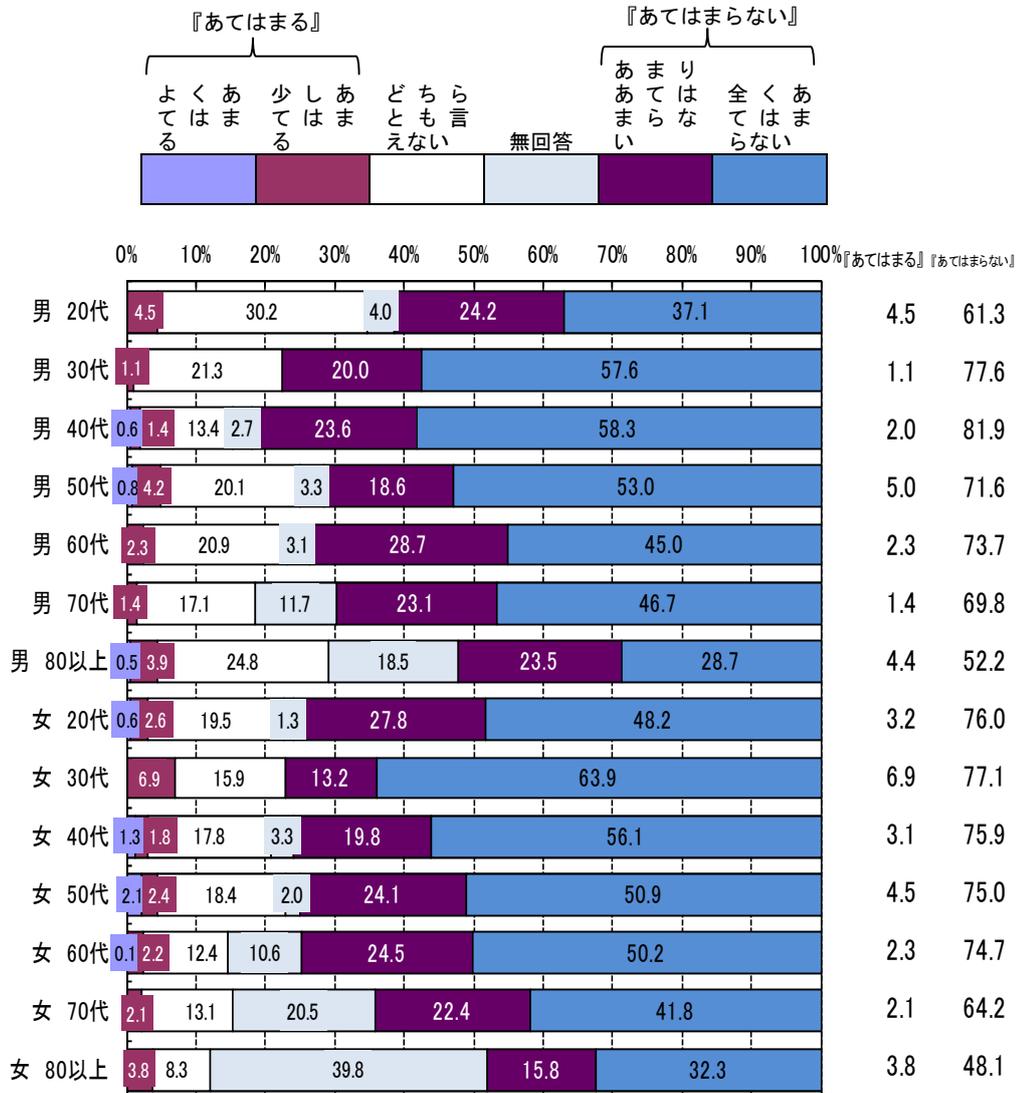
【性別】

『あてはまる』、『あてはまらない』ともに男女間の差はない。



【性・年代別】

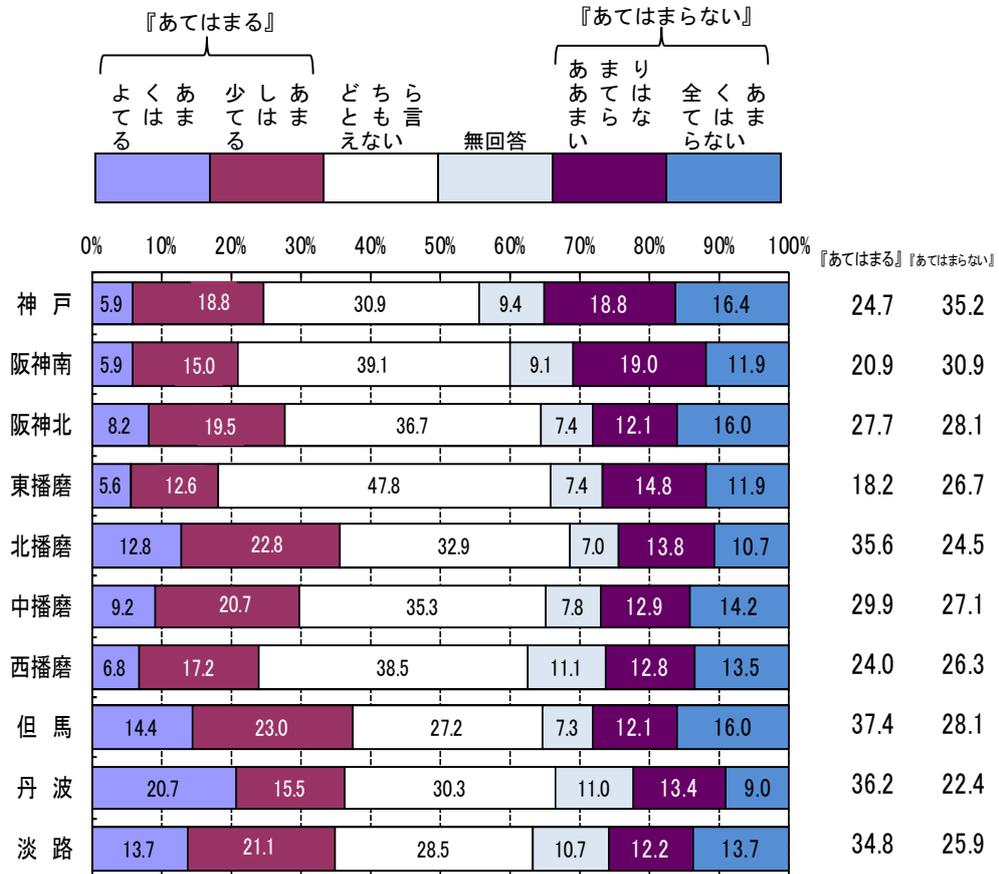
『あてはまる』は、男性は50代が最も高く（5.0%）、女性は30代が最も高い（6.9%）。



〔サ 子どもが夜泣きしていてもあまり気兼ねすることがない〕

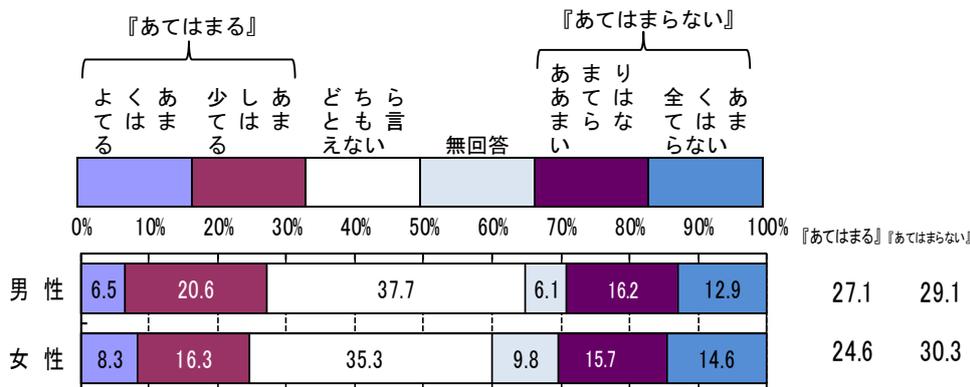
【地域別】

『あてはまる』は但馬が最も高い（37.4%）。



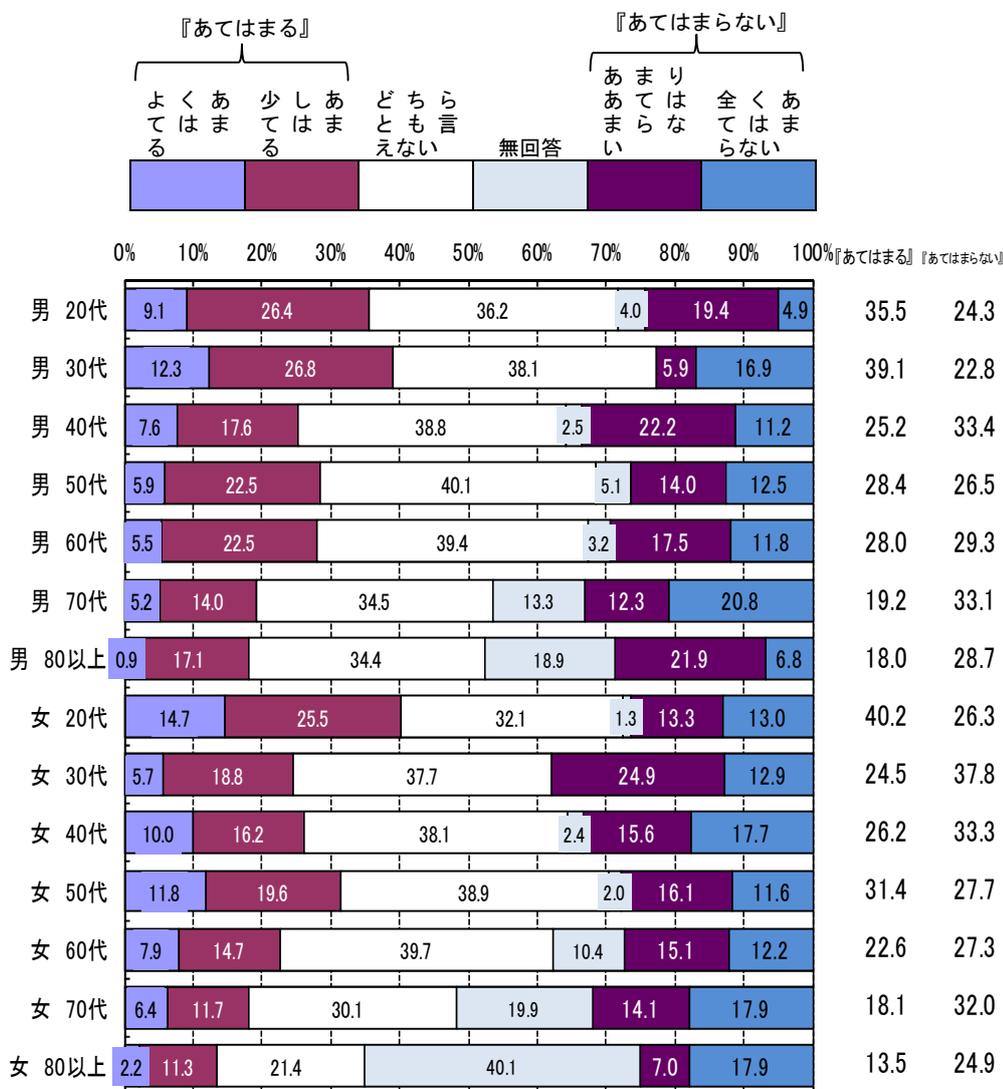
【性別】

『あてはまる』は男性の方が女性より2.5ポイント高い。



【性・年代別】

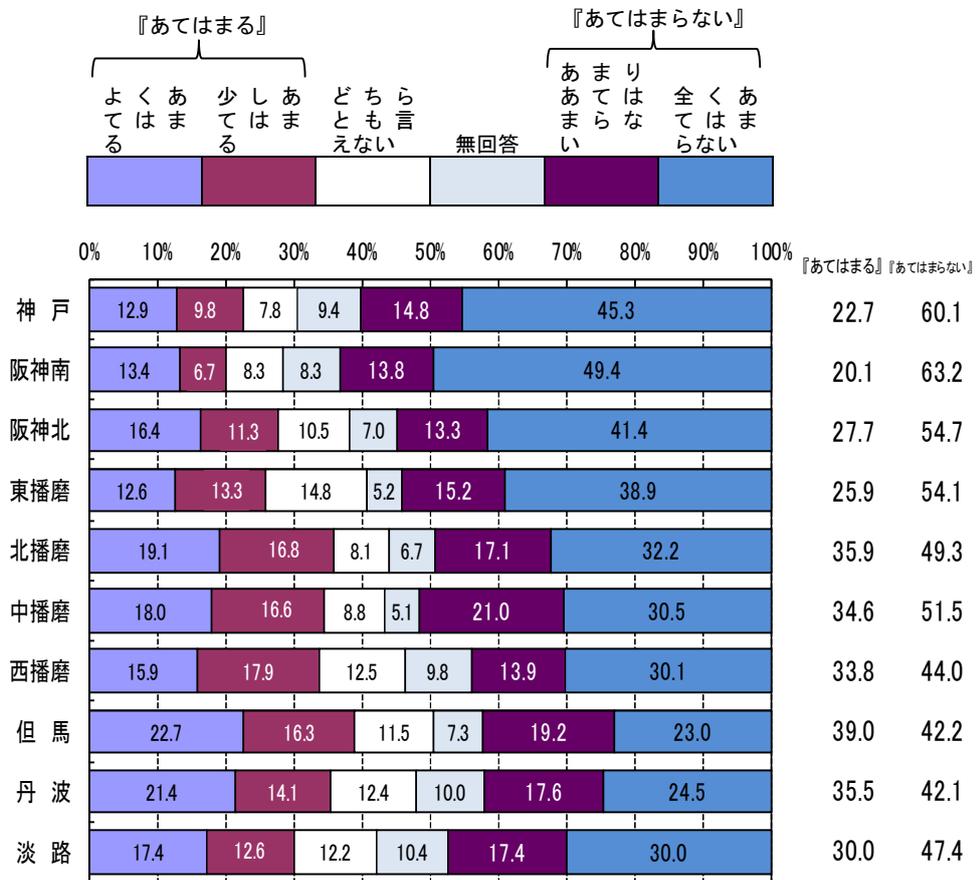
『あてはまる』は、男性は30代が最も高く（39.1%）、女性は20代が最も高い（40.2%）。



〔シ 地域の子どもの名前（下の名前）を5人以上言える〕

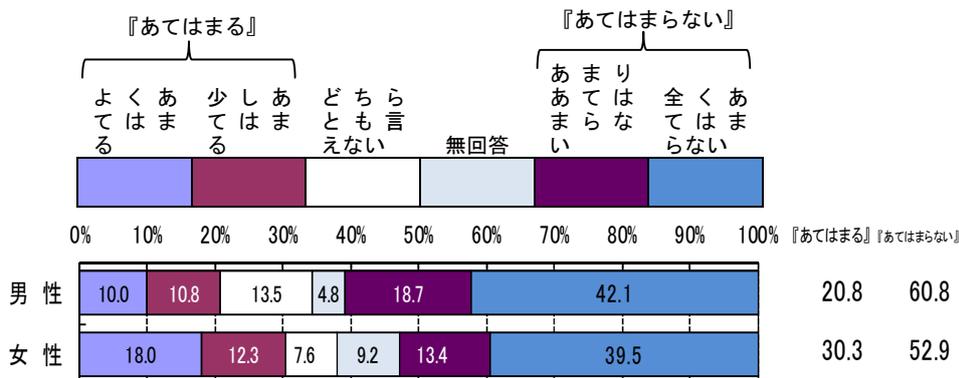
【地域別】

『あてはまる』は但馬が最も高い（39.0%）。



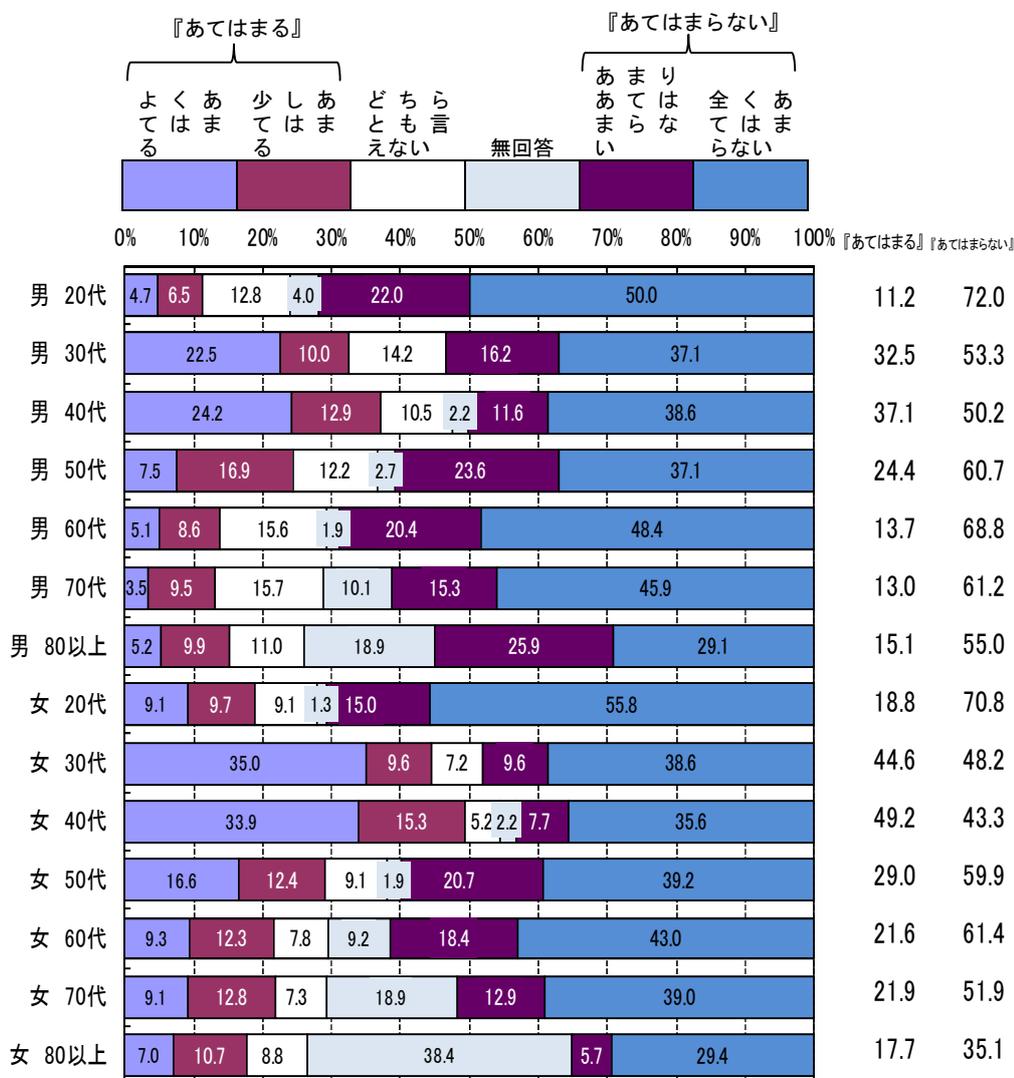
【性別】

『あてはまる』は女性の方が男性より9.5ポイント高い。



【性・年代別】

『あてはまる』は、男性は40代が最も高く（37.1%）、女性も40代が最も高い（49.2%）。



2 『結婚観・子育て観、少子化の原因』に関することについて

問7 結婚観

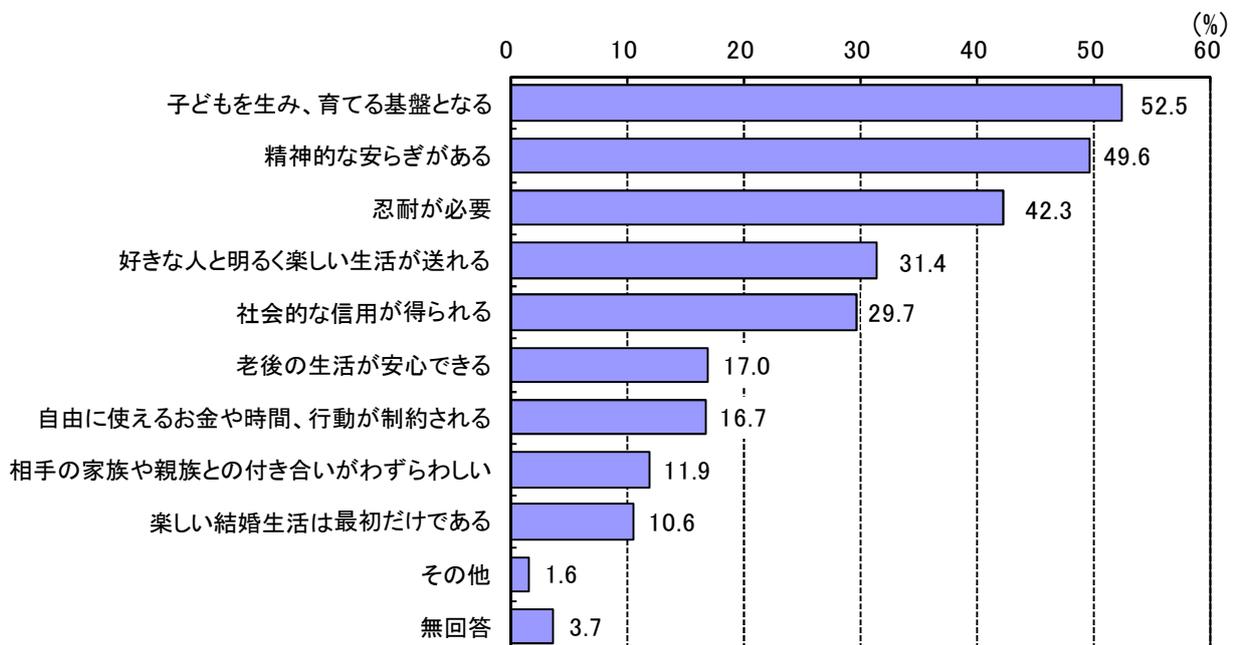
問7

あなたは、結婚について、どのようなイメージを持っていますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 好きな人と明るく楽しい生活が送れる
- 2 精神的な安らぎがある
- 3 忍耐が必要
- 4 楽しい結婚生活は最初だけである
- 5 社会的な信用が得られる
- 6 老後の生活が安心できる
- 7 子どもを生み、育てる基盤となる
- 8 自由に使えるお金や時間、行動が制約される
- 9 相手の家族や親族との付き合いがわずらわしい
- 10 その他

【全 県】

「子どもを生み、育てる基盤となる(52.5%)」、「精神的な安らぎがある(49.6%)」が多い。



【地域別】

全県で最も多い「子どもを生み、育てる基盤となる(52.5%)」は淡路(55.9%)、次の「精神的な安らぎがある(49.6%)」は阪神北(52.0%)、続いて「忍耐が必要(42.3%)」は東播磨(46.3%)が最も多い。

区分	子どもを生み、育てる基盤となる	精神的な安らぎがある	忍耐が必要	好きな人と明るく楽しい生活が送れる	社会的な信用が得られる	老後の生活が安心できる	最大値	最小値	(%)			
							自由に使えるお金や時間、行動が制約される	相手の家族や親族との付き合いがわずらわしい				楽しい結婚生活は最初だけである
全 県	52.5	49.6	42.3	31.4	29.7	17.0	16.7	11.9	10.6	1.6	3.7	
地域別	神 戸	50.0	51.6	41.0	29.3	29.3	18.0	12.9	10.2	10.2	1.6	5.1
	阪神南	54.2	51.8	39.5	32.4	30.8	14.6	19.4	9.9	9.9	2.0	3.2
	阪神北	54.3	52.0	45.7	33.2	29.3	16.4	15.2	10.9	10.2	1.6	1.6
	東播磨	52.6	47.0	46.3	33.3	24.8	16.3	21.5	17.4	11.1	1.5	3.0
	北播磨	55.7	43.0	40.3	31.2	31.2	16.4	19.1	9.7	13.8	1.7	3.4
	中播磨	54.6	48.5	43.7	27.8	29.8	16.6	17.6	15.3	13.2	1.7	3.7
	西播磨	48.6	44.6	42.2	32.4	34.5	20.9	14.2	13.2	9.1	1.0	4.1
	但 馬	45.7	47.0	44.7	30.7	36.1	21.7	19.5	11.8	10.9	0.6	3.8
	丹 波	55.2	49.7	36.9	40.7	30.0	19.7	17.6	12.1	9.0	1.7	5.9
	淡 路	55.9	44.1	40.0	33.3	32.6	18.1	15.2	12.2	8.1	0.4	3.7
地域間の差	10.2	9.0	9.4	12.9	11.3	7.1	8.6	7.7	5.7	1.6	4.3	

【性別】

男性は「精神的な安らぎがある（51.4%）」が最も多く、女性は全県と同様「子どもを生み、育てる基盤となる（54.2%）」が最も多い。

男女間の差は、「好きな人と明るく楽しい生活が送れる（男性 40.7%、女性 25.6%）」（15.1ポイント差）が最も大きく、次に「忍耐が必要（男性 36.1%、女性 46.6%）」（10.5ポイント差）が大きい。

区分		子どもを生み、育てる基盤となる	精神的な安らぎがある	忍耐が必要	好きな人と明るく楽しい生活が送れる	社会的な信用が得られる	老後の生活が安心できる	自由に使えるお金や時間、行動が制約される	相手の家族や親族との付き合いがわずらわしい	楽しい結婚生活は最初だけである	その他	無回答
全 県		52.5	49.6	42.3	31.4	29.7	17.0	16.7	11.9	10.6	1.6	3.7
性別	男 性	49.7	51.4	36.1	40.7	31.9	15.6	19.8	7.0	8.7	1.4	2.2
	女 性	54.2	48.6	46.6	25.6	28.5	17.9	14.8	15.0	12.0	1.7	4.2
性別間の差		4.5	2.8	10.5	15.1	3.4	2.3	5.0	8.0	3.3	0.3	2.0

【年代別】

全県で最も多い「子どもを生み、育てる基盤となる（52.5%）」は 30 代（57.8%）、次の「精神的な安らぎがある（49.6%）」は 60 代（55.2%）、続いて「忍耐が必要（42.3%）」は 20 代（48.5%）が最も多い。

区分		子どもを生み、育てる基盤となる	精神的な安らぎがある	忍耐が必要	好きな人と明るく楽しい生活が送れる	社会的な信用が得られる	老後の生活が安心できる	自由に使えるお金や時間、行動が制約される	相手の家族や親族との付き合いがわずらわしい	楽しい結婚生活は最初だけである	その他	無回答
全 県		52.5	49.6	42.3	31.4	29.7	17.0	16.7	11.9	10.6	1.6	3.7
年代別	20代	54.2	43.1	48.5	40.7	15.2	14.8	35.6	17.0	10.1	0.6	0.0
	30代	57.8	54.8	45.1	38.3	17.6	14.5	23.9	11.4	13.1	3.2	0.1
	40代	52.0	53.0	43.1	32.8	22.7	12.4	22.5	15.3	15.6	2.3	1.4
	50代	57.0	46.1	39.0	33.0	34.4	11.3	13.9	15.5	11.8	1.2	0.7
	60代	57.0	55.2	40.7	27.2	34.9	15.3	13.2	10.7	10.1	1.0	3.1
	70代	47.2	47.0	42.4	27.2	39.6	24.0	9.7	7.4	7.1	1.3	8.2
	80歳以上	35.1	39.9	42.2	27.1	33.1	32.2	6.2	5.5	4.4	1.4	13.7
年代間の差		22.7	15.3	9.5	13.6	24.4	20.9	29.4	11.5	11.2	2.6	13.7

【性・年代別】

全県で最も多い「子どもを生み、育てる基盤となる(52.5%)」は、男性は60代(55.1%)、女性は30代(65.0%)、次の「精神的な安らぎがある(49.6%)」は、男性は60代(56.1%)、女性は30代(56.0%)、続いて「忍耐が必要(42.3%)」は、男性は20代(46.9%)、女性も20代(49.7%)が多い。

区分		最大値										最小値	(%)
		子どもを生み、育てる基盤となる	精神的な安らぎがある	忍耐が必要	好きな人と明るく楽しい生活が送れる	社会的な信用が得られる	老後の生活が安心できる	自由に使えるお金や時間、行動が制約される	相手の家族や親族との付き合いがわずらわしい	楽しい結婚生活は最初だけである	その他	無回答	
全 県		52.5	49.6	42.3	31.4	29.7	17.0	16.7	11.9	10.6	1.6	3.7	
男性・年代別	20代	47.3	47.9	46.9	50.2	11.0	14.6	37.0	11.0	7.0	1.4	0.0	
	30代	42.3	52.2	37.9	50.7	21.4	10.8	37.8	5.1	10.4	1.3	0.4	
	40代	52.3	52.4	35.8	46.4	23.8	8.9	30.4	8.6	10.9	0.8	1.9	
	50代	49.2	53.7	33.1	37.1	39.6	9.6	14.6	7.3	7.9	0.3	1.1	
	60代	55.1	56.1	33.5	36.0	37.8	14.7	16.6	7.9	8.8	1.4	0.6	
	70代	45.4	45.5	38.4	39.5	40.0	28.1	5.8	4.0	9.1	2.7	4.3	
	80歳以上	51.1	46.9	31.3	29.6	33.5	24.3	7.2	5.7	4.1	2.4	9.8	
男性・年代間の差		12.8	10.6	15.6	21.1	29.0	19.2	32.0	7.0	6.8	2.4	9.8	
女性・年代別	20代	59.4	39.4	49.7	33.5	18.4	15.0	34.6	21.5	12.5	0.0	0.0	
	30代	65.0	56.0	48.5	32.5	15.9	16.2	17.4	14.3	14.4	4.0	0.0	
	40代	51.8	53.3	47.6	24.5	22.1	14.6	17.8	19.4	18.5	3.2	1.1	
	50代	61.8	41.3	42.7	30.4	31.1	12.3	13.5	20.6	14.2	1.8	0.5	
	60代	58.0	54.1	46.4	20.1	33.2	15.8	10.8	12.8	11.2	0.7	5.0	
	70代	48.6	48.3	45.4	18.9	39.5	21.3	12.4	9.7	5.7	0.4	10.4	
	80歳以上	26.3	37.6	48.7	26.7	33.1	37.4	5.9	5.7	4.5	0.9	13.8	
女性・年代間の差		38.7	18.4	7.0	14.6	23.6	25.1	28.7	15.8	14.0	4.0	13.8	

【婚姻別】

「忍耐が必要」は、結婚後に相手と離別又は死別した者(46.1%)と未婚者(49.0%)において最も多い。

「自由に使えるお金や時間、行動が制約される」は、未婚者が最も多い(31.7%)。

区分		最大値											最小値											無回答	(%)
		盤となる	子どもを生み、育てる基	精神的な安らぎがある	忍耐が必要	好きな人と明るく楽しい生活が送れる	社会的な信用が得られる	老後の生活が安心できる	間、行動が制約される	自由に使えるお金や時間	相手の家族や親族との付き合いがわづらわしい	楽しい結婚生活は最初だけである	その他												
全 県		52.5	49.6	42.3	31.4	29.7	17.0	16.7	11.9	10.6	1.6	3.7													
婚 姻 別	既婚	57.2	52.2	40.9	32.8	31.5	16.4	14.0	10.6	9.7	1.4	2.6													
	離別・死別	44.4	41.6	46.1	24.8	32.8	19.4	15.7	12.4	15.2	1.4	7.2													
	未婚	39.0	46.9	49.0	31.0	18.8	17.7	31.7	18.3	11.5	2.6	2.3													
婚姻別間の差		18.2	10.6	8.1	8.0	14.0	3.0	17.7	7.7	5.5	1.2	4.9													

問8 子育て観

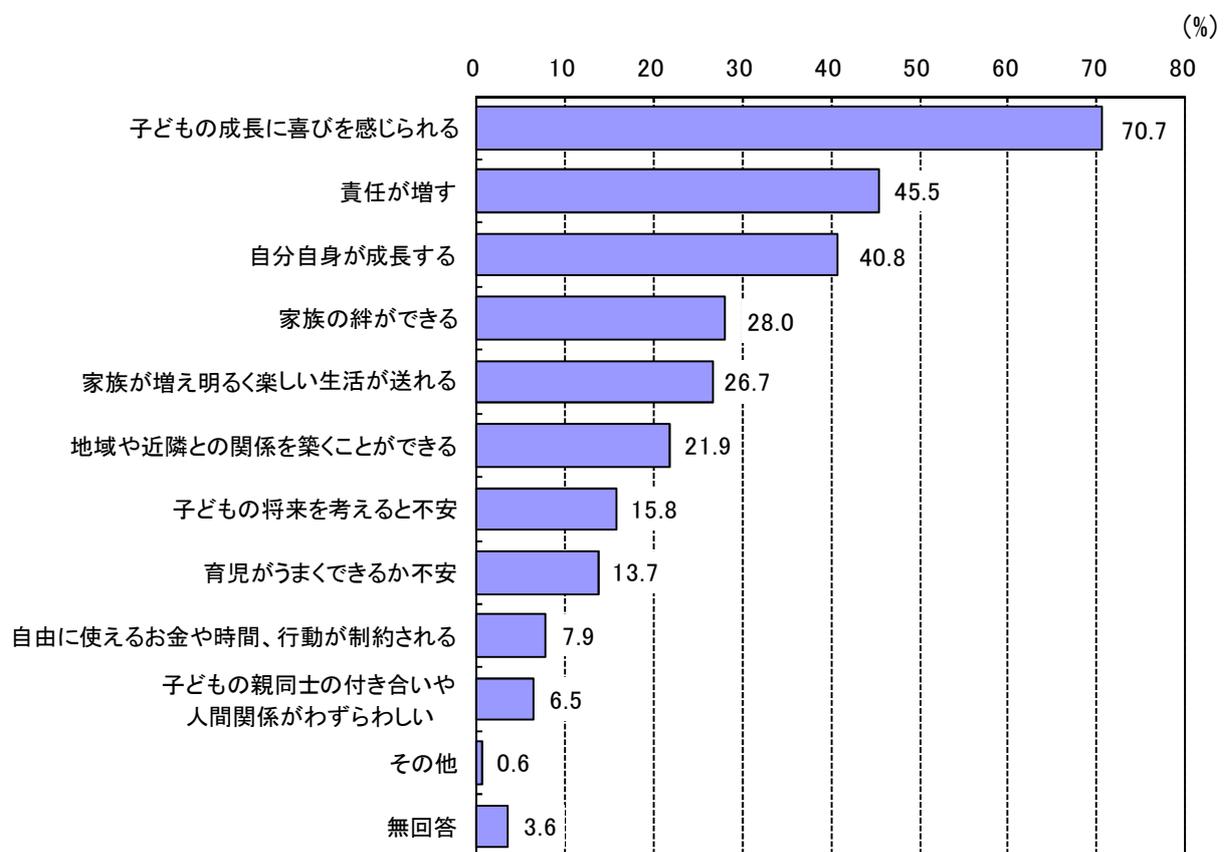
問8

あなたは、義務教育終了までの子育てについて、どのようなイメージを持っていますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 家族が増え明るく楽しい生活が送れる
- 2 子どもの成長に喜びを感じられる
- 3 責任が増す
- 4 自分自身が成長する
- 5 地域や近隣との関係を築くことができる
- 6 育児がうまくできるか不安
- 7 家族の絆ができる
- 8 子どもの将来を考えると不安
- 9 自由に使えるお金や時間、行動が制約される
- 10 子どもの親同士の付き合いや人間関係がわずらわしい
- 11 その他

【全 県】

「子どもの成長に喜びを感じられる(70.7%)」が最も多く、「責任が増す(45.5%)」、「自分自身が成長する(40.8%)」が続く。



【地域別】

全県で最も多い「子どもの成長に喜びを感じられる(70.7%)」は、中播磨(75.6%)が多い。続いて「責任が増す(45.5%)」は、阪神北(50.4%)が多く、次の「自分自身が成長する(40.8%)」も、阪神北(45.3%)が多い。

区分	子どもの成長に喜びを感じられる	責任が増す	自分自身が成長する	家族の絆ができる	家族が増え明るく楽しい生活を送れる	地域や近隣との関係を築くことができる	子どもの将来を考えると不安	育児がうまくできるか不安	最大値	最小値	(%)		
									自由に使えるお金や時間、行動が制約される	子どもの親同士の付き合いや人間関係がわずらわしい	その他	無回答	
全 県	70.7	45.5	40.8	28.0	26.7	21.9	15.8	13.7	7.9	6.5	0.6	3.6	
地域別	神 戸	69.9	47.3	40.6	24.6	29.3	21.1	13.7	14.5	6.3	3.9	0.4	4.7
	阪神南	68.8	43.5	41.9	29.2	27.3	16.6	20.2	13.4	11.1	7.5	1.2	4.3
	阪神北	69.9	50.4	45.3	27.7	24.2	21.1	14.1	15.6	8.2	4.7	0.0	2.7
	東播磨	73.0	47.8	38.5	27.8	25.9	22.2	17.0	12.2	7.8	12.6	0.7	1.9
	北播磨	72.5	37.6	41.3	34.2	26.2	22.1	15.8	13.1	7.7	5.7	0.3	2.7
	中播磨	75.6	43.4	39.3	28.1	21.4	28.8	15.3	12.9	8.8	7.5	0.3	2.7
	西播磨	66.2	41.9	38.9	29.4	25.7	25.0	15.2	13.2	4.7	5.7	1.7	5.1
	但 馬	70.9	42.8	38.7	33.2	28.1	27.5	13.1	13.1	7.0	5.4	0.6	2.6
	丹 波	70.0	40.3	41.0	32.1	32.4	30.7	12.8	12.1	6.9	3.8	0.7	5.5
	淡 路	70.4	43.0	35.9	33.3	28.1	23.3	17.8	14.1	6.7	6.7	1.1	3.3
地域間の差	9.4	12.8	9.4	9.6	11.0	14.1	7.4	3.5	6.4	8.8	1.7	3.6	

【性別】

男性、女性とも「子どもの成長に喜びを感じられる(男性 71.3%、女性 70.4%)」が最も多い。

次に、男性は「責任が増す(45.6%)」、「家族が増え明るく楽しい生活が送れる(34.4%)」の順に多く、女性は「責任が増す(45.9%)」、「自分自身が成長する(45.9%)」が多い。

男女間の差は、「家族が増え明るく楽しい生活が送れる(男性 34.4%、女性 21.8%)」(12.6ポイント差)、「自分自身が成長する(男性 33.4%、女性 45.9%)」(12.5ポイント差)が大きい。

区分		子どもの成長に喜びを感じられる	責任が増す	自分自身が成長する	家族の絆ができる	家族が増え明るく楽しい生活が送れる	地域や近隣との関係を築くことができる	子どもの将来を考えると不安	育児がうまくできるか不安	自由に使えるお金や時間、行動が制約される	子どもの親同士の付き合いや人間関係がわずらわしい	その他	無回答
全 県		70.7	45.5	40.8	28.0	26.7	21.9	15.8	13.7	7.9	6.5	0.6	3.6
性別	男 性	71.3	45.6	33.4	30.9	34.4	21.5	16.1	11.8	9.6	3.1	0.3	2.2
	女 性	70.4	45.9	45.9	26.1	21.8	22.3	15.5	15.1	6.9	8.6	0.8	4.1
性別間の差		0.9	0.3	12.5	4.8	12.6	0.8	0.6	3.3	2.7	5.5	0.5	1.9

【年代別】

30代から70代は全県と同様に「子どもの成長に喜びを感じられる」、「責任が増す」、「自分自身が成長する」の順で多いが、20代は3番目に「育児がうまくできるか不安(42.0%)」が多い。

区分		子どもの成長に喜びを感じられる	責任が増す	自分自身が成長する	家族の絆ができる	家族が増え明るく楽しい生活が送れる	地域や近隣との関係を築くことができる	子どもの将来を考えると不安	育児がうまくできるか不安	自由に使えるお金や時間、行動が制約される	子どもの親同士の付き合いや人間関係がわずらわしい	その他	無回答
全 県		70.7	45.5	40.8	28.0	26.7	21.9	15.8	13.7	7.9	6.5	0.6	3.6
年代別	20代	66.6	60.3	39.3	20.2	21.2	8.7	20.2	42.0	6.9	7.9	0.1	0.0
	30代	76.5	54.9	43.4	26.9	23.8	11.9	14.5	21.6	10.8	8.3	1.4	0.2
	40代	71.5	45.6	45.5	25.8	24.6	14.4	17.7	18.8	9.9	10.2	0.7	2.8
	50代	70.8	47.4	41.4	24.6	27.0	25.8	17.0	9.7	11.4	9.3	0.5	0.6
	60代	72.5	42.9	41.1	32.4	26.5	26.2	16.2	10.0	6.1	2.8	0.5	3.4
	70代	66.8	39.7	35.9	33.0	30.7	31.1	13.9	4.8	4.6	4.5	0.7	7.0
	80歳以上	66.9	34.2	39.0	26.3	31.5	27.0	9.6	2.8	5.5	1.8	0.0	12.2
年代間の差		9.9	26.1	9.6	12.8	10.3	22.4	10.6	39.2	6.8	8.4	1.4	12.2

【性・年代別】

全県で最も多い「子どもの成長に喜びを感じられる(70.7%)」は、男性は60代(74.4%)、女性は30代(78.8%)が多い。続いて「責任が増す(45.5%)」は、男性は20代(59.3%)、女性は20代(61.0%)、次に「自分自身が成長する(40.8%)」は、男性は40代(43.7%)、女性は60代(50.0%)が多い。

区分		最大値											最小値	(%)
		子どもの成長に喜びを感じられる	責任が増す	自分自身が成長する	家族の絆ができる	家族が増え明るく楽しい生活が送れる	地域や近隣との関係を築くことができる	子どもの将来を考えると不安	育児がうまくできるか不安	自由に使えるお金や時間、行動が制約される	子どもの親同士の付き合いや人間関係がわずらわしい	その他	無回答	
全 県		70.7	45.5	40.8	28.0	26.7	21.9	15.8	13.7	7.9	6.5	0.6	3.6	
男性・年代別	20代	66.2	59.3	43.1	22.8	24.8	7.2	17.3	39.3	8.2	4.2	0.0	0.0	
	30代	71.8	54.8	30.2	29.8	29.4	8.7	16.8	18.4	16.9	5.0	0.0	0.6	
	40代	72.3	50.0	43.7	27.8	32.4	14.7	16.2	17.5	8.8	2.7	0.3	2.7	
	50代	67.8	46.5	29.4	32.0	32.7	23.8	21.2	8.6	13.3	4.7	0.0	1.6	
	60代	74.4	37.8	28.3	33.9	36.4	28.2	16.2	6.8	7.4	1.7	0.0	2.5	
	70代	71.3	43.5	28.2	36.7	41.5	28.5	12.5	3.0	7.1	3.5	1.6	2.1	
	80歳以上	72.3	35.9	40.0	23.7	37.2	27.8	11.7	3.0	8.7	0.0	0.0	5.8	
男性・年代間の差		8.2	23.4	15.5	13.9	16.7	21.3	9.5	36.3	9.8	5.0	1.6	5.8	
女性・年代別	20代	66.9	61.0	36.5	18.2	18.4	9.9	22.5	44.0	5.9	10.7	0.2	0.0	
	30代	78.8	55.0	49.6	25.6	21.1	13.3	13.4	23.0	8.0	9.9	2.1	0.0	
	40代	71.1	43.0	46.6	24.6	19.8	14.2	18.6	19.6	10.6	14.8	1.0	2.8	
	50代	72.6	48.0	48.9	20.0	23.4	27.0	14.4	10.3	10.2	12.2	0.8	0.0	
	60代	70.9	47.1	50.0	30.8	19.4	25.0	16.3	12.3	5.2	3.7	0.9	4.1	
	70代	64.0	37.4	41.4	30.6	23.6	33.0	14.9	6.0	2.9	5.2	0.1	9.9	
	80歳以上	66.2	34.6	39.9	28.3	29.2	27.3	8.8	2.8	4.0	2.9	0.0	12.9	
女性・年代間の差		14.8	26.4	13.5	12.6	10.8	23.1	13.7	41.2	7.7	11.9	2.1	12.9	

問9 少子化の原因

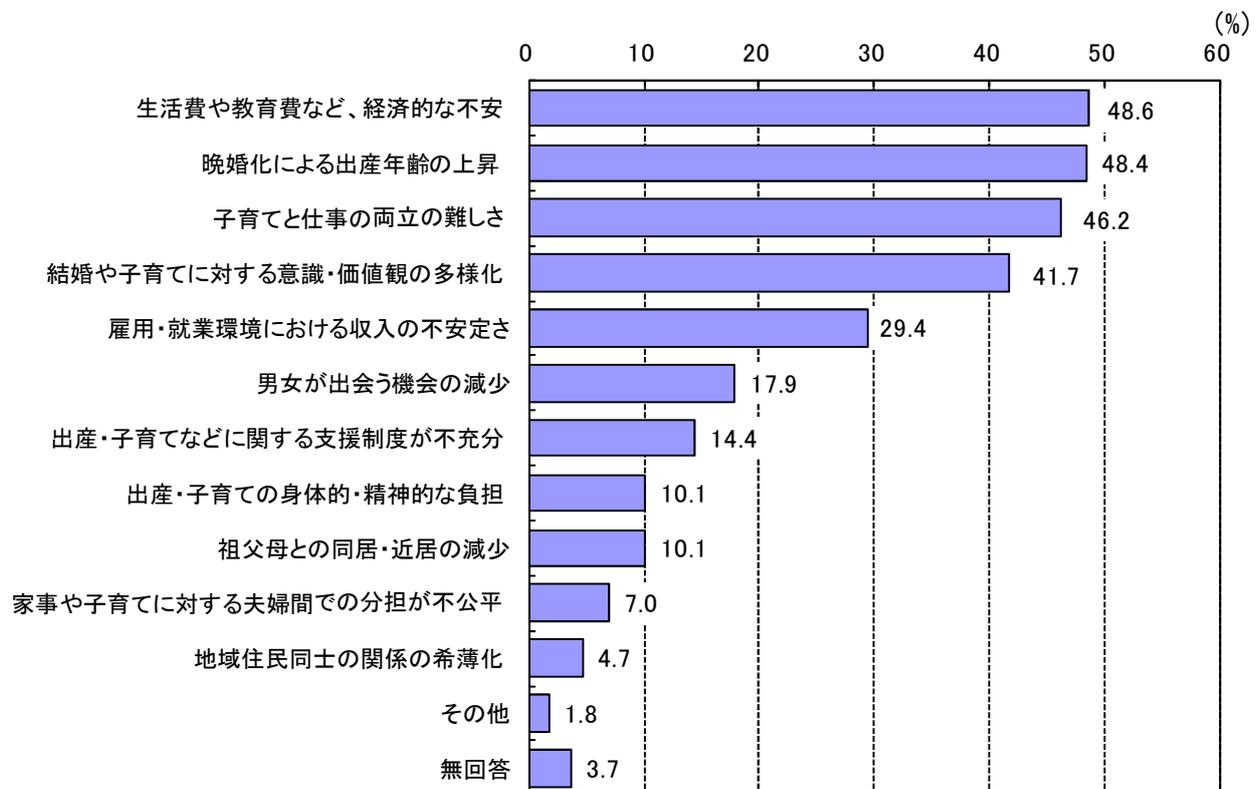
問9

全国的に子どもの数が減少する「少子化」が進んでいる中、あなたは「少子化」となっている主な原因は何だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚や子育てに対する意識・価値観の多様化
- 2 男女が出会う機会の減少
- 3 晩婚化による出産年齢の上昇
- 4 家事や子育てに対する夫婦間での分担が不公平
- 5 子育てと仕事の両立の難しさ
- 6 生活費や教育費など、経済的な不安
- 7 雇用・就業環境における収入の不安定さ
- 8 出産・子育ての身体的・精神的な負担
- 9 祖父母との同居・近居の減少
- 10 地域住民同士の関係の希薄化
- 11 出産・子育てなどに関する支援制度が不十分
- 12 その他

【全 県】

「生活費や教育費など、経済的な不安（48.6%）」、「晩婚化による出産年齢の上昇（48.4%）」、「子育てと仕事の両立の難しさ（46.2%）」が多い。



【地域別】

全県で最も多い「生活費や教育費など、経済的な不安（48.6%）」は、東播磨(52.2%)が多い。続いて「晩婚化による出産年齢の上昇（48.4%）」は、中播磨(51.5%)が多く、次の「子育てと仕事の両立の難しさ（46.2%）」は、阪神北(52.0%)が多い。

区分	生活費や教育費など、経済的な不安	晩婚化による出産年齢の上昇	子育てと仕事の両立の難しさ	結婚や子育てに対する意識・価値観の多様化	雇用・就業環境における収入の不安定さ	男女が出会う機会の減少	出産・子育てなどに関する支援制度が不十分	出産・子育ての身体的・精神的な負担	祖父母との同居・近居の減少	最大値	最小値	その他	無回答	
										7.0	4.7			
全 県	48.6	48.4	46.2	41.7	29.4	17.9	14.4	10.1	10.1	7.0	4.7	1.8	3.7	
地域別	神 戸	46.9	50.4	44.1	39.8	29.3	19.1	12.1	10.2	8.2	6.6	5.1	2.0	5.1
	阪神南	47.8	48.6	43.5	44.3	32.0	14.2	16.2	9.1	9.1	7.5	4.0	2.0	3.6
	阪神北	48.8	49.6	52.0	44.1	29.3	17.6	17.2	10.2	11.3	9.4	7.0	2.0	2.0
	東播磨	52.2	44.8	49.3	40.0	32.6	16.7	16.7	12.2	12.2	8.1	3.7	2.6	1.9
	北播磨	50.3	47.3	41.6	46.0	25.2	24.2	9.4	8.1	9.1	2.0	5.4	0.3	4.0
	中播磨	51.2	51.5	46.4	39.7	26.1	13.9	14.2	11.5	9.8	5.8	4.1	0.7	3.7
	西播磨	45.3	40.2	47.0	40.9	25.3	17.9	13.2	8.4	11.5	7.8	4.4	1.4	5.7
	但 馬	46.0	48.9	46.3	43.1	27.2	27.8	13.4	10.9	12.8	5.1	2.6	1.6	2.2
	丹 波	47.6	46.2	46.6	47.6	30.0	18.6	13.8	8.3	15.5	4.5	3.4	2.1	4.5
	淡 路	50.4	42.6	49.3	35.9	25.6	28.1	14.8	7.0	13.0	7.4	5.6	2.2	3.7
地域間の差	6.9	11.3	10.4	11.7	7.4	14.2	7.8	5.2	7.3	7.4	4.4	2.3	3.8	

【性別】

男性は全県と同様「生活費や教育費など、経済的な不安（53.6%）」が最も多く、次に「結婚や子育てに対する意識・価値観の多様化（44.7%）」が多い。女性は「晩婚化による出産年齢の上昇（52.0%）」が最も多く、次に「子育てと仕事の両立の難しさ（49.9%）」が多い。

男女間の差は、上位3項目である「子育てと仕事の両立の難しさ（男性40.8%、女性49.9%）」（9.1ポイント差）、「晩婚化による出産年齢の上昇（男性43.2%、女性52.0%）」（8.8ポイント差）、「生活費や教育費など、経済的な不安（男性53.6%、女性45.7%）」（7.9ポイント差）が大きい。

(%)

区分		生活費や教育費など、経済的な不安	晩婚化による出産年齢の上昇	子育てと仕事の両立の難しさ	結婚や子育てに対する意識・価値観の多様化	雇用・就業環境における収入の不安定さ	男女が出会う機会の減少	出産・子育てなどに関する支援制度が不十分	出産・子育ての身体的・精神的な負担	祖父母との同居・近居の減少	家事や子育てに対する夫婦間での負担が不公平	地域住民同士の関係の希薄化	その他	無回答
全 県		48.6	48.4	46.2	41.7	29.4	17.9	14.4	10.1	10.1	7.0	4.7	1.8	3.7
性別	男 性	53.6	43.2	40.8	44.7	32.6	19.6	15.8	7.8	12.9	3.1	6.6	2.5	2.1
	女 性	45.7	52.0	49.9	40.2	27.5	16.7	13.6	11.5	8.2	9.4	3.4	1.4	4.2
性別間の差		7.9	8.8	9.1	4.5	5.1	2.9	2.2	3.7	4.7	6.3	3.2	1.1	2.1

【年代別】

「生活費や教育費など、経済的な不安」は20代で他の世代より多い(61.6%)。「晩婚化による出産年齢の上昇」は70代が他の世代より多い(53.0%)。

最大値 最小値 (%)

区分		生活費や教育費など、経済的な不安	晩婚化による出産年齢の上昇	子育てと仕事の両立の難しさ	結婚や子育てに対する意識・価値観の多様化	雇用・就業環境における収入の不安定さ	男女が出会う機会の減少	出産・子育てなどに関する支援制度が不十分	出産・子育ての身体的・精神的な負担	祖父母との同居・近居の減少	家事や子育てに対する夫婦間での負担が不公平	地域住民同士の関係の希薄化	その他	無回答
全 県		48.6	48.4	46.2	41.7	29.4	17.9	14.4	10.1	10.1	7.0	4.7	1.8	3.7
年代別	20代	61.6	37.0	45.5	44.8	28.1	26.8	19.3	15.3	5.0	9.0	1.9	0.1	0.2
	30代	49.1	49.8	53.3	42.0	32.2	11.2	19.0	9.7	10.4	7.0	2.7	3.7	0.1
	40代	54.3	48.1	44.5	40.4	35.2	10.8	15.2	10.7	8.6	12.6	4.2	2.6	2.0
	50代	54.1	50.0	48.1	44.5	35.7	11.0	14.4	9.0	6.8	7.4	4.0	2.9	1.7
	60代	47.5	47.7	48.1	43.7	28.5	21.3	13.7	11.2	10.7	4.9	3.8	1.6	3.0
	70代	42.1	53.0	39.2	40.1	23.8	24.7	11.1	7.9	14.4	4.1	8.8	0.5	7.1
	80歳以上	29.9	47.6	46.0	36.8	16.6	24.0	9.8	6.9	12.3	3.8	5.6	0.1	12.5
年代間の差		31.7	16.0	14.1	8.0	19.1	16.0	9.5	8.4	9.4	8.8	6.9	3.6	12.4

【性・年代別】

全県で最も多い「生活費や教育費など、経済的な不安（48.6%）」は、男性は20代（69.7%）、女性も20代（55.5%）で多い。続いて「晩婚化による出産年齢の上昇（48.4%）」は、男性は80歳以上（57.0%）、女性は70代（57.1%）、次に「子育てと仕事の両立の難しさ（46.2%）」は、男性は30代（45.9%）、女性は30代（56.8%）が多い。

区分		最大値											最小値	（%）
		生活費や教育費など、経済的な不安	晩婚化による出産年齢の上昇	子育てと仕事の両立の難しさ	結婚や子育てに対する意識・価値観の多様化	雇用・就業環境における収入の不安定さ	男女が出会う機会の減少	出産・子育てなどに関する支援制度が不十分	担 出 産・子育ての身体的・精神的な負担	祖父母との同居・近居の減少	家事や子育てに対する夫婦間での分担が不公平	地域住民同士の関係の希薄化	その他	
全 県		48.6	48.4	46.2	41.7	29.4	17.9	14.4	10.1	10.1	7.0	4.7	1.8	3.7
男性・年代別	20代	69.7	24.9	41.3	57.5	29.3	27.9	17.6	11.4	5.6	2.1	2.4	0.0	0.0
	30代	58.2	41.2	45.9	39.3	35.8	13.8	21.3	5.4	9.2	0.0	4.8	5.6	0.4
	40代	58.6	47.7	43.3	38.4	35.5	16.2	16.1	7.0	12.5	5.5	5.9	2.3	1.9
	50代	58.9	43.0	41.2	45.9	41.2	10.7	14.3	11.3	9.9	3.9	5.0	4.5	2.2
	60代	49.7	39.9	41.1	46.3	33.7	20.2	16.2	7.7	15.4	3.1	6.2	2.7	1.1
	70代	45.3	47.4	32.7	46.2	25.2	26.8	14.3	5.6	20.0	3.4	12.5	1.1	2.9
	80歳以上	39.5	57.0	44.7	39.9	21.8	25.3	11.2	7.3	9.5	0.8	6.1	0.0	7.4
年代間の差		30.2	32.1	13.2	19.1	19.4	17.2	10.1	6.0	14.4	5.5	10.1	5.6	7.4
女性・年代別	20代	55.5	46.2	48.7	35.2	27.2	26.1	20.6	18.3	4.5	14.1	1.6	0.2	0.4
	30代	44.9	53.8	56.8	43.2	30.5	9.9	17.9	11.7	10.9	10.2	1.8	2.8	0.0
	40代	51.7	48.3	45.2	41.6	35.0	7.5	14.7	13.0	6.2	17.0	3.1	2.9	2.1
	50代	51.2	54.3	52.3	43.7	32.3	11.2	14.5	7.6	4.9	9.6	3.4	1.9	1.4
	60代	46.3	54.0	52.9	41.2	25.0	21.4	11.8	13.9	7.3	6.2	2.1	0.7	4.4
	70代	40.2	57.1	43.8	36.2	23.0	23.4	8.9	9.5	10.7	4.6	6.3	0.1	9.4
	80歳以上	25.6	43.0	48.0	35.6	14.3	24.2	9.2	7.0	14.3	5.7	5.6	0.2	13.3
年代間の差		29.9	14.1	13.0	8.5	20.7	18.6	11.7	11.3	9.8	12.4	4.7	2.8	13.3

3 『子育てと仕事の両立、行政への意見・要望』に関することについて

問10 女性が子育てをしながら働く場合に困難な点

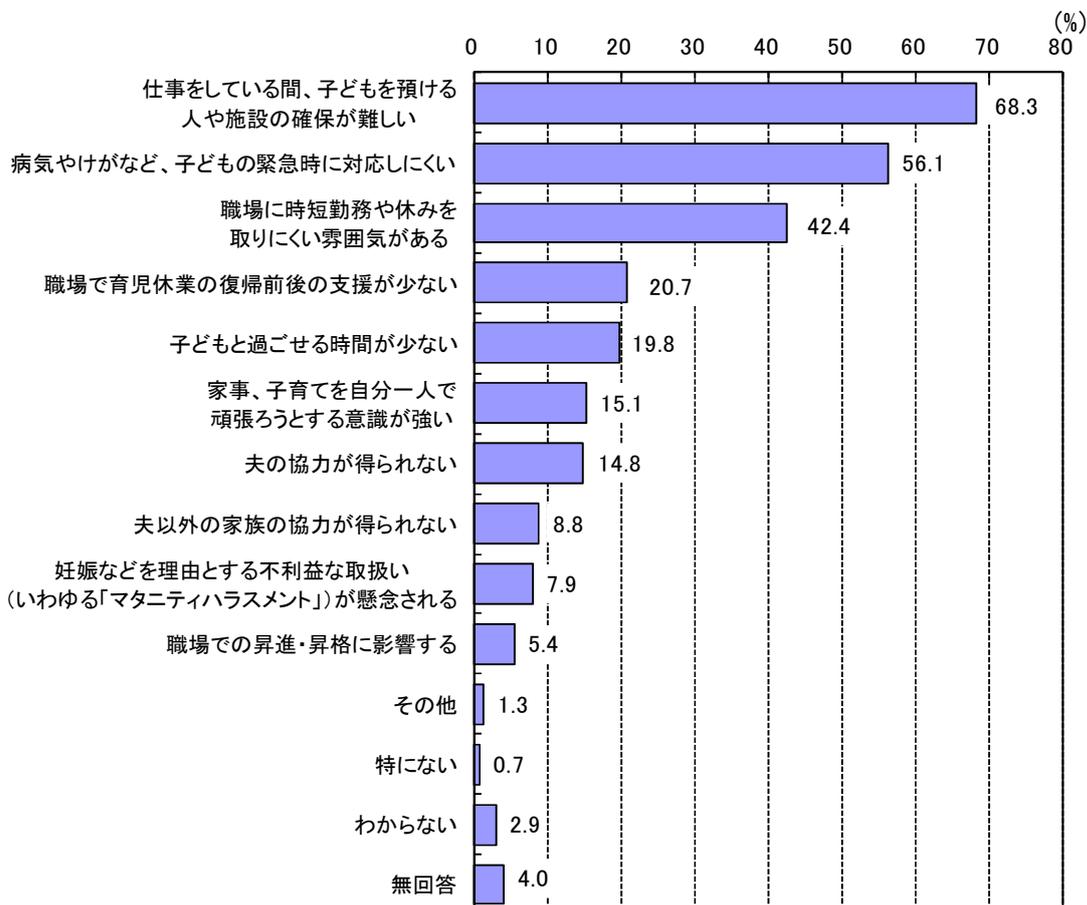
問10

女性が子育てをしながら働く場合に、どういった点が困難だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい
- 2 病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい
- 3 職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある
- 4 職場で育児休業の復帰前後の支援が少ない
- 5 職場での昇進・昇格に影響する
- 6 夫の協力が得られない
- 7 夫以外の家族の協力が得られない
- 8 家事、子育てを自分一人で頑張ろうとする意識が強い
- 9 子どもと過ごせる時間が少ない
- 10 妊娠などを理由とする不利益な取扱い（いわゆる「マタニティハラスメント」）が懸念される
- 11 その他（ ）
- 12 特にない
- 13 わからない

【全 県】

「仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい(68.3%)」が最も多い。続いて「病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい(56.1%)」、「職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある(42.4%)」が多い。



【地域別】

全県で最も多い「仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい(68.3%)」は、阪神南(75.5%)が多い。続いて「病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい(56.1%)」は、神戸(60.2%)が多く、次の「職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある(42.4%)」は、北播磨(50.0%)が多い。

区分		最大値										最小値		無回答	
															(%)
全 県		68.3	56.1	42.4	20.7	19.8	15.1	14.8	8.8	7.9	5.4	1.3	0.7	2.9	4.0
地域別	神 戸	69.5	60.2	37.1	18.4	22.7	14.1	15.6	7.0	7.8	5.1	2.3	0.4	3.5	5.5
	阪神南	75.5	52.6	44.7	18.2	18.2	13.0	14.6	7.9	5.5	5.1	0.8	0.8	4.0	4.0
	阪神北	66.0	55.9	43.0	26.6	18.4	17.6	14.1	9.8	10.5	6.6	0.4	0.0	1.2	2.0
	東播磨	71.1	55.9	43.3	22.2	19.6	17.0	16.7	10.0	7.0	5.9	1.9	1.1	1.9	1.5
	北播磨	55.4	56.0	50.0	24.2	15.8	14.4	12.8	8.7	6.7	6.4	1.0	1.7	2.7	4.4
	中播磨	65.4	54.9	44.7	21.4	20.3	14.9	16.3	12.5	10.5	5.1	0.3	1.0	2.4	4.1
	西播磨	64.9	53.7	41.2	17.2	17.6	16.9	11.8	7.1	7.1	4.4	0.7	0.3	5.1	5.1
	但 馬	60.4	52.1	48.9	19.8	19.8	15.0	12.8	9.6	10.2	4.8	2.6	1.3	2.9	4.2
	丹 波	58.6	52.1	41.7	25.2	18.6	17.2	11.7	7.9	10.0	6.6	0.7	1.0	2.8	5.9
	淡 路	61.9	58.5	45.6	21.5	18.5	16.7	10.0	10.4	5.2	3.0	1.9	0.7	2.2	5.2
地域間の差		20.1	8.1	12.9	9.4	6.9	4.6	6.7	5.5	5.3	3.6	2.3	1.7	3.9	4.4

【性別】

全県で最も多い「仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい」は男性が 71.9%で女性の 66.4%より多い。全県で次に多い「病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい」は、女性が 61.8%で男性の 47.3%より多い。

男女間の差は、「病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい（男性 47.3%、女性 61.8%）」（14.5ポイント差）が最も大きい。

(%)

区分	仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい	仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい	病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい	病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい	職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある	職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある	職場で育児休業の復帰前後の支援が少ない	職場で育児休業の復帰前後の支援が少ない	子どもと過ごせる時間が少ない	子どもと過ごせる時間が少ない	家事、子育てを自分一人で頑張ろうとする意識が強い	家事、子育てを自分一人で頑張ろうとする意識が強い	夫の協力が得られない	夫の協力が得られない	夫以外の家族の協力が得られない	夫以外の家族の協力が得られない	妊娠などを理由とする不利益な取扱い（いわゆる「マタニティハラスメント」）が懸念される	妊娠などを理由とする不利益な取扱い（いわゆる「マタニティハラスメント」）が懸念される	職場での昇進・昇格に影響する	職場での昇進・昇格に影響する	その他	その他	特になし	特になし	わからない	わからない	無回答	無回答	
全 県	68.3	68.3	56.1	56.1	42.4	42.4	20.7	20.7	19.8	19.8	15.1	15.1	14.8	14.8	8.8	8.8	7.9	7.9	5.4	5.4	1.3	1.3	0.7	0.7	2.9	2.9	4.0	4.0	
性別	男性	71.9	71.9	47.3	47.3	44.7	44.7	26.0	26.0	18.4	18.4	11.0	11.0	13.3	13.3	8.6	8.6	9.2	9.2	7.5	7.5	1.4	1.4	0.7	0.7	4.1	4.1	2.6	2.6
	女性	66.4	66.4	61.8	61.8	41.2	41.2	17.5	17.5	20.7	20.7	17.8	17.8	15.7	15.7	9.0	9.0	7.0	7.0	3.9	3.9	1.4	1.4	0.7	0.7	2.2	2.2	4.4	4.4
性別間の差	5.5	5.5	14.5	14.5	3.5	3.5	8.5	8.5	2.3	2.3	6.8	6.8	2.4	2.4	0.4	0.4	2.2	2.2	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	1.8	1.8	

【年代別】

年代間の差は「病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい」の 50 代(68.1%)と 80 歳以上(35.6%) (32.5ポイント差)が最も大きい。

最大値 最小値 (%)

区分	仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい	仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい	病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい	病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい	職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある	職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある	職場で育児休業の復帰前後の支援が少ない	職場で育児休業の復帰前後の支援が少ない	子どもと過ごせる時間が少ない	子どもと過ごせる時間が少ない	家事、子育てを自分一人で頑張ろうとする意識が強い	家事、子育てを自分一人で頑張ろうとする意識が強い	夫の協力が得られない	夫の協力が得られない	夫以外の家族の協力が得られない	夫以外の家族の協力が得られない	妊娠などを理由とする不利益な取扱い（いわゆる「マタニティハラスメント」）が懸念される	妊娠などを理由とする不利益な取扱い（いわゆる「マタニティハラスメント」）が懸念される	職場での昇進・昇格に影響する	職場での昇進・昇格に影響する	その他	その他	特になし	特になし	わからない	わからない	無回答	無回答	
全 県	68.3	68.3	56.1	56.1	42.4	42.4	20.7	20.7	19.8	19.8	15.1	15.1	14.8	14.8	8.8	8.8	7.9	7.9	5.4	5.4	1.3	1.3	0.7	0.7	2.9	2.9	4.0	4.0	
年代別	20代	66.8	66.8	49.1	49.1	48.4	48.4	25.3	25.3	23.7	23.7	14.2	14.2	14.5	14.5	5.6	5.6	12.6	12.6	12.3	12.3	5.1	5.1	1.6	1.6	1.0	1.0	0.2	0.2
	30代	66.9	66.9	67.5	67.5	39.6	39.6	16.5	16.5	27.0	27.0	20.1	20.1	10.8	10.8	6.8	6.8	5.7	5.7	4.4	4.4	3.1	3.1	0.4	0.4	2.2	2.2	0.1	0.1
	40代	71.5	71.5	64.3	64.3	43.8	43.8	17.3	17.3	23.5	23.5	13.8	13.8	16.5	16.5	8.0	8.0	7.8	7.8	8.3	8.3	2.2	2.2	0.1	0.1	1.7	1.7	2.1	2.1
	50代	73.4	73.4	68.1	68.1	47.3	47.3	21.3	21.3	18.3	18.3	11.4	11.4	16.2	16.2	8.7	8.7	7.6	7.6	4.2	4.2	0.1	0.1	0.2	0.2	1.0	1.0	2.6	2.6
	60代	69.7	69.7	53.8	53.8	42.8	42.8	25.2	25.2	15.8	15.8	15.1	15.1	16.4	16.4	12.0	12.0	7.3	7.3	4.8	4.8	0.3	0.3	0.4	0.4	2.5	2.5	3.4	3.4
	70代	64.7	64.7	44.9	44.9	39.0	39.0	20.8	20.8	15.3	15.3	16.6	16.6	14.6	14.6	8.4	8.4	8.7	8.7	1.7	1.7	0.8	0.8	1.5	1.5	5.5	5.5	8.8	8.8
	80歳以上	61.0	61.0	35.6	35.6	36.0	36.0	18.4	18.4	20.3	20.3	15.0	15.0	10.4	10.4	9.4	9.4	7.3	7.3	5.1	5.1	0.1	0.1	1.5	1.5	7.9	7.9	9.8	9.8
年代間の差	12.4	12.4	32.5	32.5	12.4	12.4	8.8	8.8	11.7	11.7	8.7	8.7	6.1	6.1	6.4	6.4	6.9	6.9	10.6	10.6	5.0	5.0	1.5	1.5	6.9	6.9	9.7	9.7	

【性・年代別】

全県で最も多い「仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい(68.3%)」は、男性は50代(79.9%)、女性は40代(70.6%)が多い。続いて「病气やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい(56.1%)」は、男性は40代(57.2%)、女性は30代(75.8%)、次に「職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある(42.4%)」は、男性は50代(53.9%)、女性は20代(53.3%)が多い。

区分		最大値														最小値														(%)
		仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい	病气やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい	職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある	職場で育児休業の復帰前後の支援が少ない	子どもと過ごせる時間が少ない	家事、子育てを自分一人で頑張ろうとする意識が強い	夫の協力が得られない	夫以外の家族の協力が得られない	妊娠などを理由とする不利益な取扱い（いわゆる「マタニティハラスメント」）が懸念される	職場での昇進・昇格に影響する	その他	特になし	わからない	無回答															
全 県		68.3	56.1	42.4	20.7	19.8	15.1	14.8	8.8	7.9	5.4	1.3	0.7	2.9	4.0															
男性・年代別	20代	63.0	53.1	42.1	24.4	21.3	6.0	21.6	7.8	15.5	21.3	3.0	0.0	2.4	0.0															
	30代	64.4	49.6	35.1	25.5	26.9	11.9	5.9	7.0	8.0	5.2	2.1	0.7	6.9	0.4															
	40代	73.1	57.2	44.6	21.4	22.5	7.5	13.4	7.5	6.1	11.7	3.7	0.2	3.2	1.8															
	50代	79.9	56.8	53.9	27.4	16.0	8.9	16.3	8.8	8.6	7.5	0.0	0.0	0.0	2.2															
	60代	73.7	42.8	46.7	28.6	14.3	14.7	12.8	9.0	8.3	4.6	0.3	0.6	4.2	1.6															
	70代	69.7	39.0	40.9	26.0	15.3	13.7	13.2	8.9	11.1	3.6	1.1	1.1	6.8	5.8															
	80歳以上	72.5	30.6	44.6	26.6	19.9	9.3	9.0	11.8	9.5	4.1	0.3	3.1	5.8	7.0															
年代間の差		16.9	26.6	18.8	7.2	12.6	8.7	15.7	4.8	9.4	17.7	3.7	3.1	6.9	7.0															
女性・年代別	20代	69.6	46.1	53.3	26.0	25.5	20.4	9.1	3.9	10.4	5.4	6.7	2.9	0.0	0.4															
	30代	68.0	75.8	41.8	12.3	27.0	24.0	13.1	6.7	4.6	4.0	3.5	0.2	0.0	0.0															
	40代	70.6	68.6	43.3	14.9	24.1	17.6	18.3	8.3	8.8	6.3	1.2	0.0	0.8	2.2															
	50代	69.4	75.1	43.1	17.5	19.6	12.9	16.2	8.7	6.9	2.2	0.2	0.3	1.6	2.8															
	60代	66.5	61.6	40.2	22.0	17.0	15.5	19.2	14.2	6.5	5.0	0.3	0.3	1.3	4.7															
	70代	61.5	49.1	37.9	17.3	15.3	18.7	15.6	8.1	7.2	0.3	0.6	1.8	4.6	10.5															
	80歳以上	55.9	39.5	32.3	14.3	21.3	18.8	11.6	8.5	5.2	4.8	0.0	0.6	9.1	9.7															
年代間の差		14.7	36.3	21.0	13.7	11.7	11.1	10.1	10.3	5.8	6.0	6.7	2.9	9.1	10.5															

問 1 1 育児休業取得促進に必要なこと

問 1 1

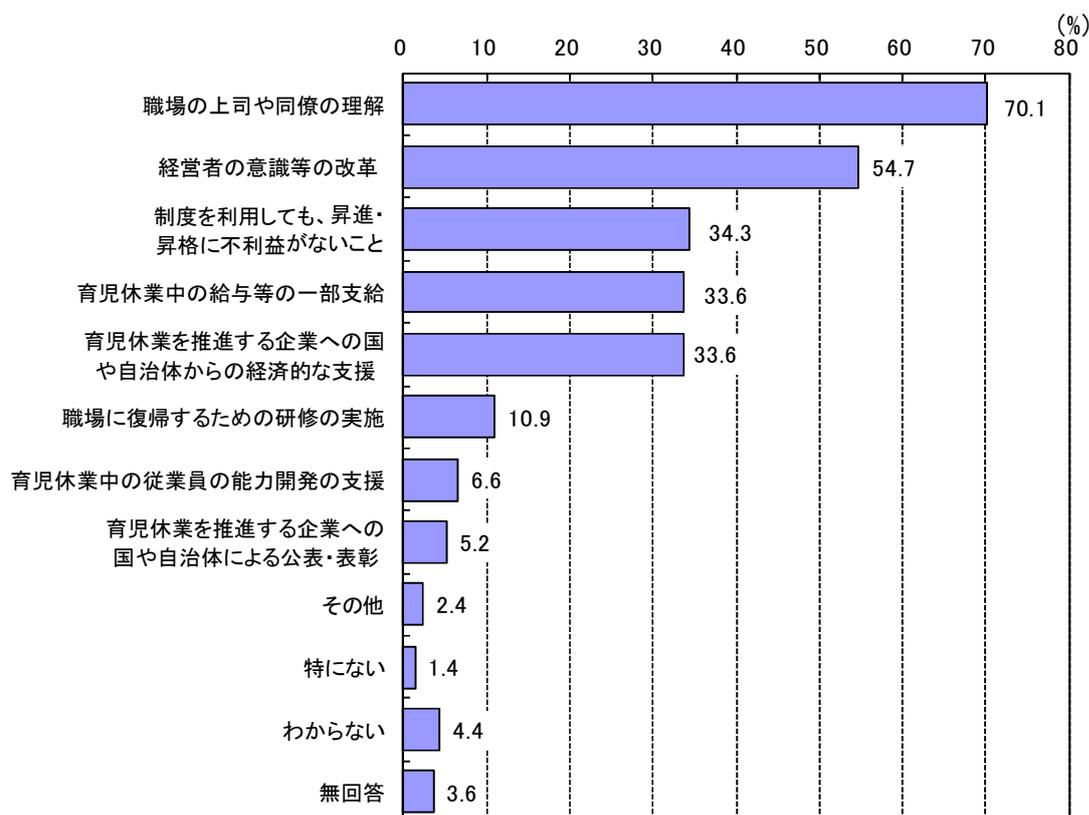
全国の企業における育児休業の取得率が、女性で 86.6%、男性で 2.3%【※】となっています。今後、男女ともに育児休業制度をさらに利用しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるもの 3 つまで選んで番号に○をつけてください。

【※】平成 26 年度雇用均等基本調査（厚生労働省）

- 1 経営者の意識等の改革
- 2 職場の上司や同僚の理解
- 3 制度を利用しても、昇進・昇格に不利益がないこと
- 4 育児休業中の給与等の一部支給
- 5 育児休業中の従業員の能力開発の支援
- 6 職場に復帰するための研修の実施
- 7 育児休業を推進する企業への国や自治体からの経済的な支援
- 8 育児休業を推進する企業への国や自治体による公表・表彰
- 9 その他（ ）
- 10 特になし
- 11 わからない

【全 県】

「職場の上司や同僚の理解(70.1%)」が最も多い。次に「経営者の意識等の改革(54.7%)」が多い。



【地域別】

全県で最も多い「職場の上司や同僚の理解(70.1%)」は、神戸(72.7%)が多い。続いて「経営者の意識等の改革(54.7%)」は、但馬(63.6%)が多い。

区分		最大値									最小値		(%)
		職場の上司や同僚の理解	経営者の意識等の改革	制度を利用して、昇進・昇格に不利益がないこと	育児休業中の給与等の一部支給	育児休業を推進する企業への国や自治体からの経済的な支援	職場に復帰するための研修の実施	育児休業中の従業員の能力開発の支援	育児休業を推進する企業への国や自治体による公表・表彰	その他	特になし	わからない	
全 県		70.1	54.7	34.3	33.6	33.6	10.9	6.6	5.2	2.4	1.4	4.4	3.6
地域別	神 戸	72.7	53.1	34.0	28.9	29.7	9.8	7.8	3.5	2.3	1.6	5.1	4.7
	阪神南	68.0	54.5	32.8	34.8	36.0	7.9	5.5	4.7	3.6	2.4	4.7	3.2
	阪神北	69.1	55.9	43.8	34.0	35.2	14.5	5.5	7.0	2.0	0.4	3.5	2.3
	東播磨	71.5	51.1	35.6	35.6	40.7	13.0	7.4	7.4	3.0	0.7	3.3	1.9
	北播磨	68.8	61.1	27.5	34.9	31.2	11.7	7.0	6.0	1.7	1.3	2.3	4.4
	中播磨	68.8	54.2	31.5	39.0	29.8	13.2	6.4	5.4	2.0	1.7	5.8	3.7
	西播磨	67.9	54.7	32.1	31.8	29.7	8.8	7.8	5.4	0.7	1.7	5.4	4.7
	但 馬	69.3	63.6	28.1	39.3	38.7	12.5	3.8	3.5	1.9	1.6	3.8	3.8
	丹 波	69.0	57.6	34.8	36.2	32.8	11.7	4.8	6.2	1.7	0.7	2.4	6.9
	淡 路	71.1	60.4	28.1	34.4	34.8	6.7	5.2	5.9	1.9	1.1	4.1	4.8
地域間の差		4.8	12.5	16.3	10.4	11.0	7.8	4.0	3.9	2.9	2.0	3.5	5.0

【性別】

男女とも全県と同様の傾向にある。

「経営者の意識等の改革」が、男女間の差が最も大きく、男性(57.9%)が女性(52.8%)より5.1ポイント多い。

区分		職場の上司や同僚の理解	経営者の意識等の改革	制度を利用しても、昇進・昇格に不利益がないこと	育児休業中の給与等の一部支給	育児休業を推進する企業への国や自治体からの経済的な支援	職場に復帰するための研修の実施	育児休業中の従業員の能力開発の支援	育児休業を推進する企業への国や自治体による公表・表彰	その他	特にない	わからない	無回答
全 県		70.1	54.7	34.3	33.6	33.6	10.9	6.6	5.2	2.4	1.4	4.4	3.6
性別	男 性	69.0	57.9	36.1	34.5	36.6	8.4	5.7	5.8	2.0	1.7	4.6	2.0
	女 性	71.1	52.8	33.4	33.3	31.8	12.6	7.2	4.8	2.7	1.2	4.3	4.2
性別間の差		2.1	5.1	2.7	1.2	4.8	4.2	1.5	1.0	0.7	0.5	0.3	2.2

【年代別】

全県で最も多い「職場の上司や同僚の理解」は、20代が最も多い(79.7%)。20代は「制度を利用しても、昇進・昇格に不利益がないこと(50.0%)」が次に多い。

区分		職場の上司や同僚の理解	経営者の意識等の改革	制度を利用しても、昇進・昇格に不利益がないこと	育児休業中の給与等の一部支給	育児休業を推進する企業への国や自治体からの経済的な支援	職場に復帰するための研修の実施	育児休業中の従業員の能力開発の支援	育児休業を推進する企業への国や自治体による公表・表彰	その他	特にない	わからない	無回答
全 県		70.1	54.7	34.3	33.6	33.6	10.9	6.6	5.2	2.4	1.4	4.4	3.6
年代別	20代	79.7	48.1	50.0	38.1	45.4	8.5	5.7	8.3	2.9	1.2	0.6	0.4
	30代	76.6	49.9	41.0	39.6	34.2	7.5	4.0	5.5	5.3	1.9	1.5	0.0
	40代	72.5	56.8	38.6	30.7	25.5	11.8	7.3	7.3	4.1	1.5	4.7	1.4
	50代	70.5	54.2	34.7	32.7	34.5	11.4	8.8	5.4	2.1	1.5	1.9	2.0
	60代	69.4	59.7	28.3	38.3	36.0	11.7	5.8	3.4	1.0	0.9	5.2	3.2
	70代	64.8	56.2	29.5	30.4	32.7	10.2	8.3	4.7	1.9	1.2	7.5	7.5
	80歳以上	60.4	49.5	27.0	24.5	31.0	14.9	4.6	3.1	0.1	2.4	7.8	11.1
年代間の差		19.3	11.6	23.0	15.1	19.9	7.4	4.8	5.2	5.2	1.5	7.2	11.1

【性・年代別】

全県で最も多い「職場の上司や同僚の理解(70.1%)」は、男性は20代(76.8%)、女性も20代(81.8%)が多い。続いて「経営者の意識等の改革(54.7%)」は、男性は60代(62.9%)、女性も60代(57.0%)が多い。

区分		最大値											最小値	(%)
		職場の上司や同僚の理解	経営者の意識等の改革	制度を利用して、昇進・昇格に不利益がないこと	育児休業中の給与等の一部支給	育児休業を推進する企業への国や自治体からの経済的な支援	職場に復帰するための研修の実施	育児休業中の従業員の能力開発の支援	国や自治体による公表・表彰	育児休業を推進する企業への国や自治体による公表・表彰	その他	特にない	わからない	無回答
全 県		70.1	54.7	34.3	33.6	33.6	10.9	6.6	5.2	2.4	1.4	4.4	3.6	
男性・年代別	20代	76.8	46.9	50.3	42.5	45.7	7.4	6.2	6.9	1.4	0.0	1.2	0.0	
	30代	72.8	52.5	33.4	42.7	39.2	3.8	4.4	4.1	1.9	3.0	4.6	0.0	
	40代	66.2	59.0	40.3	35.7	27.4	7.2	1.5	8.3	4.5	1.1	7.3	1.8	
	50代	71.1	55.4	36.4	32.3	36.6	8.3	10.2	7.3	1.0	1.8	1.0	2.2	
	60代	70.5	62.9	33.8	36.5	36.5	10.3	5.7	3.4	1.2	2.2	4.6	1.1	
	70代	66.7	62.5	32.2	25.5	43.1	8.1	6.0	6.5	2.7	0.5	6.9	2.8	
	80歳以上	58.0	54.8	30.6	30.8	28.3	13.1	5.1	4.7	0.0	4.6	5.7	7.6	
年代間の差		18.8	16.0	19.7	17.2	18.3	9.3	8.7	4.9	4.5	4.6	6.3	7.6	
女性・年代別	20代	81.8	48.9	49.8	34.7	45.1	9.3	5.3	9.4	4.0	2.1	0.2	0.6	
	30代	78.4	48.7	44.6	38.2	31.8	9.2	3.8	6.1	6.9	1.4	0.1	0.0	
	40代	76.4	55.4	37.5	27.7	24.4	14.6	10.8	6.6	3.9	1.8	3.2	1.1	
	50代	70.1	53.4	33.7	33.0	33.1	13.3	8.0	4.2	2.8	1.4	2.5	1.9	
	60代	68.3	57.0	24.6	39.1	36.0	12.8	5.8	3.4	0.8	0.0	5.7	4.7	
	70代	63.8	52.2	27.8	33.9	25.7	11.6	9.9	3.5	1.3	1.6	8.0	10.2	
	80歳以上	62.9	48.3	25.1	21.8	33.3	16.5	3.5	2.3	0.1	1.3	9.2	11.0	
年代間の差		18.9	8.7	25.2	17.3	20.7	7.3	7.3	7.1	6.8	2.1	9.1	11.0	

【地域別】

全県で最も多い「短時間勤務制度やフレックスタイム制(49.2%)」は、阪神北(55.1%)が多い。続いて「事業所内託児所の設置(40.8%)」は、神戸(43.0%)が多い。

区分	短時間勤務制度やフレックスタイム制	事業所内託児所の設置	残業をさせない制度	子育てを理由に退職した従業員の再雇用制度	育児休業期間の更なる延長	育児休業中の給与等の一部支給	在宅勤務制度	転勤への配慮や勤務地を選択できる制度	出産時の父親への休暇付与	本人が希望する業務・部署への異動制度	最大値		最小値		無回答	
											子育てと仕事の両立に関する相談窓口の設置	その他	特になし	わからない		
全 県	49.2	40.8	29.7	27.2	20.2	18.8	17.7	15.7	15.3	12.7	8.9	1.1	1.5	3.2	3.8	
地域別	神 戸	47.3	43.0	28.5	24.6	18.0	14.8	18.4	18.4	16.8	12.5	9.0	1.2	2.3	4.7	4.3
	阪神南	53.0	36.4	31.2	24.5	20.2	17.4	21.7	15.8	14.6	11.1	8.7	0.4	1.2	2.8	3.6
	阪神北	55.1	41.4	30.5	26.6	20.7	20.7	20.7	16.4	14.5	12.5	7.8	1.2	0.4	2.0	2.7
	東播磨	48.5	41.5	27.8	33.3	21.9	20.4	16.7	12.6	17.0	10.7	10.4	1.1	1.9	1.9	3.3
	北播磨	49.0	39.9	33.6	30.9	21.1	25.2	14.1	12.4	10.1	14.4	7.7	1.3	1.3	2.0	2.7
	中播磨	47.8	42.7	28.1	26.4	21.4	20.3	16.9	14.9	11.9	16.3	8.8	1.4	1.4	4.1	4.1
	西播磨	44.3	42.2	28.7	33.4	19.6	19.6	7.8	13.2	18.9	12.2	6.8	0.7	1.0	3.4	4.7
	但 馬	41.9	39.9	36.7	30.7	24.6	23.0	8.6	14.4	15.0	13.4	11.8	1.0	1.0	3.2	4.2
	丹 波	42.4	36.6	32.4	30.0	24.5	22.8	13.1	15.2	19.0	15.2	9.3	1.0	0.3	2.4	6.9
	淡 路	45.6	38.1	28.5	25.9	18.9	24.8	12.6	15.6	13.0	17.0	8.5	2.6	1.1	0.7	6.3
地域間の差	13.2	6.6	8.9	8.9	6.6	10.4	13.9	6.0	8.9	6.3	5.0	2.2	2.0	4.0	4.2	

【性別】

男女とも全県と同様の傾向にある。

男女間の差は、「出産時の父親への休暇付与（男性 19.4%、女性 12.7%）」（6.7ポイント差）が最も大きい。

(%)

区分	短時間勤務制度やフレックスタイム制	事業所内託児所の設置	残業をさせない制度	子育てを理由に退職した従業員の再雇用制度	育児休業期間の更なる延長	育児休業中の給与等の一部支給	在宅勤務制度	転勤への配慮や勤務地を選べる制度	出産時の父親への休暇付与	本人が希望する業務・部署への異動制度	子育てと仕事の両立に関する相談窓口の設置	その他	特になし	わからない	無回答
	全 県	49.2	40.8	29.7	27.2	20.2	18.8	17.7	15.7	15.3	12.7	8.9	1.1	1.5	3.2
性別	男 性	48.1	37.6	27.3	27.0	21.8	17.6	16.6	19.4	13.2	8.7	0.6	1.7	4.0	2.3
	女 性	50.3	43.3	31.3	27.2	17.0	17.6	15.2	12.7	12.3	9.0	1.3	1.3	2.6	4.5
性別間の差	2.2	5.7	4.0	0.2	0.6	4.8	0.0	1.4	6.7	0.9	0.3	0.7	0.4	1.4	2.2

【年代別】

20代は「短時間勤務制度やフレックスタイム制（48.6%）」が全県と同様、最も多いが、次に「残業をさせない制度（38.4%）」が「事業所内託児所の設置（29.5%）」より多い。

最大値 最小値 (%)

区分	短時間勤務制度やフレックスタイム制	事業所内託児所の設置	残業をさせない制度	子育てを理由に退職した従業員の再雇用制度	育児休業期間の更なる延長	育児休業中の給与等の一部支給	在宅勤務制度	転勤への配慮や勤務地を選べる制度	出産時の父親への休暇付与	本人が希望する業務・部署への異動制度	子育てと仕事の両立に関する相談窓口の設置	その他	特になし	わからない	無回答	
	全 県	49.2	40.8	29.7	27.2	20.2	18.8	17.7	15.7	15.3	12.7	8.9	1.1	1.5	3.2	3.8
年代別	20代	48.6	29.5	38.4	24.9	23.8	30.9	17.5	15.4	27.0	10.1	7.7	2.6	0.0	1.1	1.2
	30代	53.0	43.1	33.5	26.9	21.5	23.6	21.2	12.8	18.9	10.4	6.7	3.0	2.2	1.5	0.0
	40代	57.8	38.0	35.6	25.2	19.0	15.6	22.2	15.8	15.3	11.6	7.6	1.1	0.8	2.1	1.7
	50代	55.9	45.6	28.2	29.0	18.2	18.3	20.1	15.6	12.8	11.8	6.8	1.3	2.1	1.1	1.9
	60代	53.4	45.0	24.1	27.3	21.4	18.9	16.4	15.7	11.8	14.6	12.4	0.2	1.3	3.1	2.7
	70代	39.6	39.7	27.1	31.1	20.4	15.3	12.3	15.9	14.8	14.0	9.5	0.3	1.4	5.7	7.6
	80歳以上	24.7	37.3	27.8	21.8	17.5	16.0	12.2	20.4	13.9	13.6	9.6	0.1	2.8	8.1	13.1
年代間の差	33.1	16.1	14.3	9.3	6.3	15.6	10.0	7.6	15.2	4.5	5.7	2.9	2.8	7.0	13.1	

【性・年代別】

全県で最も多い「短時間勤務制度やフレックスタイム制(49.2%)」は、男性は60代(56.5%)、女性は50代(62.3%)が多い。続いて「事業所内託児所の設置(40.8%)」は、男性は50代と60代(41.2%)、女性は50代(48.3%)が多い。

区分	短時間勤務制度やフレックスタイム制	事業所内託児所の設置	残業をさせない制度	子育てを理由に退職した従業員の再雇用制度	育児休業期間の更なる延長	育児休業中の給与等の一部支給	在宅勤務制度	転勤への配慮や勤務地を選択できる制度	出産時の父親への休暇付与	本人が希望する業務・部署への異動制度	最大値		最小値		無回答	
											口	子	そ	特		
全 県	49.2	40.8	29.7	27.2	20.2	18.8	17.7	15.7	15.3	12.7	8.9	1.1	1.5	3.2	3.8	
男性・年代別	20代	44.6	27.9	37.1	25.1	14.5	36.9	17.5	18.9	34.8	13.0	5.6	1.1	0.0	2.1	0.0
	30代	40.3	40.7	26.4	27.4	19.8	22.1	20.5	18.8	34.7	5.9	6.4	0.0	1.1	4.6	0.0
	40代	53.5	33.5	32.4	18.2	22.7	20.4	17.7	17.4	19.1	16.0	5.2	0.7	0.4	3.1	2.8
	50代	45.7	41.2	34.8	28.2	15.6	22.4	29.4	12.2	10.5	12.5	6.4	2.0	1.4	1.6	2.5
	60代	56.5	41.2	20.8	30.8	22.4	19.1	13.3	18.3	14.0	13.5	12.3	0.5	2.7	4.4	0.7
	70代	46.9	37.6	20.1	31.1	21.5	17.5	12.5	13.7	19.2	15.5	10.4	0.0	2.3	7.1	4.1
	80歳以上	33.1	34.2	27.8	23.8	26.0	24.0	13.5	19.0	18.9	11.8	12.5	0.0	2.7	3.9	6.9
年代間の差	23.4	13.3	17.0	12.9	11.5	19.4	16.9	6.8	24.3	10.1	7.3	2.0	2.7	5.5	6.9	
女性・年代別	20代	51.6	30.7	39.4	24.8	30.8	26.3	17.5	12.8	21.1	8.0	9.4	3.8	0.0	0.4	2.1
	30代	58.9	44.3	36.7	26.7	22.2	24.3	21.5	10.0	11.6	12.5	6.8	4.4	2.7	0.0	0.0
	40代	60.4	40.8	37.6	29.5	16.7	12.6	24.9	14.8	13.1	8.9	9.1	1.3	1.1	1.5	1.1
	50代	62.3	48.3	24.1	29.5	19.9	15.8	14.3	17.7	14.3	11.3	7.0	0.9	2.5	0.9	1.5
	60代	51.6	48.2	25.8	24.1	20.9	18.1	18.9	13.9	10.2	15.5	12.7	0.0	0.3	2.2	4.1
	70代	34.8	41.3	32.0	31.3	19.7	14.0	12.2	17.4	11.8	12.9	9.0	0.5	0.3	4.8	10.0
	80歳以上	21.0	40.3	28.9	21.3	13.5	12.2	11.0	20.8	11.3	14.9	7.4	0.2	2.9	10.5	14.8
年代間の差	41.3	17.6	15.3	10.0	17.3	14.1	13.9	10.8	10.9	7.5	5.9	4.4	2.9	10.5	14.8	

問 1 3 子育て施策の評価

問 1 3

少子対策・子育て支援として取り組まれている、次のア～セについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

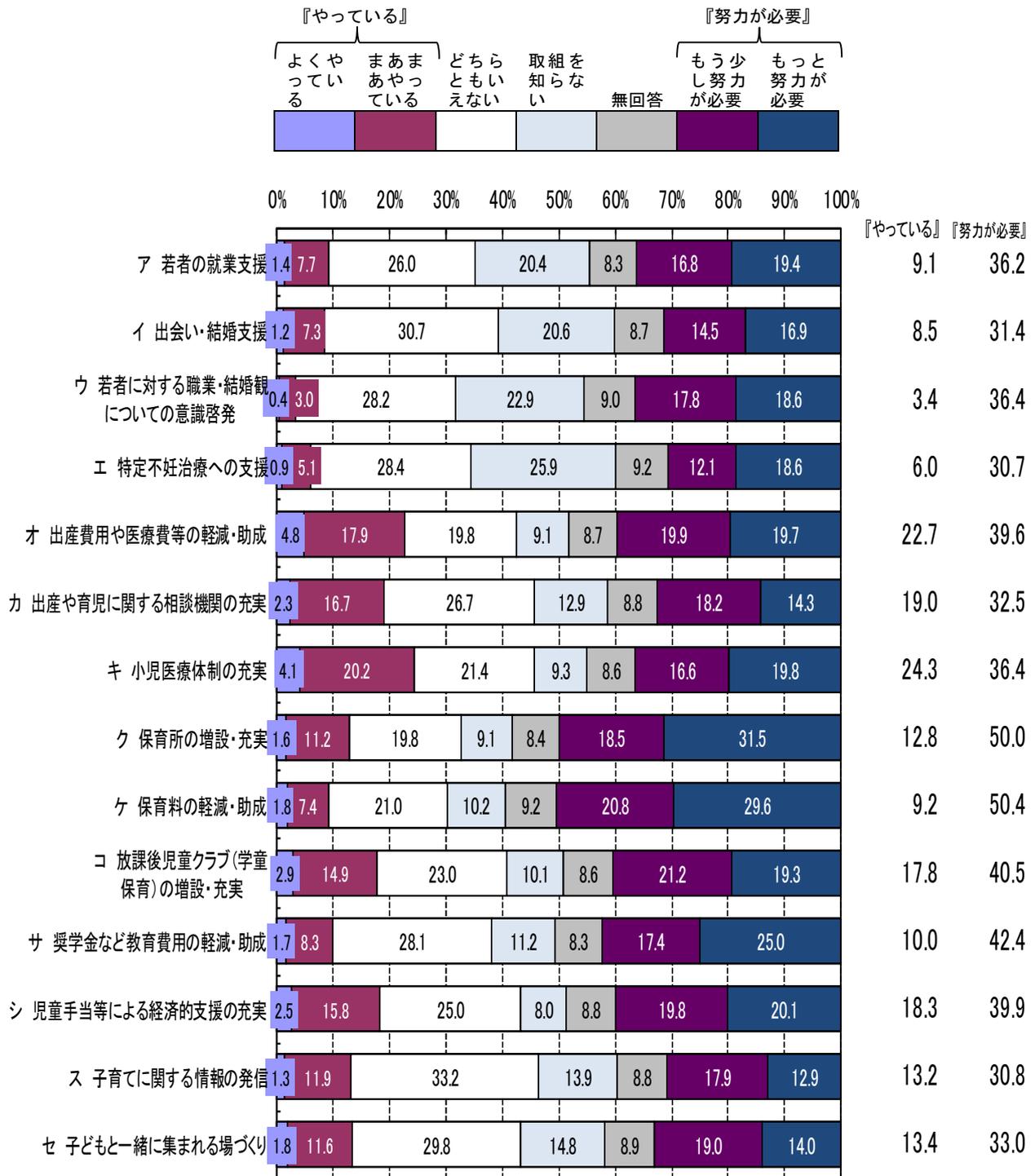
- ア 若者の就業支援
- イ 出会い・結婚支援
- ウ 若者に対する職業・結婚観についての意識啓発
- エ 特定不妊治療への支援
- オ 出産費用や医療費等の軽減・助成
- カ 出産や育児に関する相談機関の充実
- キ 小児医療体制の充実
- ク 保育所の増設・充実
- ケ 保育料の軽減・助成
- コ 放課後児童クラブ（学童保育）の増設・充実
- サ 奨学金など教育費用の軽減・助成
- シ 児童手当等による経済的支援の充実
- ス 子育てに関する情報の発信
- セ 子どもと一緒に集まれる場づくり

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 よくやっている | 2 まあまあやっている | 3 どちらともいえない |
| 4 もう少し努力が必要 | 5 もっと努力が必要 | 6 取組を知らない |

【全 県】

「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は、「キ 小児医療体制の充実(24.3%)」、「オ 出産費用や医療費等の軽減・助成(22.7%)」が高い。

「もっと努力が必要」と「もう少し努力が必要」を合わせた『努力が必要』は「ケ 保育料の軽減・助成(50.4%)」、「ク 保育所の増設・充実(50.0%)」が高い。



【『やっている』の地域別】

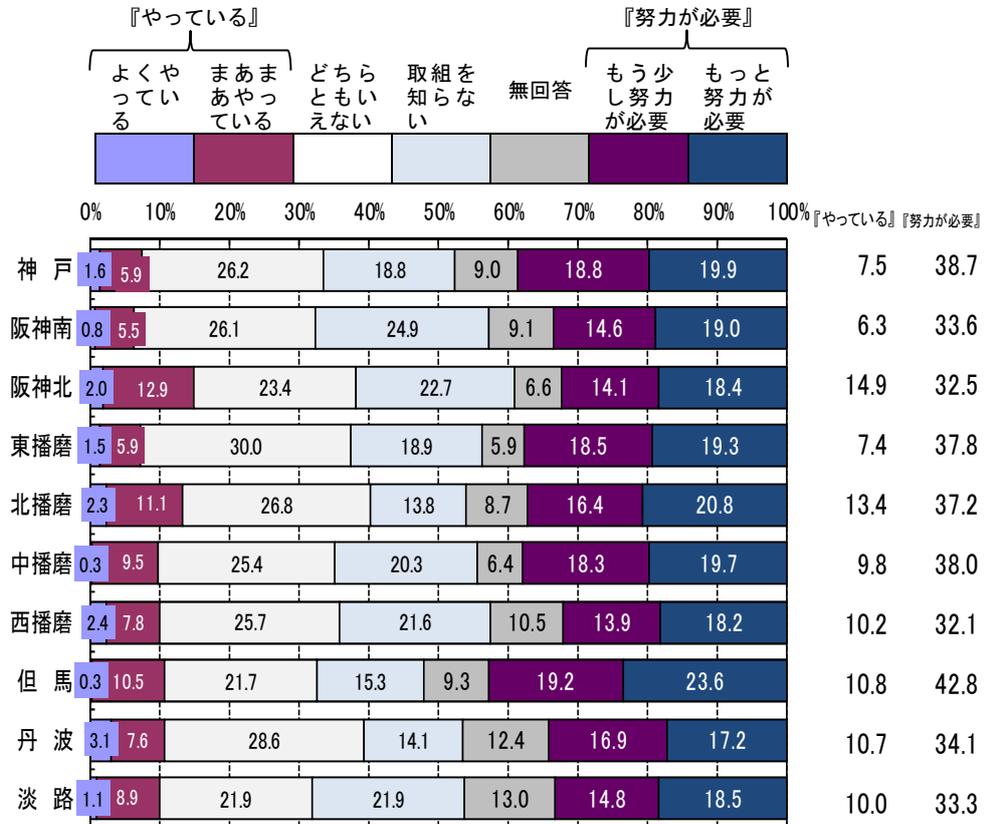
『やっている』の全県で最も高い「キ 小児医療体制の充実(24.3%)」は、阪神北が最も高い(27.3%)。
 続いて「オ 出産費用や医療費等の軽減・助成(22.7%)」は、北播磨が最も高い(33.3%)。

区分	ア 若者の就業支援	イ 出会い・結婚支援	ウ 若者に対する職業・結婚観についての意識啓発	エ 特定不妊治療への支援	オ 出産費用や医療費等の軽減・助成	カ 出産や育児に関する相談機関の充実	キ 小児医療体制の充実	ク 保育所の増設・充実	ケ 保育料の軽減・助成	最大値		最小値		セ 子どもと一緒に集まれる場づくり	
										コ 放課後児童クラブ(学童保育)の増設・充実	サ 奨学金など教育費用の軽減・助成	シ 児童手当等による経済的支援の充実	ス 子育てに関する情報の発信		
全 県	9.1	8.5	3.4	6.0	22.7	19.0	24.3	12.8	9.2	17.8	10.0	18.3	13.2	13.4	
地域別	神 戸	7.5	7.1	3.9	7.1	22.7	22.6	24.2	11.7	6.7	14.4	8.2	17.2	13.6	12.1
	阪神南	6.3	4.0	2.8	2.8	19.4	13.8	23.7	9.5	7.1	15.4	6.7	14.6	8.3	11.1
	阪神北	14.9	5.5	2.7	7.5	21.1	20.7	27.3	12.5	9.3	20.3	12.5	17.6	17.2	19.1
	東播磨	7.4	9.3	2.3	5.2	23.3	18.6	27.1	10.8	10.4	16.3	10.0	17.4	11.9	10.8
	北播磨	13.4	18.4	3.7	8.0	33.3	24.5	26.9	20.8	19.5	27.2	13.4	26.8	20.8	17.8
	中播磨	9.8	10.2	3.4	6.8	25.4	17.3	20.4	12.2	9.5	18.3	11.9	22.0	12.6	13.2
	西播磨	10.2	13.9	2.7	5.0	24.0	14.2	20.3	14.6	9.8	18.9	13.2	22.7	14.2	14.5
	但 馬	10.8	18.5	4.1	6.1	20.1	20.4	21.4	23.6	12.8	25.5	14.4	21.1	15.4	16.6
	丹 波	10.7	16.9	9.7	5.9	21.4	16.9	25.9	23.4	10.0	28.7	11.8	18.9	16.2	13.8
淡 路	10.0	13.3	5.9	7.8	22.2	17.4	20.8	22.2	21.5	24.1	13.0	21.1	12.6	15.9	
地域間の差	8.6	14.5	7.4	5.2	13.9	10.7	7.0	14.1	14.8	14.3	7.7	12.2	12.5	8.3	

〔ア 若者の就業支援〕

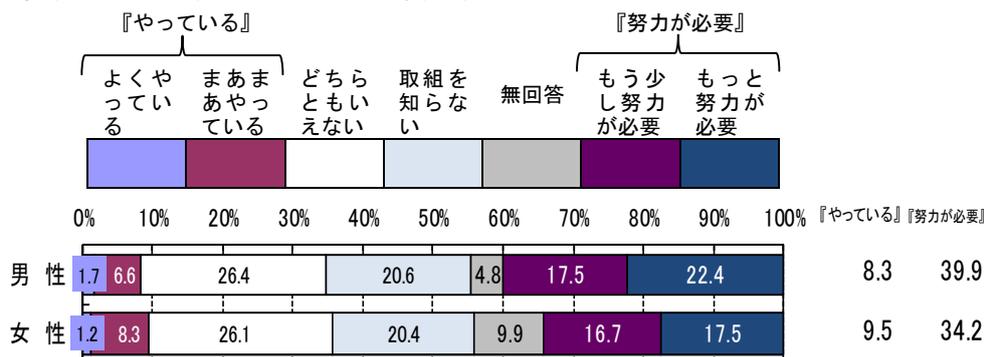
【地域別】

『やっている』は阪神北が最も高い（14.9%）。



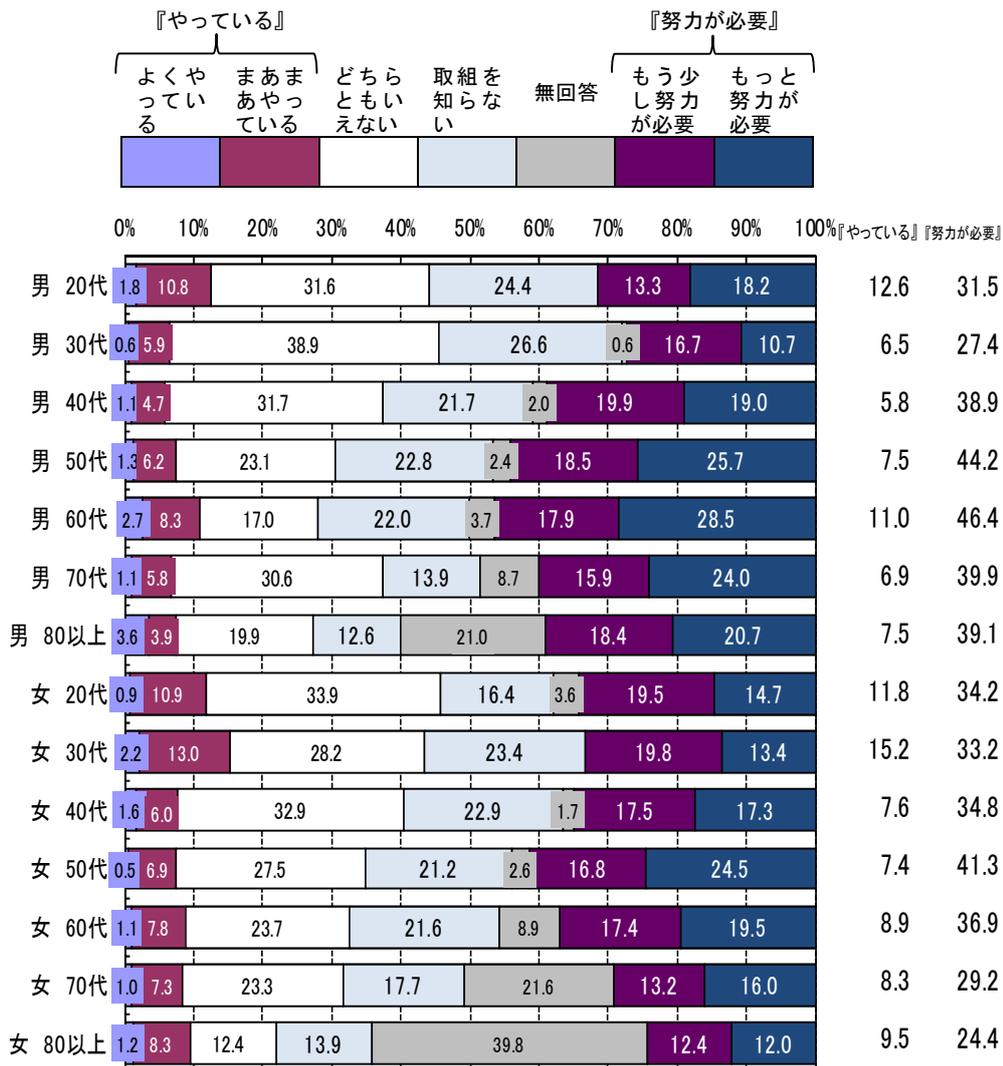
【性別】

『努力が必要』は男性の方が女性より5.7ポイント高い。



【性・年代別】

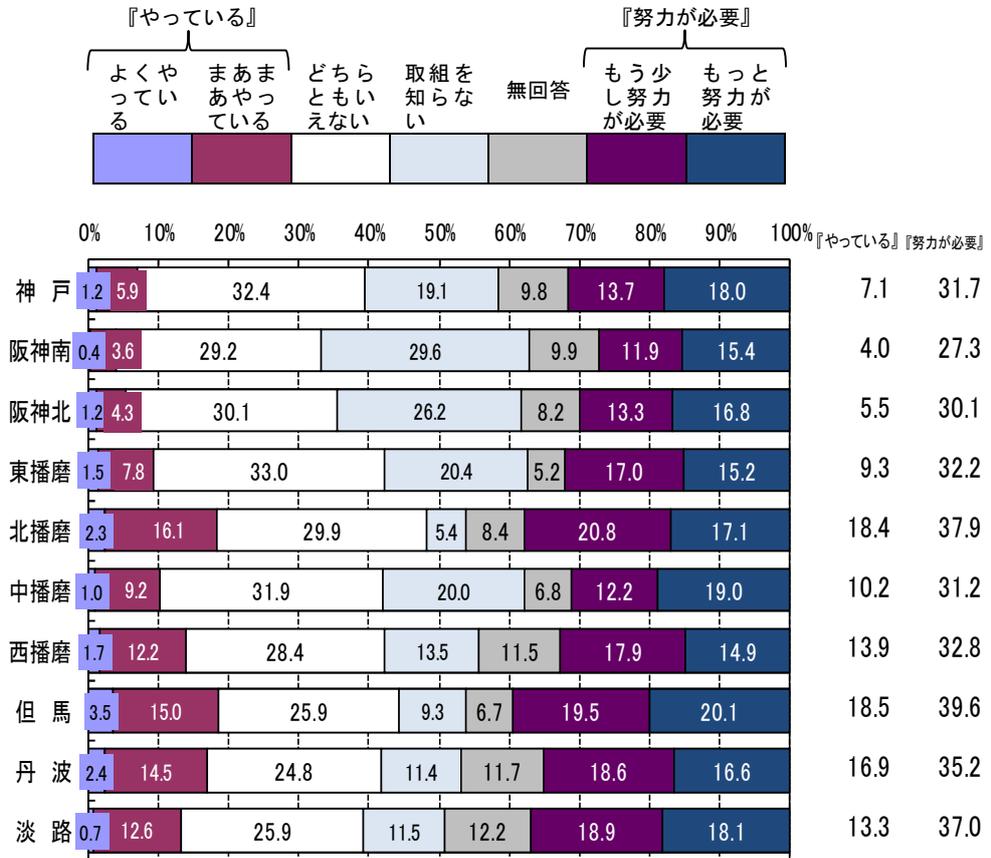
『やっている』は、男性は20代が最も高く（12.6%）、女性は30代が最も高い（15.2%）。



〔イ 出会い・結婚支援〕

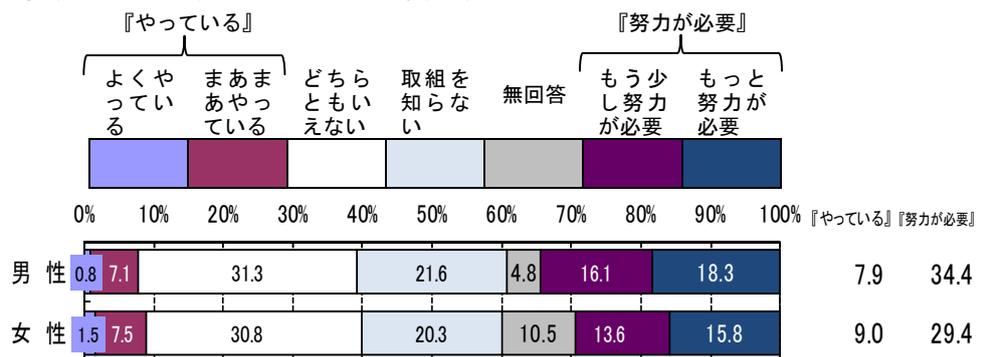
【地域別】

『やっている』は但馬が最も高い（18.5%）。



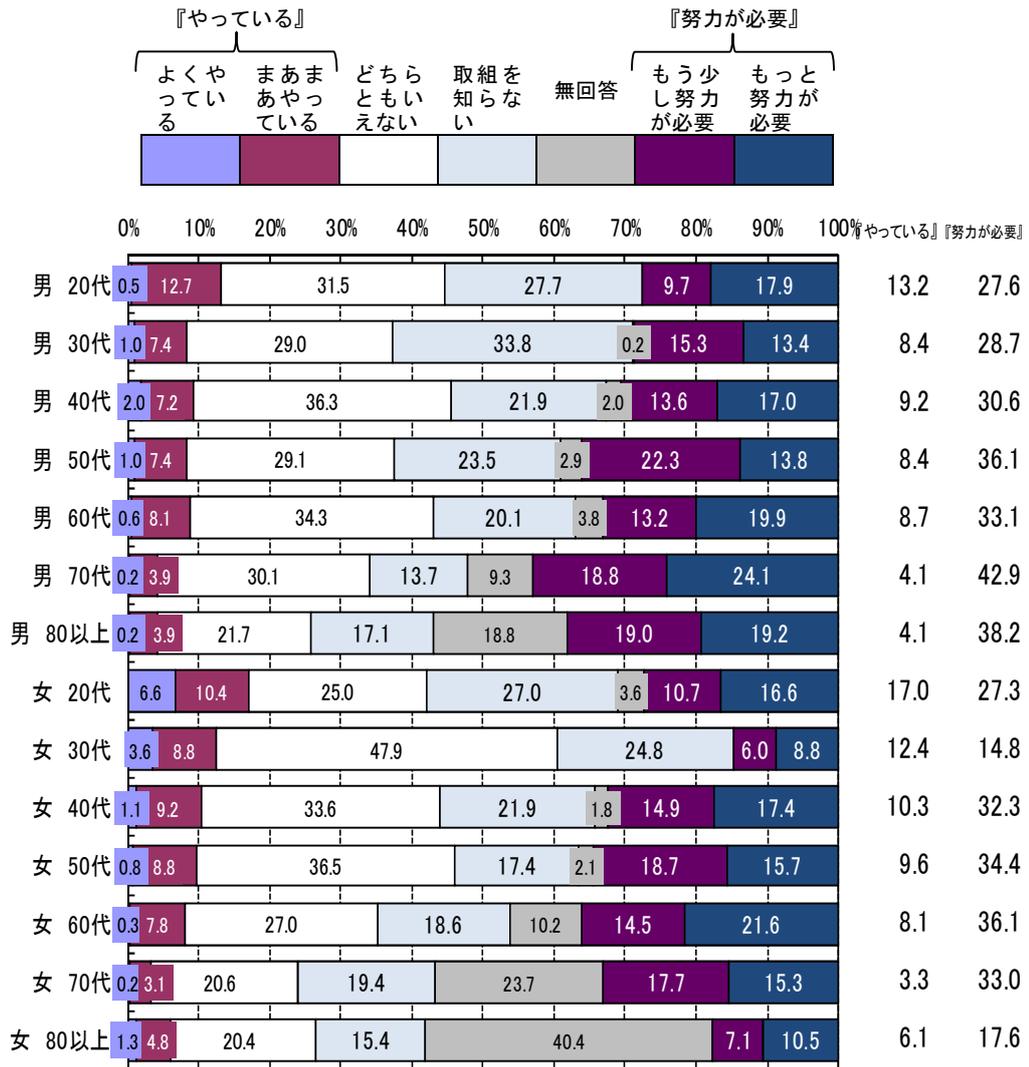
【性別】

『努力が必要』は男性の方が女性より5.0ポイント高い。



【性・年代別】

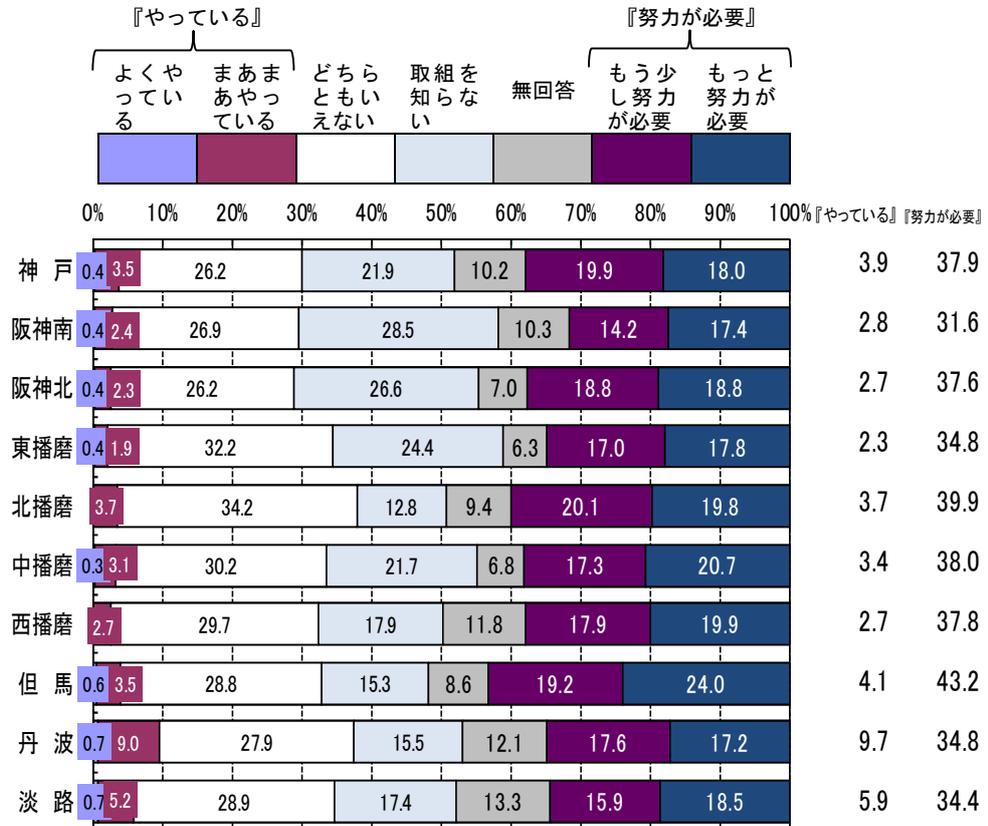
『やっている』は、男性は20代が最も高く（13.2%）、女性も20代が最も高い（17.0%）。



〔ウ 若者に対する職業・結婚観についての意識啓発〕

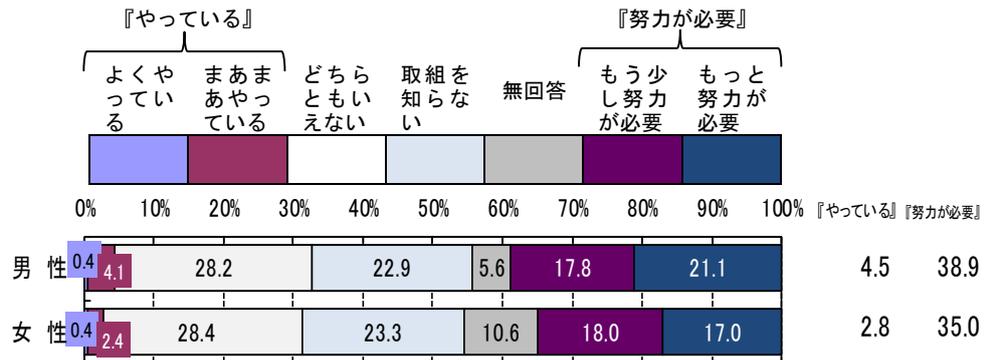
【地域別】

『やっている』は丹波が最も高い（9.7%）。



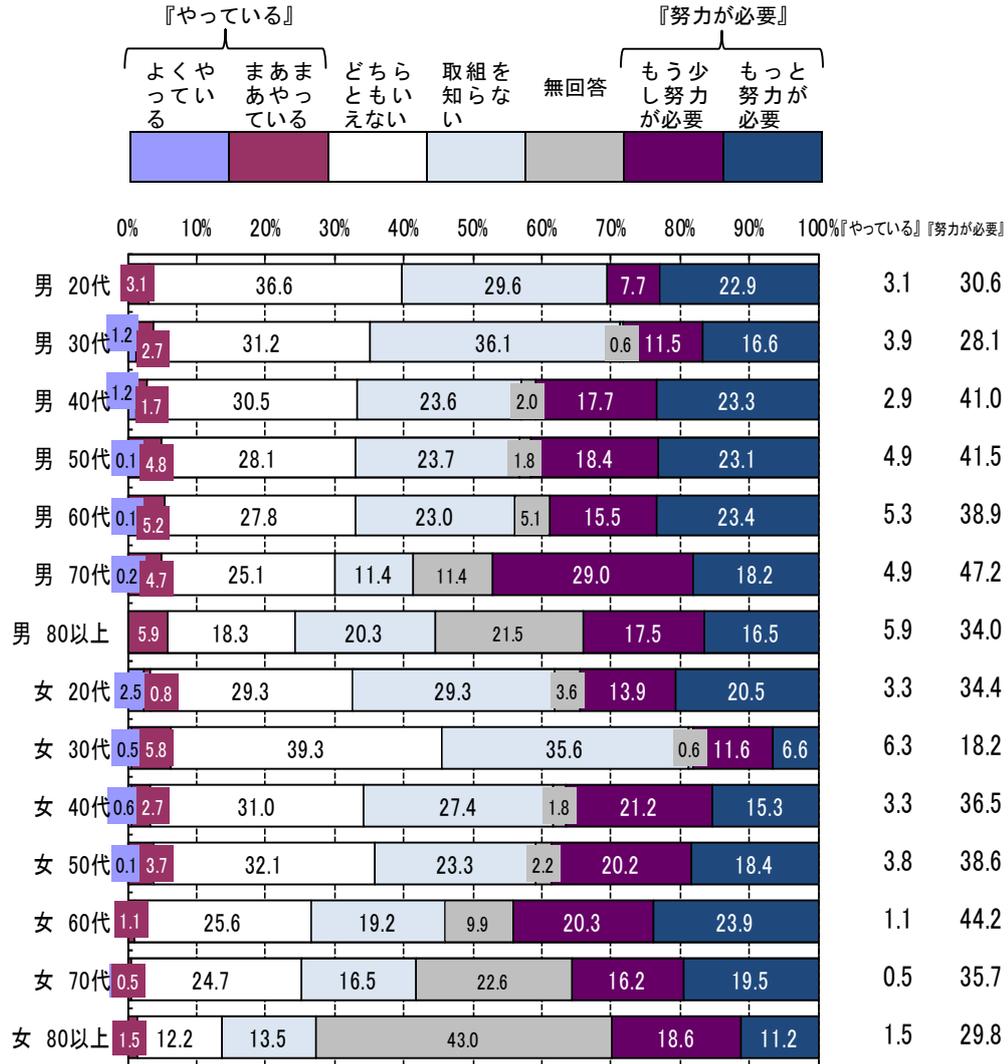
【性別】

『努力が必要』は男性の方が女性より3.9ポイント高い。



【性・年代別】

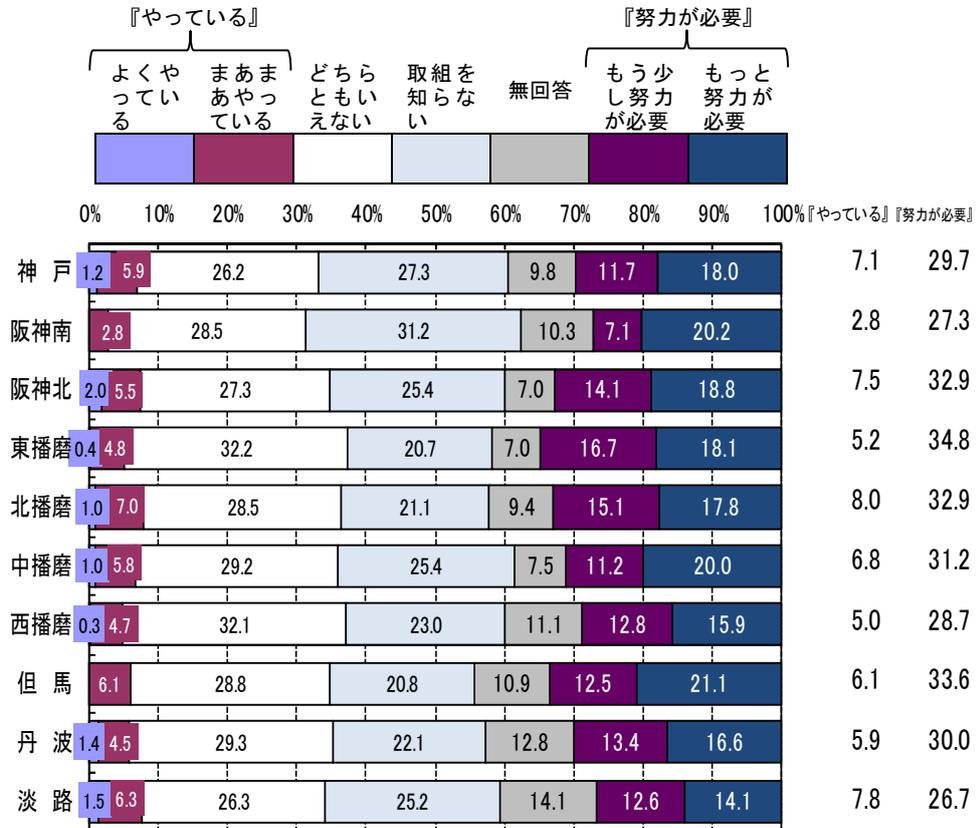
『やっている』は、男性は80歳以上が最も高く（5.9%）、女性は30代が最も高い（6.3%）。



〔エ 特定不妊治療への支援〕

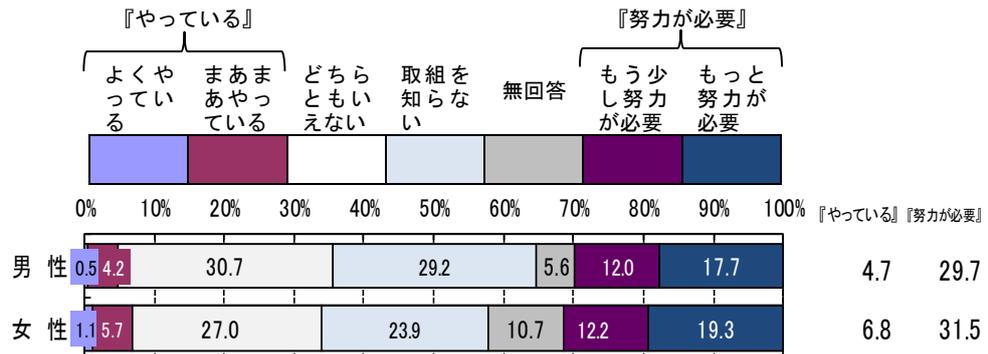
【地域別】

『やっている』は北播磨が最も高い（8.0%）。



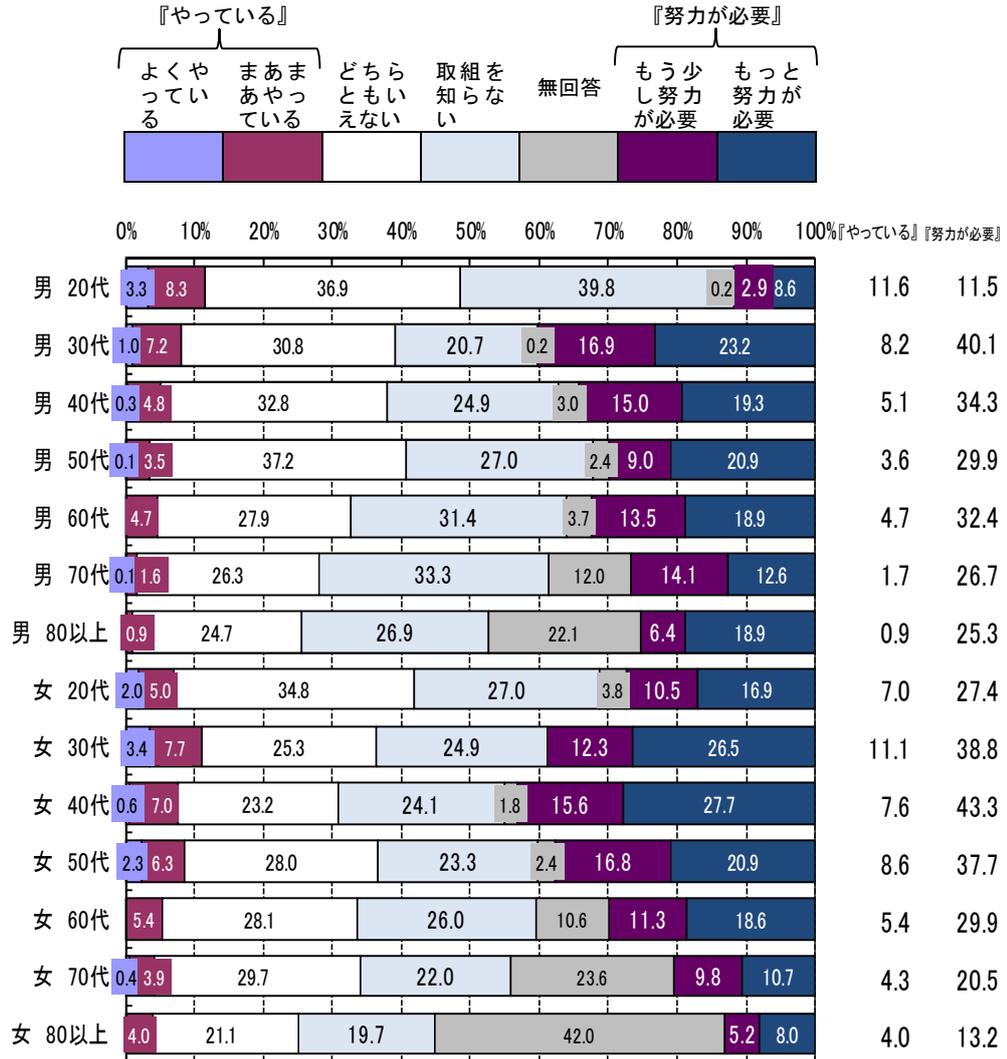
【性別】

『やっている』は女性の方が男性より2.1ポイント高い。



【性・年代別】

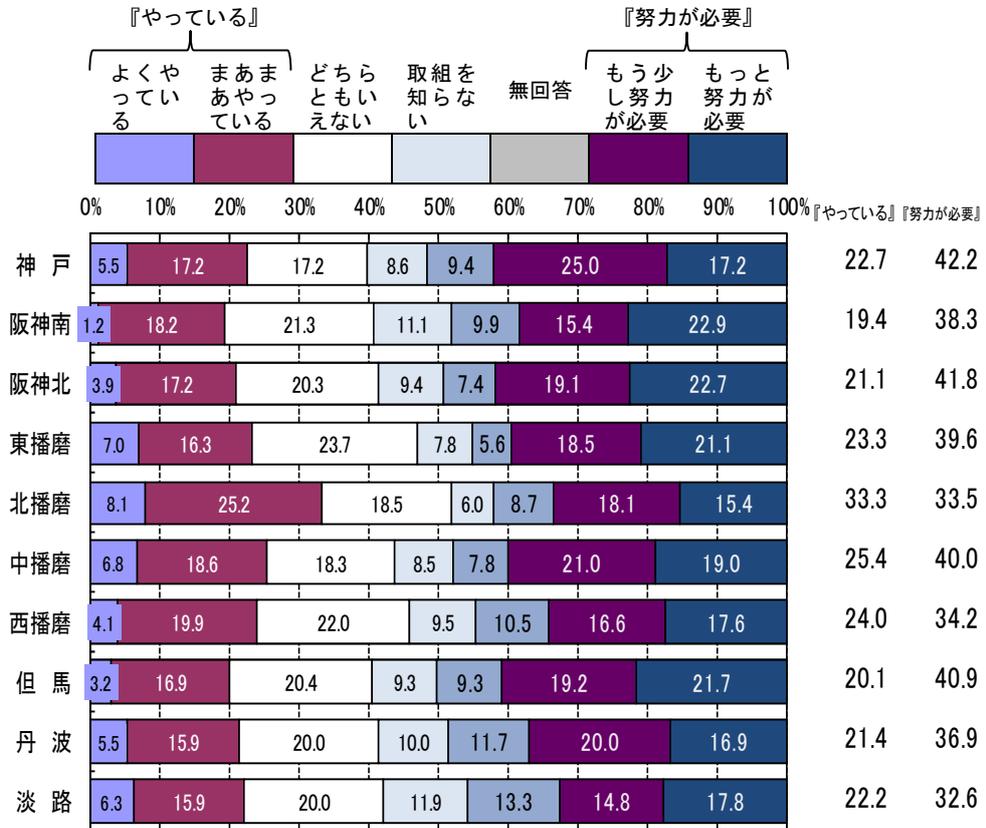
『やっている』は、男性は20代が最も高く（11.6%）、女性は30代が最も高い（11.1%）。



〔才 出産費用や医療費等の軽減・助成〕

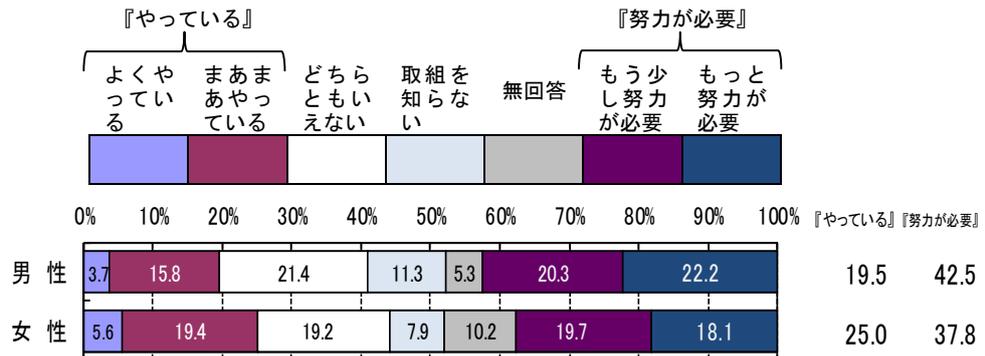
【地域別】

『やっている』は北播磨が最も高い（33.3%）。



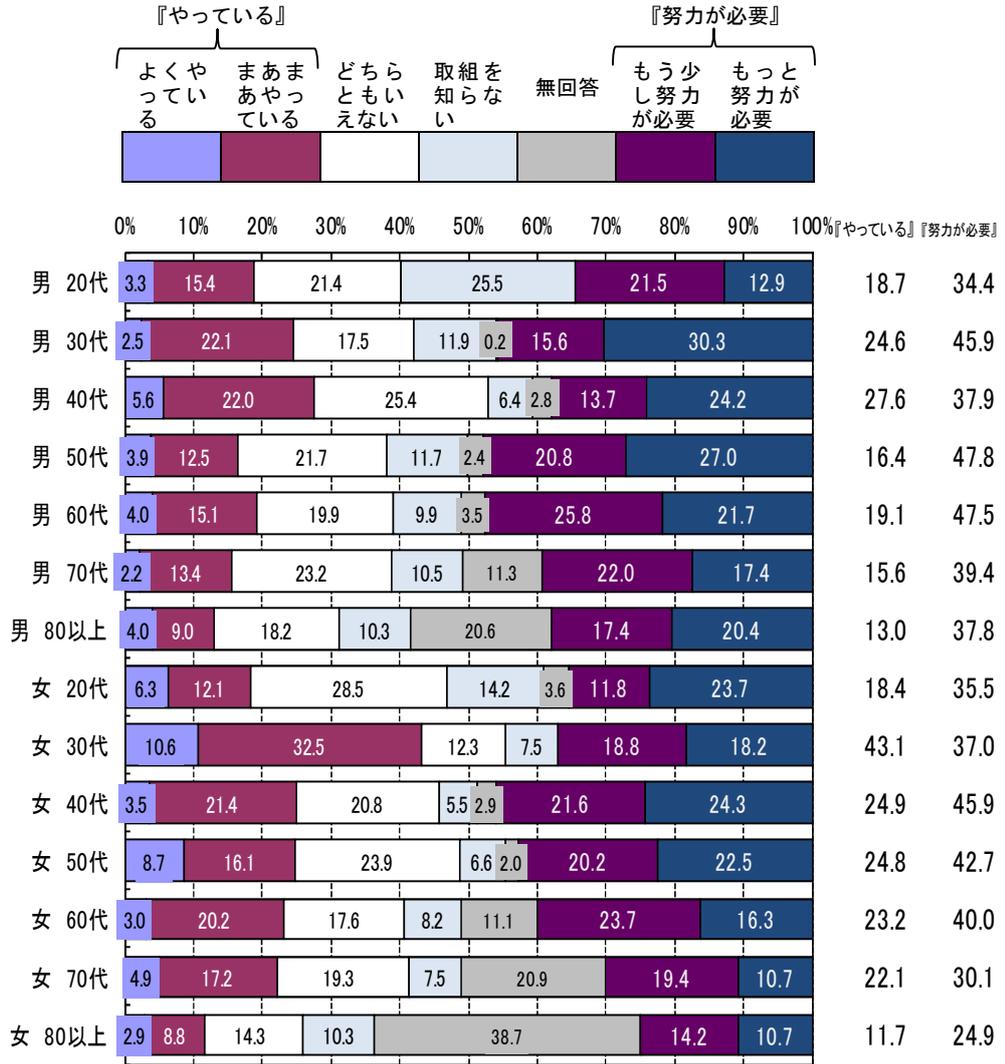
【性別】

『やっている』は女性の方が男性より5.5ポイント高い。



【性・年代別】

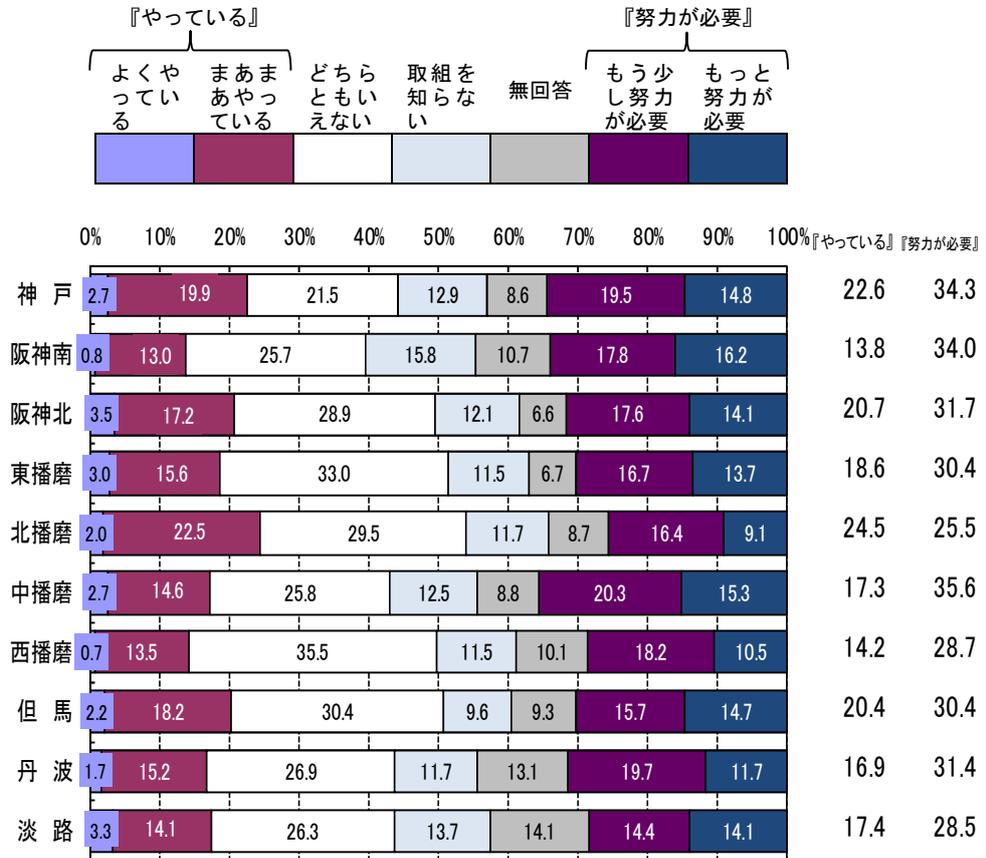
『やっている』は、男性は40代が最も高く（27.6%）、女性は30代が最も高い（43.1%）。



〔カ 出産や育児に関する相談機関の充実〕

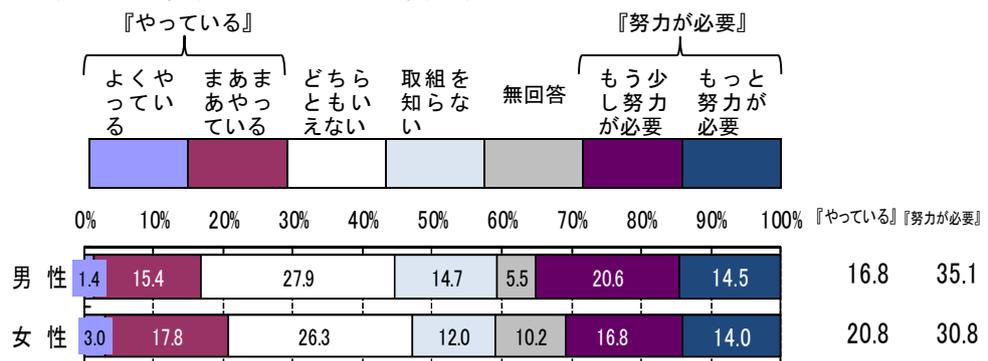
【地域別】

『やっている』は北播磨が最も高い（24.5%）。



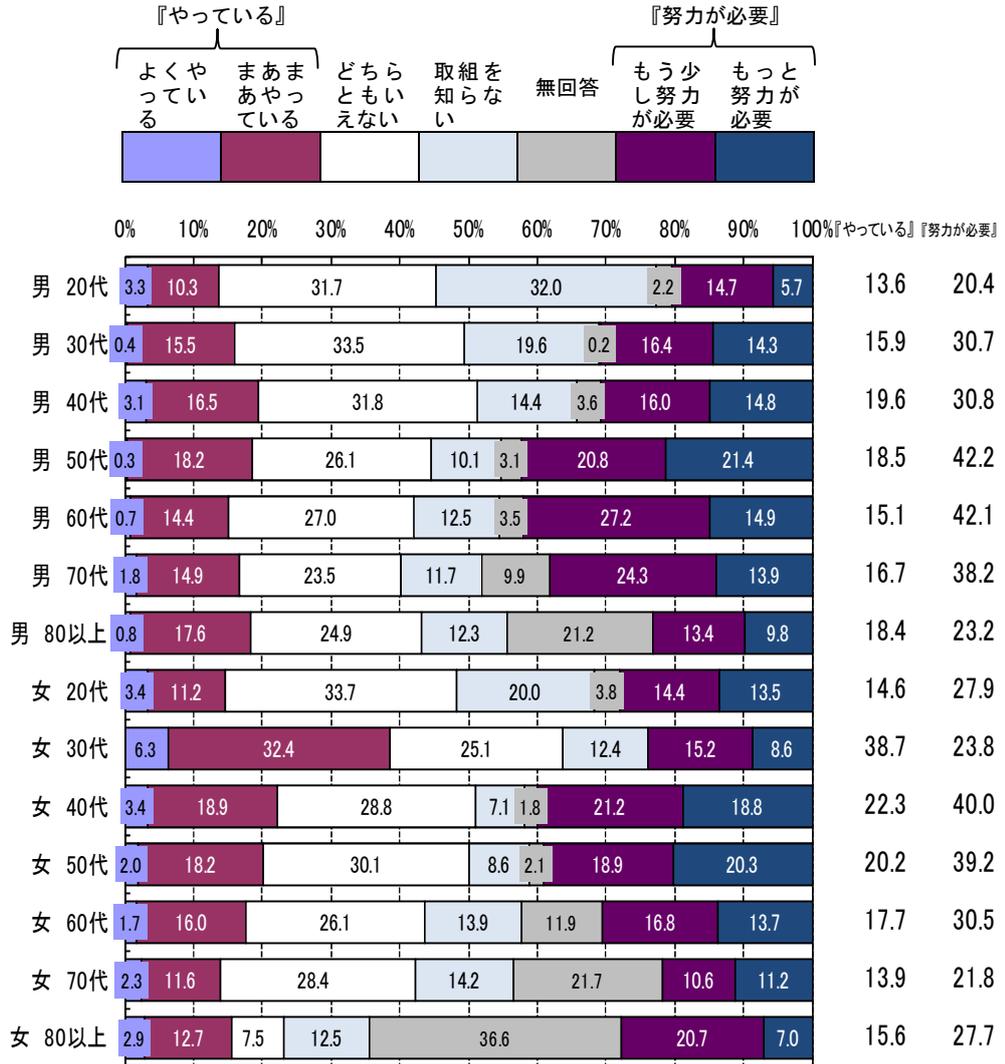
【性別】

『やっている』は女性の方が男性より4.0ポイント高い。



【性・年代別】

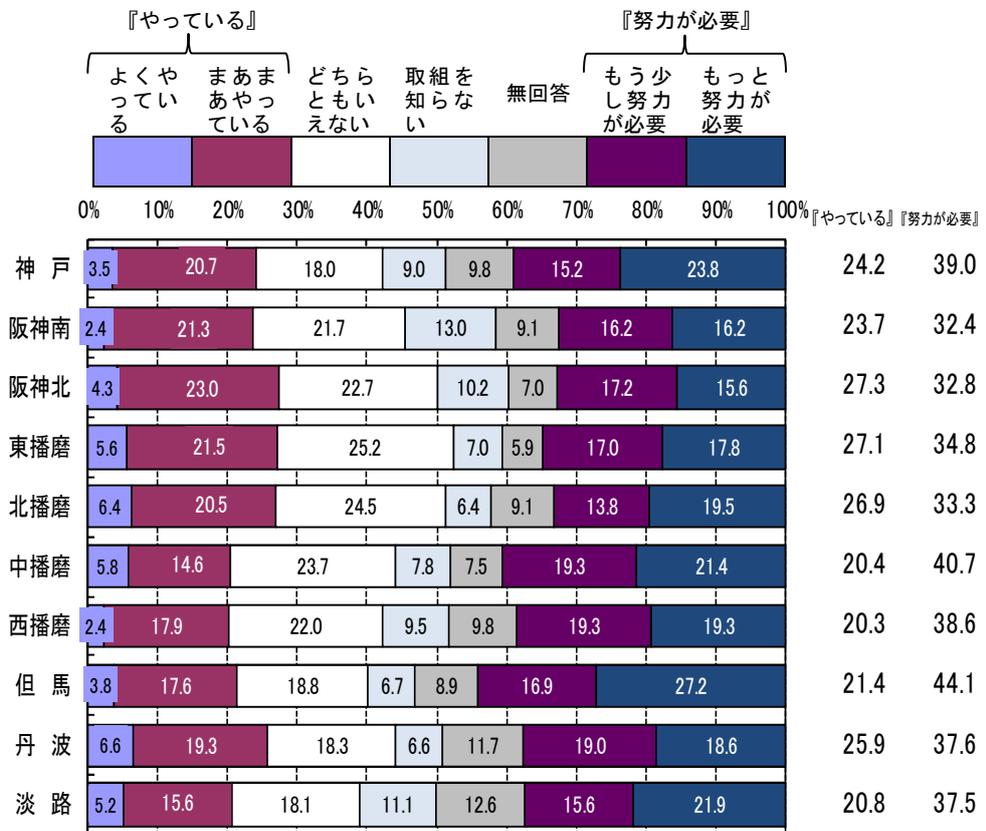
『やっている』は、男性は40代が最も高く（19.6%）、女性は30代が最も高い（38.7%）。



〔キ 小児医療体制の充実〕

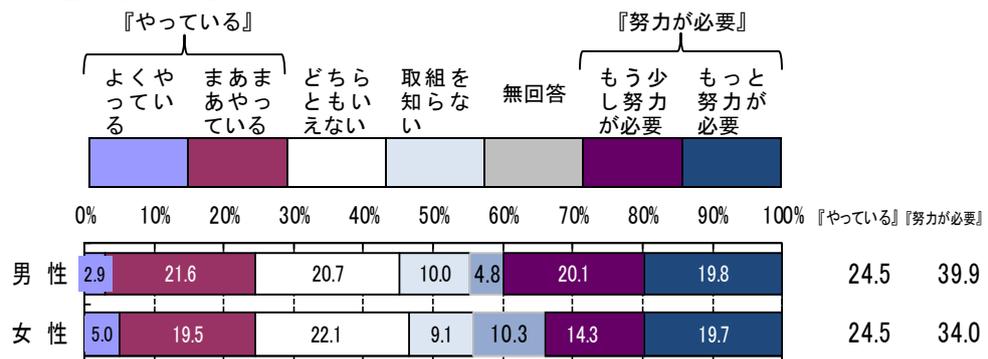
【地域別】

『やっている』は阪神北が最も高い（27.3%）。



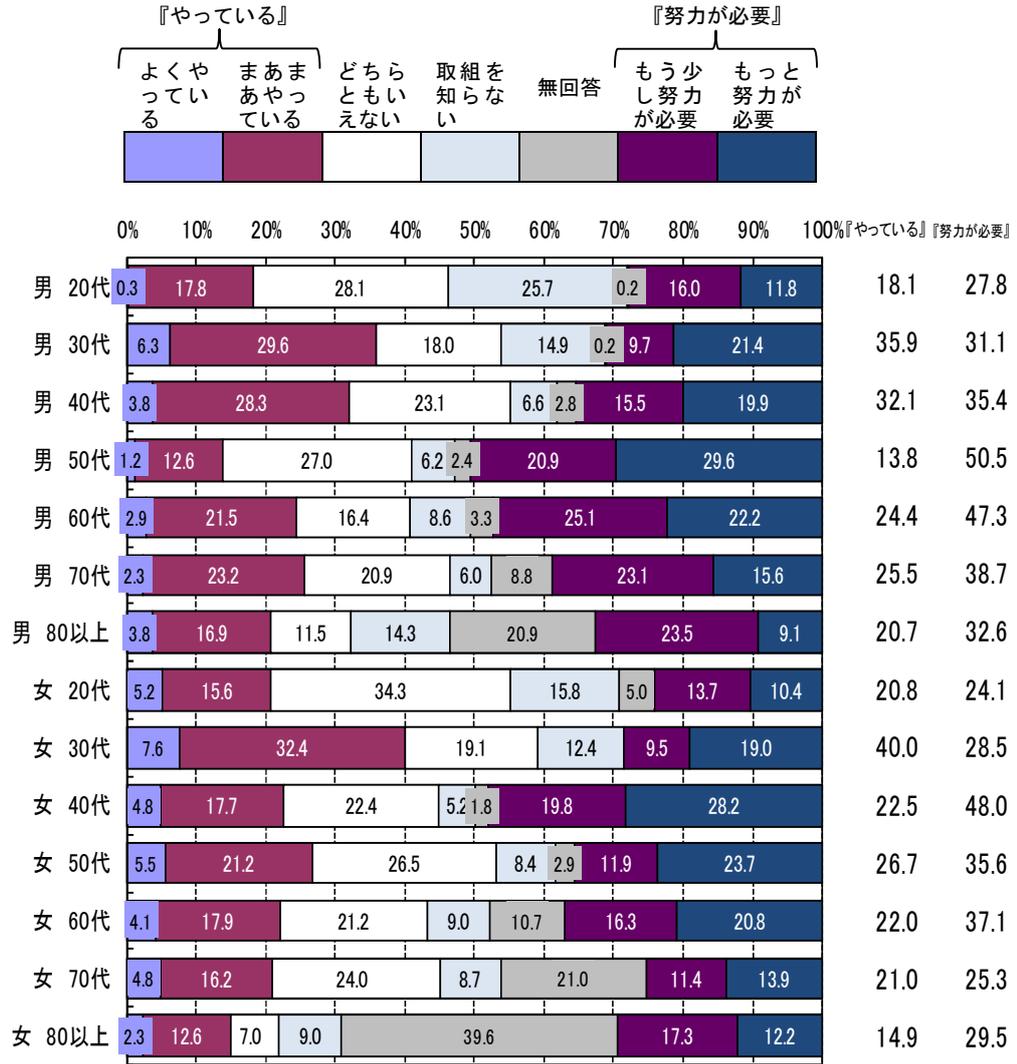
【性別】

『努力が必要』は男性の方が女性より 5.9ポイント高い。



【性・年代別】

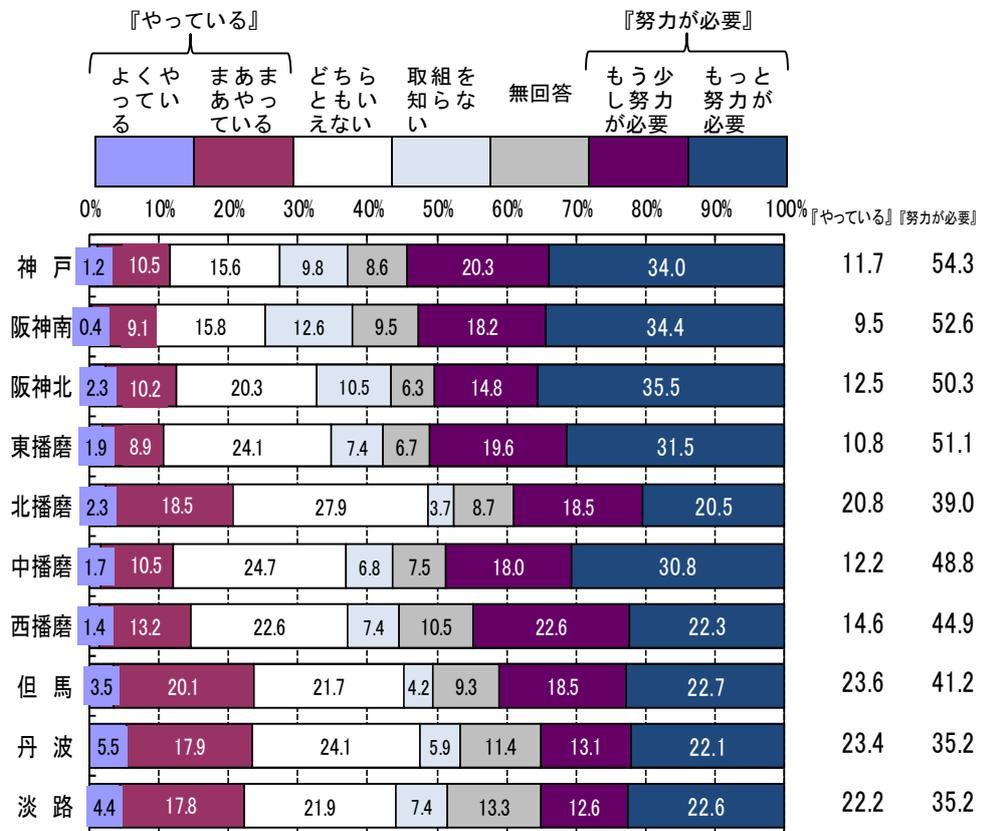
『やっている』は、男性は30代が最も高く（35.9%）、女性も30代が最も高い（40.0%）。



〔ク 保育所の増設・充実〕

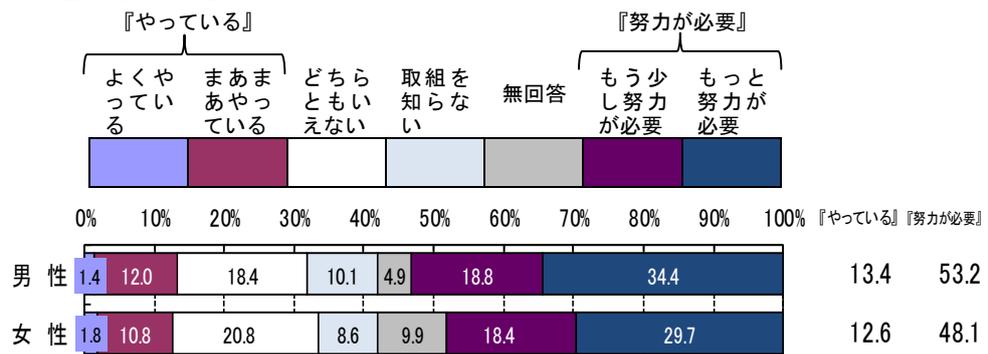
【地域別】

『やっている』は但馬が最も高い（23.6%）。



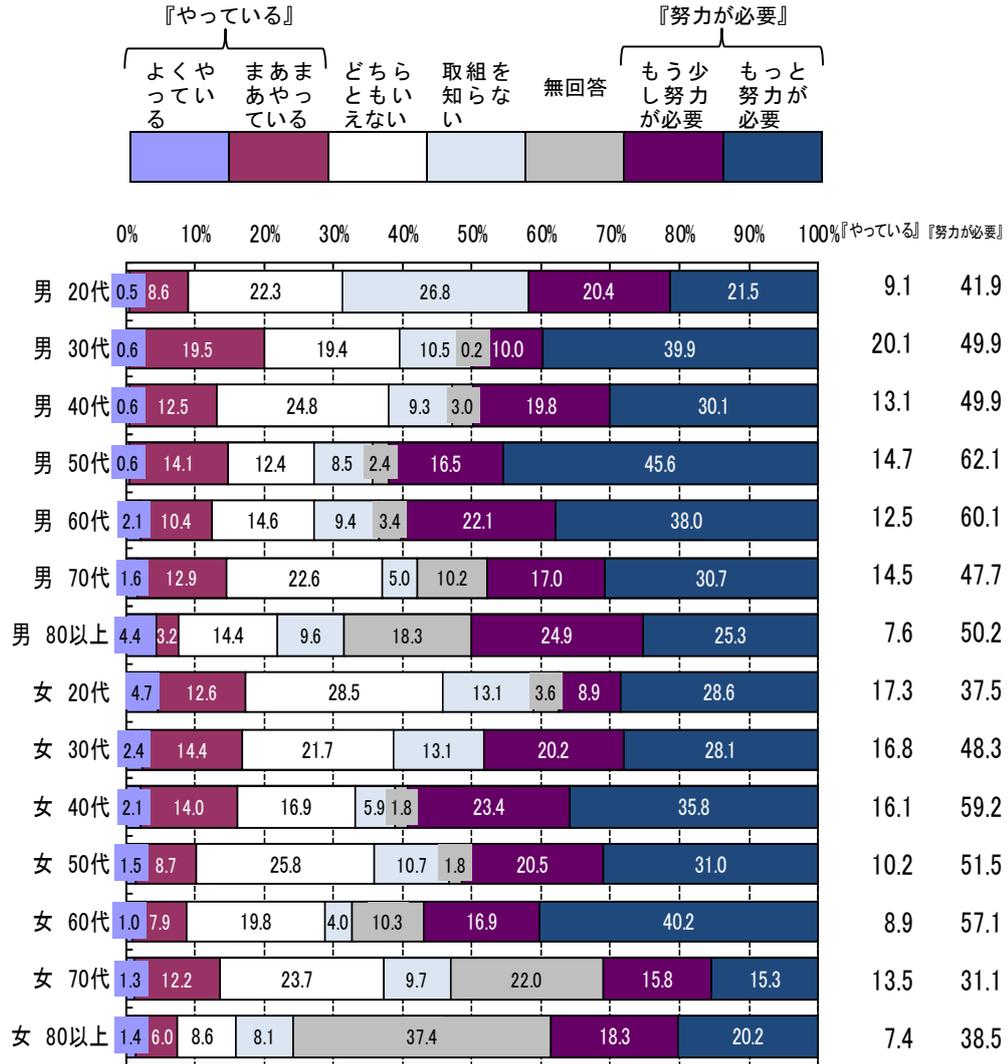
【性別】

『努力が必要』は男性の方が女性より5.1ポイント高い。



【性・年代別】

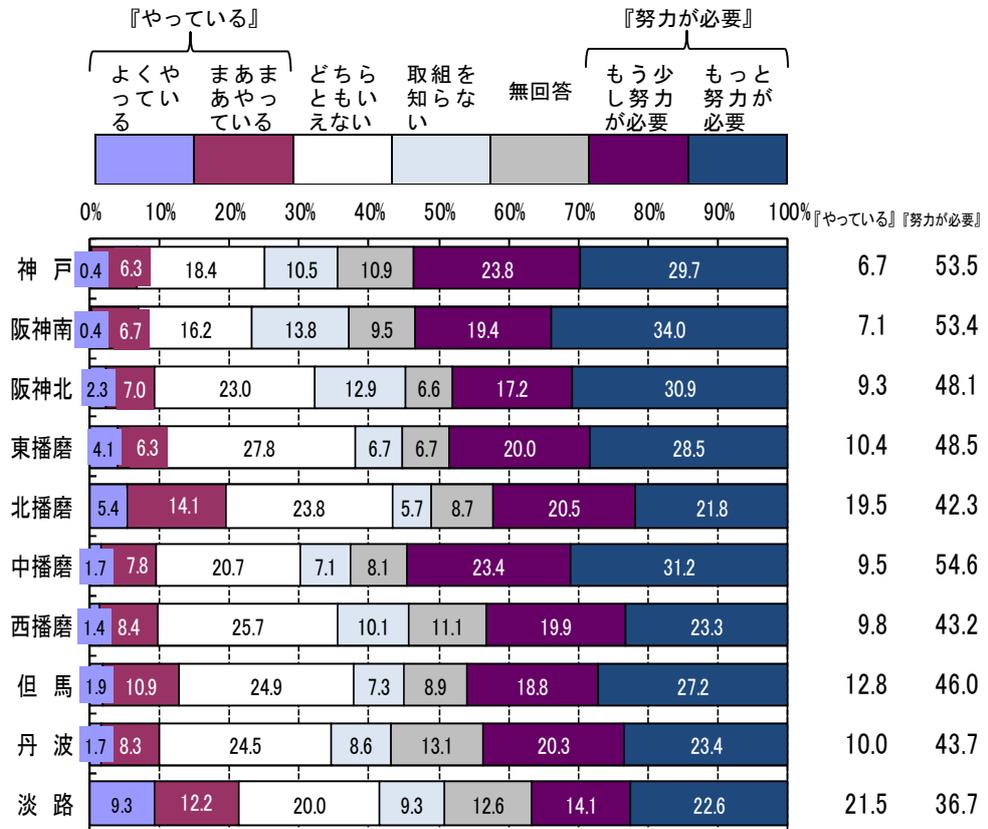
『やっている』は、男性は30代が最も高く（20.1%）、女性は20代が最も高い（17.3%）。



〔ケ 保育料の軽減・助成〕

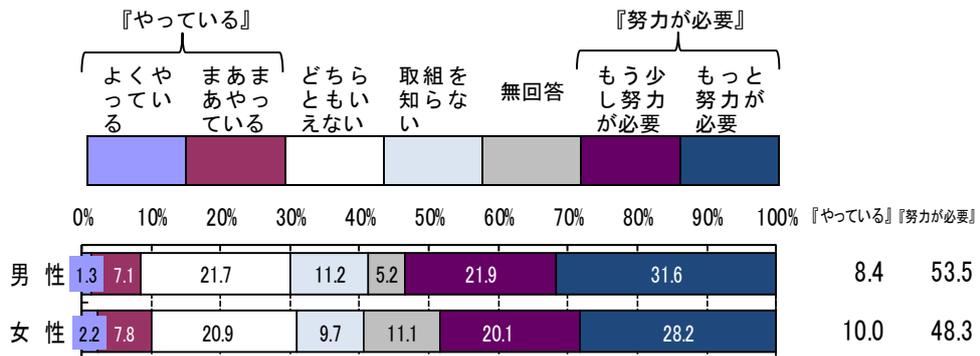
【地域別】

『やっている』は淡路が最も高い（21.5%）。



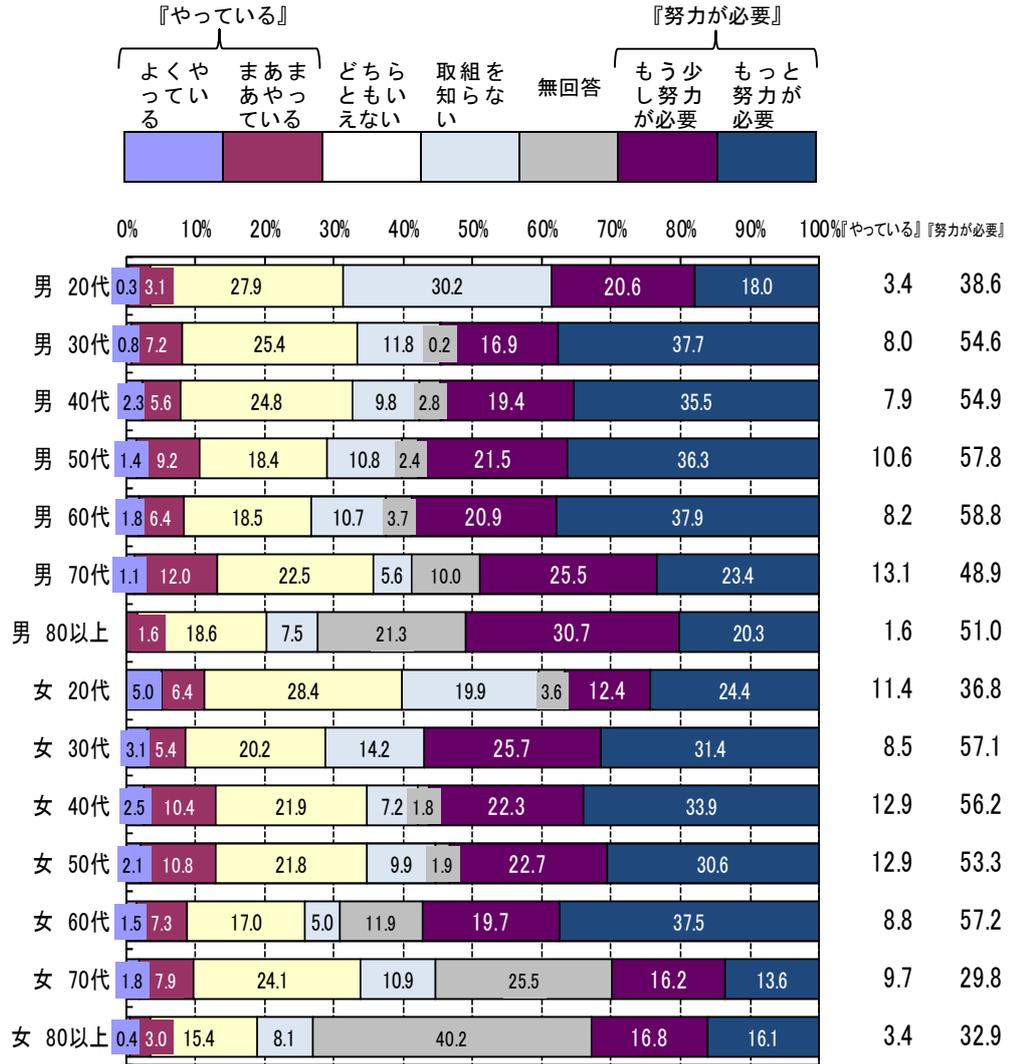
【性別】

『努力が必要』は男性の方が女性より5.2ポイント高い。



【性・年代別】

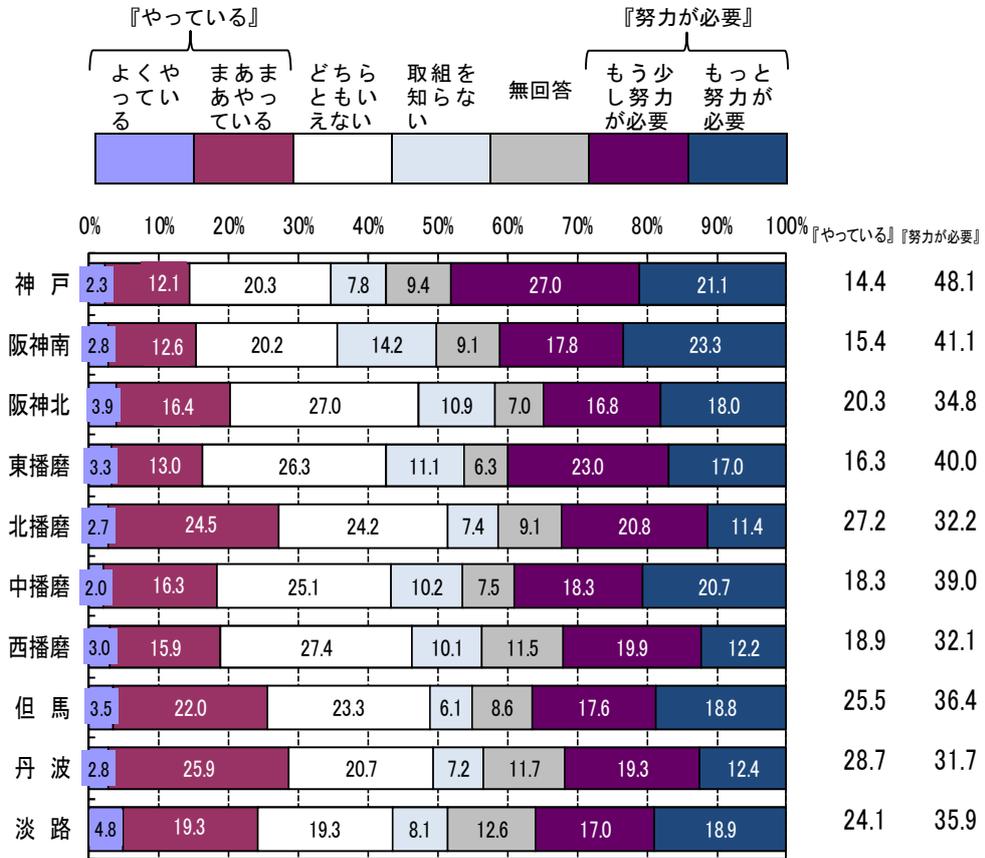
『やっている』は、男性は70代が最も高く（13.1%）、女性は40、50代が最も高い（12.9%）。



〔コ 放課後児童クラブ（学童保育）の増設・充実〕

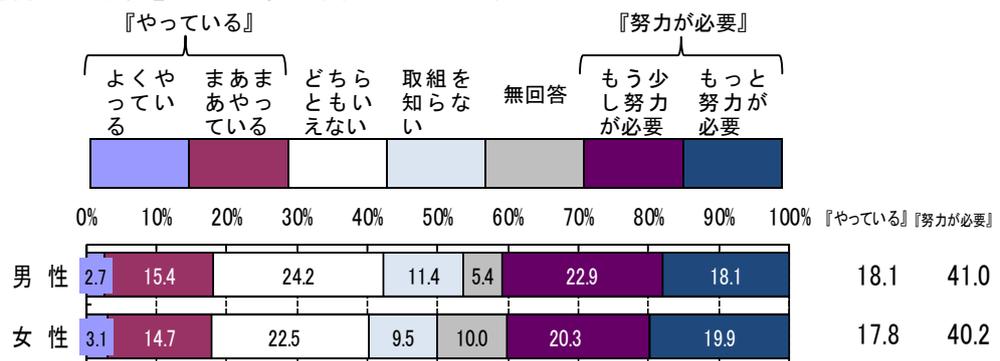
【地域別】

『やっている』は丹波が最も高い（28.7%）。



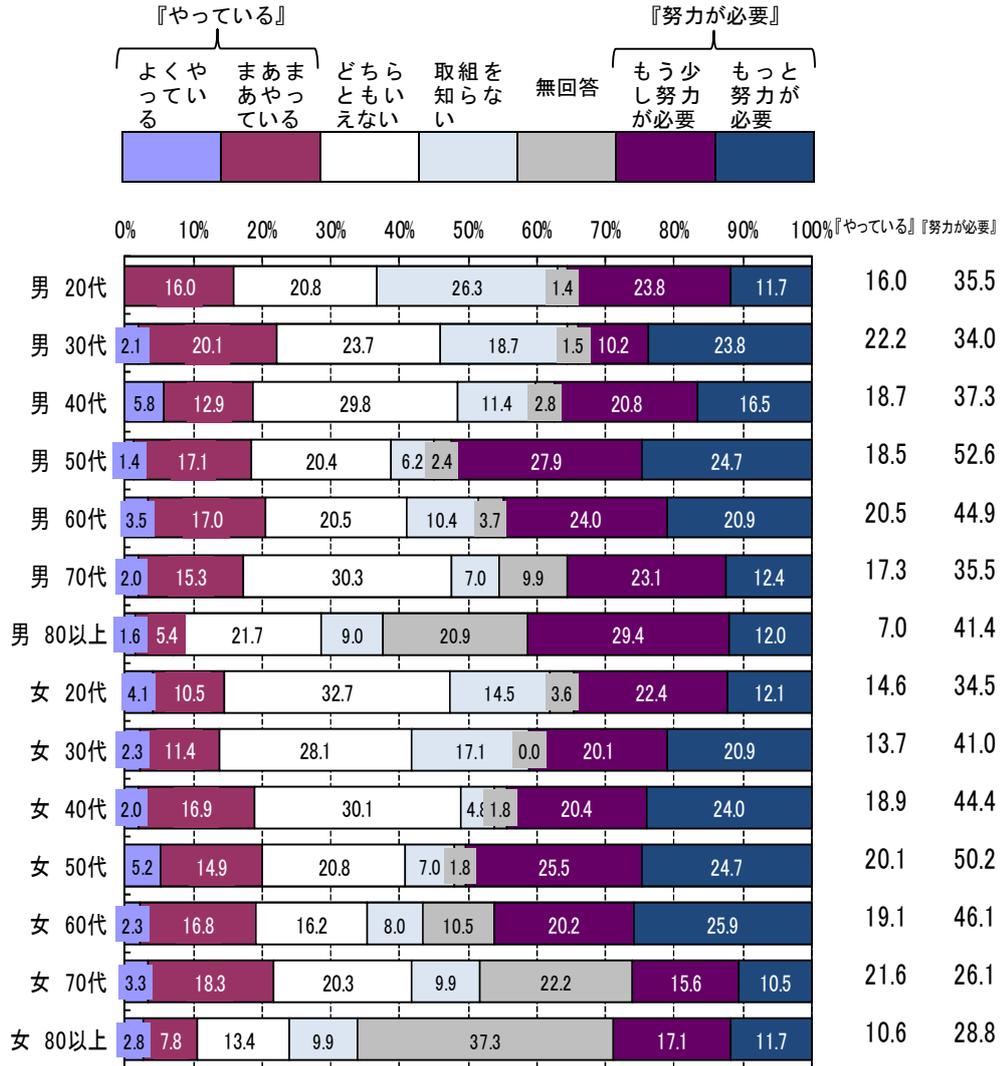
【性別】

『やっている』『努力が必要』ともに男女間の差はない。



【性・年代別】

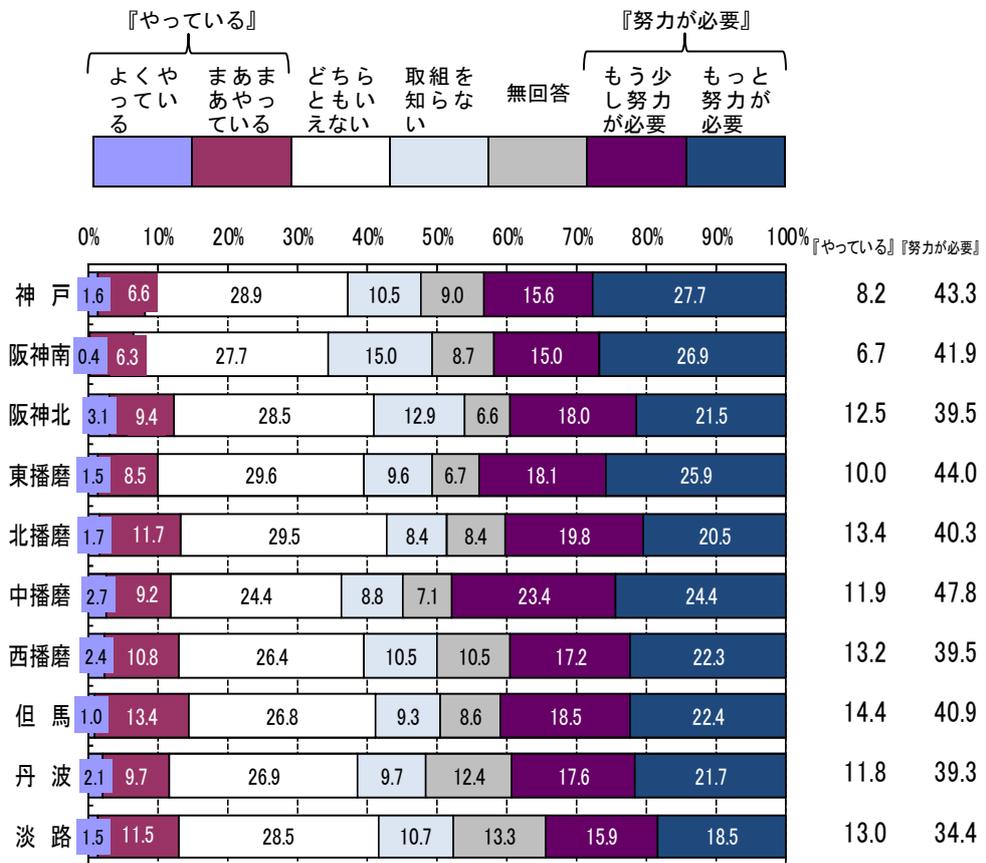
『やっている』は、男性は30代が最も高く（22.2%）、女性は70代が最も高い（21.6%）。



〔サ 奨学金など教育費用の軽減・助成〕

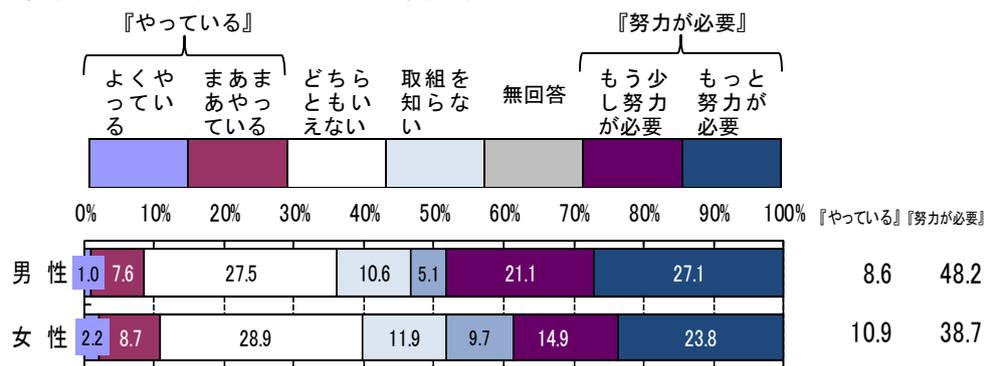
【地域別】

『やっている』は但馬が最も高い（14.4%）。



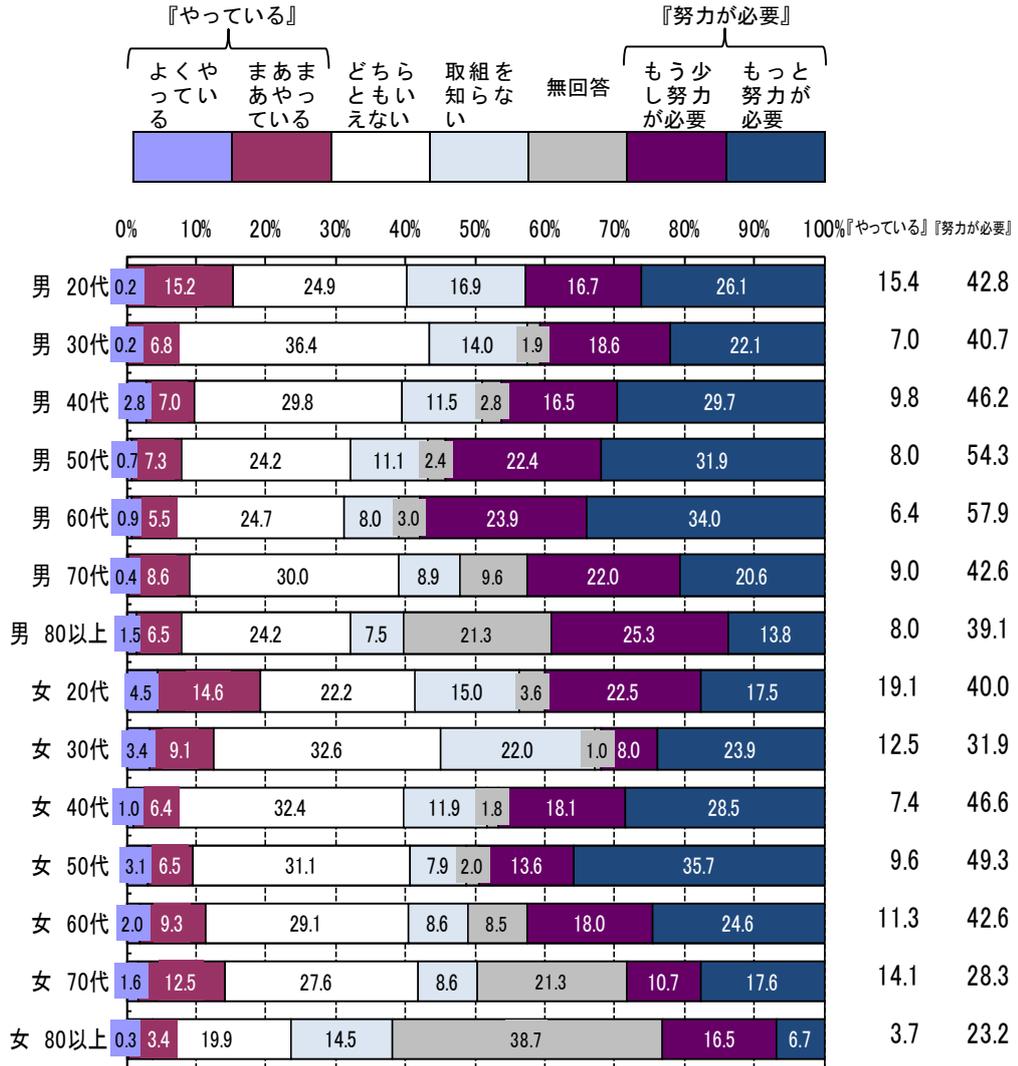
【性別】

『努力が必要』は男性の方が女性より9.5ポイント高い。



【性・年代別】

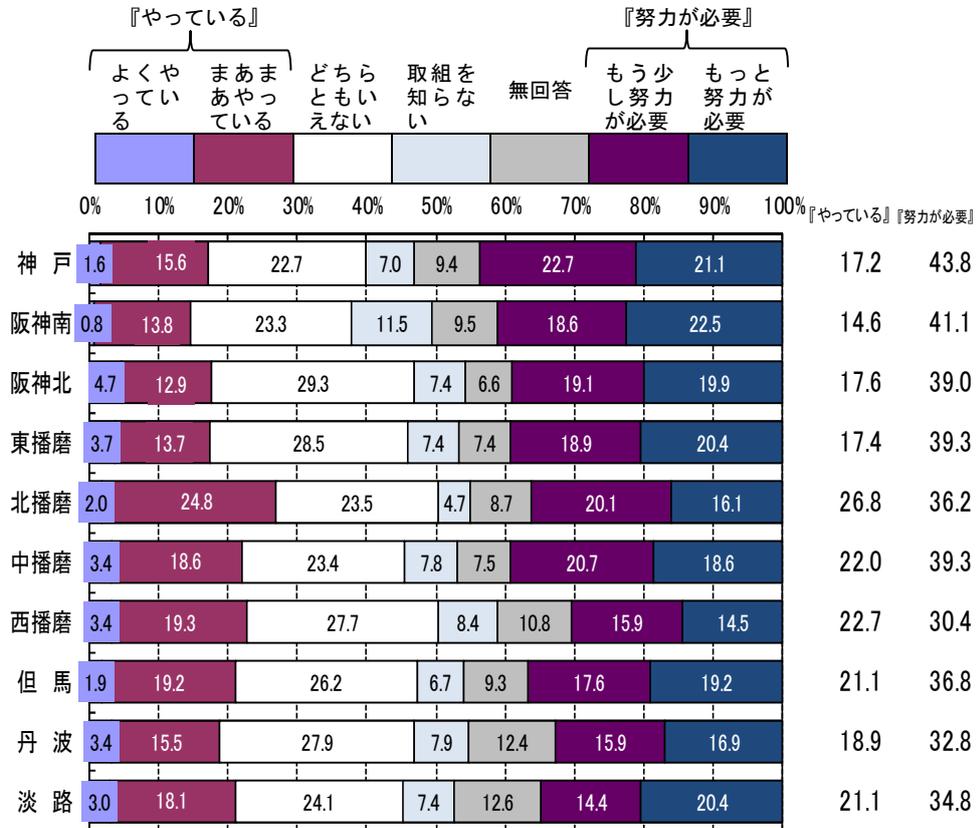
『やっている』は、男性は20代が最も高く（15.4%）、女性も20代が最も高い（19.1%）。



〔シ 児童手当等による経済的支援の充実〕

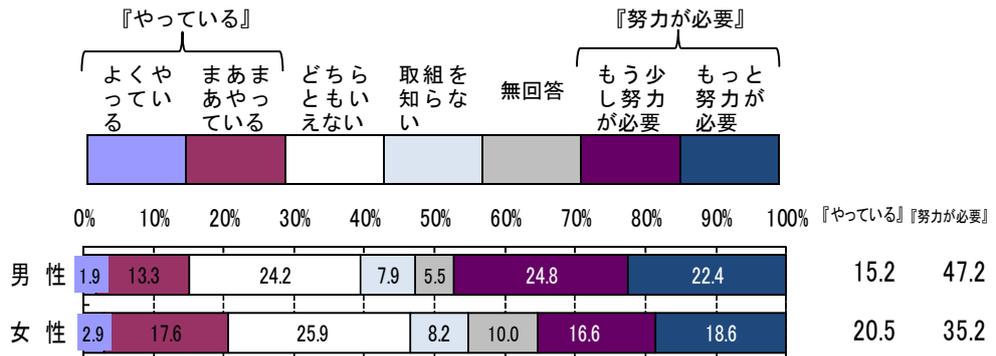
【地域別】

『やっている』は北播磨が最も高い（26.8%）。



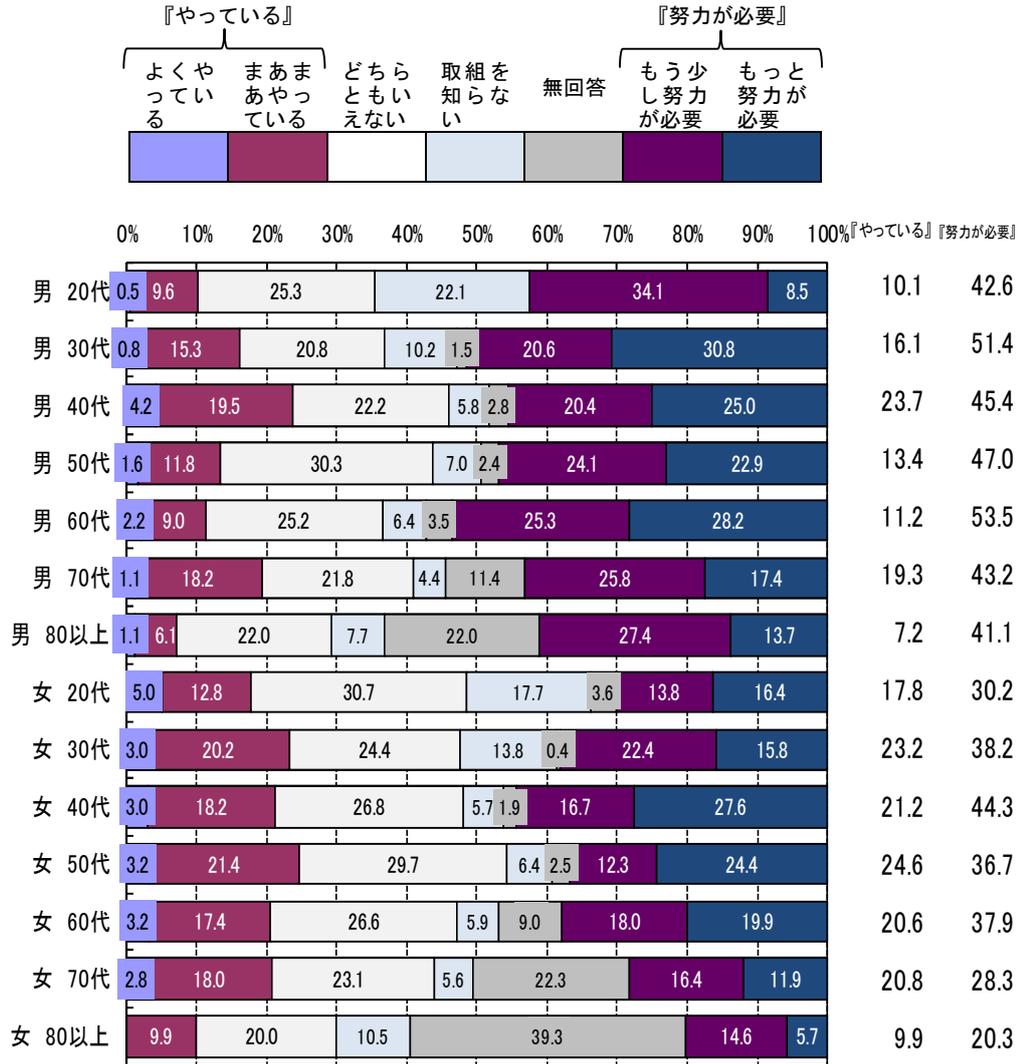
【性別】

『やっている』は女性の方が男性より5.3ポイント高い。



【性・年代別】

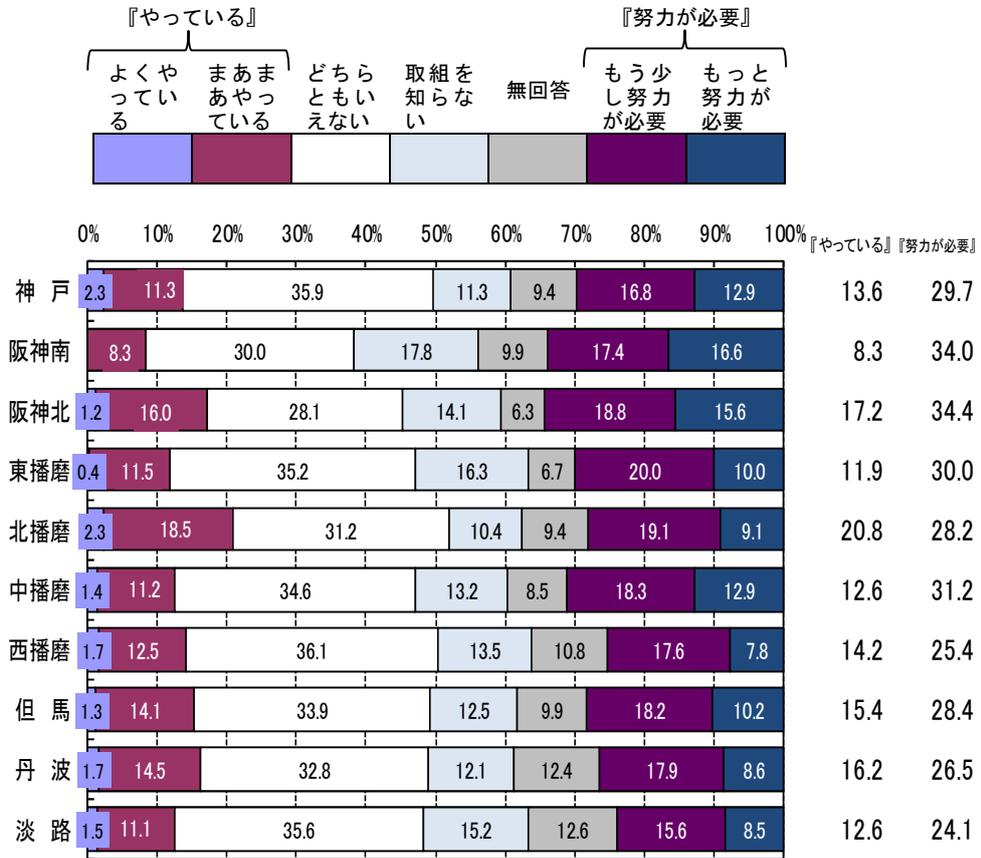
『やっている』は、男性は40代が最も高く（23.7%）、女性は50代が最も高い（24.6%）。



〔ス 子育てに関する情報の発信〕

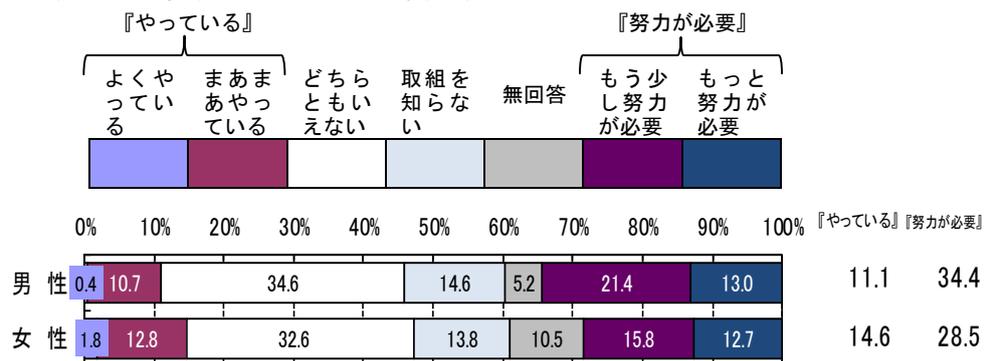
【地域別】

『やっている』は北播磨が最も高い（20.8%）。



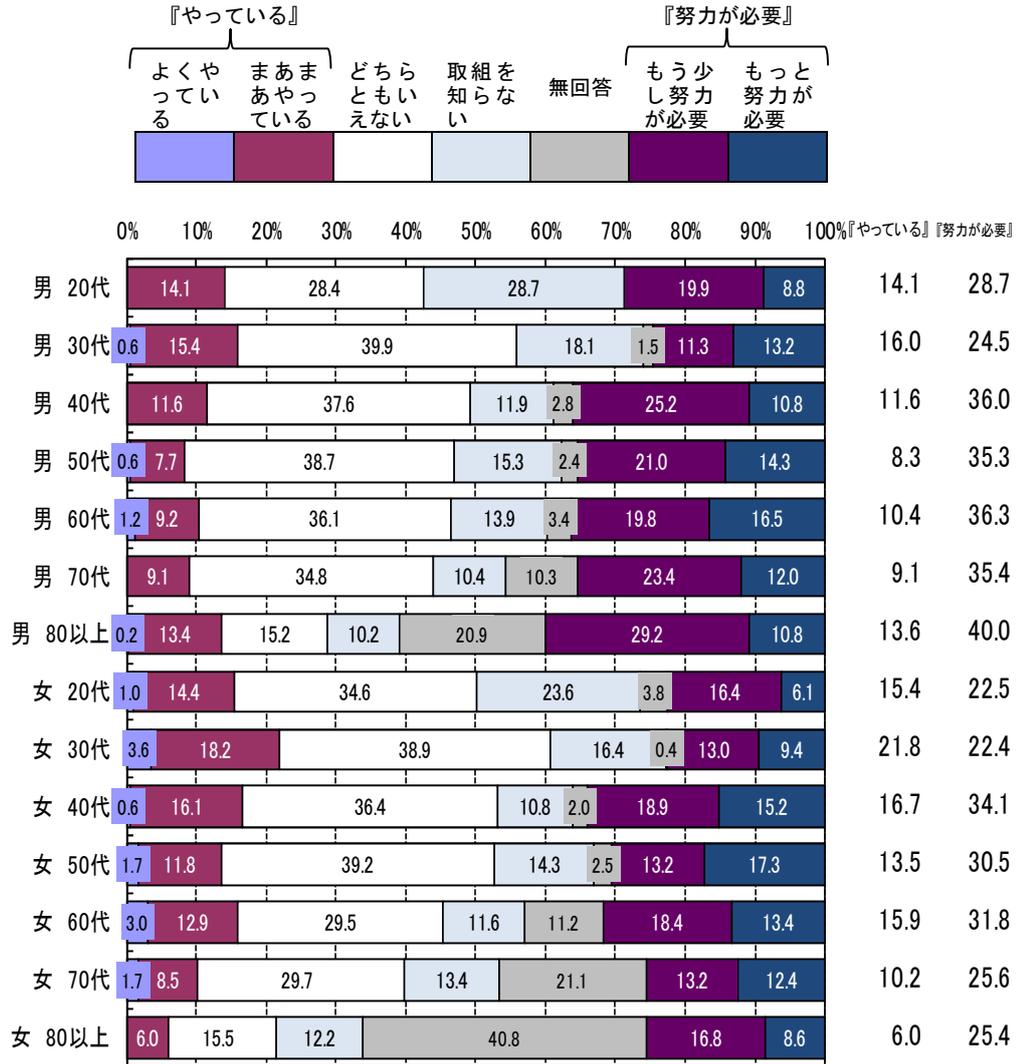
【性別】

『やっている』は女性の方が男性より3.5ポイント高い。



【性・年代別】

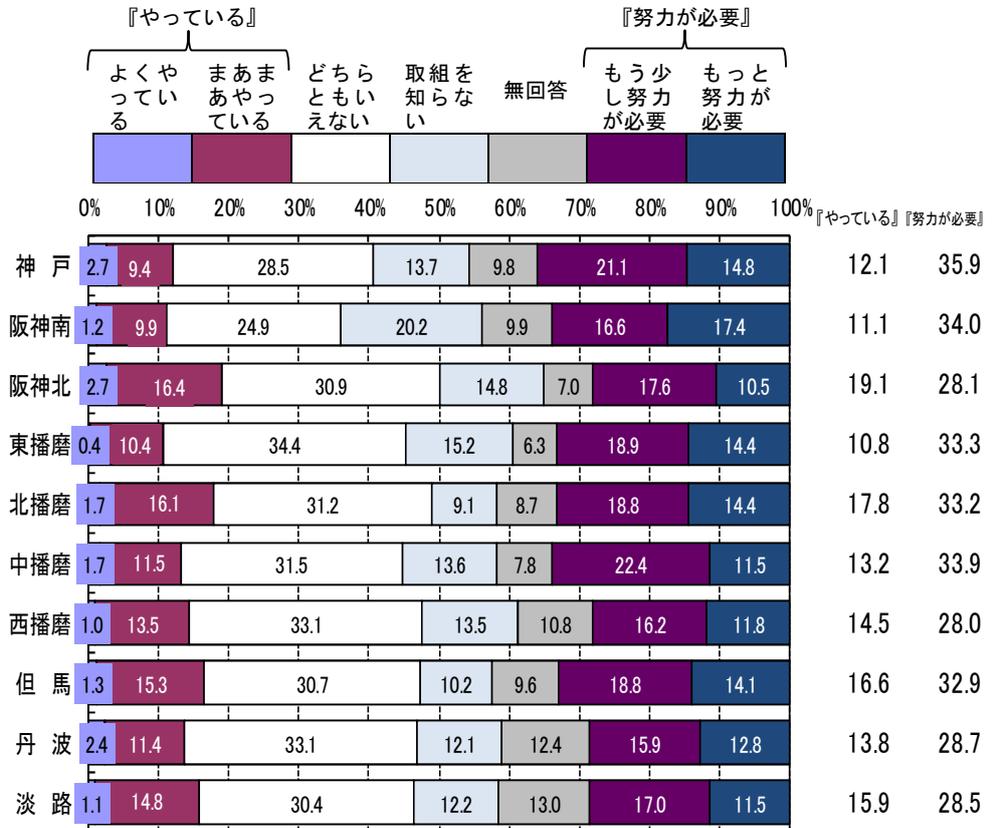
『やっている』は、男性は30代が最も高く（16.0%）、女性も30代が最も高い（21.8%）。



〔セ 子どもと一緒に集まれる場づくり〕

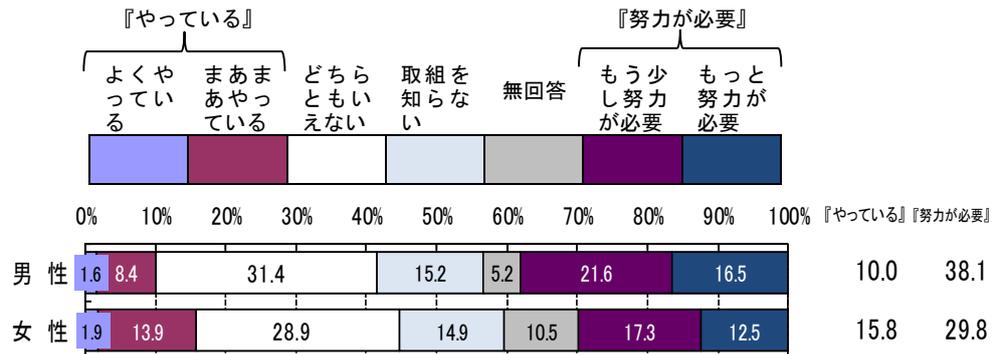
【地域別】

『やっている』は阪神北が最も高い（19.1%）。



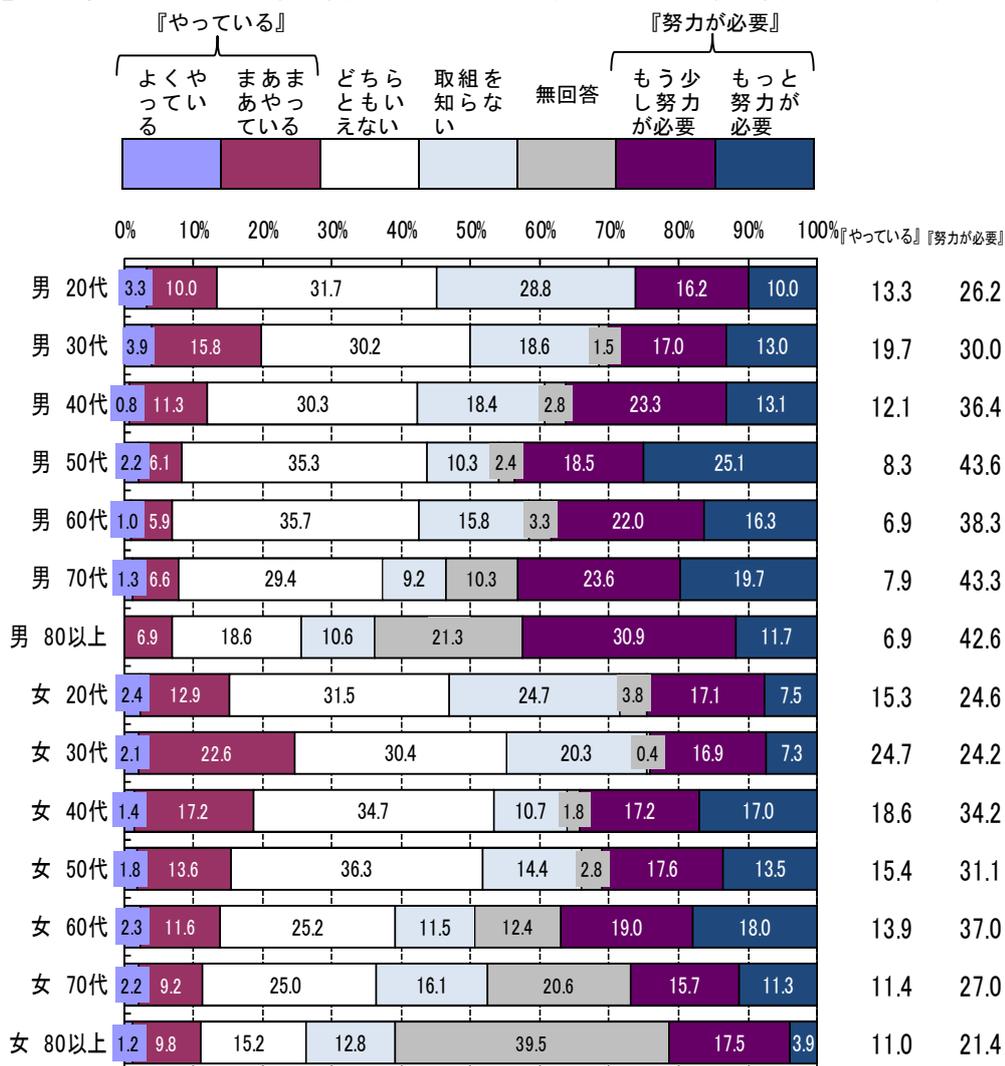
【性別】

『やっている』は女性の方が男性より5.8ポイント高い。



【性・年代別】

『やっている』は、男性は30代が最も高く（19.7%）、女性も30代が最も高い（24.7%）。



4 毎年調査項目

問14 今の生活全般での満足度

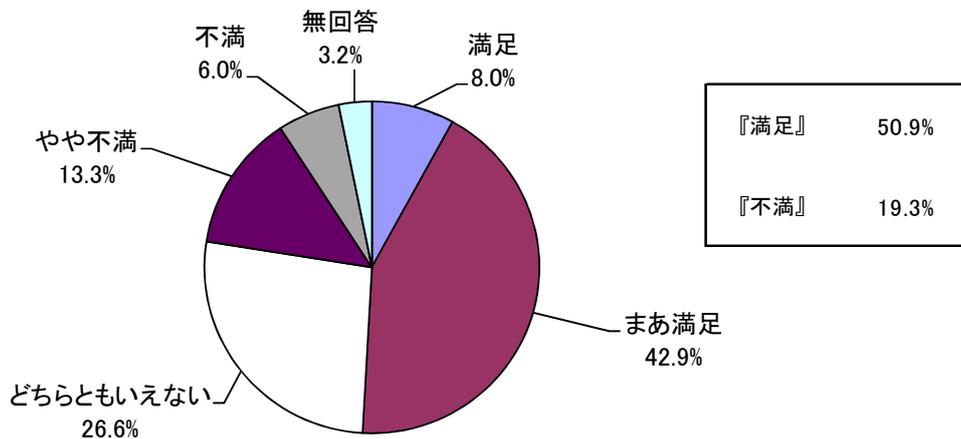
問14

あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | |

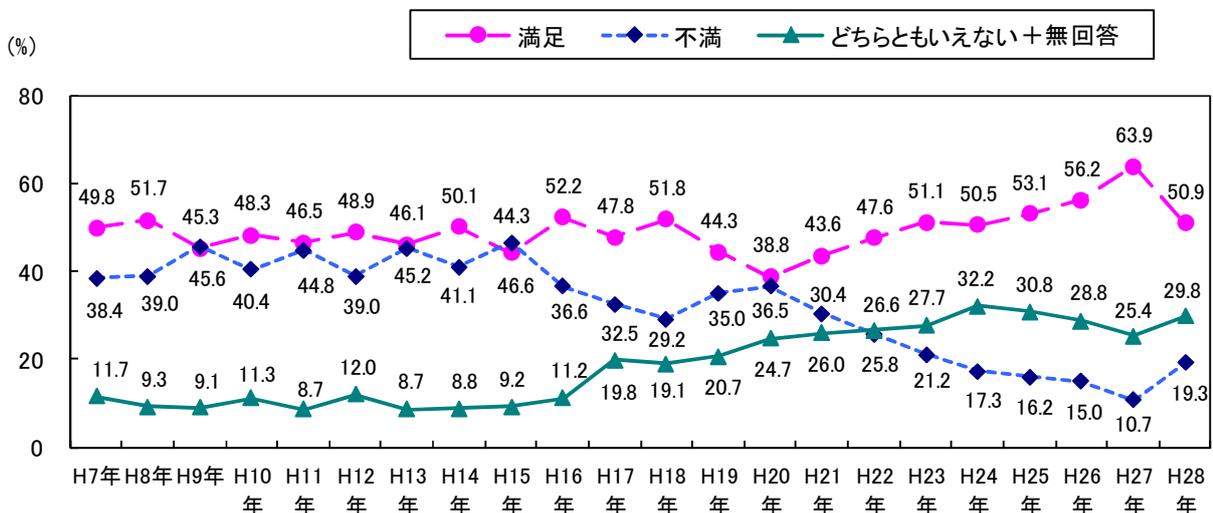
【全 県】

「満足(8.0%)」と「まあ満足(42.9%)」を合わせた『満足(50.9%)』が、「不満(6.0%)」と「やや不満(13.3%)」を合わせた『不満(19.3%)』を31.6ポイント上回った。



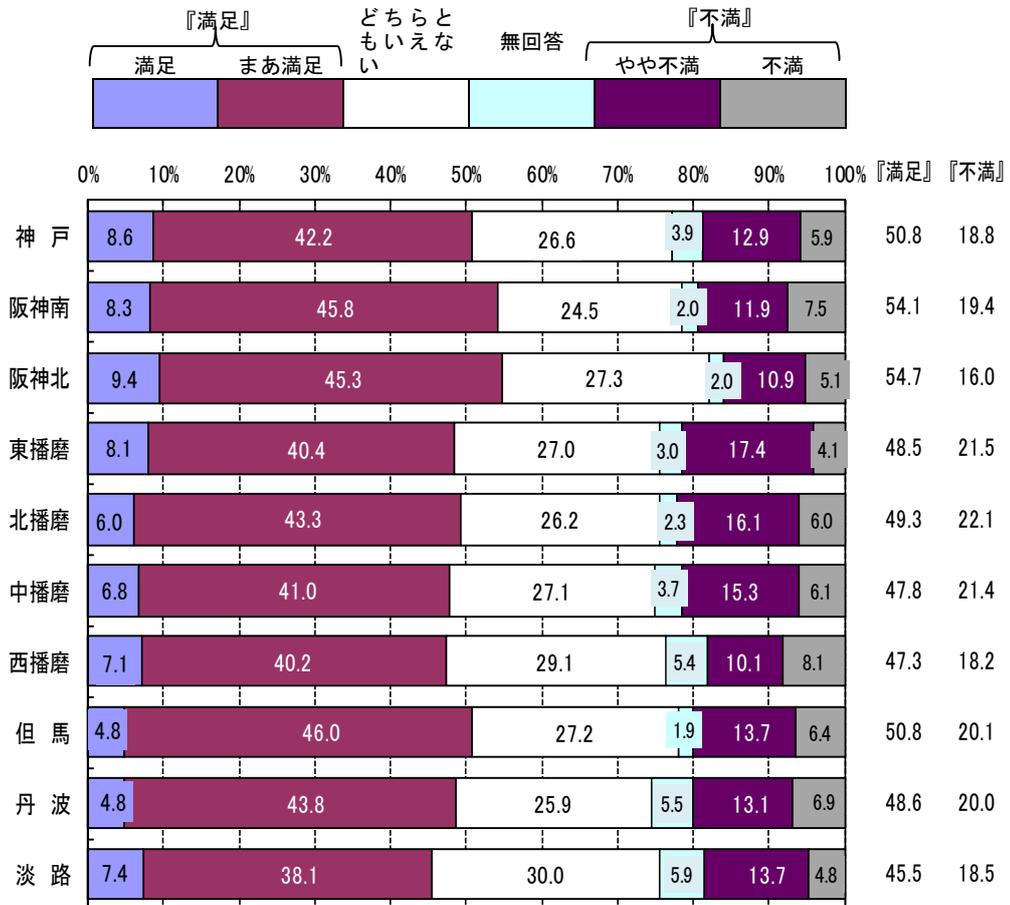
【経年比較】

『満足(50.9%)』は、前年より13.0ポイント減少し、4年ぶりに減少に転じた。『不満(19.3%)』は8.6ポイント増加し、8年ぶりに増加に転じた。



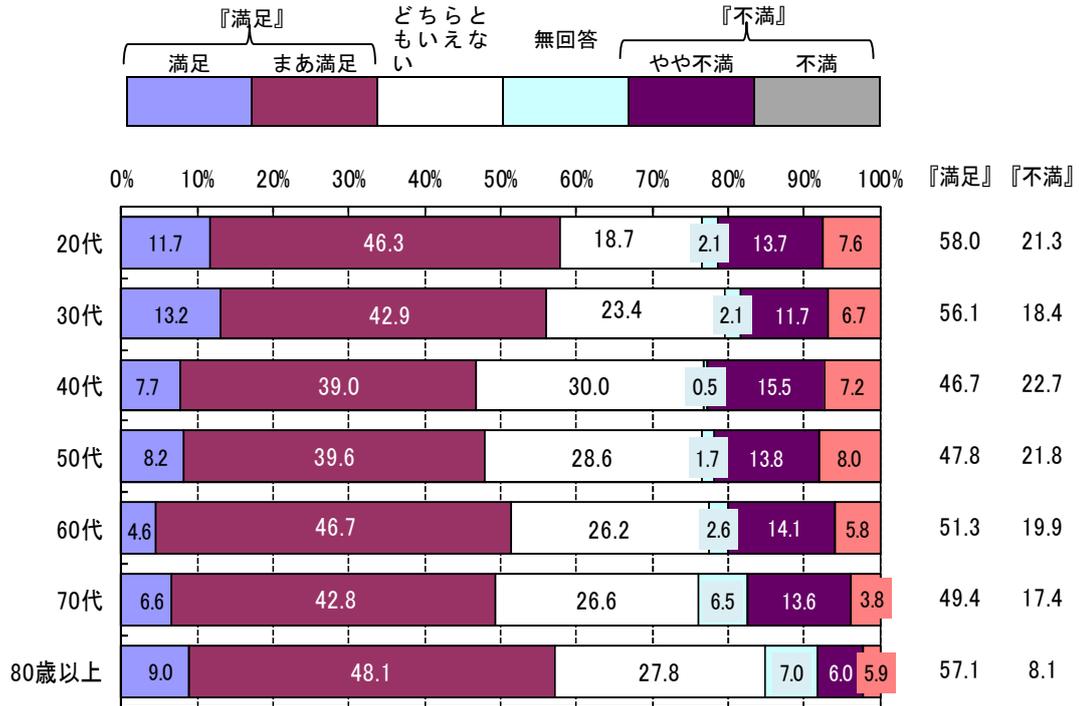
【地域別】

阪神北(54.7%)が最も高く、阪神南(54.1%)とともに全県の満足度(50.9%)を上回った。



【年代別】

40代の『満足(46.7%)』が前年より最も減少し(19.7ポイント減)、60代の『不満(19.9%)』が最も増加した(10.6ポイント増)。

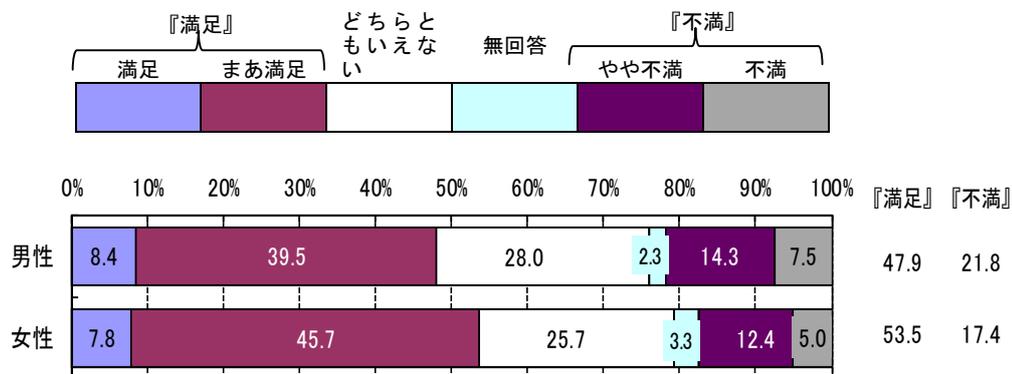


(%)

区分	『満足』		H28-H27	『不満』		H28-H27
	H28	H27		H28	H27	
全県	50.9	63.9	-13.0	19.3	10.7	8.6
20代	58.0	62.8	-4.8	21.3	11.8	9.5
30代	56.1	65.2	-9.1	18.4	10.2	8.2
40代	46.7	66.4	-19.7	22.7	13.5	9.2
50代	47.8	60.9	-13.1	21.8	12.1	9.7
60代	51.3	62.9	-11.6	19.9	9.3	10.6
70代	49.4	65.6	-16.2	17.4	10.4	7.0
80歳以上	57.1	64.8	-7.7	8.1	7.7	0.4

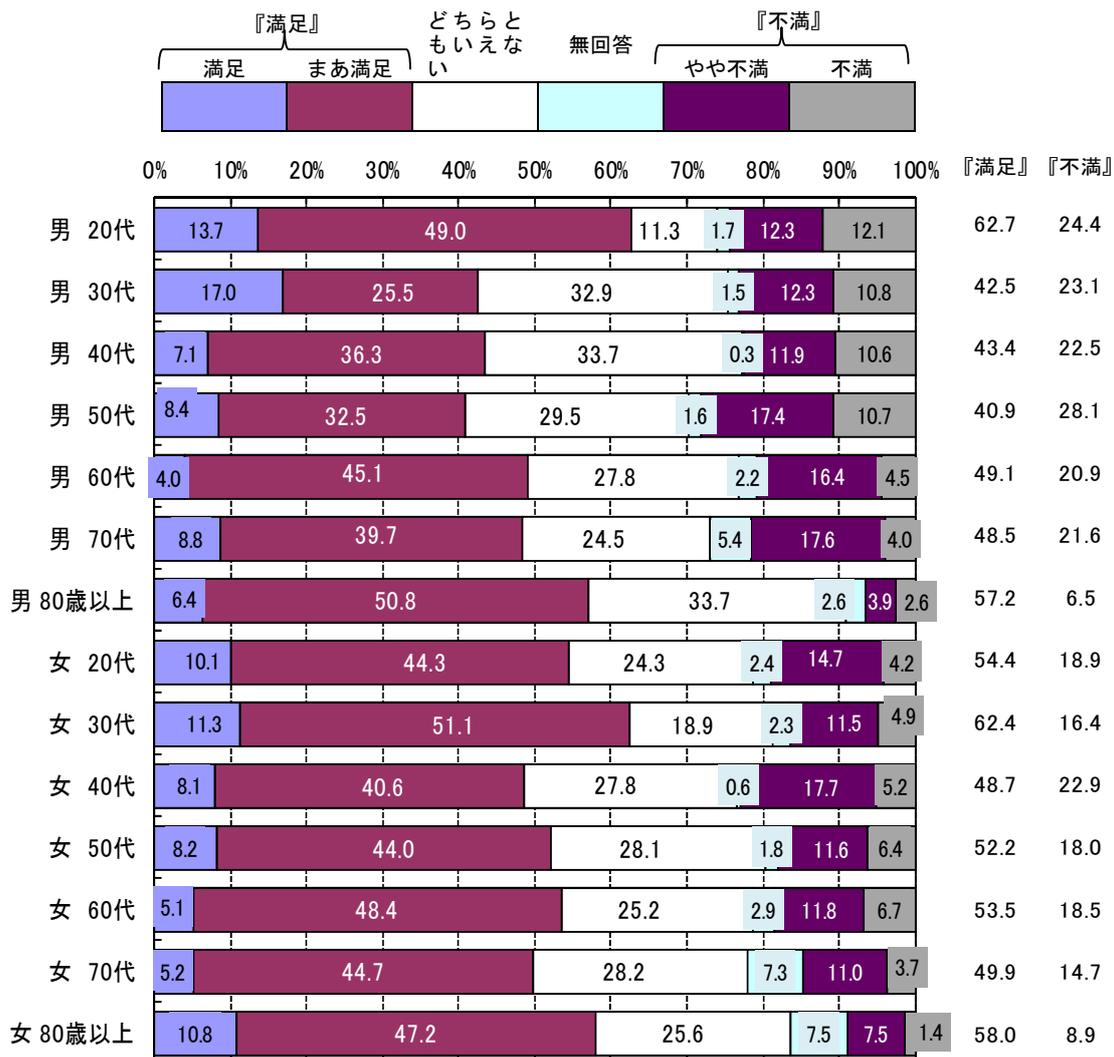
【性別】

『満足』は女性の方が男性より5.6ポイント高い。



【性・年代別】

男女ともに、全ての年代で『満足』が『不満』を上回り、最も『満足』の割合が高いのは、男性は20代(62.7%)、女性は30代(62.4%)となった。



問15 今の生活の個別側面での満足度

問15

あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

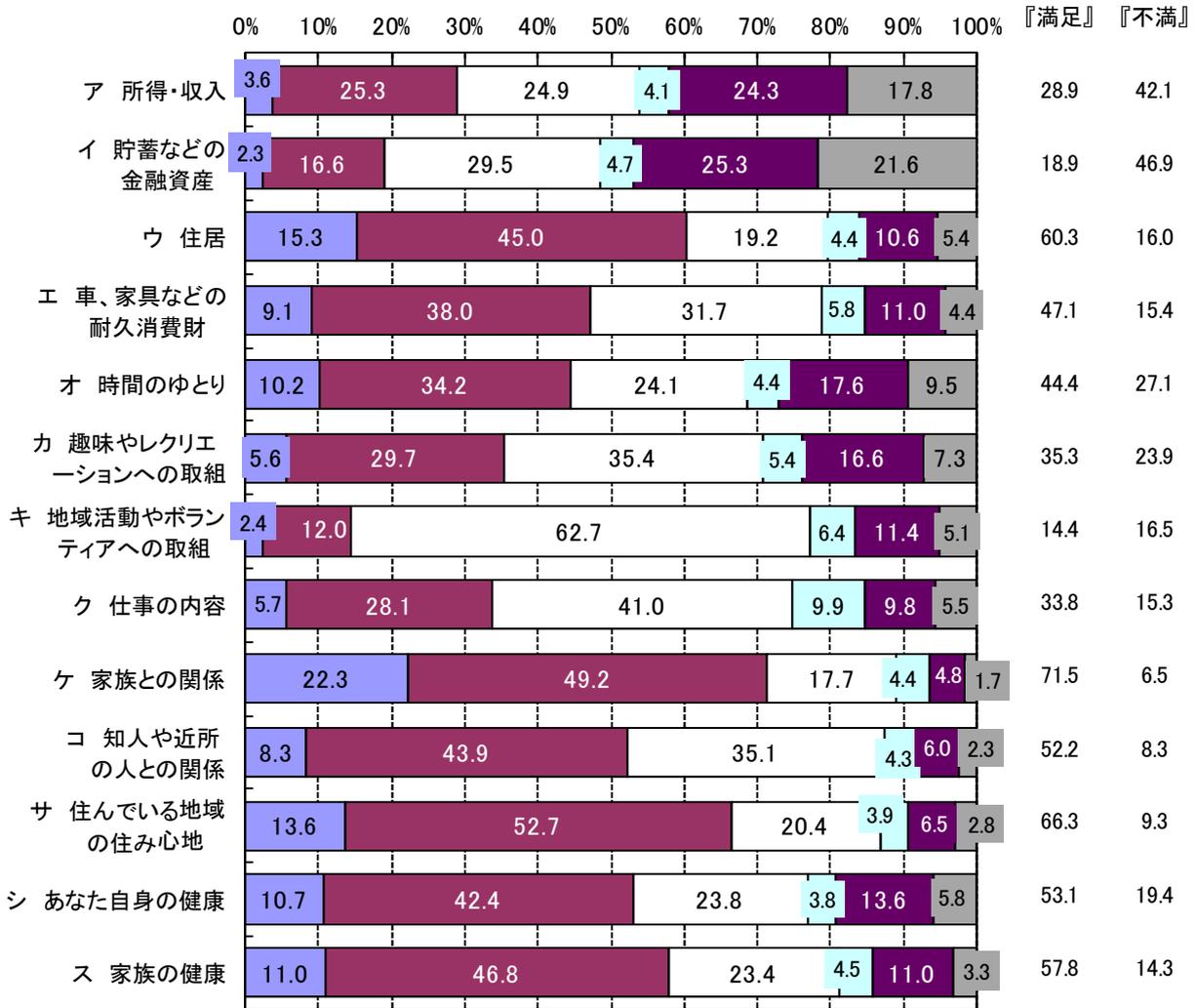
- ア 所得・収入
- イ 貯蓄などの金融資産
- ウ 住居
- エ 車、家具などの耐久消費財
- オ 時間のゆとり
- カ 趣味やレクリエーションへの取組
- キ 地域活動やボランティアへの取組
- ク 仕事の内容
- ケ 家族との関係
- コ 知人や近所の人との関係
- サ 住んでいる地域の住み心地
- シ あなた自身の健康
- ス 家族の健康

- 1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全 県】

「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』は、〔ケ 家族との関係(71.5%)〕が最も高く、〔サ 住んでいる地域の住み心地(66.3%)〕、〔ウ 住居(60.3%)〕、〔ス 家族の健康(57.8%)〕の順で続いている。

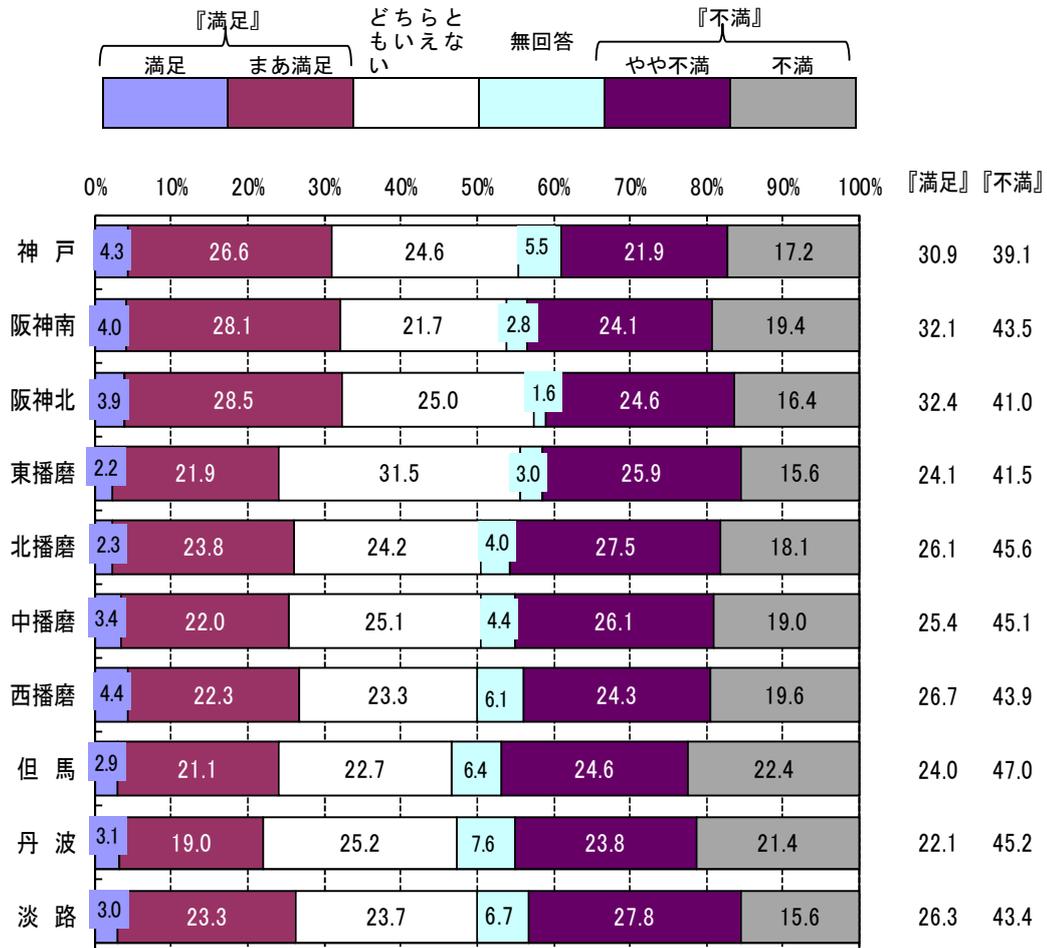
「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は、〔イ 貯蓄などの金融資産(46.9%)〕、〔ア 所得・収入(42.1%)〕、〔キ 地域活動やボランティアへの取組(16.5%)〕がいずれも『満足』を上回った。



〔ア 所得・収入〕

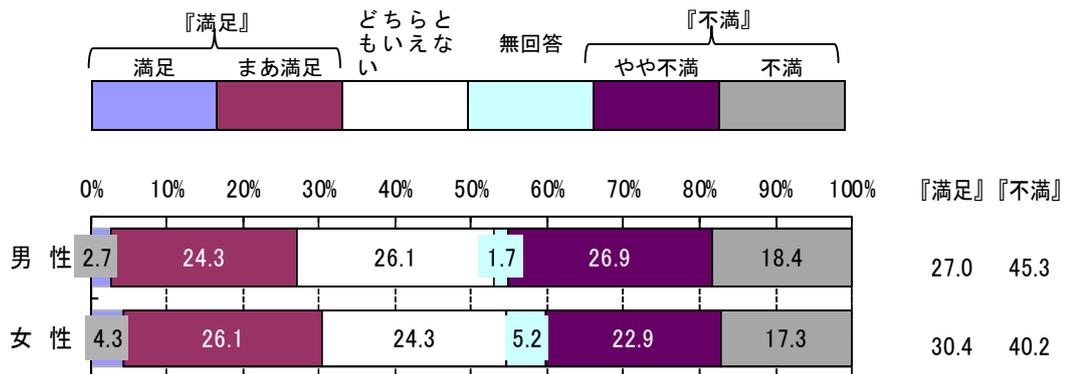
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い（32.4%）。



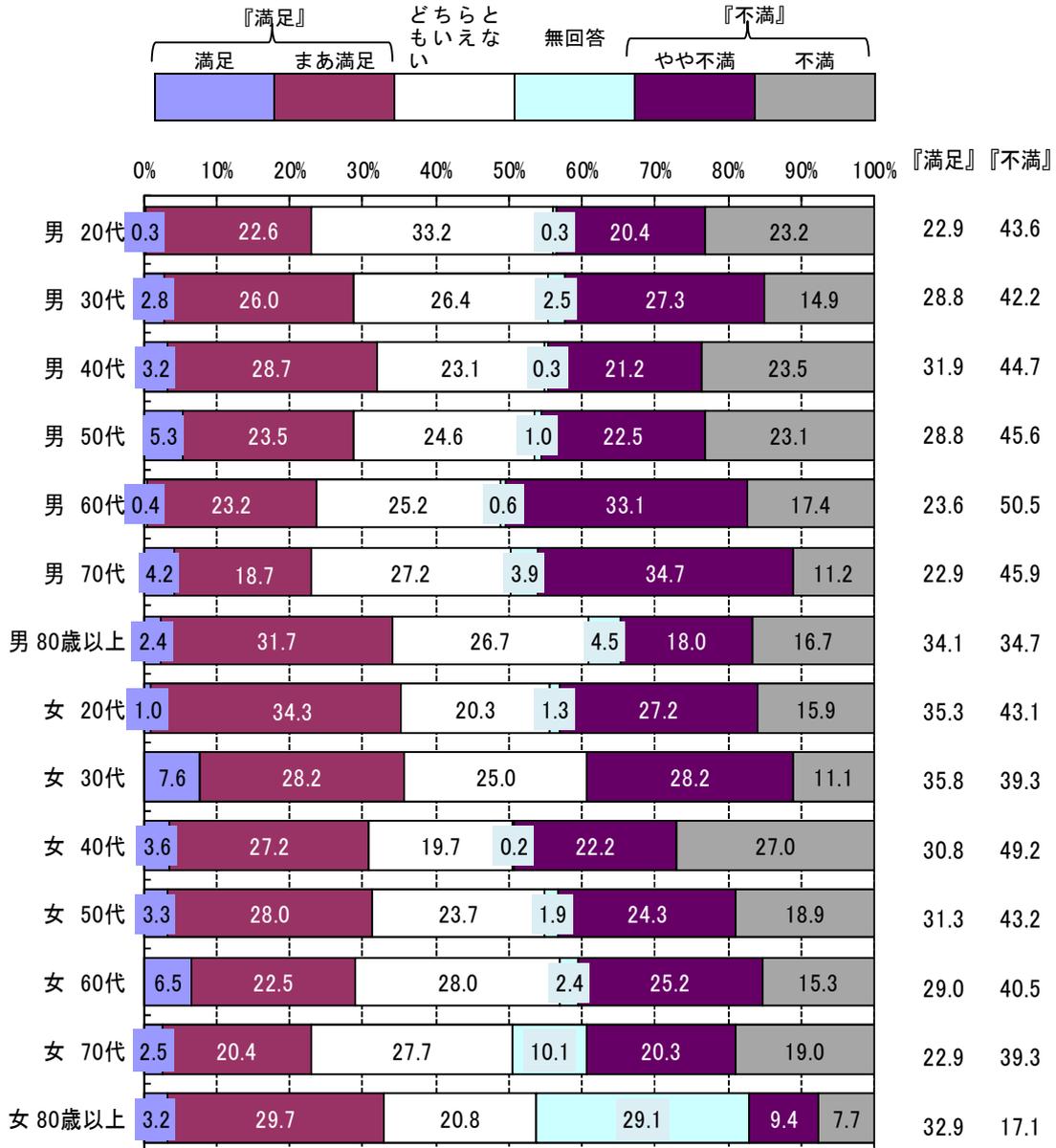
【性別】

『満足』は女性の方が男性より3.4ポイント高い。



【性・年代別】

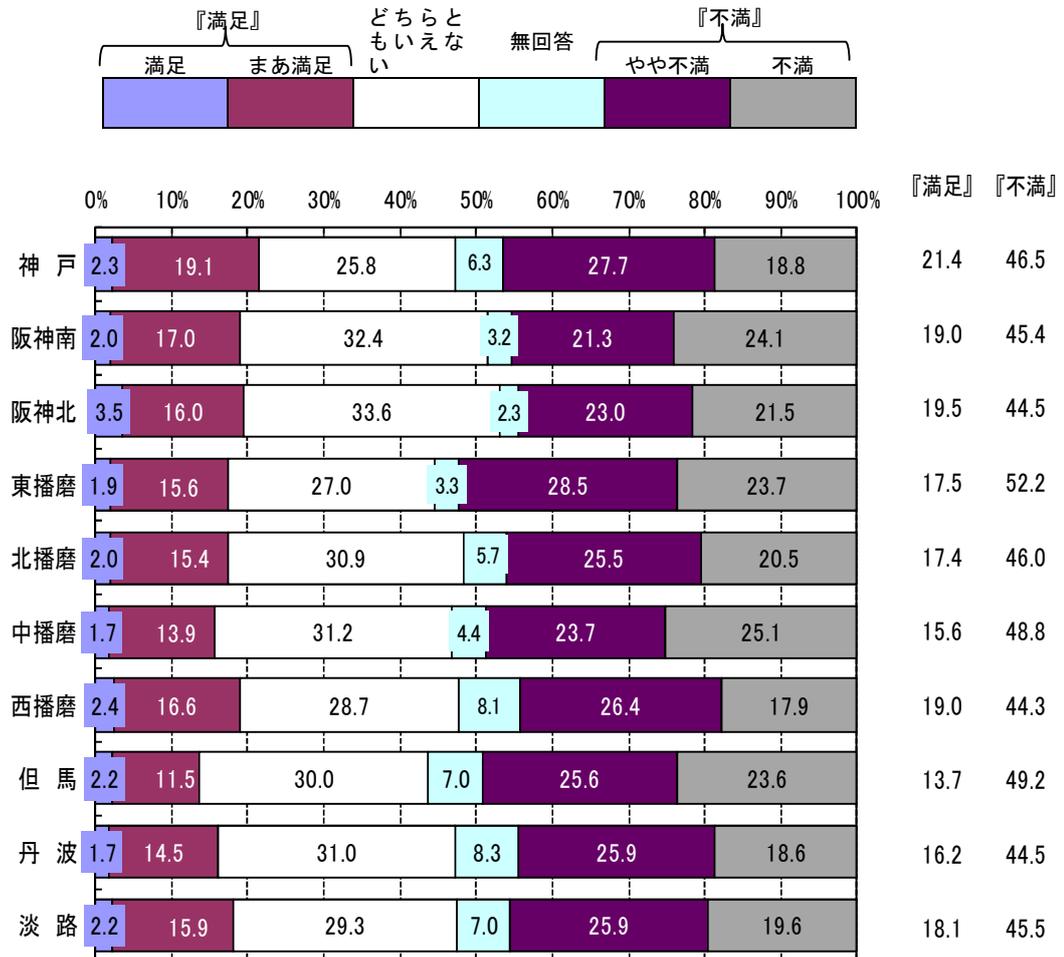
『満足』は、男性は80歳以上が最も高く（34.1%）、女性は30代が最も高い（35.8%）。



〔イ 貯蓄などの金融資産〕

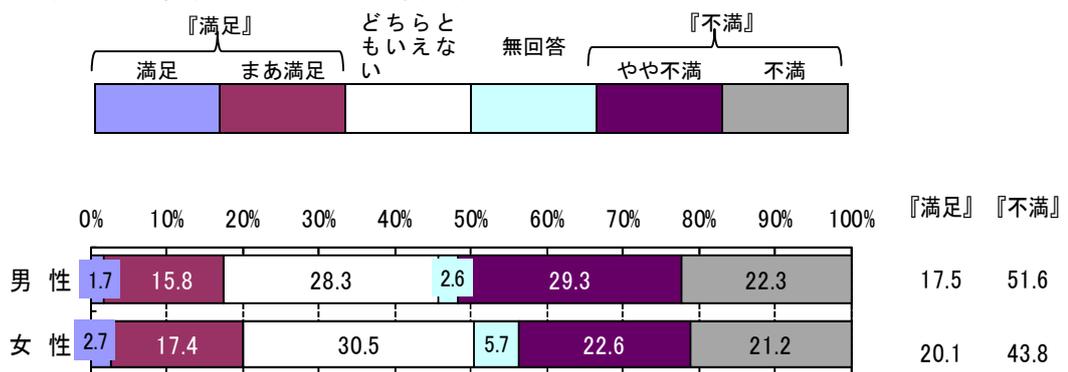
【地域別】

『満足』は神戸が最も高い（21.4%）。



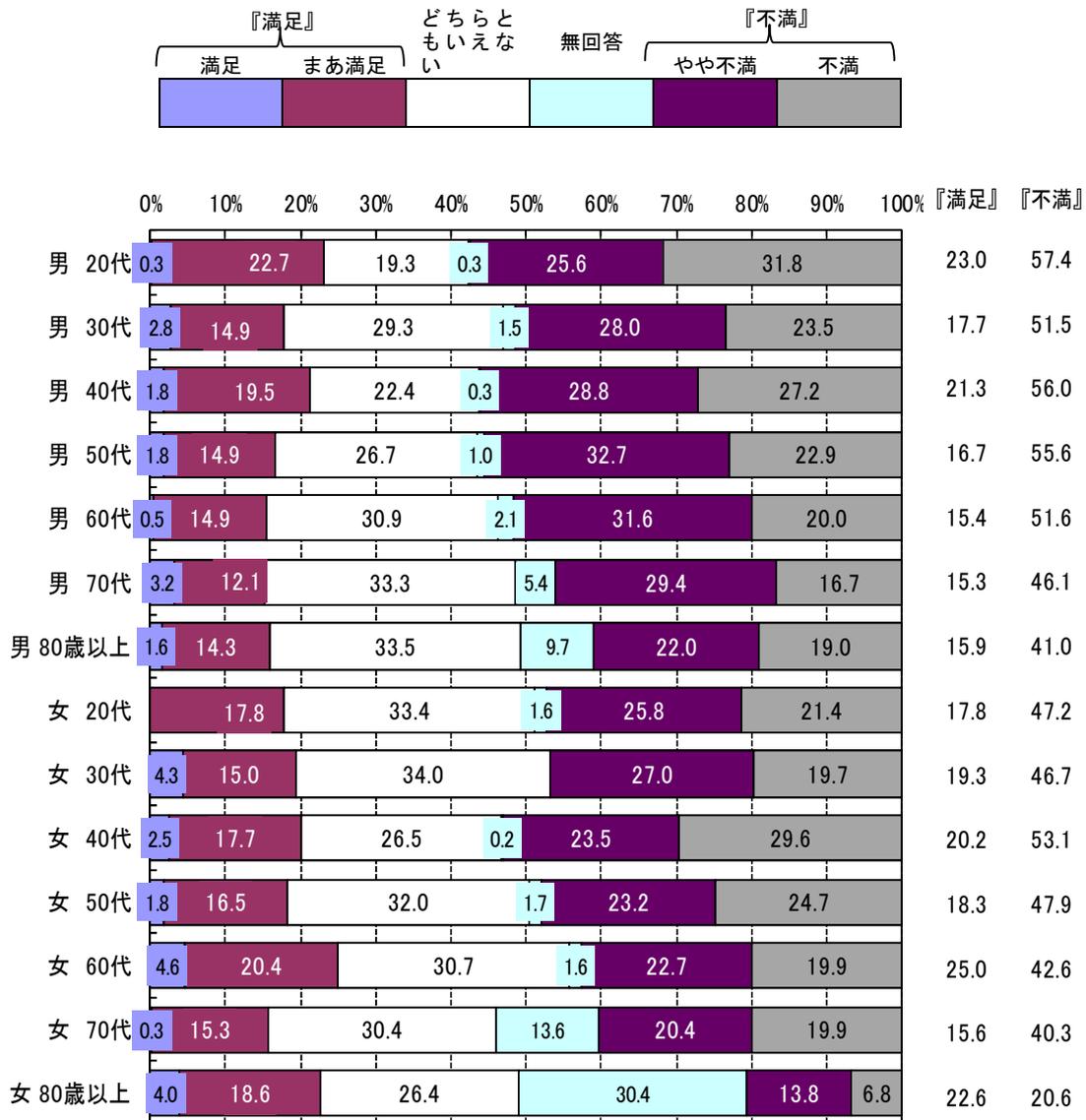
【性別】

『満足』は女性の方が男性より2.6ポイント高い。



【性・年代別】

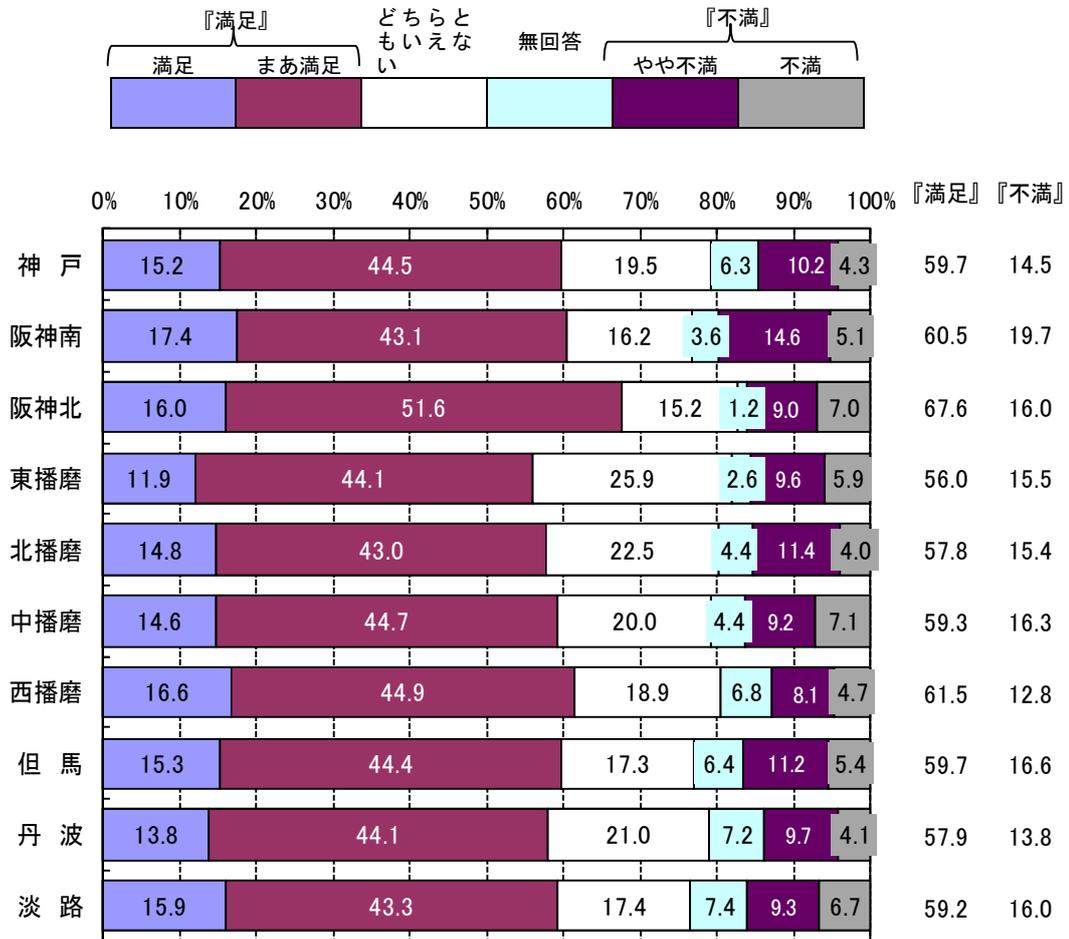
『満足』は、男性は20代が最も高く（23.0%）、女性は60代が最も高い（25.0%）。



〔ウ 住居〕

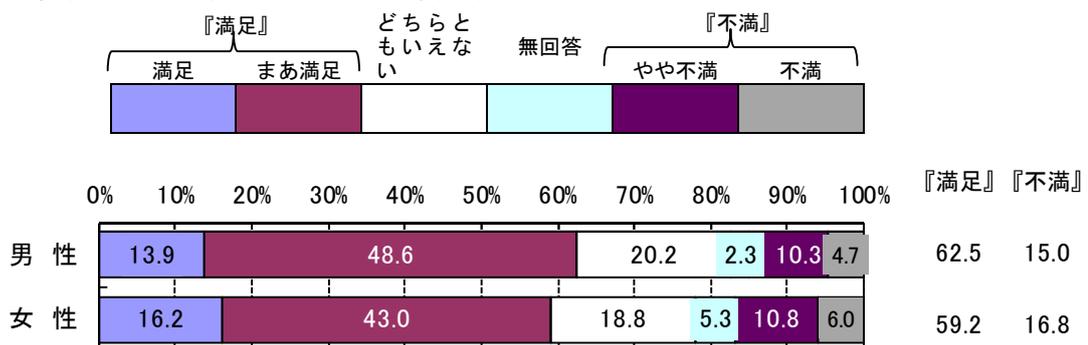
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い（67.6%）。



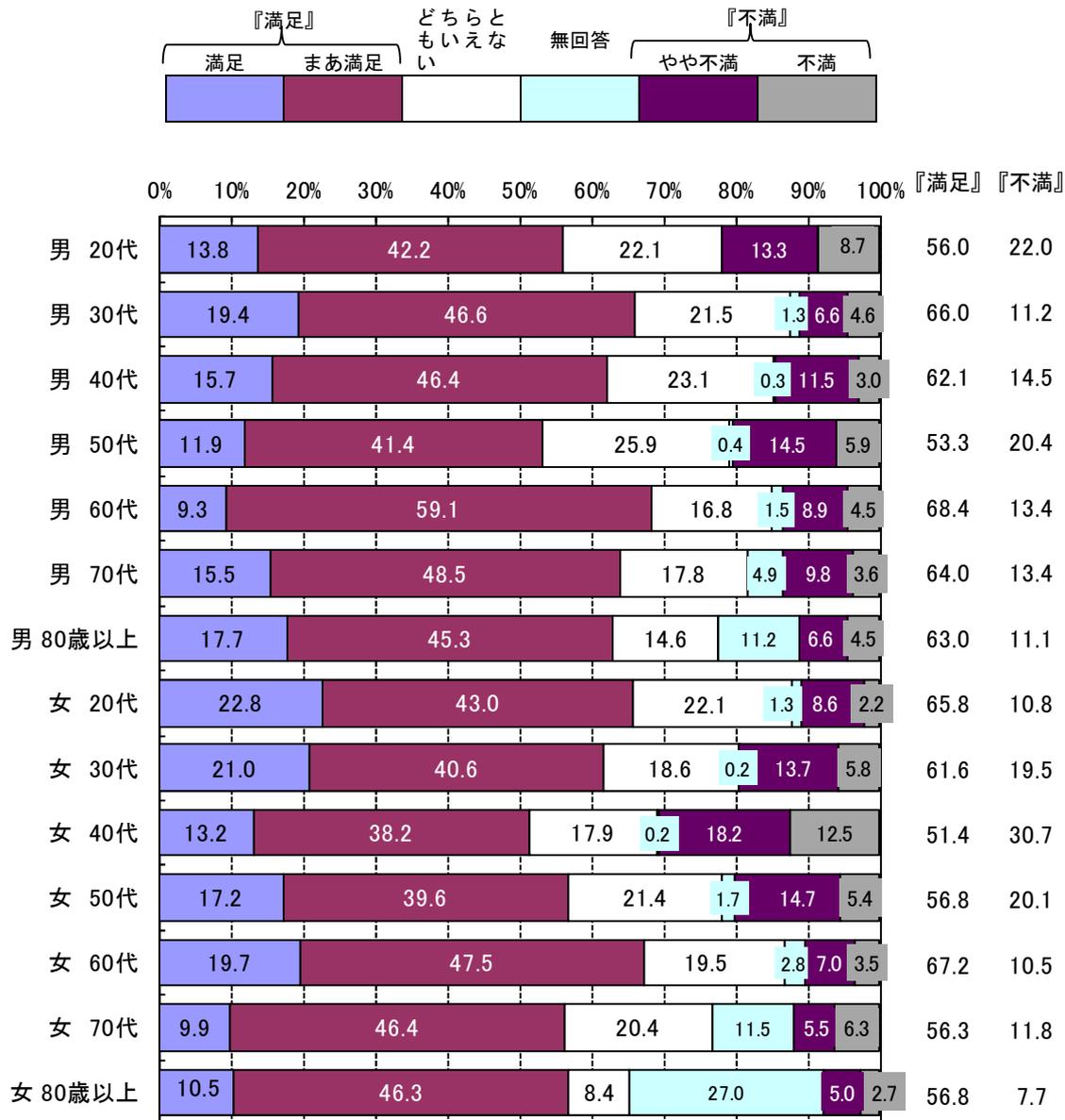
【性別】

『満足』は男性の方が女性より3.3ポイント高い。



【性・年代別】

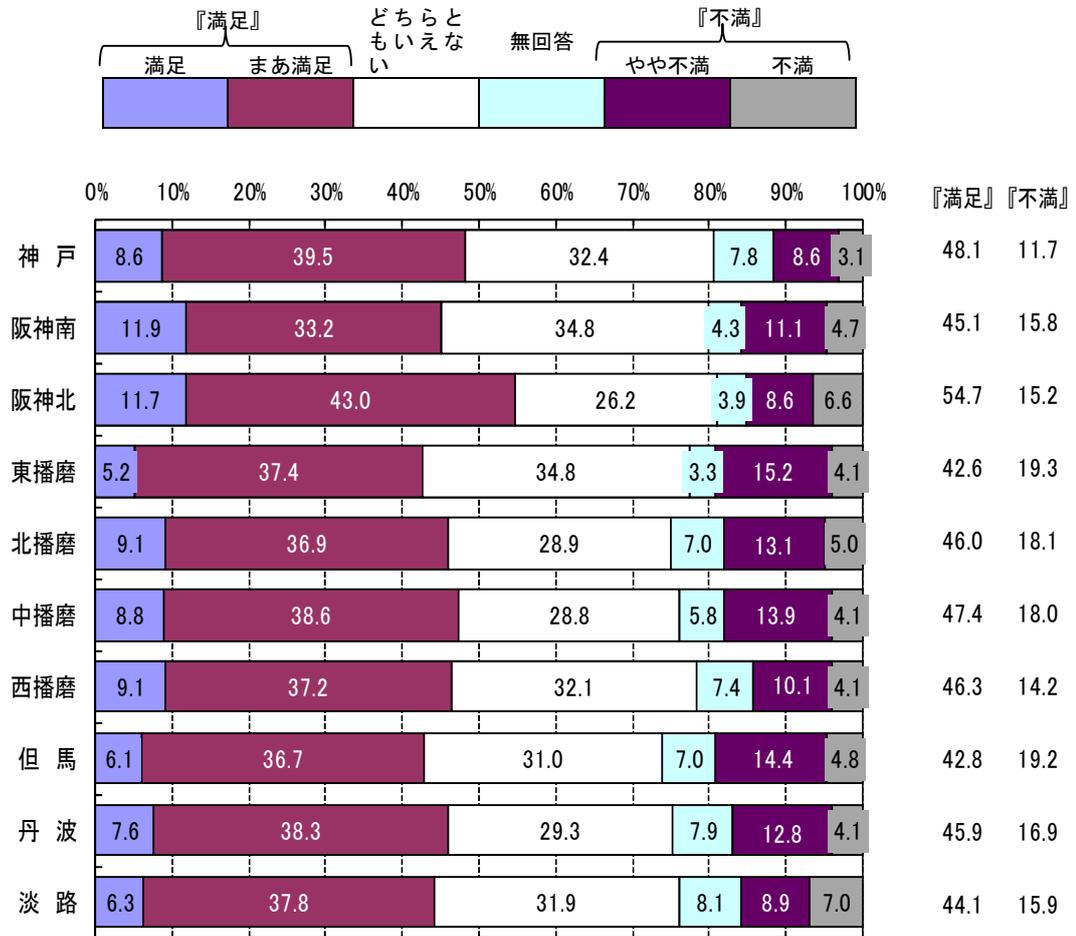
『満足』は、男性は60代が最も高く（68.4%）、女性も60代が最も高い（67.2%）。



〔エ 車、家具などの耐久消費財〕

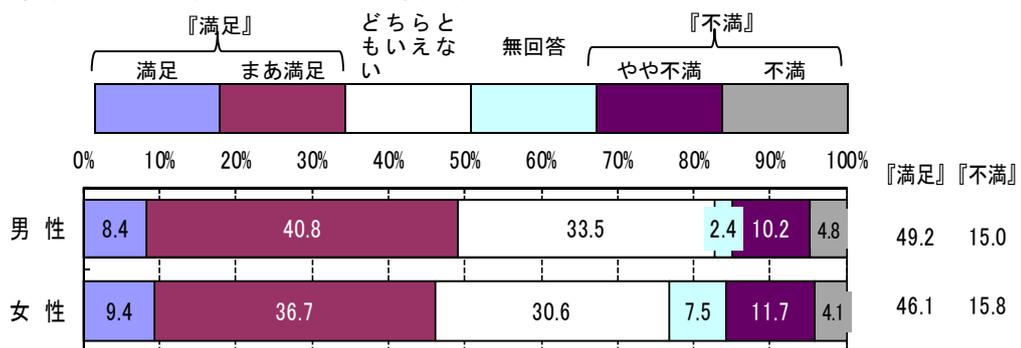
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い（54.7%）。



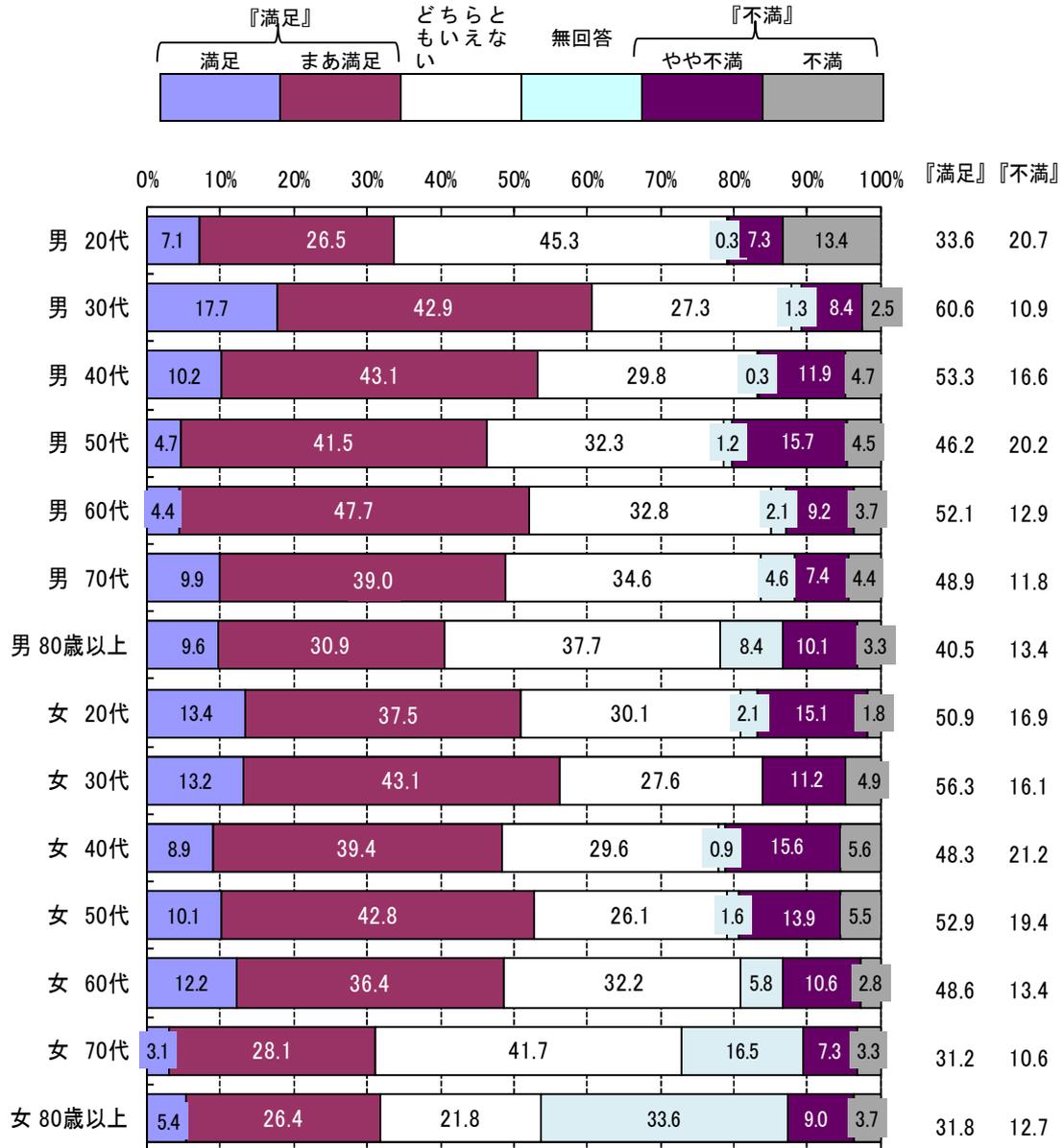
【性別】

『満足』は男性の方が女性より3.1ポイント高い。



【性・年代別】

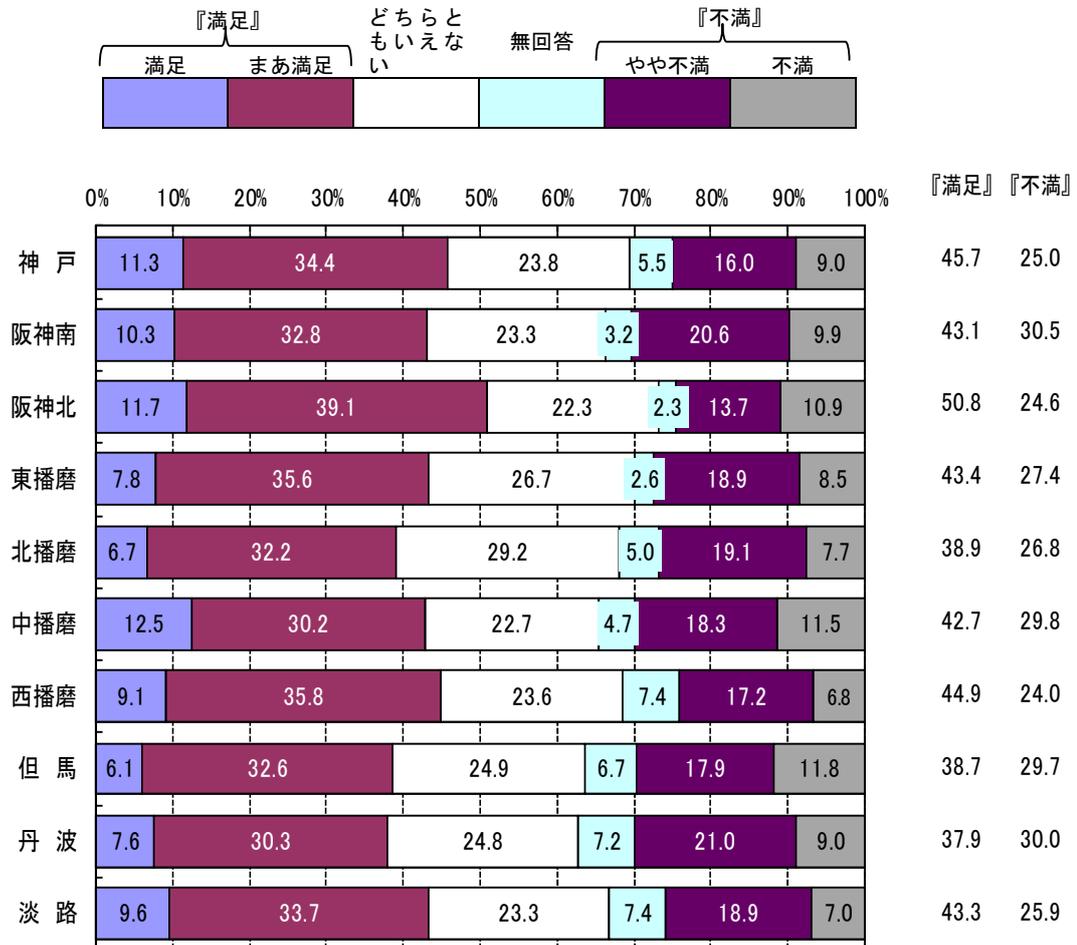
『満足』は、男性は30代が最も高く（60.6%）、女性も30代が最も高い（56.3%）。



〔オ 時間のゆとり〕

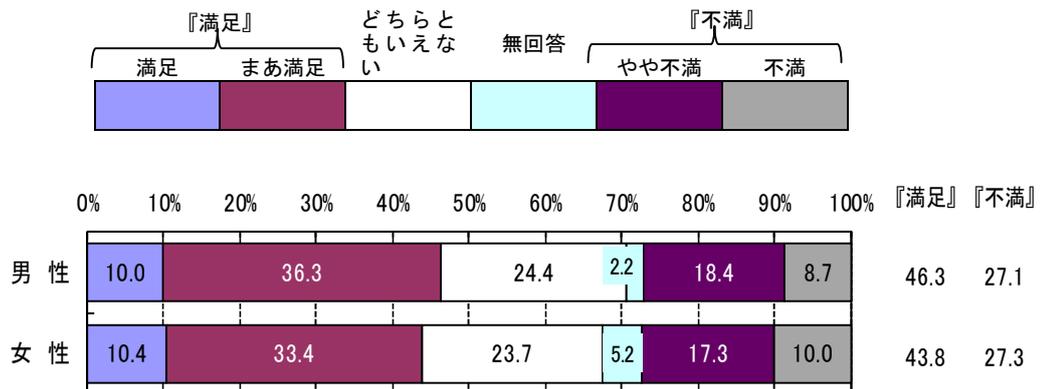
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い（50.8%）。



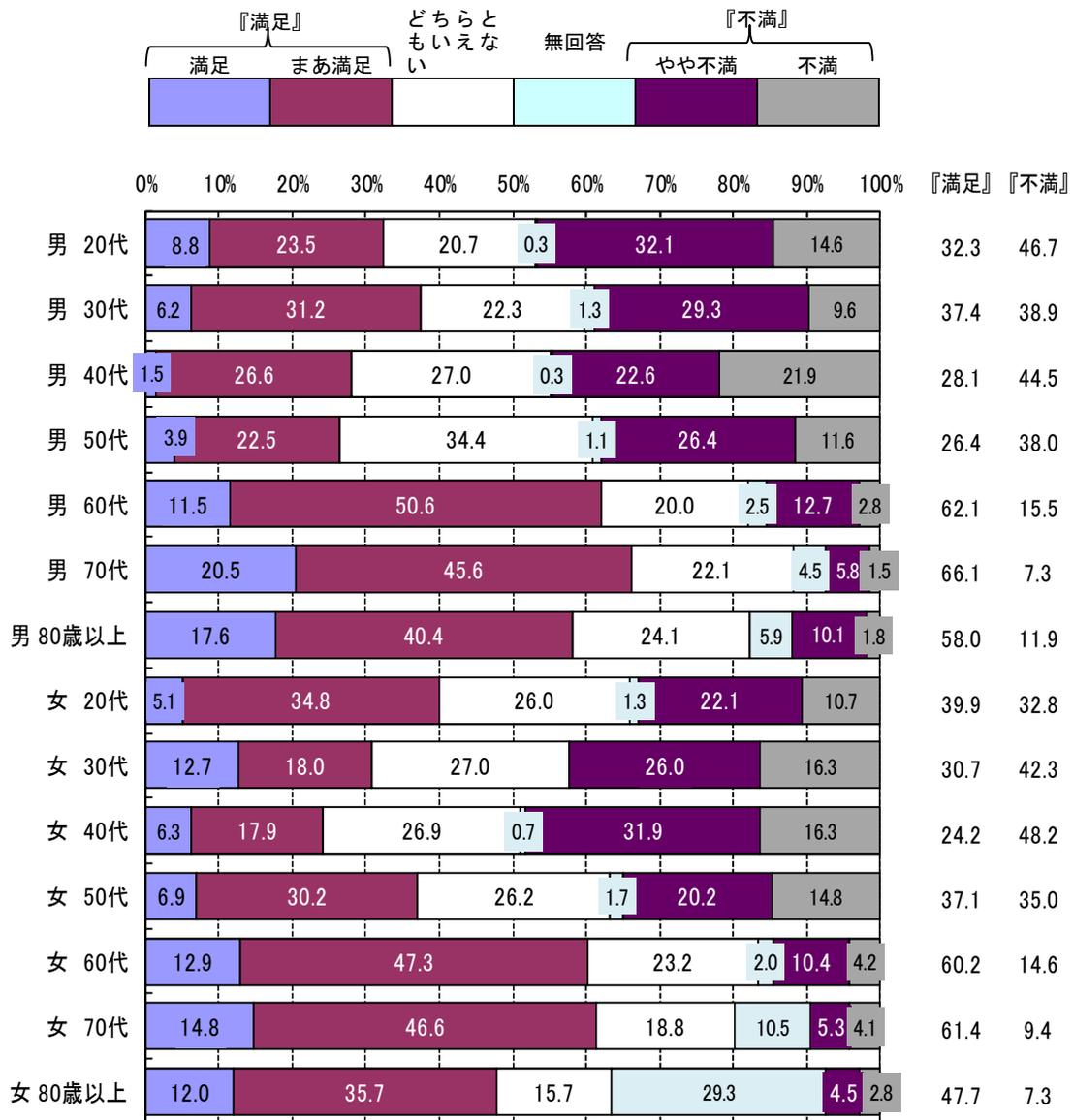
【性別】

『満足』は男性の方が女性より2.5ポイント高い。



【性・年代別】

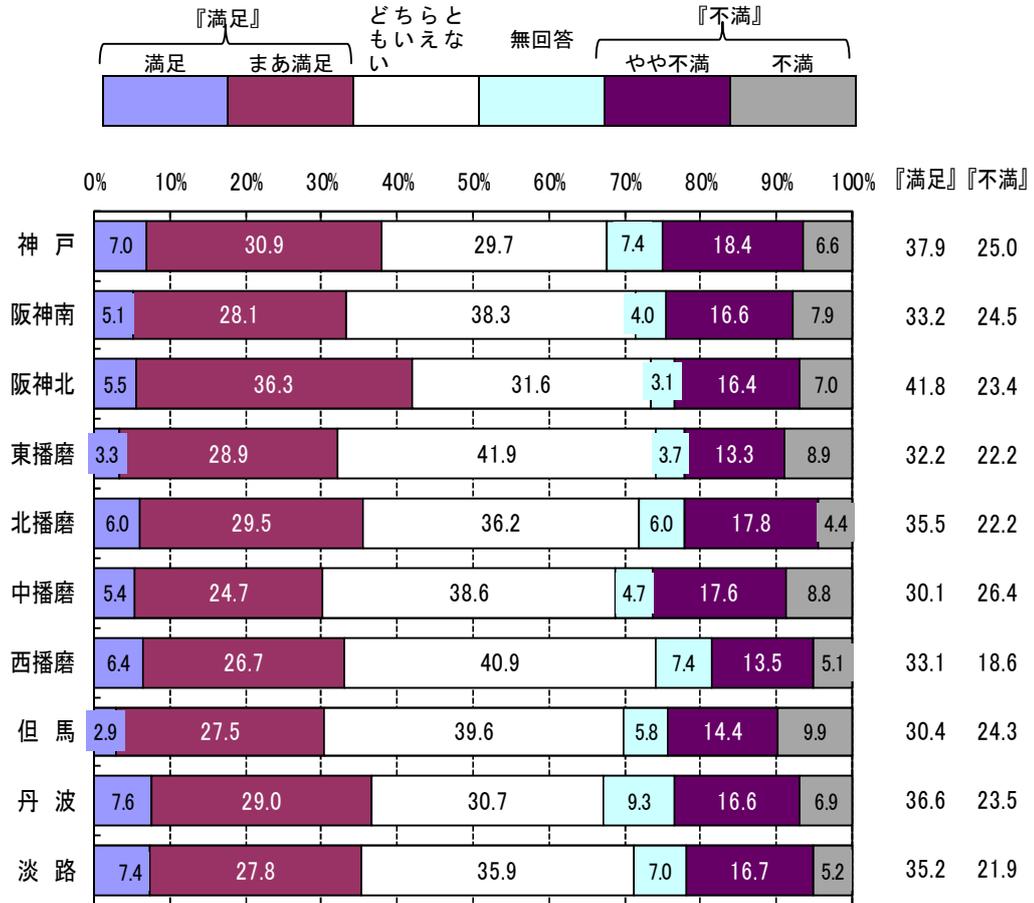
『満足』は、男性は70代が最も高く（66.1%）、女性も70代が最も高い（61.4%）。



〔カ 趣味やレクリエーションへの取組〕

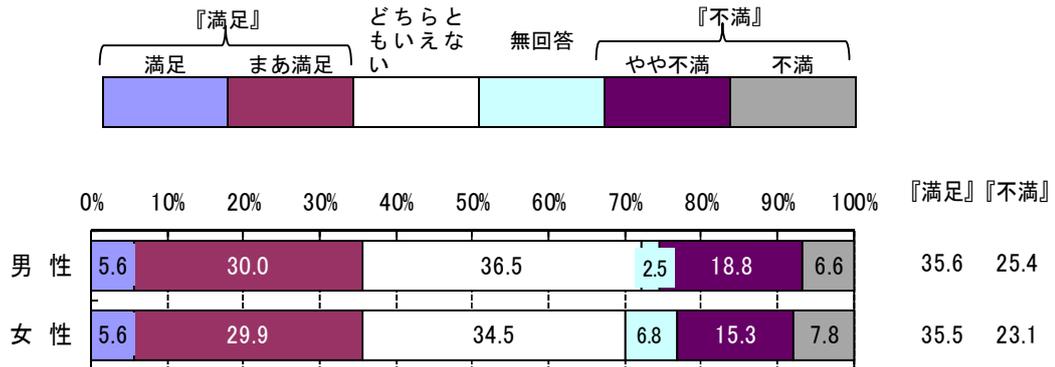
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い（41.8%）。



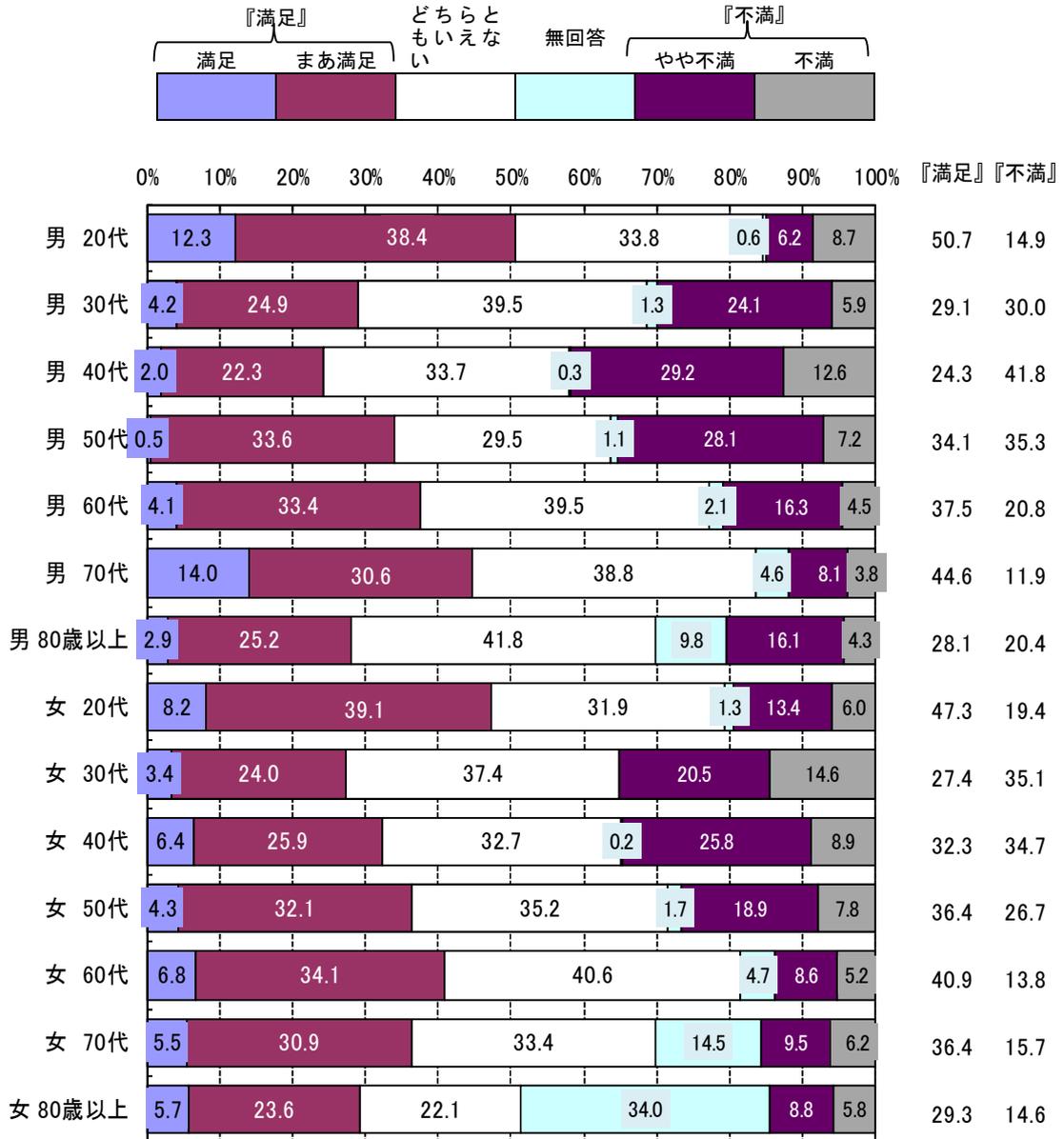
【性別】

『不満』は男性の方が女性より2.3ポイント高い。



【性・年代別】

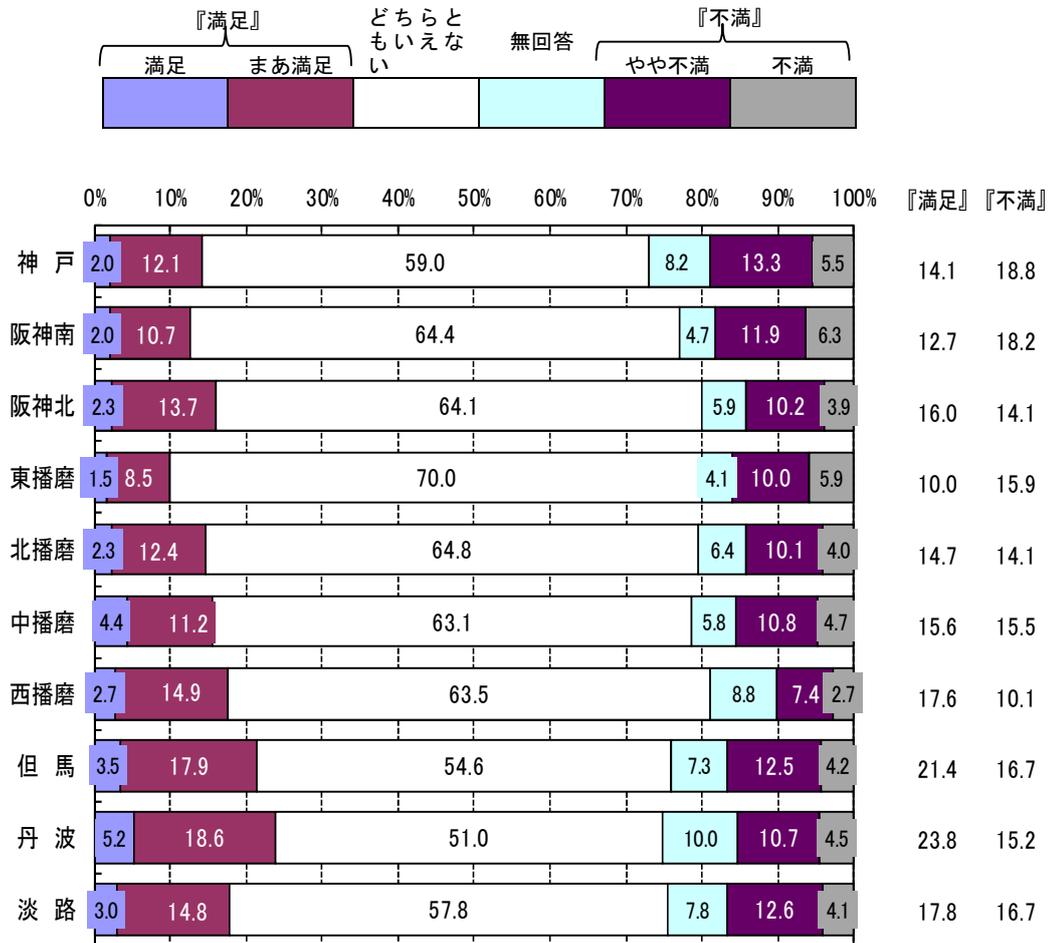
『満足』は、男性は20代が最も高く（50.7%）、女性も20代が最も高い（47.3%）。



〔キ 地域活動やボランティアへの取組〕

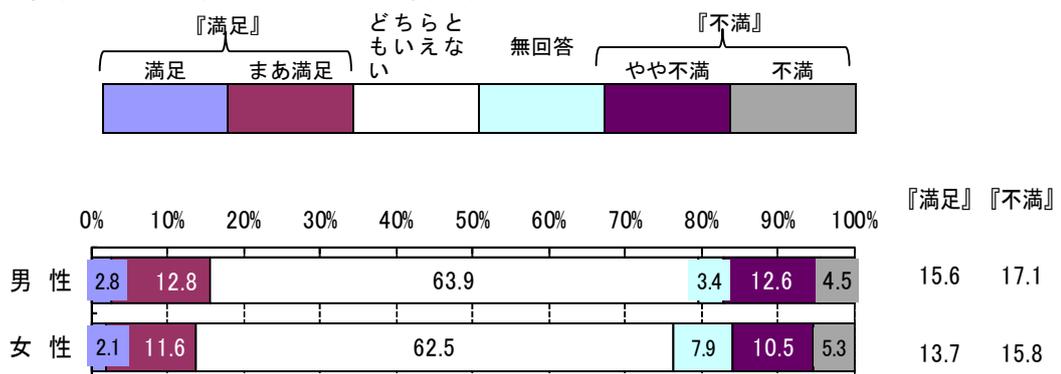
【地域別】

『満足』は丹波が最も高い（23.8%）。



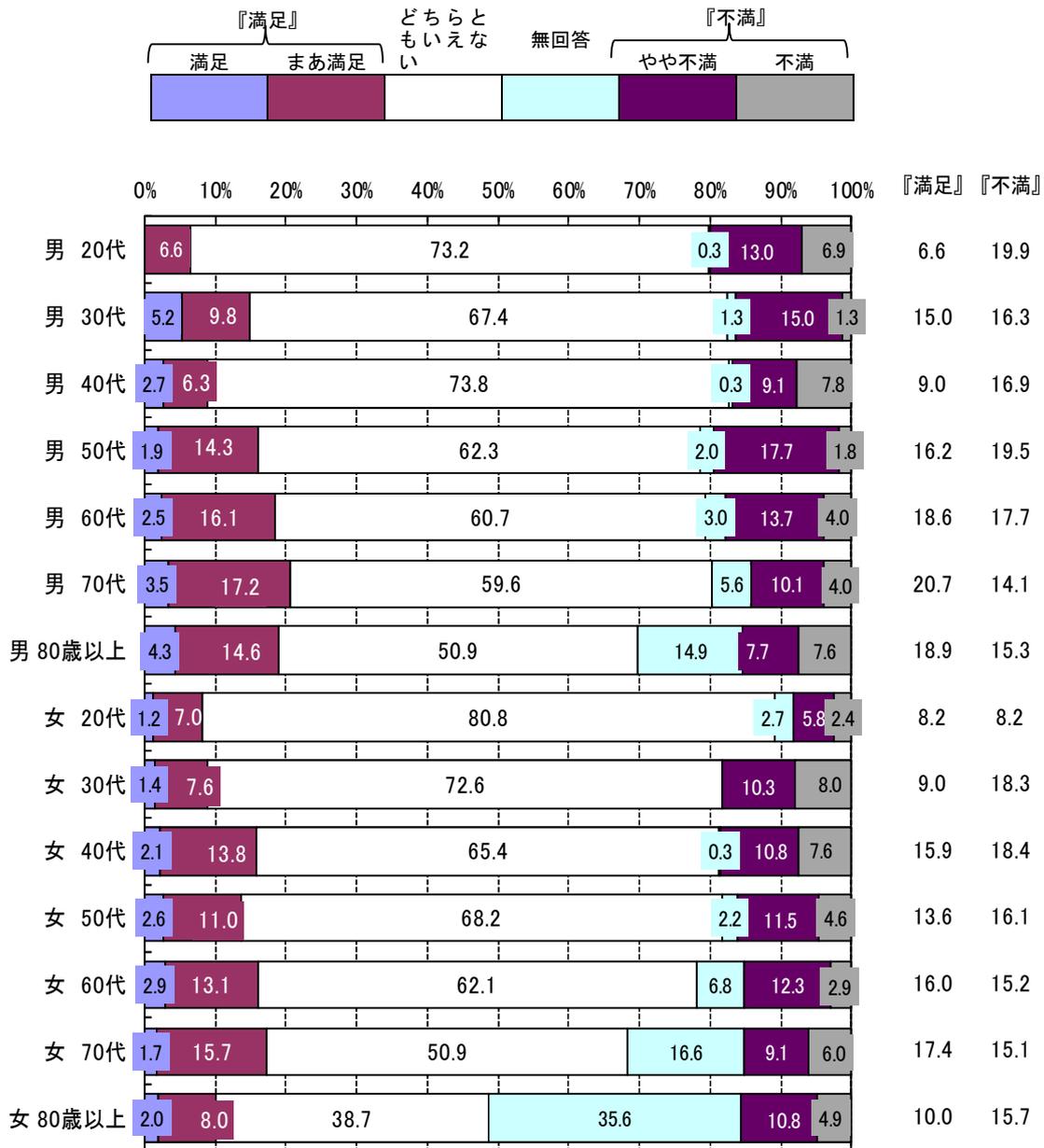
【性別】

『満足』は男性の方が女性より1.9ポイント高い。



【性・年代別】

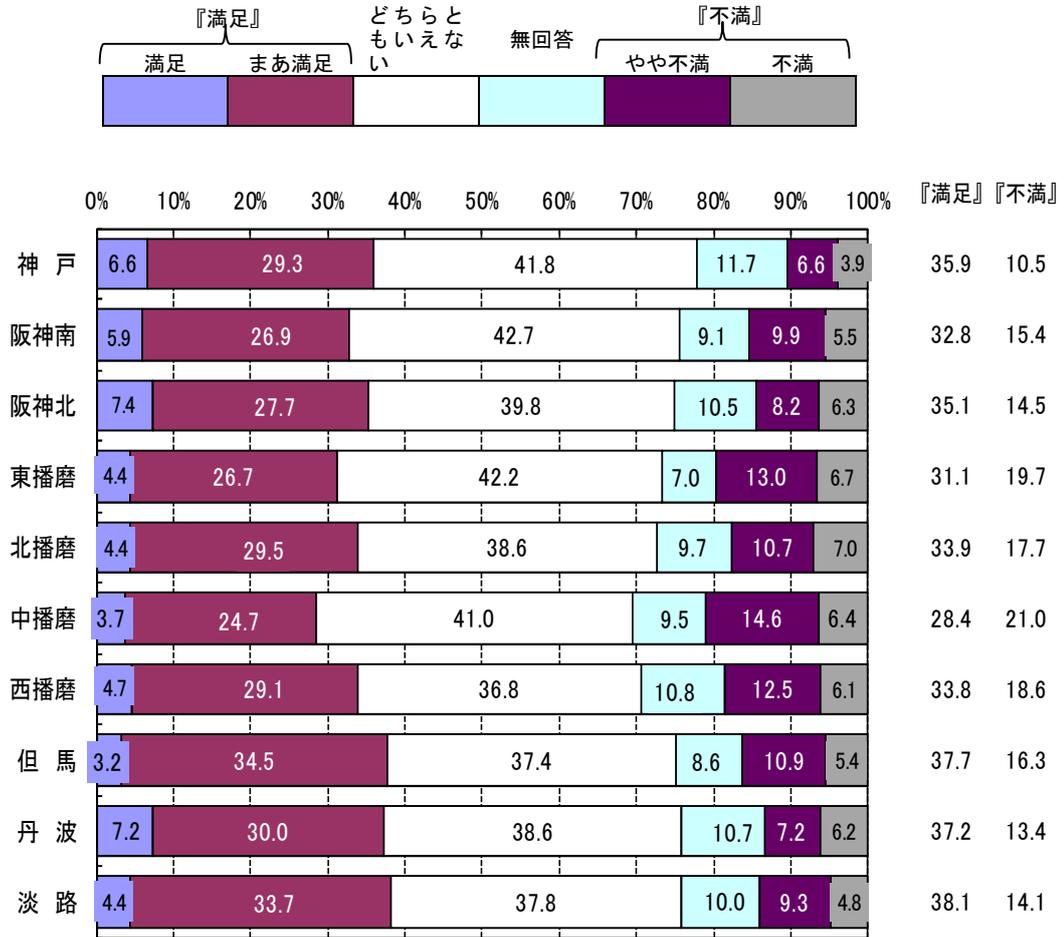
『満足』は、男性は70代が最も高く（20.7%）、女性も70代が最も高い（17.4%）。



〔ク 仕事の内容〕

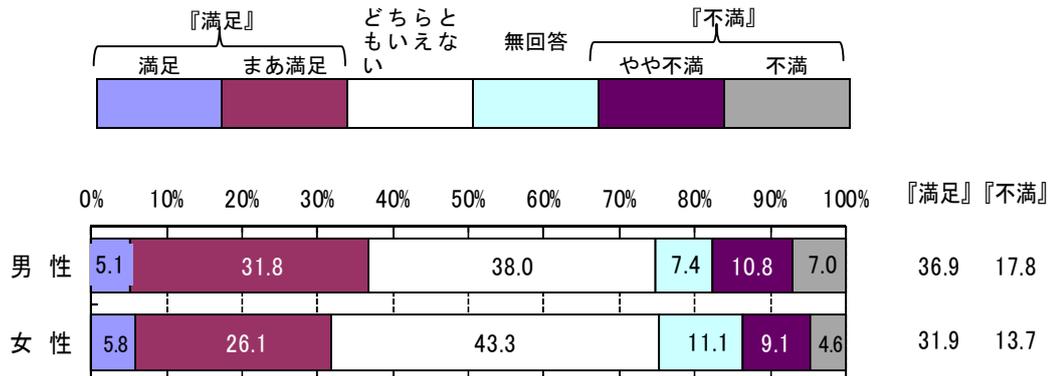
【地域別】

『満足』は淡路が最も高い（38.1%）。



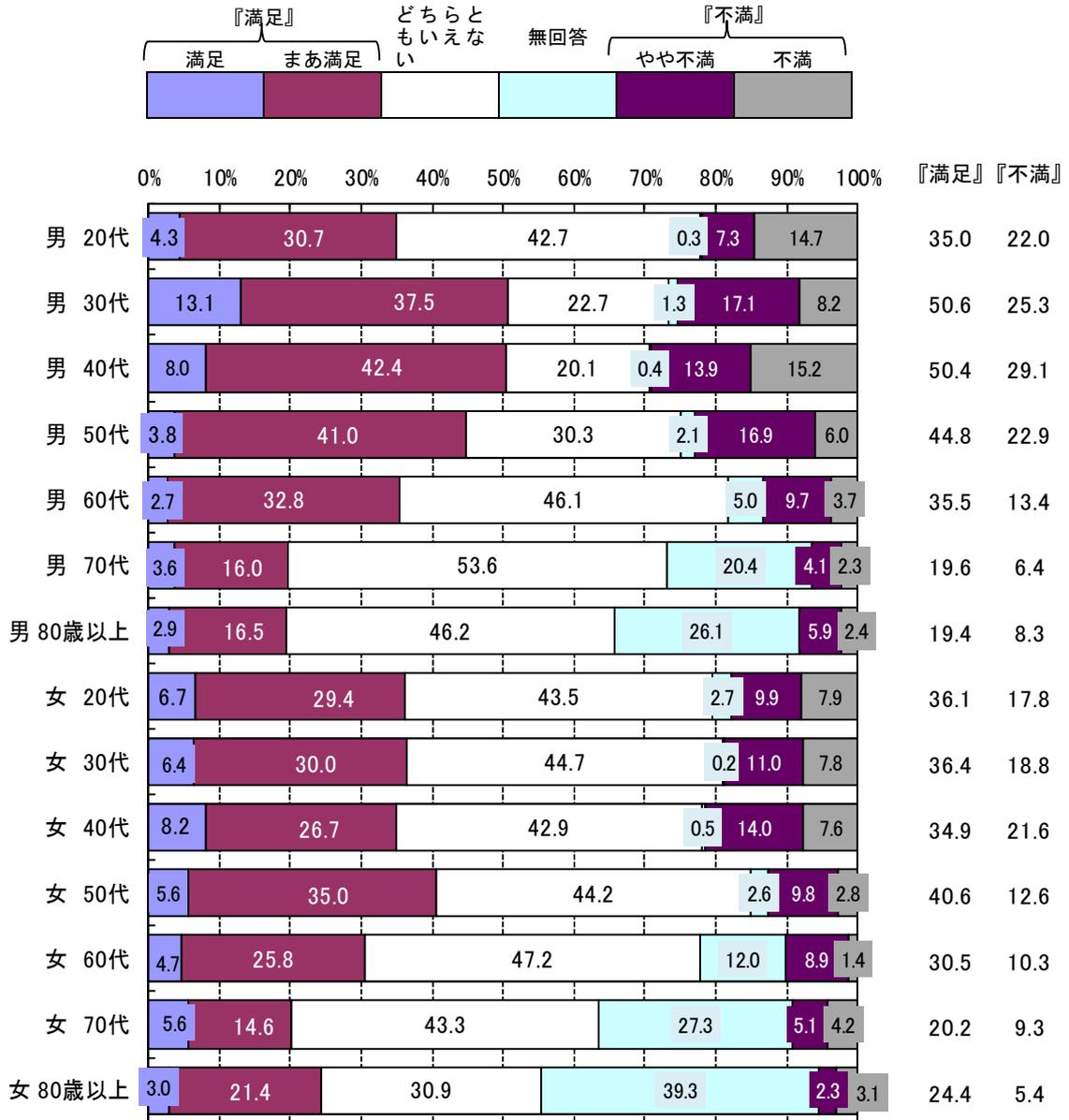
【性別】

『満足』は男性の方が女性より5.0ポイント高い。



【性・年代別】

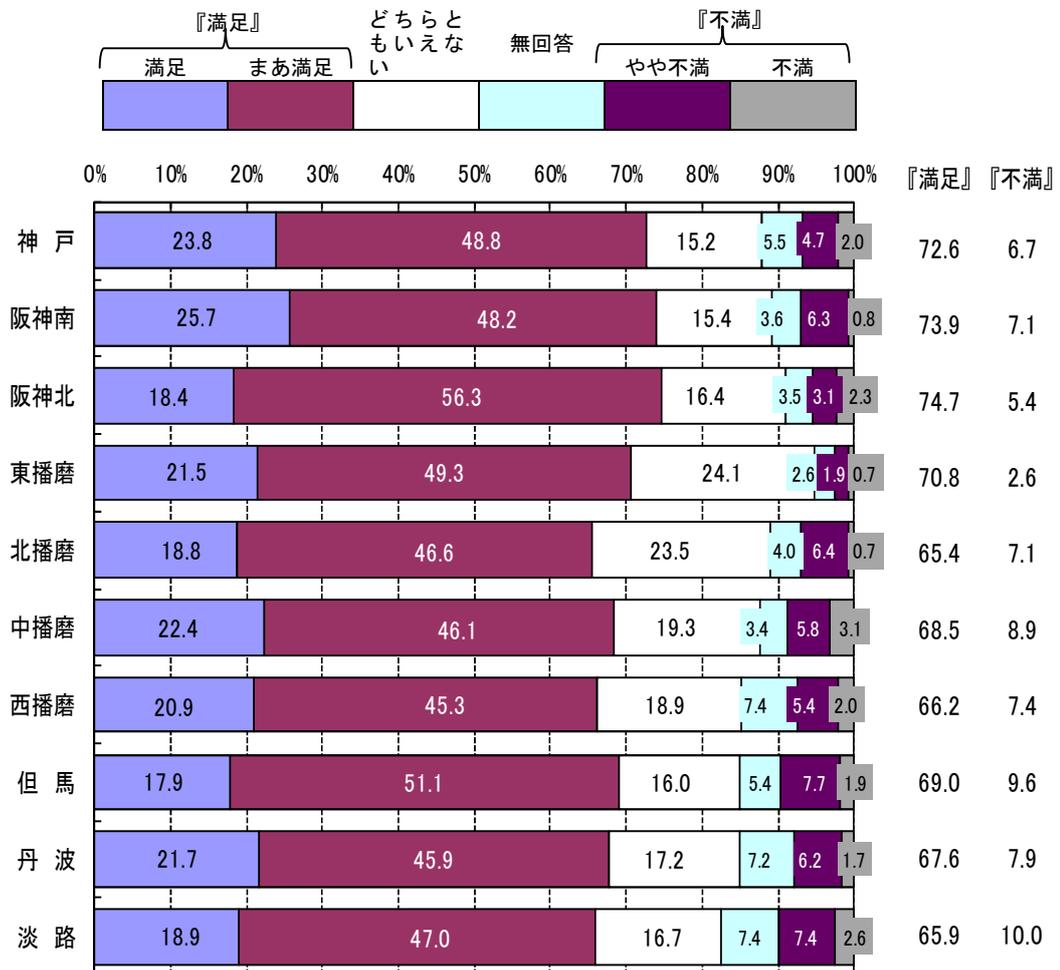
『満足』は、男性は30代が最も高く（50.6%）、女性は50代が最も高い（40.6%）。



〔ケ 家族との関係〕

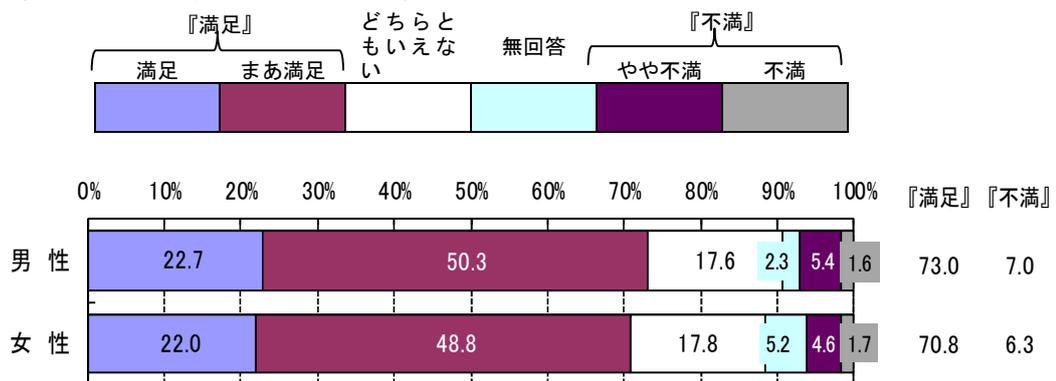
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い（74.7%）。



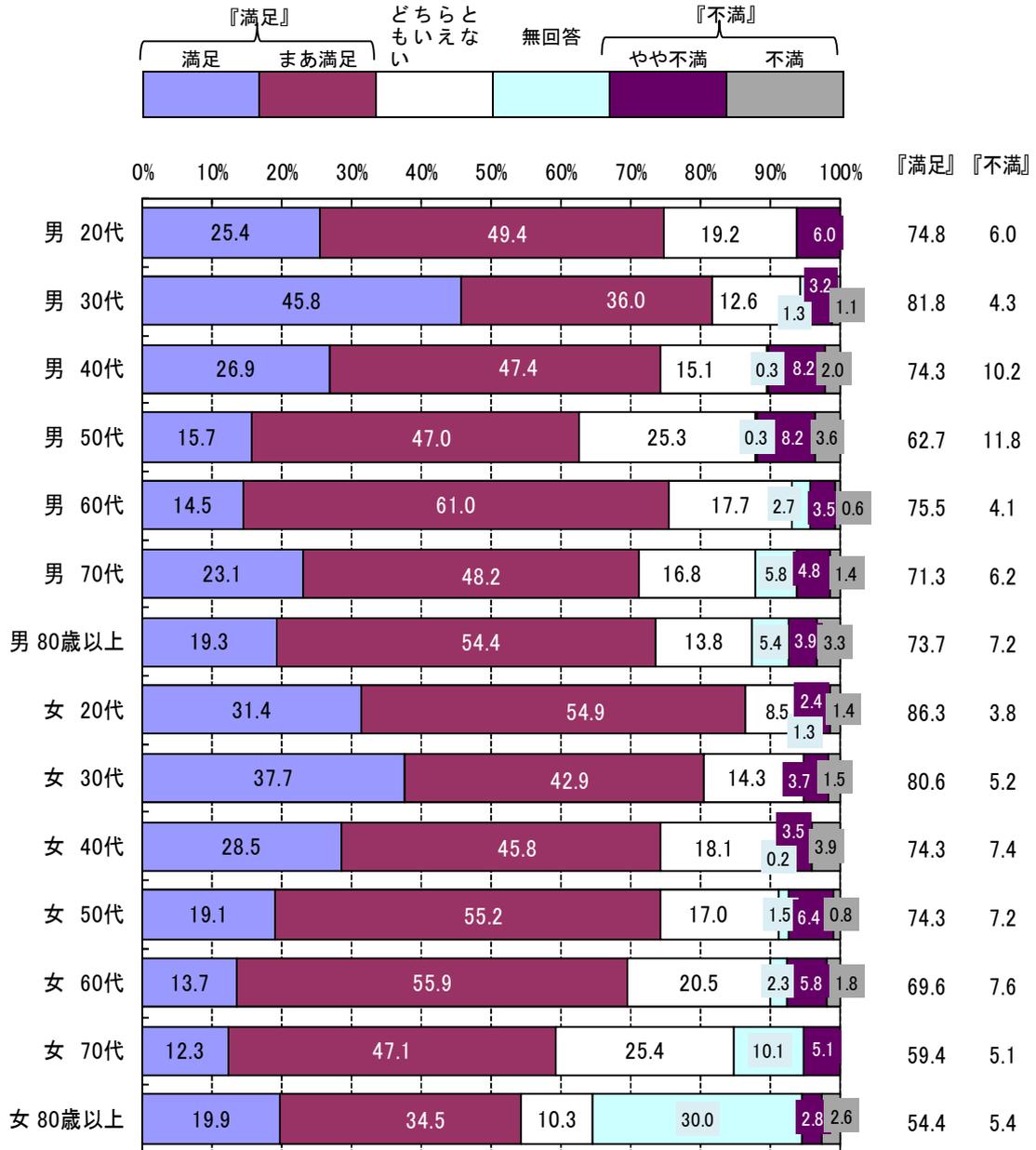
【性別】

『満足』は男性の方が女性より2.2ポイント高い。



【性・年代別】

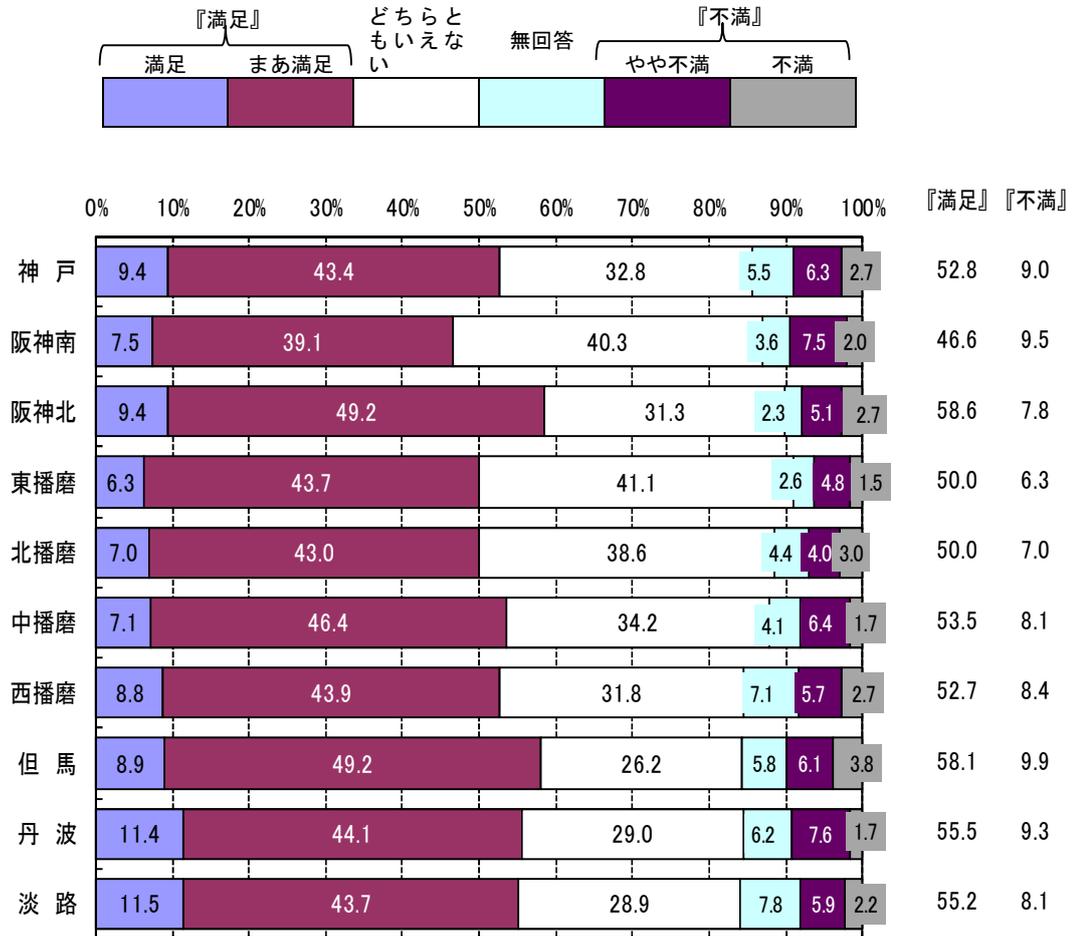
『満足』は、男性は30代が最も高く（81.8%）、女性は20代が最も高い（86.3%）。



〔コ 知人や近所の人との関係〕

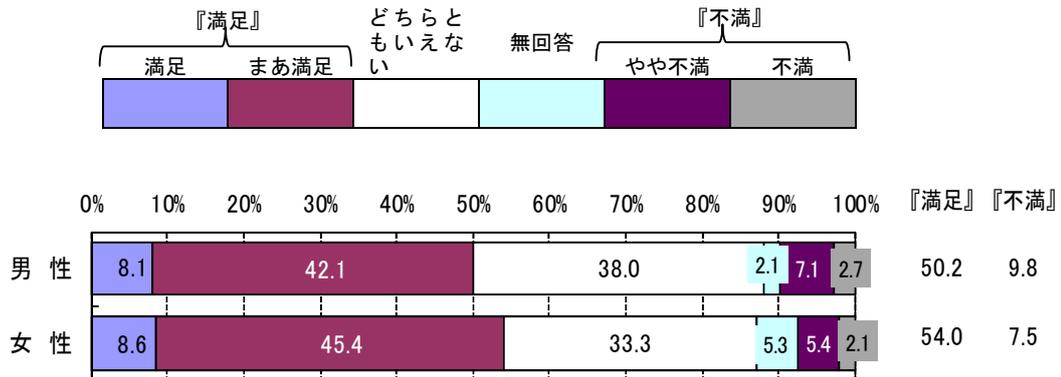
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い（58.6%）。



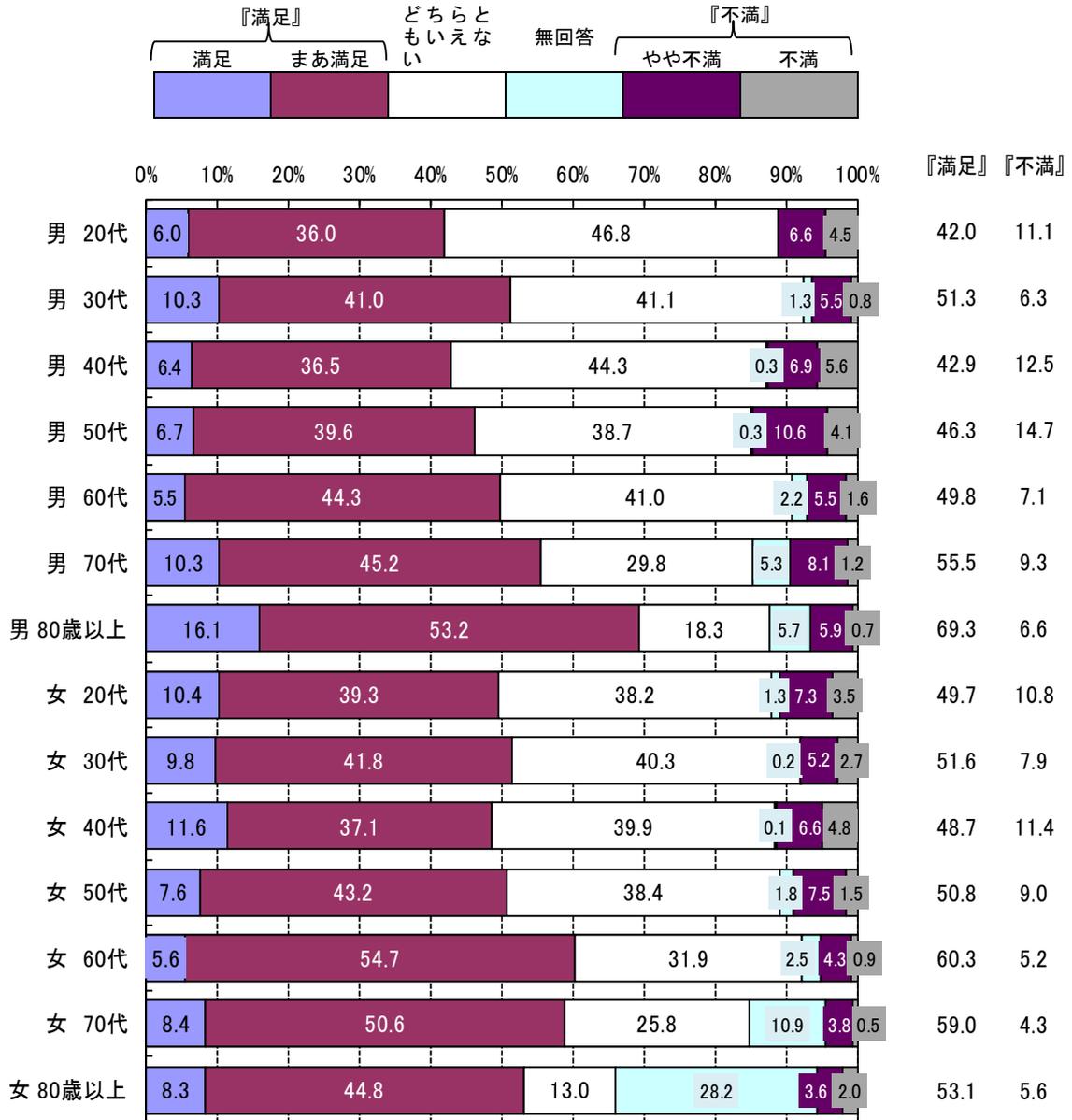
【性別】

『満足』は女性の方が男性より3.8ポイント高い。



【性・年代別】

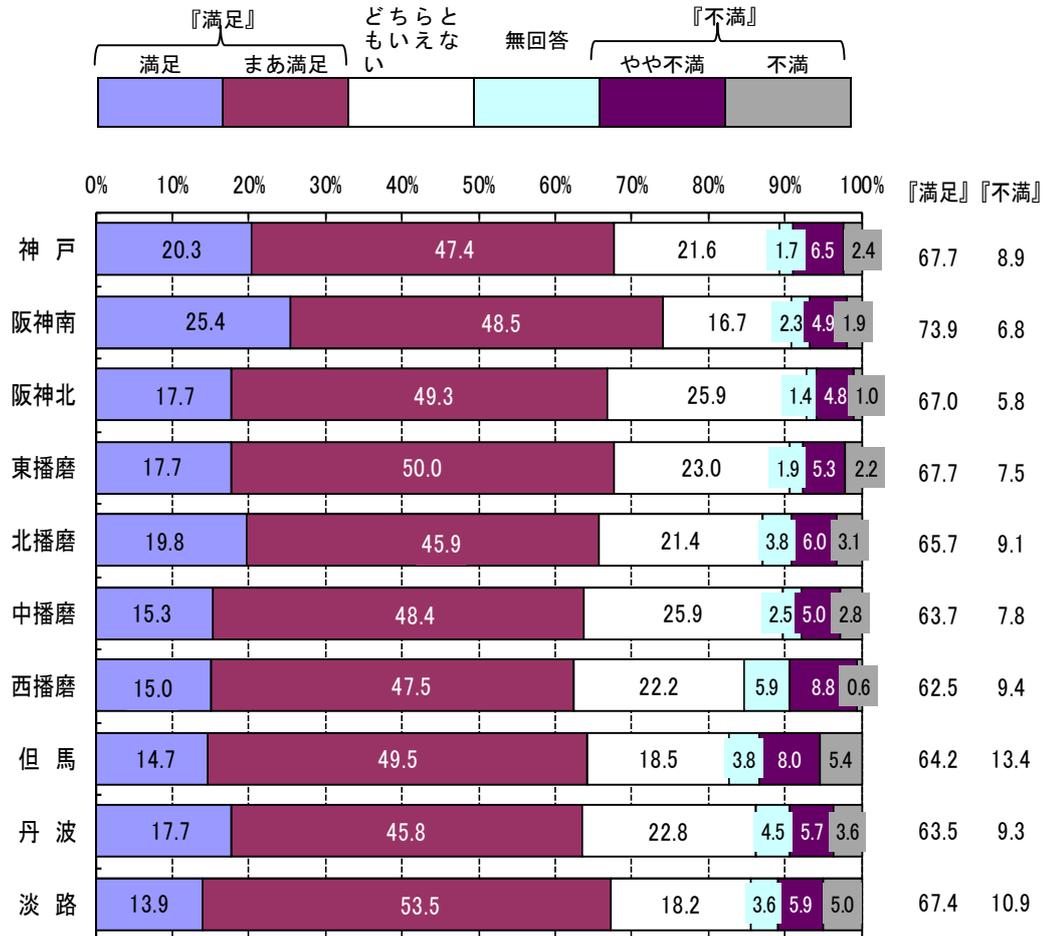
『満足』は、男性は80歳以上が最も高く（69.3%）、女性は60代が最も高い（60.3%）。



〔サ 住んでいる地域の住み心地〕

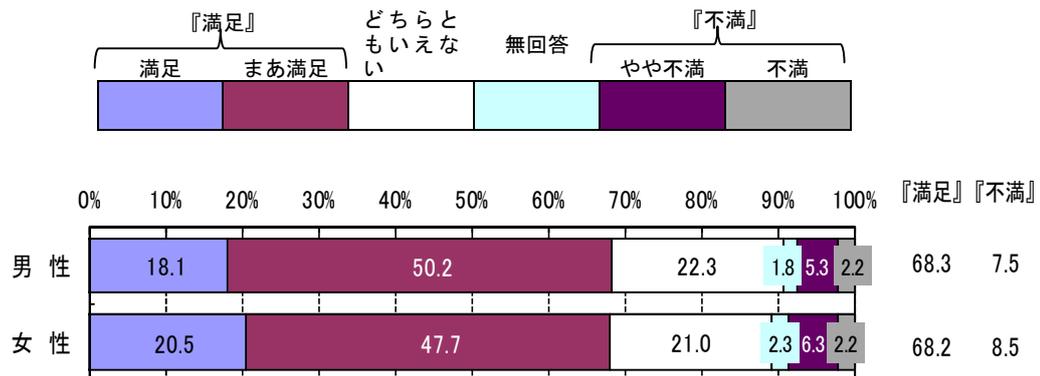
【地域別】

『満足』は阪神南が最も高い（73.9%）。



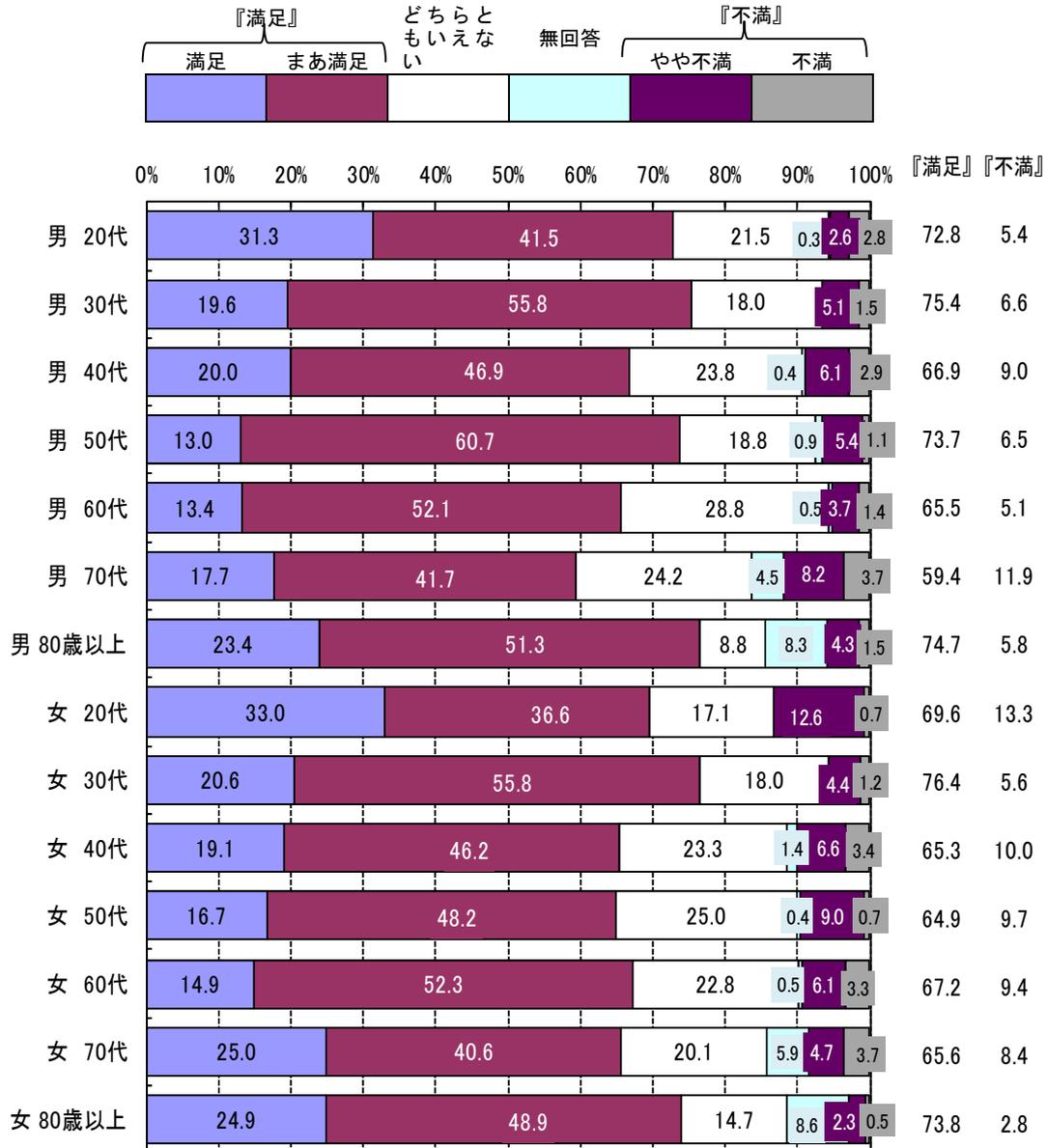
【性別】

『満足』『不満』ともに男女間の差はない。



【性・年代別】

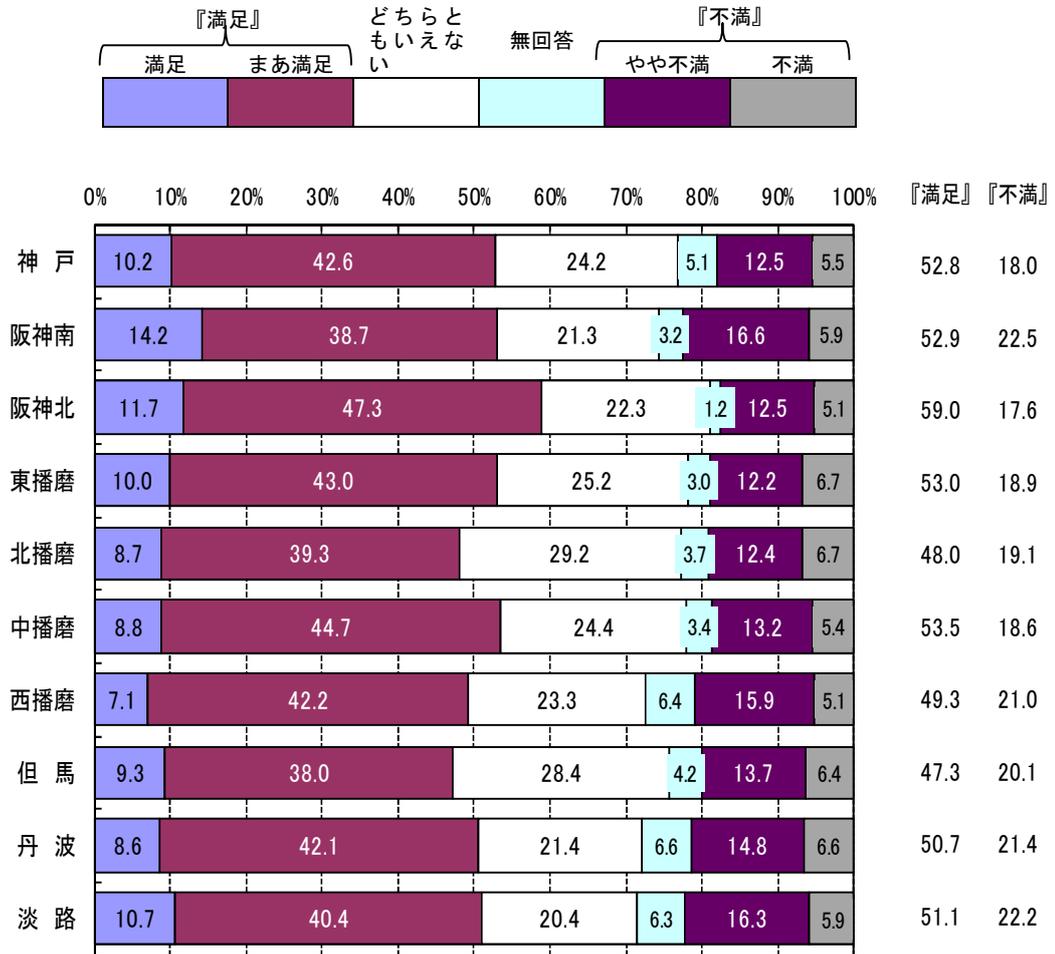
『満足』は、男性は30代が最も高く（75.4%）、女性も30代が最も高い（76.4%）。



〔シ あなた自身の健康〕

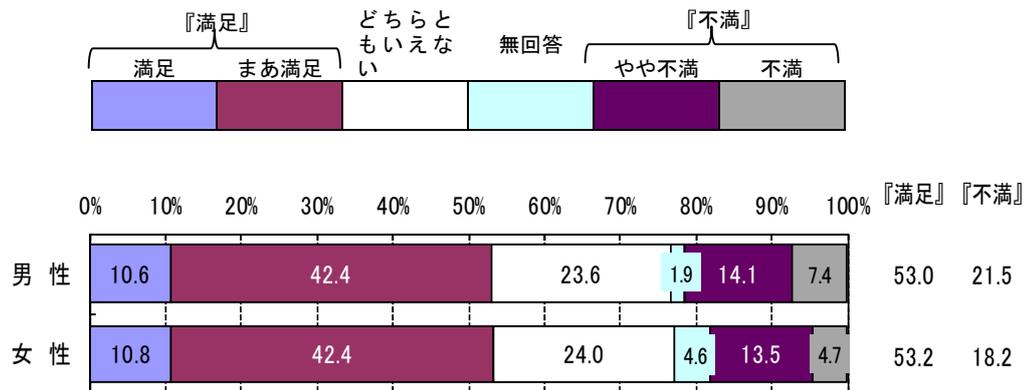
【地域別】

『満足』は阪神北が最も高い（59.0%）。



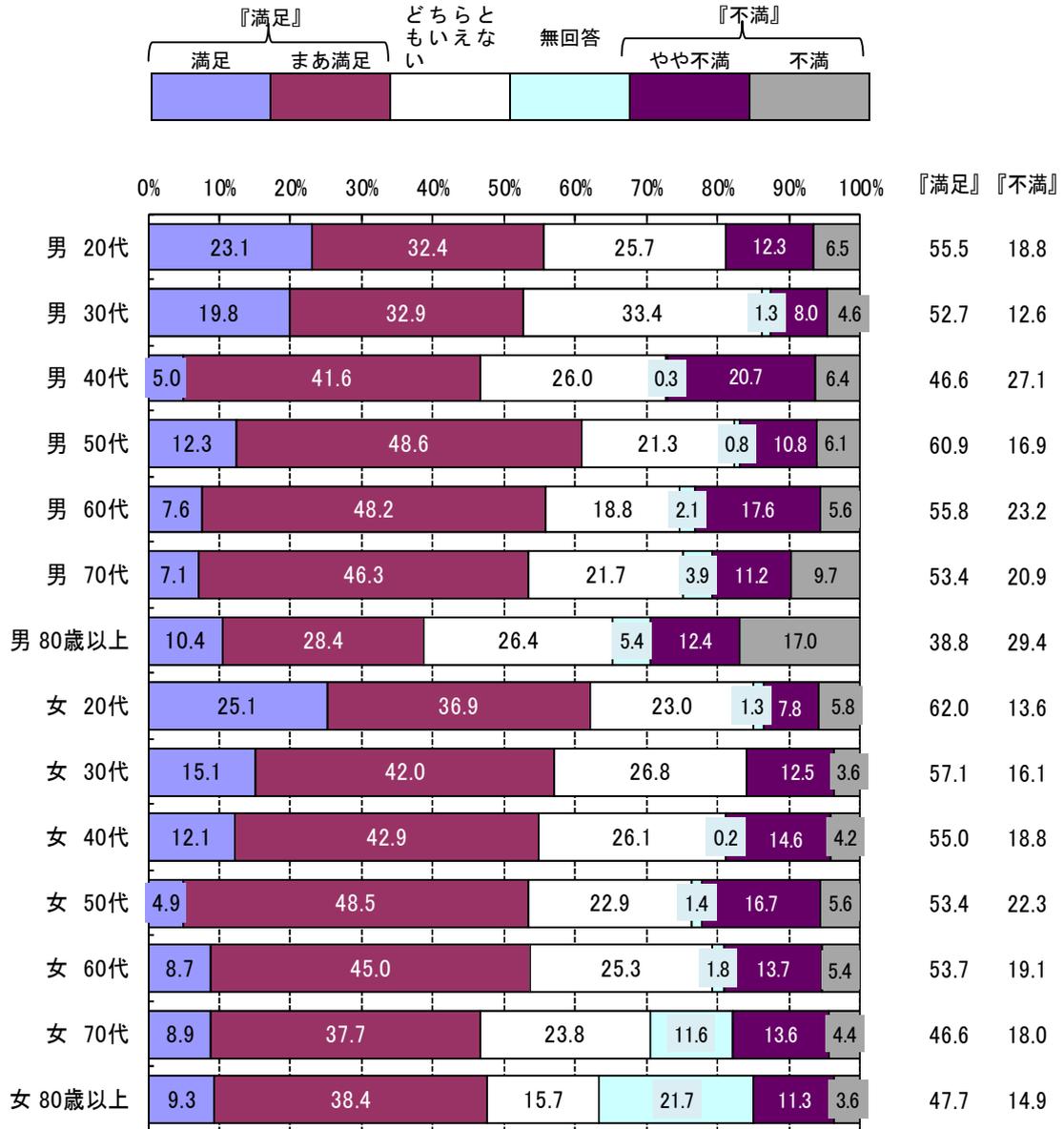
【性別】

『不満』は男性の方が女性より3.3ポイント高い。



【性・年代別】

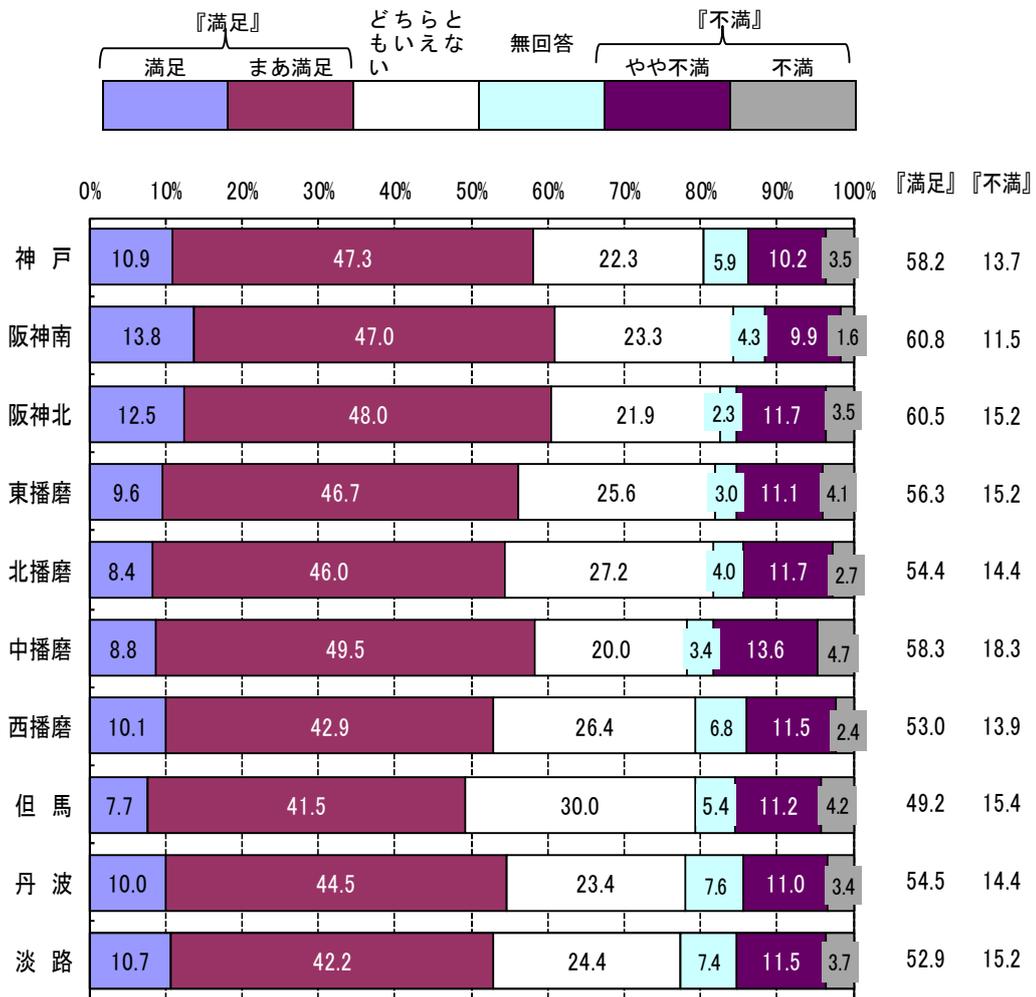
『満足』は、男性は50代が最も高く（60.9%）、女性は20代が最も高い（62.0%）。



〔ス 家族の健康〕

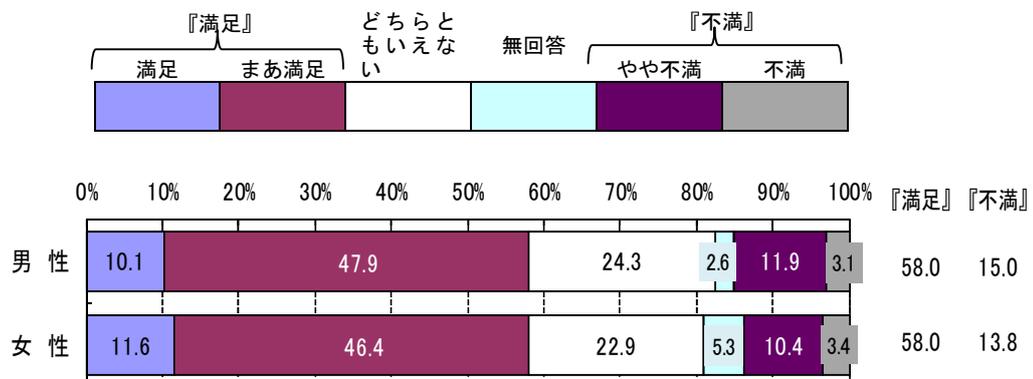
【地域別】

『満足』は阪神南が最も高い（60.8%）。



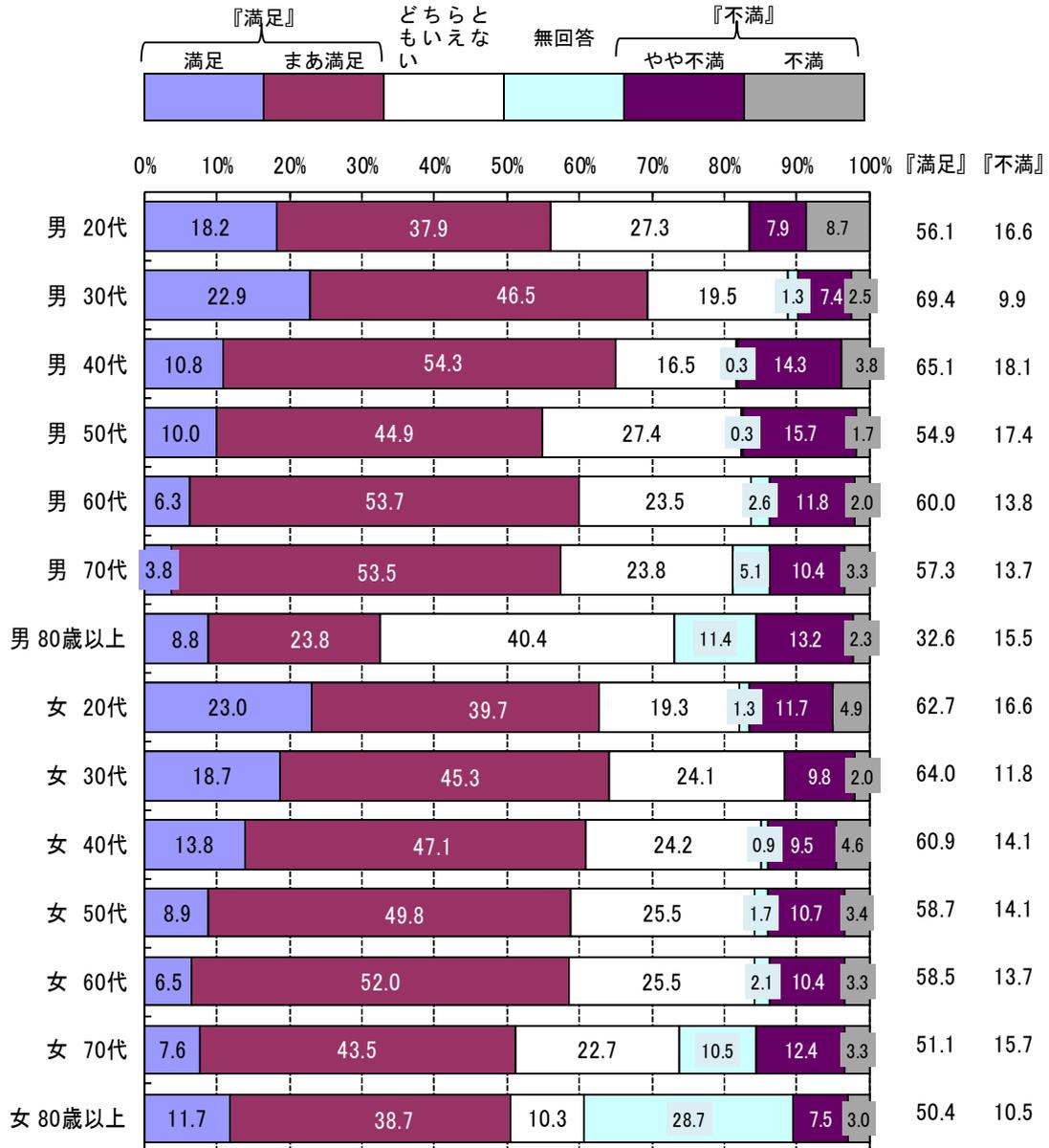
【性別】

『満足』『不満』ともに男女間の差はない。



【性・年代別】

『満足』は、男性は30代が最も高く（69.4%）、女性も30代が最も高い（64.0%）。



問16 去年と比べた生活の向上感

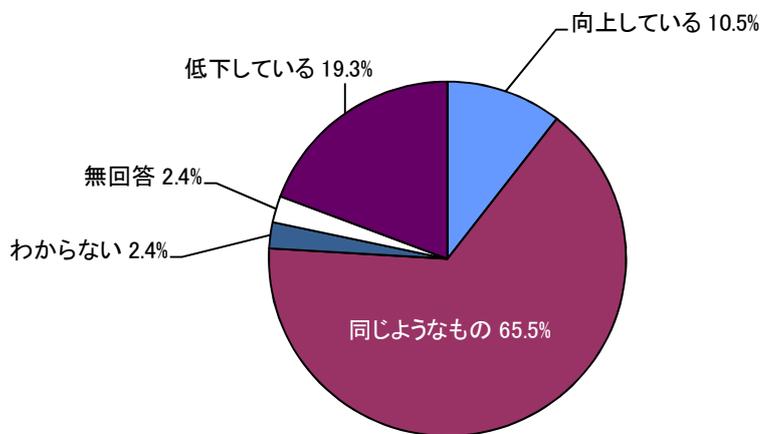
問16

あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きます。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 向上している | 2 同じようなもの |
| 3 低下している | 4 わからない |

【全 県】

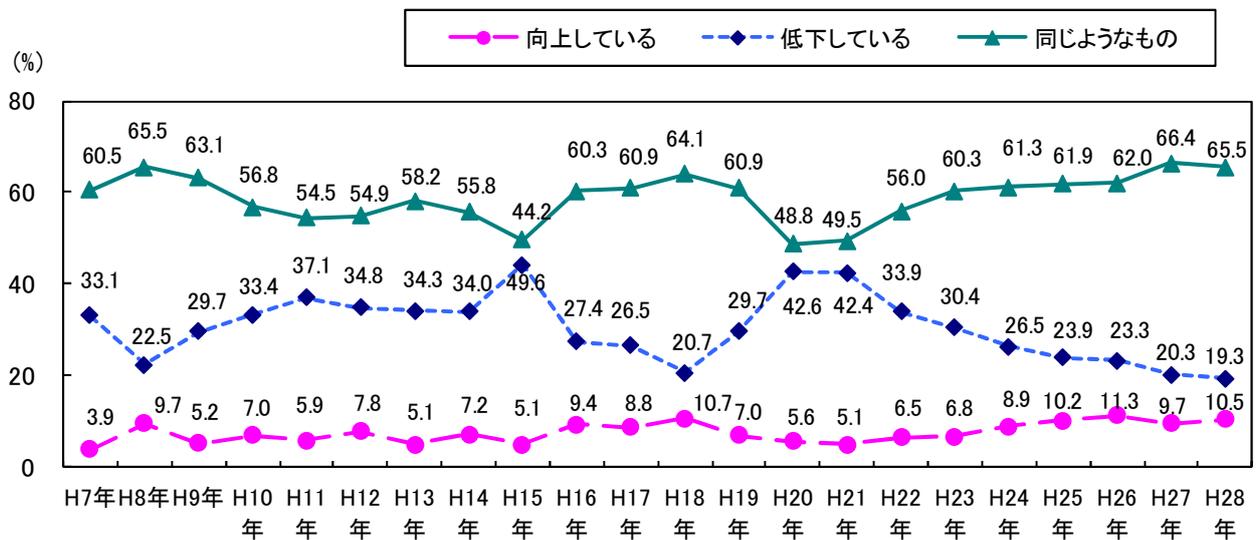
「同じようなもの(65.5%)」が最も高く、次いで「低下している(19.3%)」、「向上している(10.5%)」となった。



【経年比較】

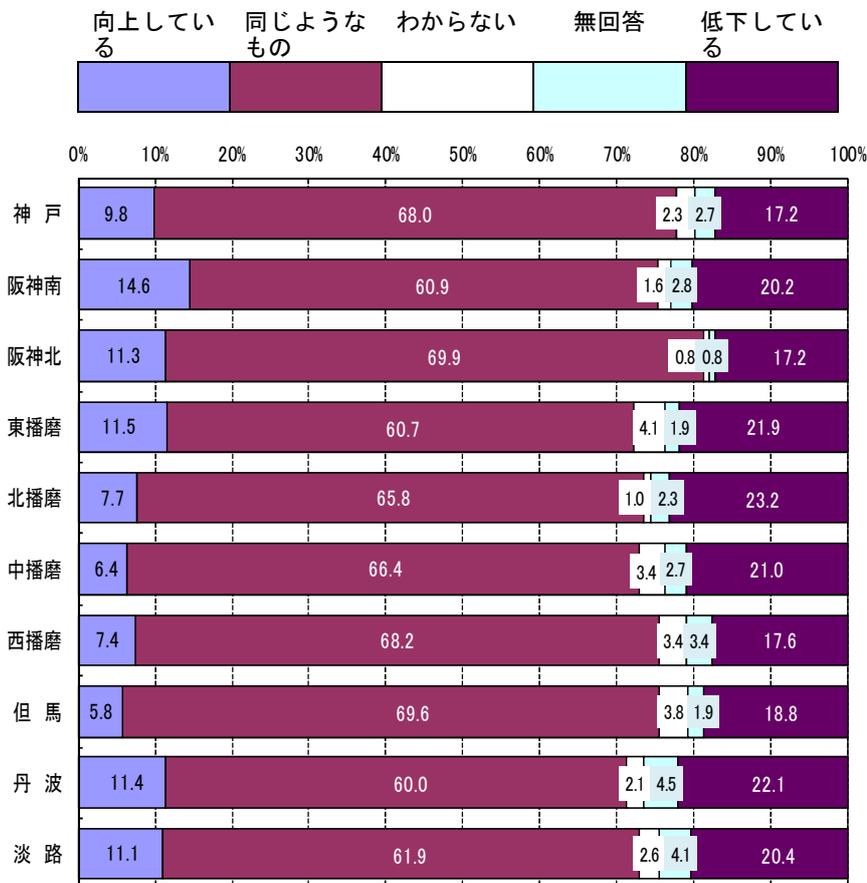
「向上している(10.5%)」は昨年、減少に転じたが、今年度は0.8ポイント増加した。

「低下している(19.3%)」はH21年以降、減少傾向にある。



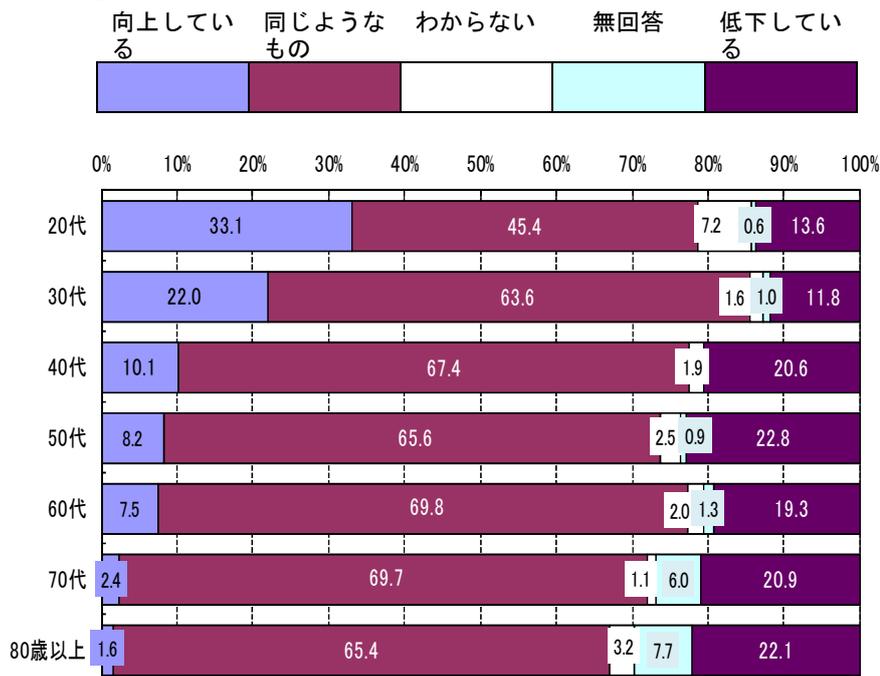
【地域別】

「向上している」は阪神南(14.6%)が最も高く、阪神北(11.3%)、東播磨(11.5%)、丹波(11.4%)、淡路(11.1%)が、全県(10.5%)を越えている。



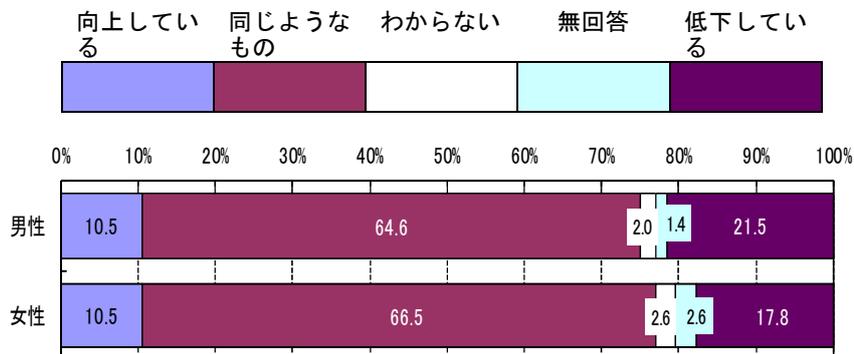
【年代別】

「向上している」は20代が最も高い(33.1%)。



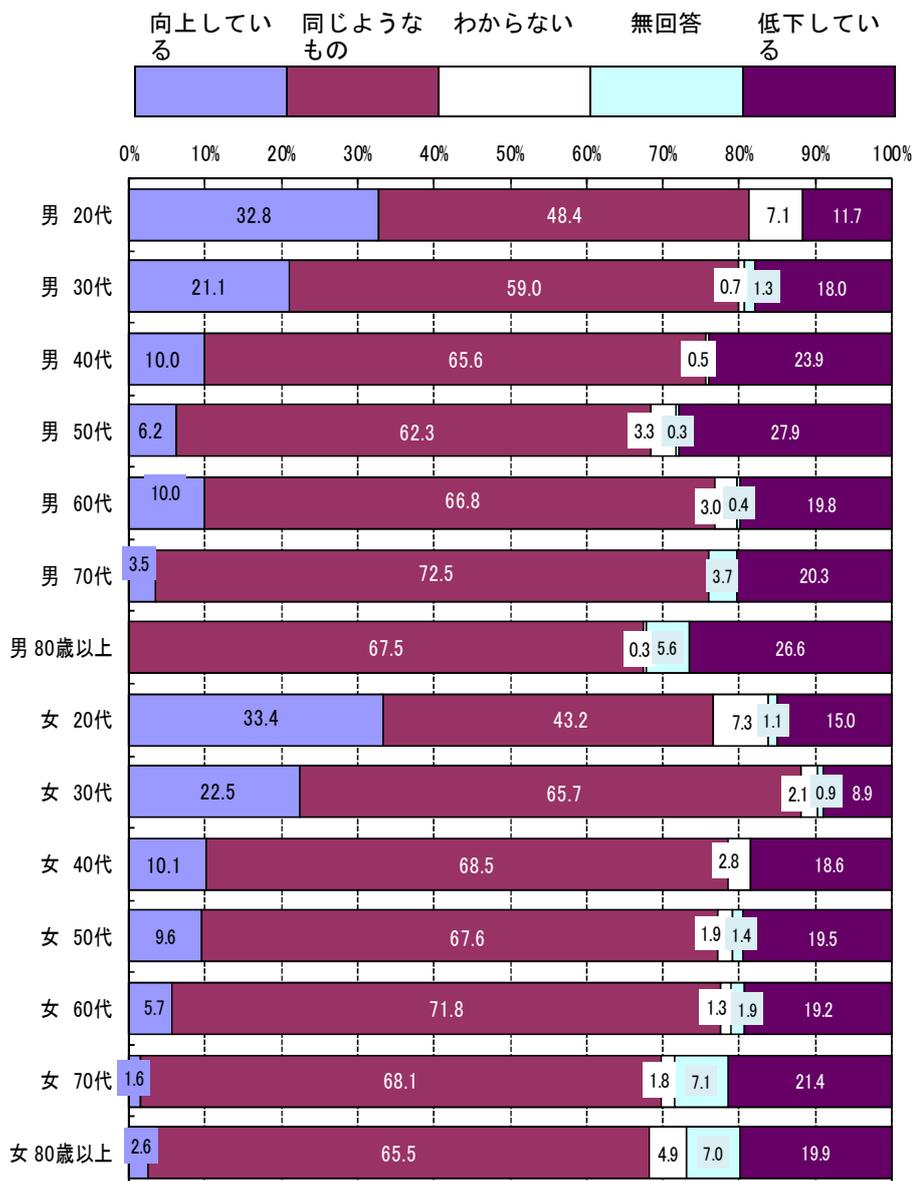
【性別】

「低下している」は男性の方が女性より3.7ポイント高い。



【性・年代別】

「向上している」は、男性は20代が最も高く（32.8%）、女性も20代が最も高い（33.4%）。



問17 大地震発生の可能性

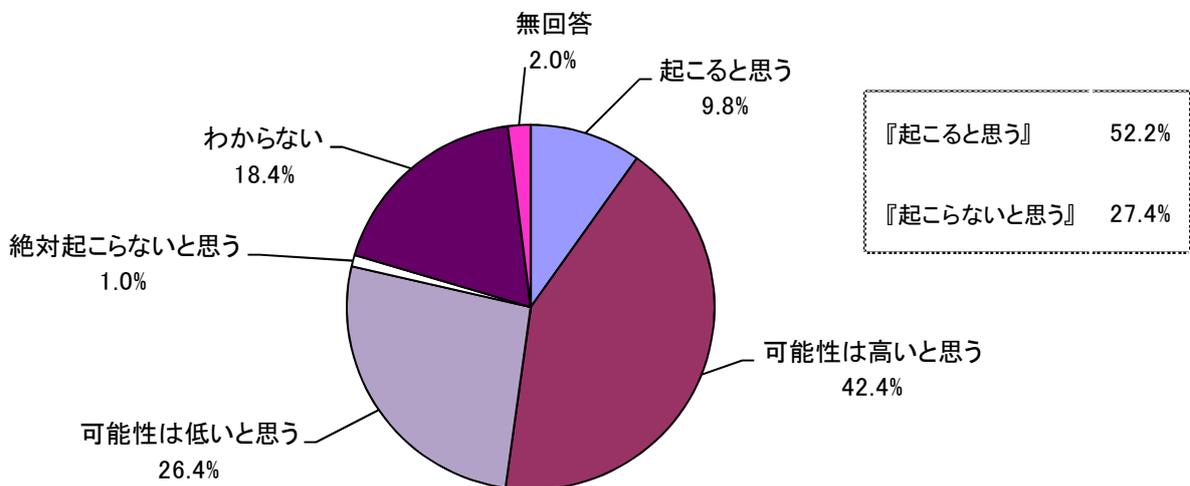
問17

あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間には大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 起こると思う | 2 可能性は高いと思う |
| 3 可能性は低いと思う | 4 絶対起こらないと思う |
| 5 わからない | |

【全 県】

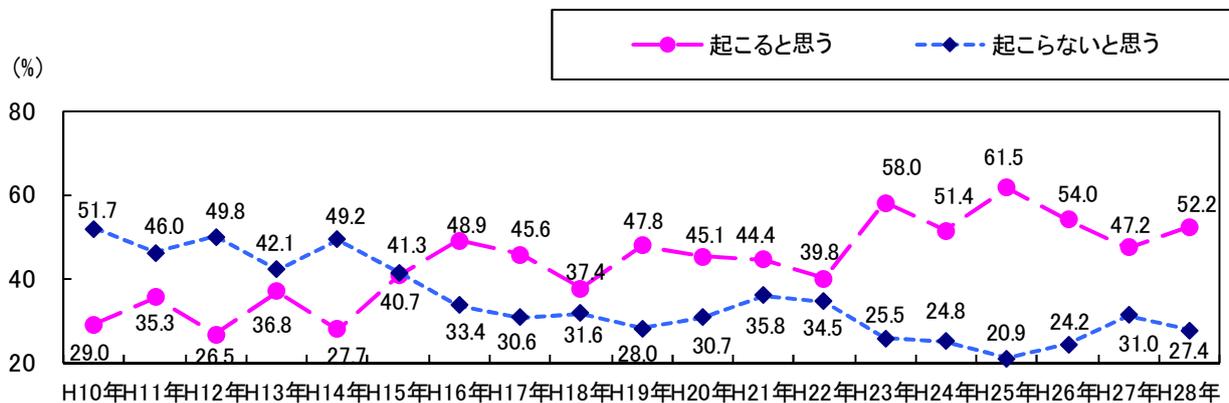
「起こると思う(9.8%)」、「可能性は高いと思う(42.4%)」を合わせた『起こると思う』は52.2%で、「絶対起こらないと思う(1.0%)」、「可能性は低いと思う(26.4%)」を合わせた『起こらないと思う』は27.4%となった。



【経年比較】

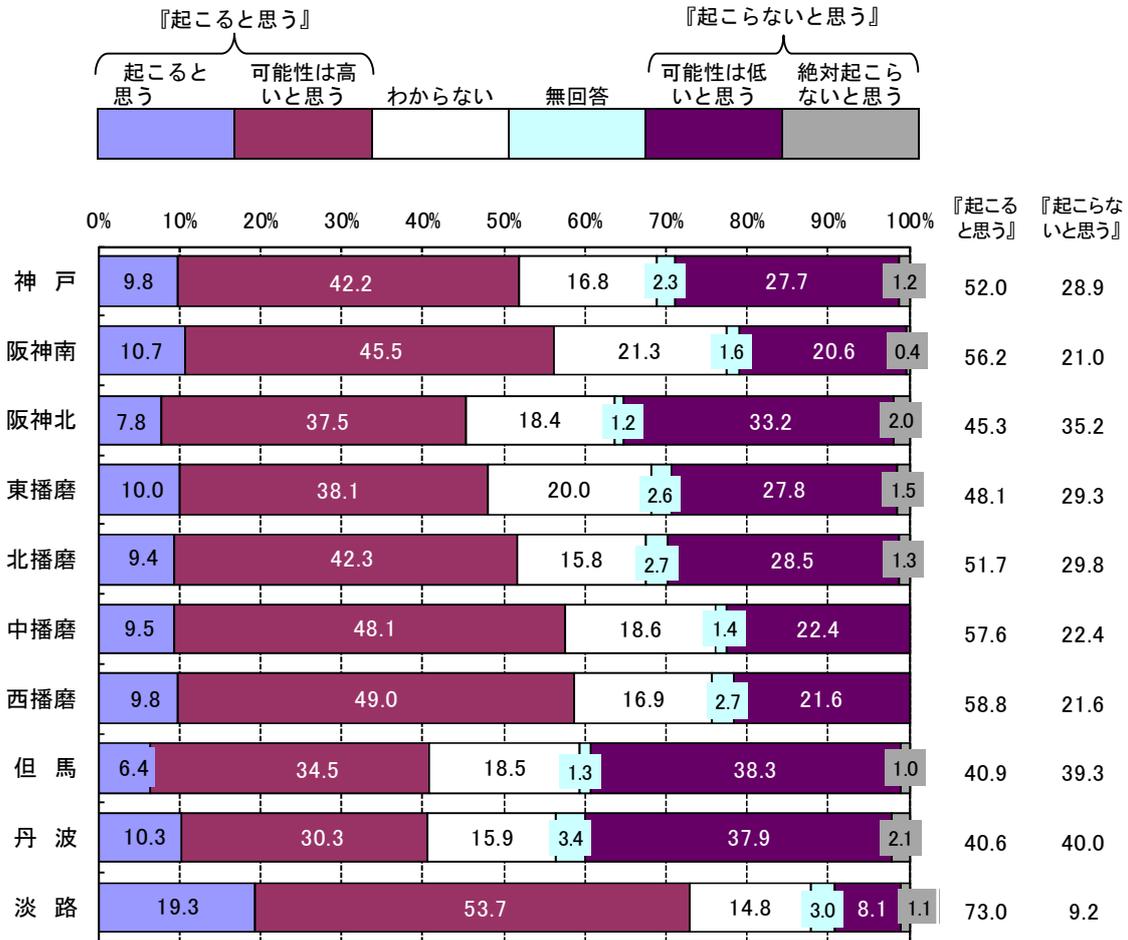
『起こると思う(52.2%)』は、前年より5.0ポイント増加した。

一方、『起こらないと思う(27.4%)』は、前年より3.6ポイント減少した。



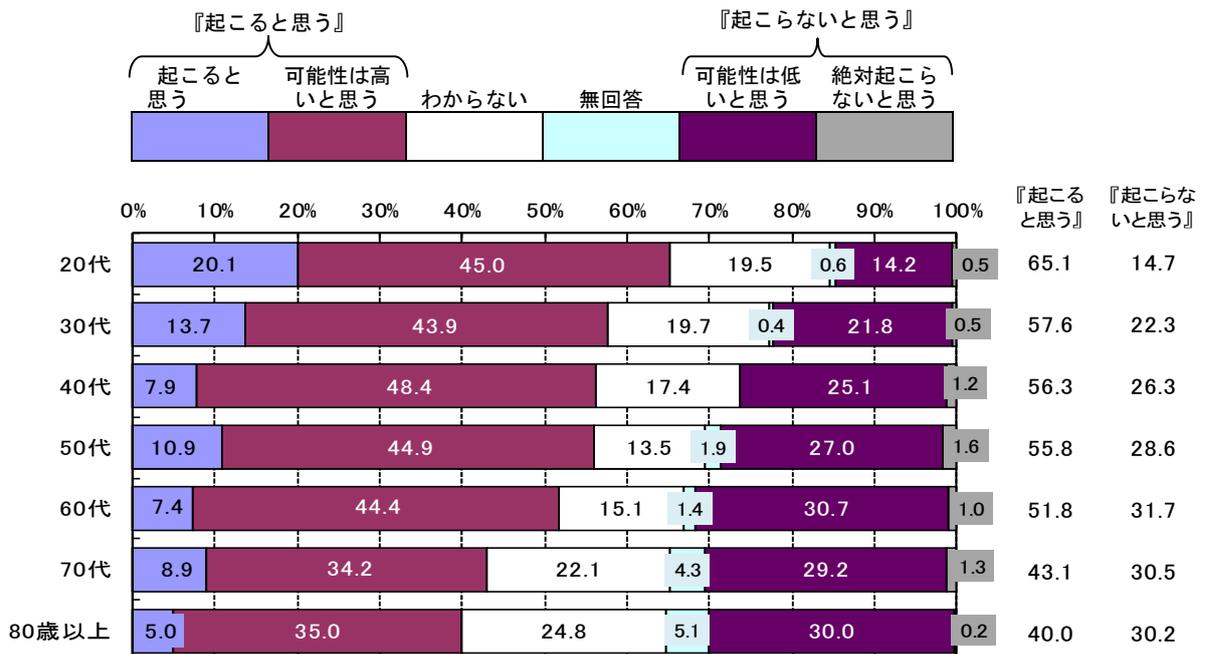
【地域別】

『起こると思う』は、淡路(73.0%)が最も高く、続いて、西播磨(58.8%)、中播磨(57.6%)、阪神南(56.2%)が高くなっている。



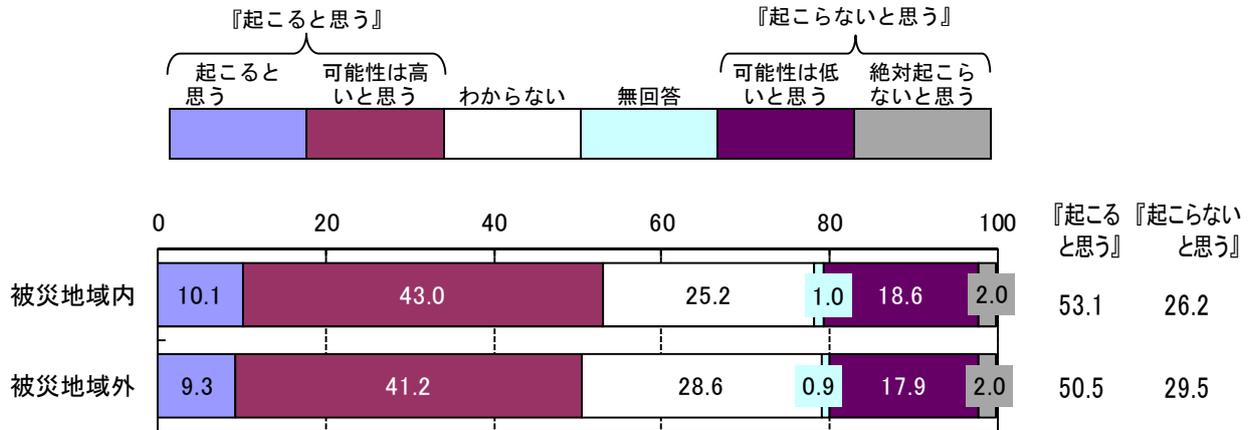
【地域別】

『起こると思う』は、20代が最も高い(65.1%)。



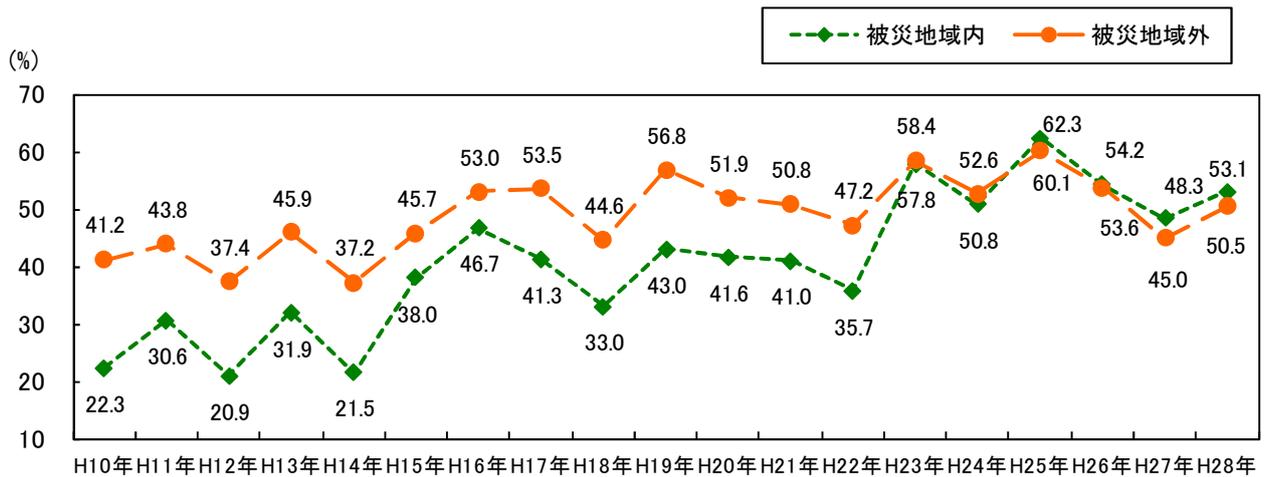
【被災地域内外別】

『起こると思う』は、被災地域外よりも被災地域内の方が2.6ポイント高くなっている。



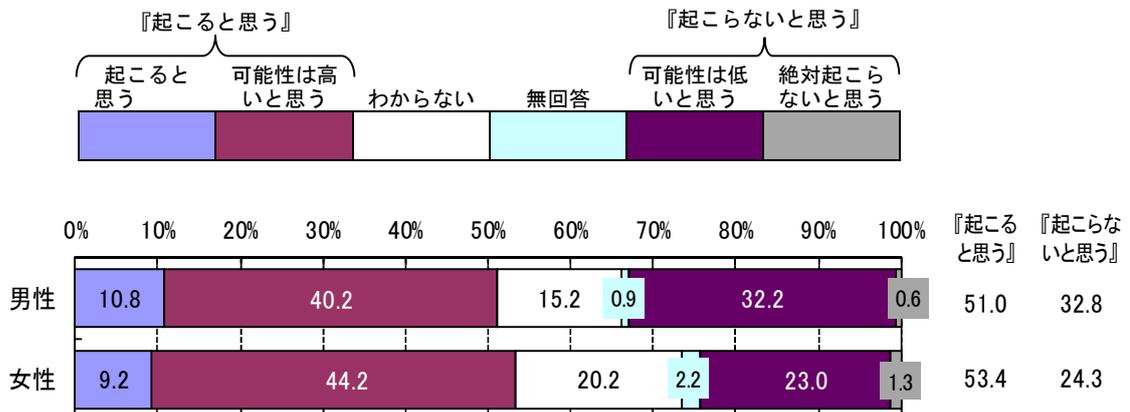
【被災地域内外別『起こると思う』（経年比較）】

被災地域内外とも『起こると思う』が増加傾向に転じた。



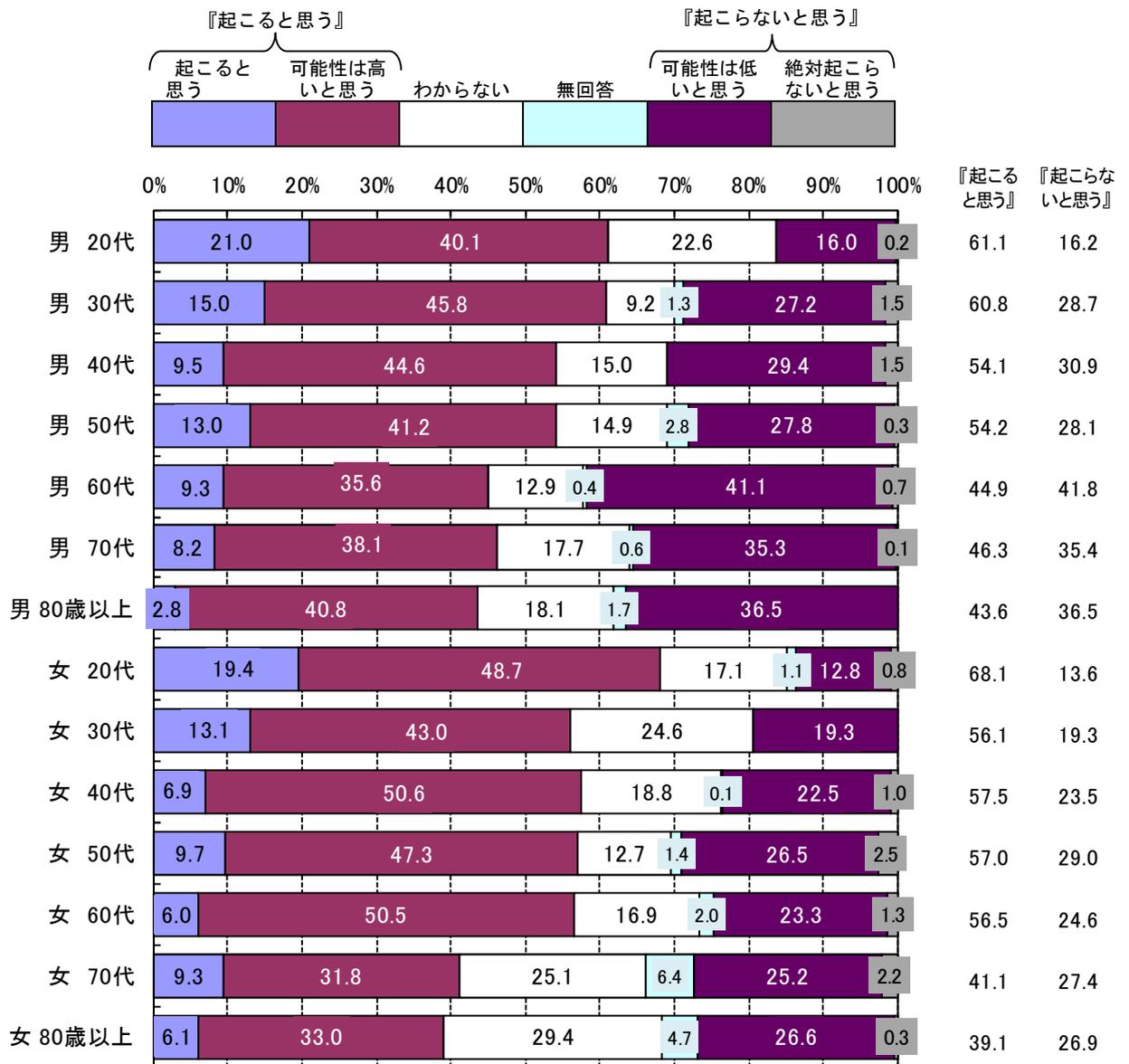
【性別】

『起こると思う』は女性の方が男性より2.4ポイント高い。



【性・年代別】

『起こると思う』は、男性は20代が最も高く（61.1%）、女性も20代が最も高い（68.1%）。



問 18 地域活動への参加状況

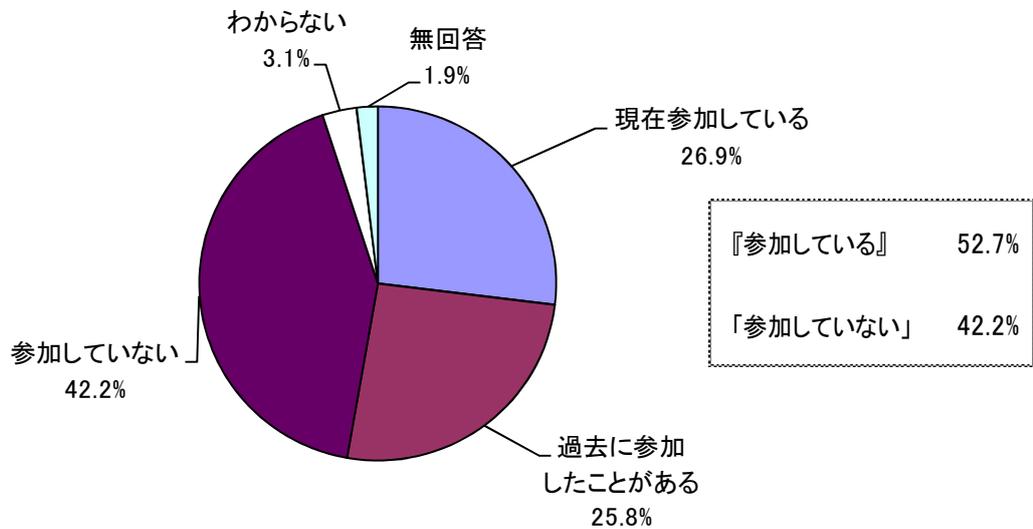
問 18

あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している
- 2 過去に参加したことがある
- 3 参加していない
- 4 わからない

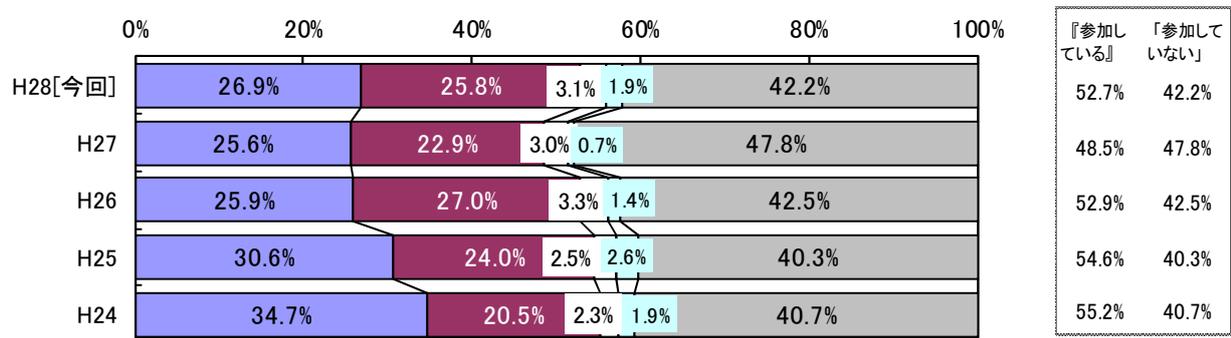
【全 県】

「現在参加している(26.9%)」と「過去に参加したことがある(25.8%)」を合わせた『参加している』が52.7%となった。



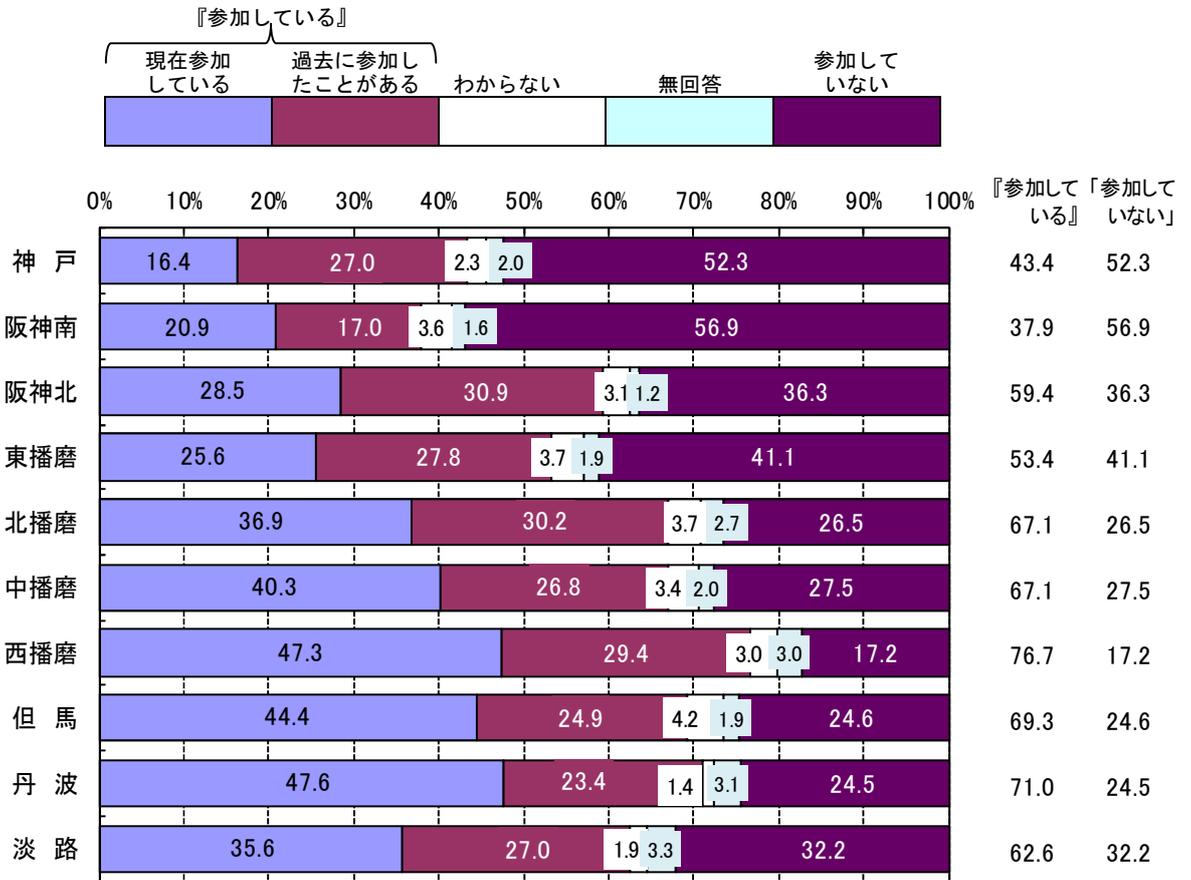
【経年比較】

『参加している(52.7%)』は前年より4.2ポイント増加し、「参加していない(42.2%)」は5.6ポイント減少した。



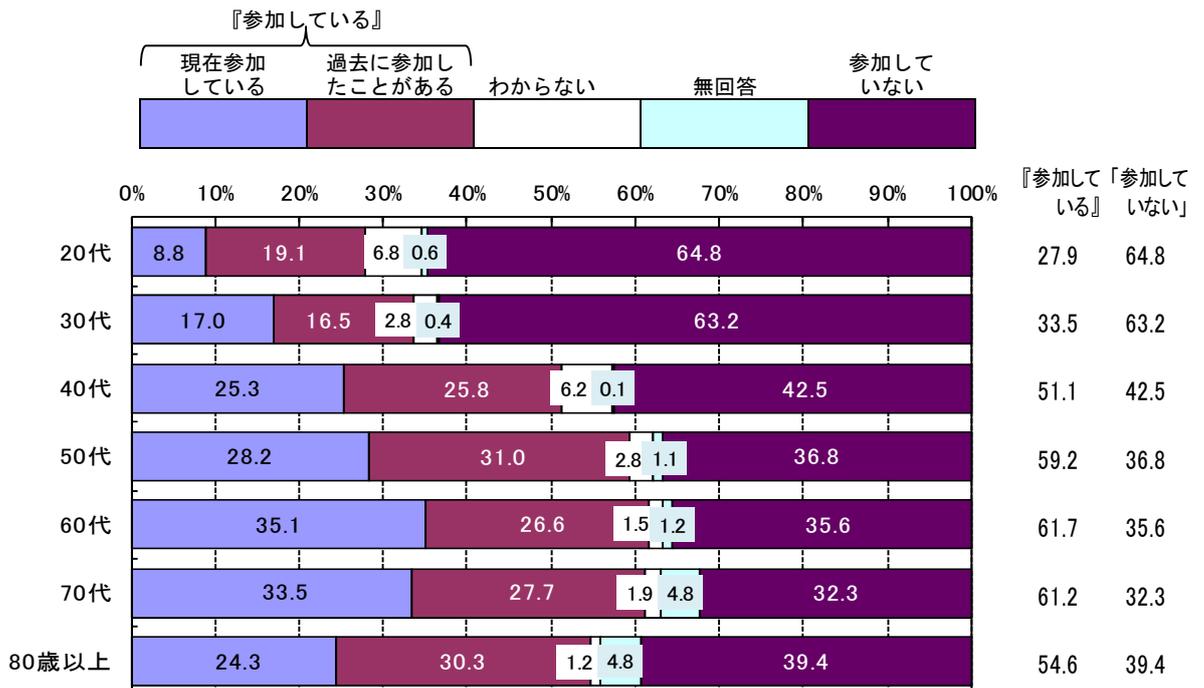
【地域別】

『参加している』は西播磨(76.7%)が最も高く、神戸(43.4%)と阪神南(37.9%)以外は全県(52.7%)を超えた。



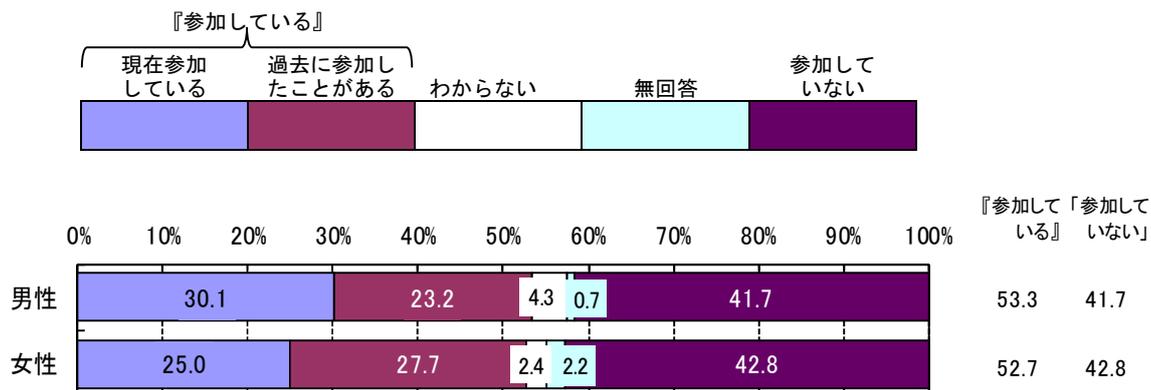
【年代別】

『参加している』は60代が最も高い(61.7%)。



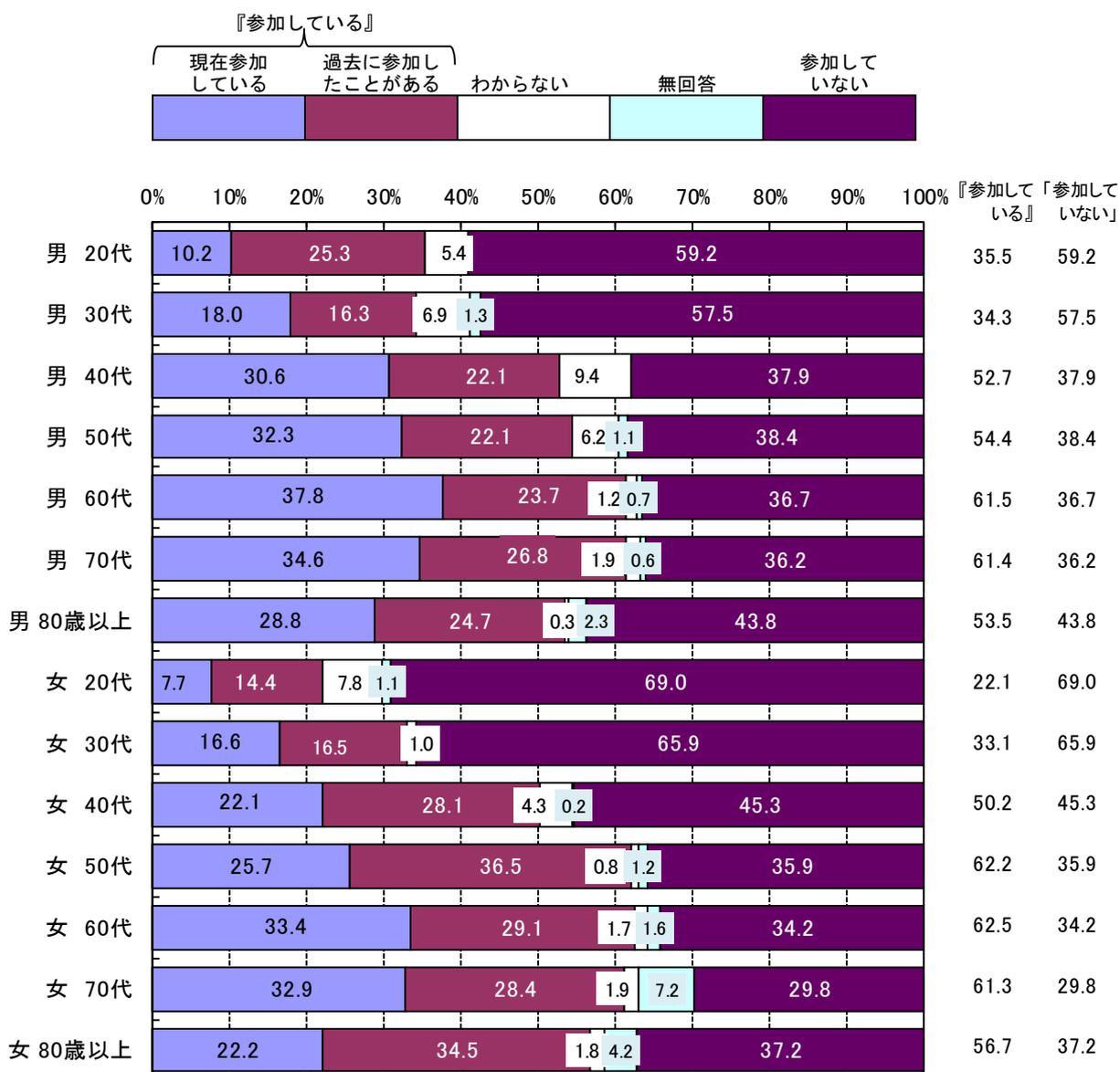
【性別】

『参加している』『参加していない』ともに男女間の差はない。



【性・年代別】

『参加している』は、男性は60代が最も高く（61.5%）、女性も60代が最も高い（62.5%）。



問 19 県政への関心

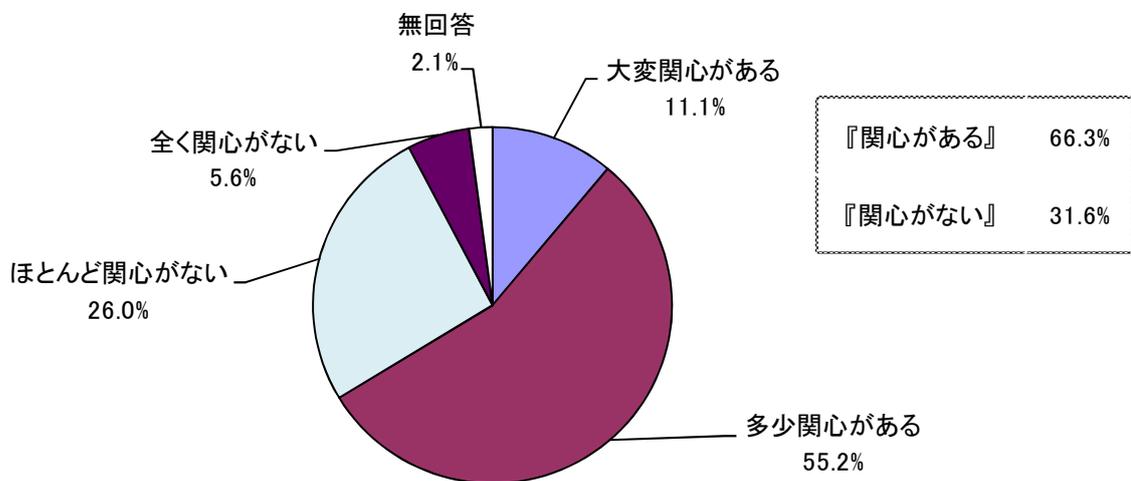
問 19

あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 大変関心がある | 2 多少関心がある |
| 3 ほとんど関心がない | 4 全く関心がない |

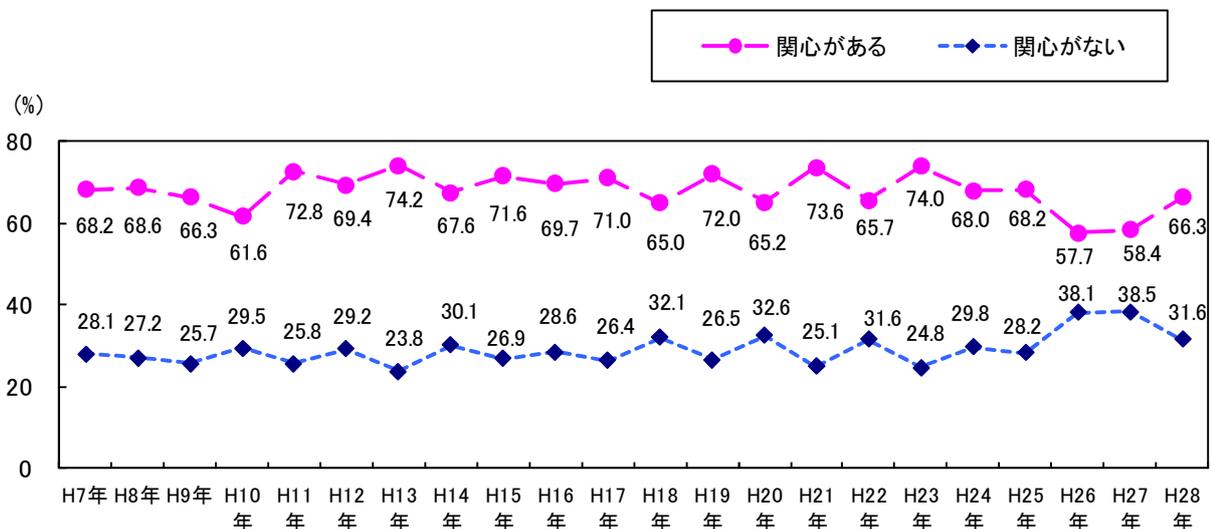
【全 県】

「大変関心がある(11.1%)」と「多少関心がある(55.2%)」を合わせた『関心がある』が66.3%で、「全く関心がない(5.6%)」と「ほとんど関心がない(26.0%)」を合わせた『関心がない』が31.6%となった。



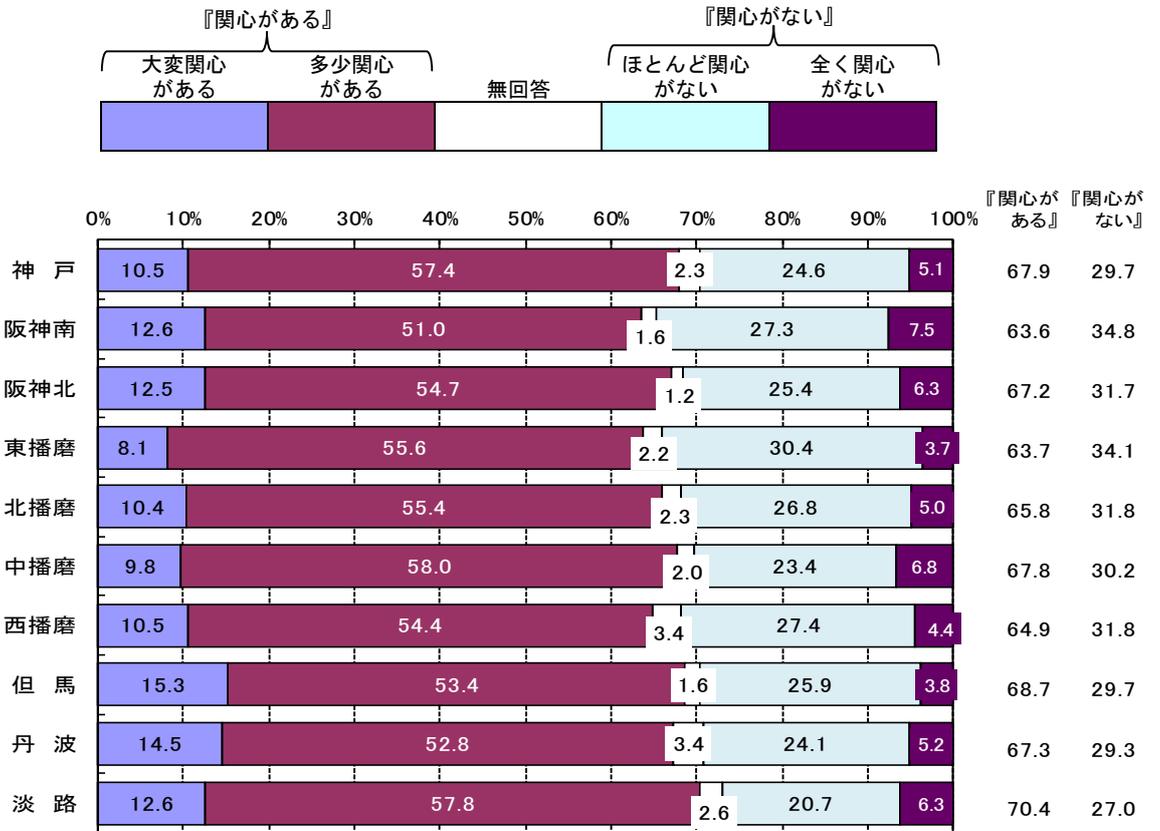
【経年比較】

『関心がある(66.3%)』は前年より7.9ポイント増加した。また、『関心がない(31.6%)』は前年より6.9ポイント減少した。



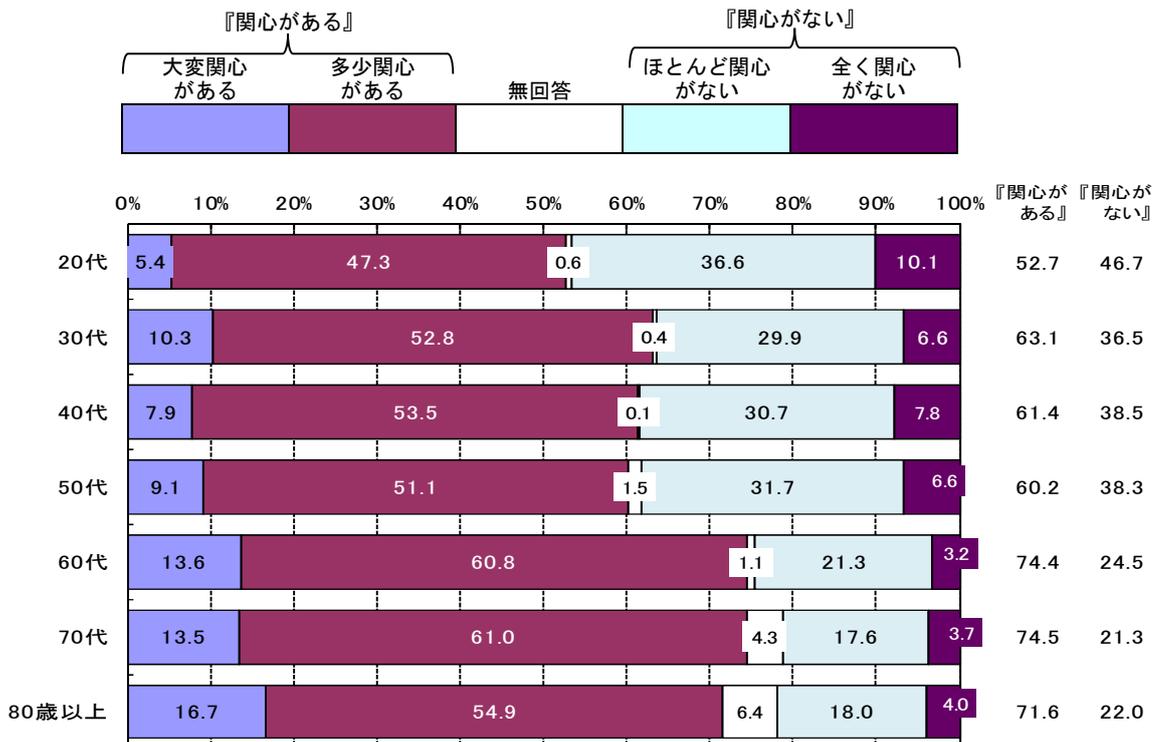
【地域別】

『関心がある』は淡路(70.4%)が最も高く、神戸(67.9%)、阪神北(67.2%)、中播磨(67.8%)、但馬(68.7%)、丹波(67.3%)は全県(66.3%)を超えた。



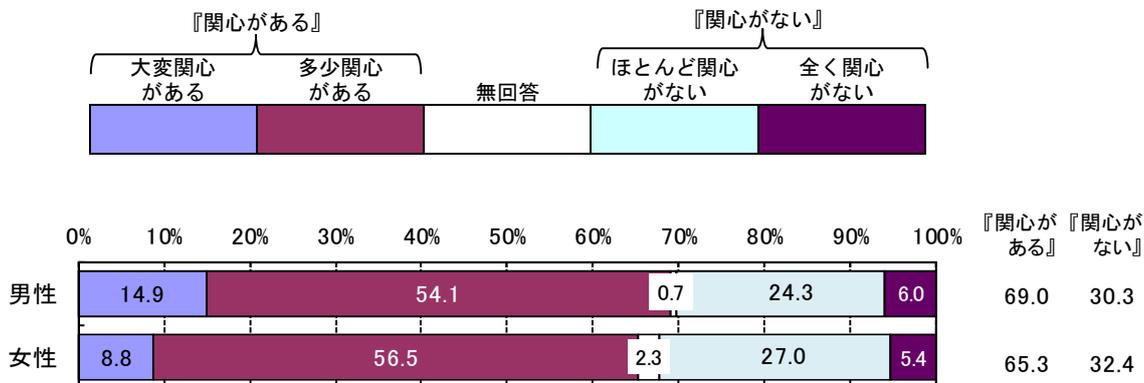
【地域別】

『関心がある』は70代が最も高い(74.5%)。



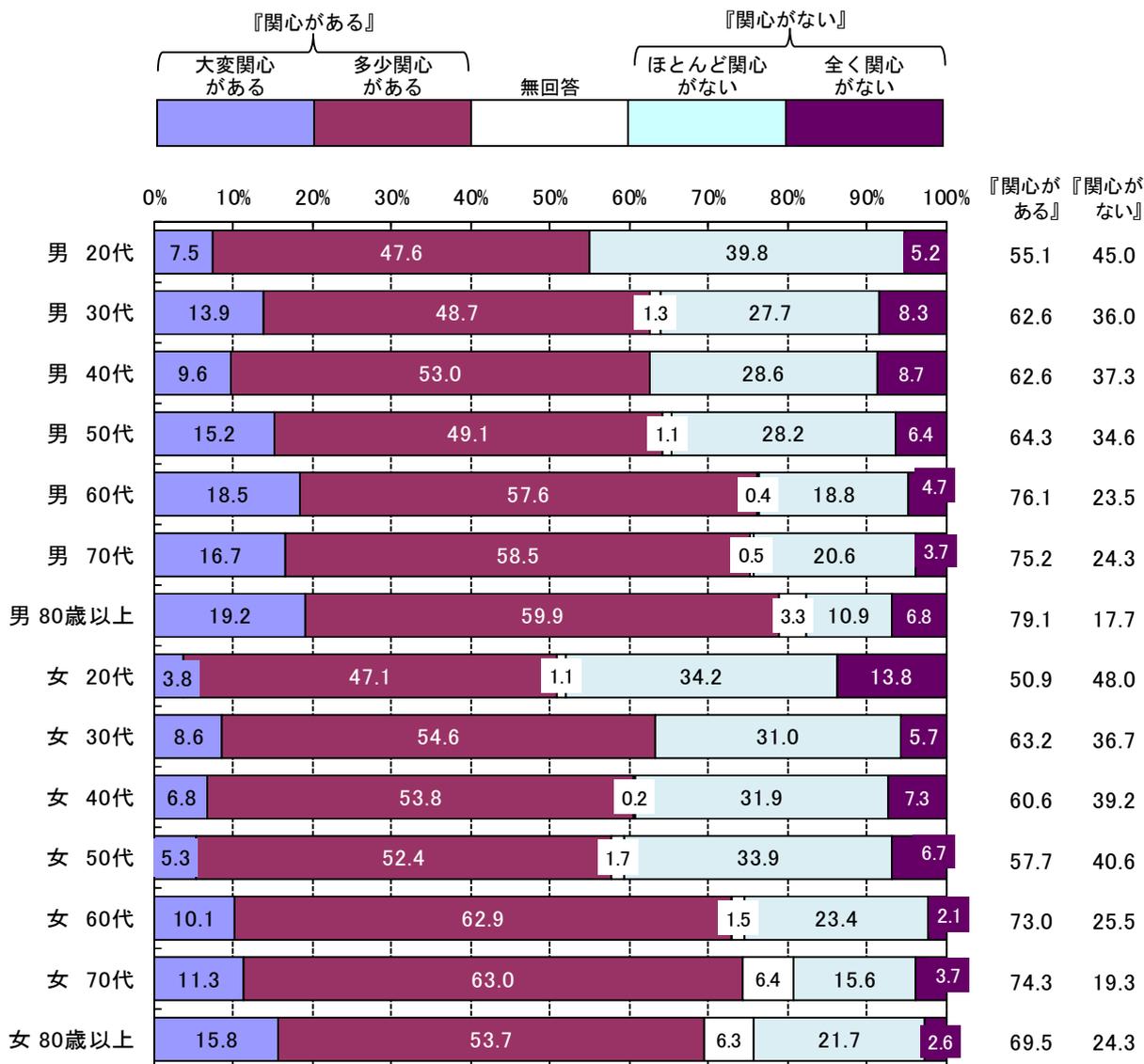
【性別】

『関心がある』は男性の方が女性より3.7ポイント高い。



【性・年代別】

『関心がある』は、男性は80歳以上が最も高く（79.1%）、女性は70代が最も高い（74.3%）。



問20 県政への評価

問20

県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 国際的な交流や協力
- イ 県政の広報・広聴活動
- ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- エ 防災対策の充実
- オ 生涯学習活動への支援
- カ 芸術文化の振興
- キ 環境の保全と創造
- ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- コ 県内中小企業の育成
- サ 雇用の安定と職業能力の開発
- シ 観光の振興
- ス 農林水産業の活性化対策
- セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- ソ 良質な住宅の供給
- タ 学校教育の充実
- チ 交通安全・防犯対策
- ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策

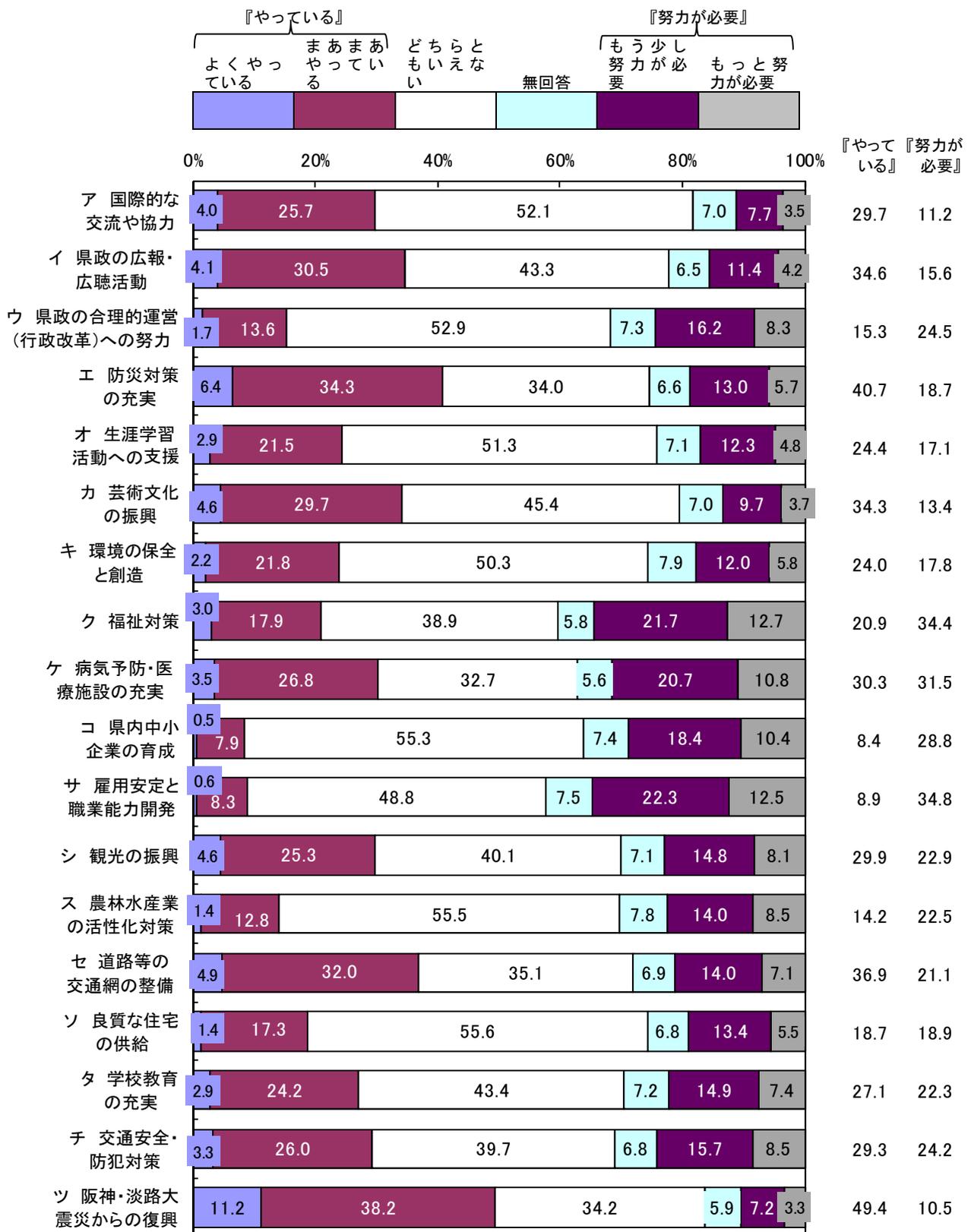
- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 よくやっている | 2 まあまあやっている | 3 どちらともいえない |
| 4 もう少し努力が必要 | 5 もっと努力が必要 | |

【全 県】

「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策(49.4%)〕が最も多く、〔エ 防災対策の充実(40.7%)〕、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備(36.9%)〕、〔イ 県政の広報・広聴活動(34.6%)〕、〔カ 芸術文化の振興(34.3%)〕と続いている。

「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、〔サ 雇用の安定と職業能力の開発(34.8%)〕が最も多く、〔ク 福祉対策(34.4%)〕、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実(31.5%)〕、〔コ 県内中小企業の育成(28.8%)〕〔ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力(24.5%)〕と続いている。

18項目中、11項目で『やっている』が『努力が必要』を上回った。



【前年度比較】

『やっている』は、〔タ 学校教育の充実 (3.8ポイント増)〕、〔チ 交通安全・防犯対策 (3.3ポイント増)〕、〔オ 生涯学習活動への支援 (2.4ポイント増)〕など、11項目で増加した。

一方、『努力が必要』は〔カ 芸術文化の振興 (3.4ポイント増)〕、〔シ 観光の振興 (3.1ポイント増)〕、〔キ 環境の保全と創造 (2.6ポイント増)〕など、12項目で増加した。

◎県政への評価【前年度比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	3.8
チ 交通安全・防犯対策	3.3
オ 生涯学習活動への支援	2.4
カ 芸術文化の振興	2.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.7
エ 防災対策の充実	1.6
ス 農林水産業の活性化対策	1.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.4
イ 県政の広報・広聴活動	0.8
ア 国際的な交流や協力	0.5
ケ 病気予防や医療施設の充実	0.2
キ 環境の保全と創造	0.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.1
ソ 良質な住宅の供給	-0.1
コ 県内中小企業の育成	-0.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.8
シ 観光の振興	-0.9
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	-1.9

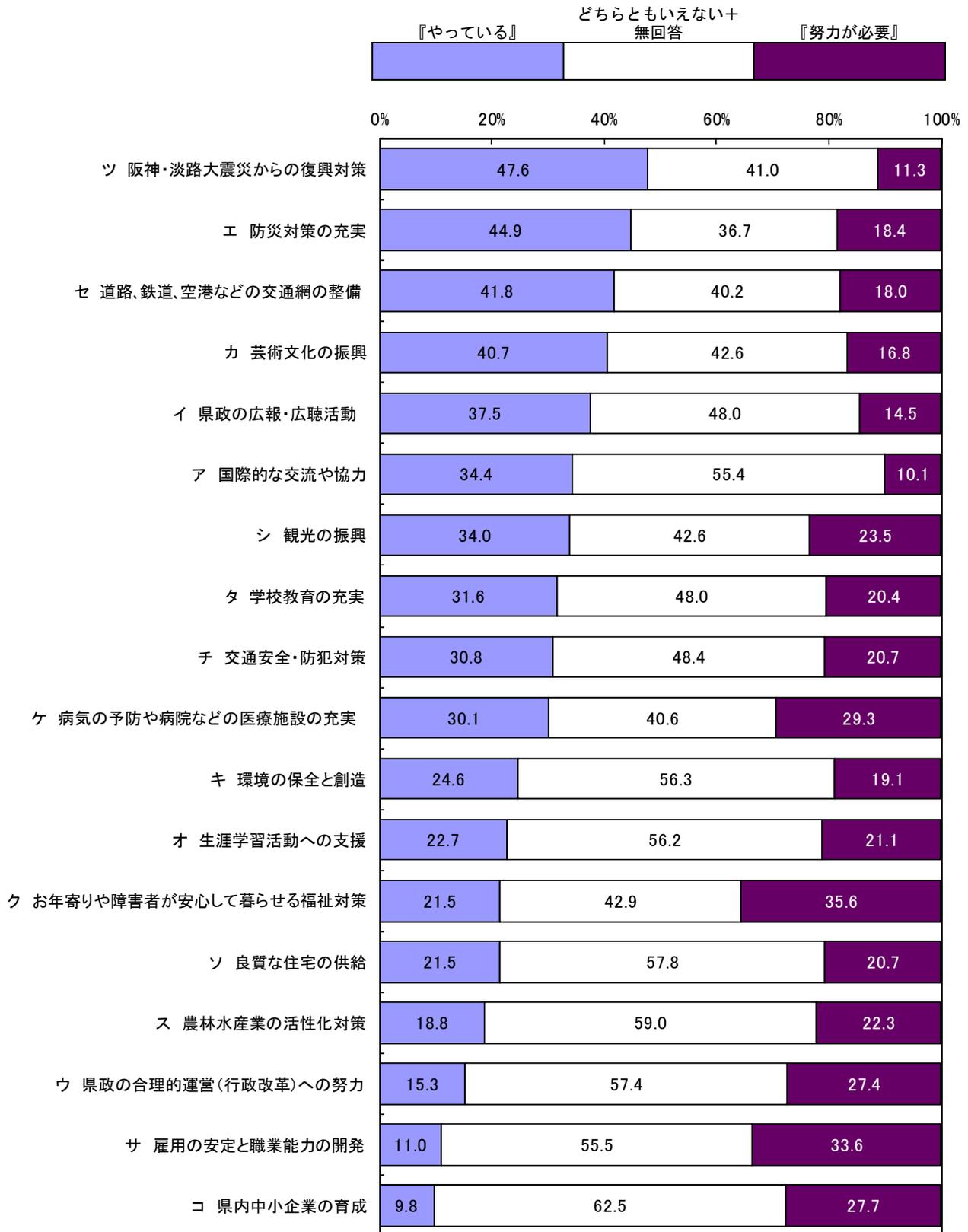
◎県政への評価【前年度比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
カ 芸術文化の振興	3.4
シ 観光の振興	3.1
キ 環境の保全と創造	2.6
ケ 病気予防や医療施設の充実	2.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.1
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	1.6
オ 生涯学習活動への支援	1.3
ス 農林水産業の活性化対策	1.1
イ 県政の広報・広聴活動	0.7
ア 国際的な交流や協力	0.7
エ 防災対策の充実	0.4
ソ 良質な住宅の供給	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.1
コ 県内中小企業の育成	-0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.2
タ 学校教育の充実	-0.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.1
チ 交通安全・防犯対策	-1.3

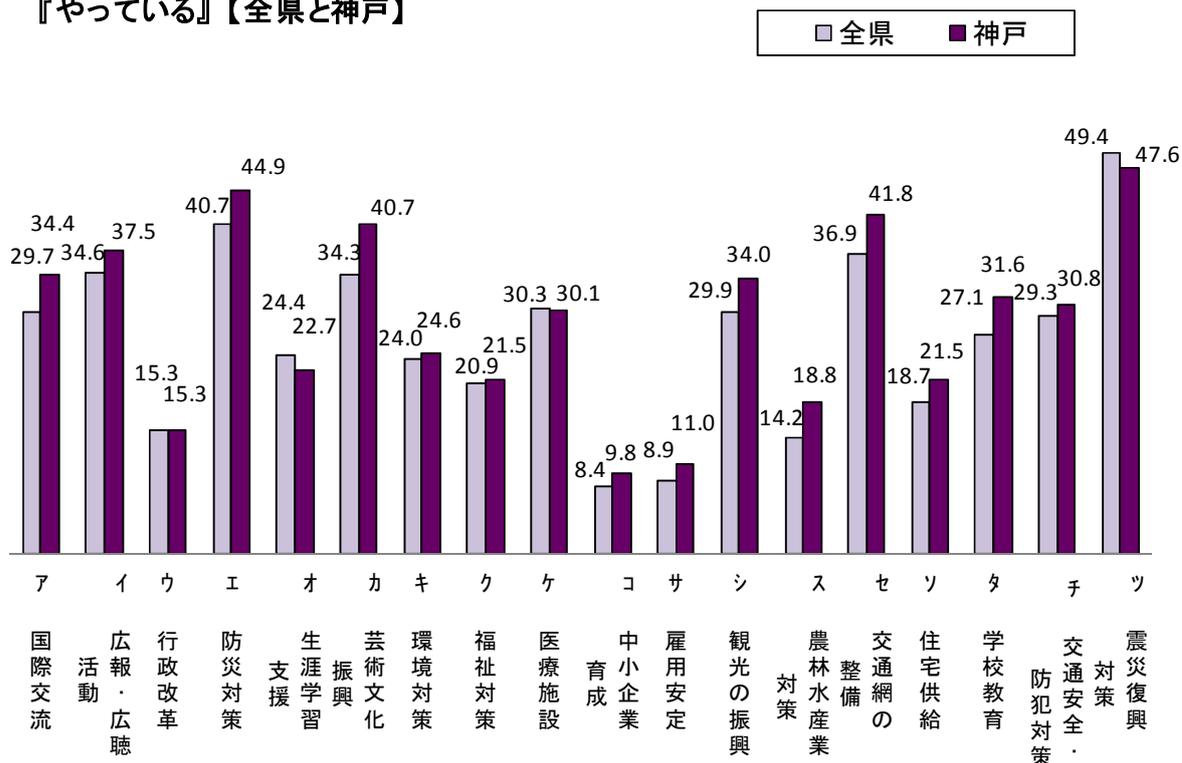
《神戸地域》

〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



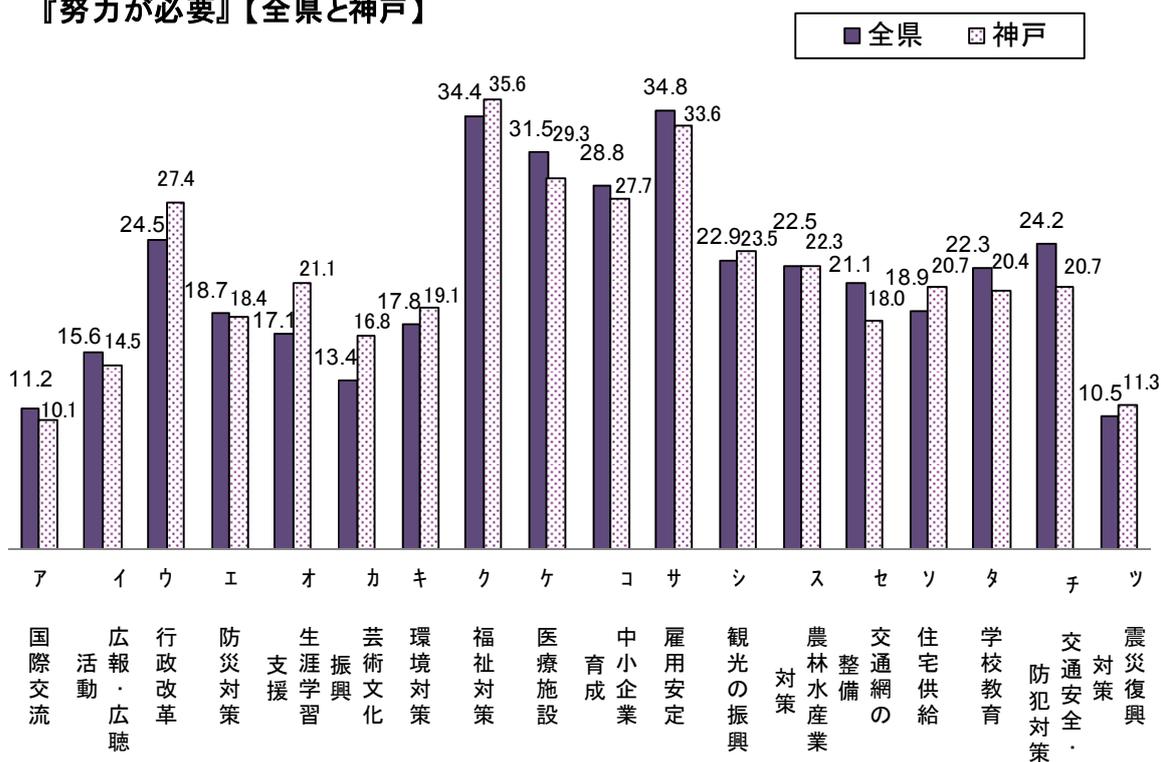
『やっている』【全県と神戸】

(%)



『努力が必要』【全県と神戸】

(%)



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
カ 芸術文化の振興	6.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.9
ア 国際的な交流や協力	4.7
ス 農林水産業の活性化対策	4.6
タ 学校教育の充実	4.5
エ 防災対策の充実	4.2
シ 観光の振興	4.1
イ 県政の広報・広聴活動	2.9
ソ 良質な住宅の供給	2.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.1
チ 交通安全・防犯対策	1.5
コ 県内中小企業の育成	1.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.6
キ 環境の保全と創造	0.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.2
オ 生涯学習活動への支援	-1.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	4.0
カ 芸術文化の振興	3.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.9
ソ 良質な住宅の供給	1.8
キ 環境の保全と創造	1.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.8
シ 観光の振興	0.6
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
エ 防災対策の充実	-0.3
ア 国際的な交流や協力	-1.1
コ 県内中小企業の育成	-1.1
イ 県政の広報・広聴活動	-1.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.2
タ 学校教育の充実	-1.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.1
チ 交通安全・防犯対策	-3.5

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	9.6
カ 芸術文化の振興	6.0
ス 農林水産業の活性化対策	5.8
エ 防災対策の充実	5.8
オ 生涯学習活動への支援	3.8
チ 交通安全・防犯対策	3.0
イ 県政の広報・広聴活動	2.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.6
キ 環境の保全と創造	1.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.7
コ 県内中小企業の育成	0.6
ソ 良質な住宅の供給	0.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.2
ア 国際的な交流や協力	-0.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.9
シ 観光の振興	-1.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

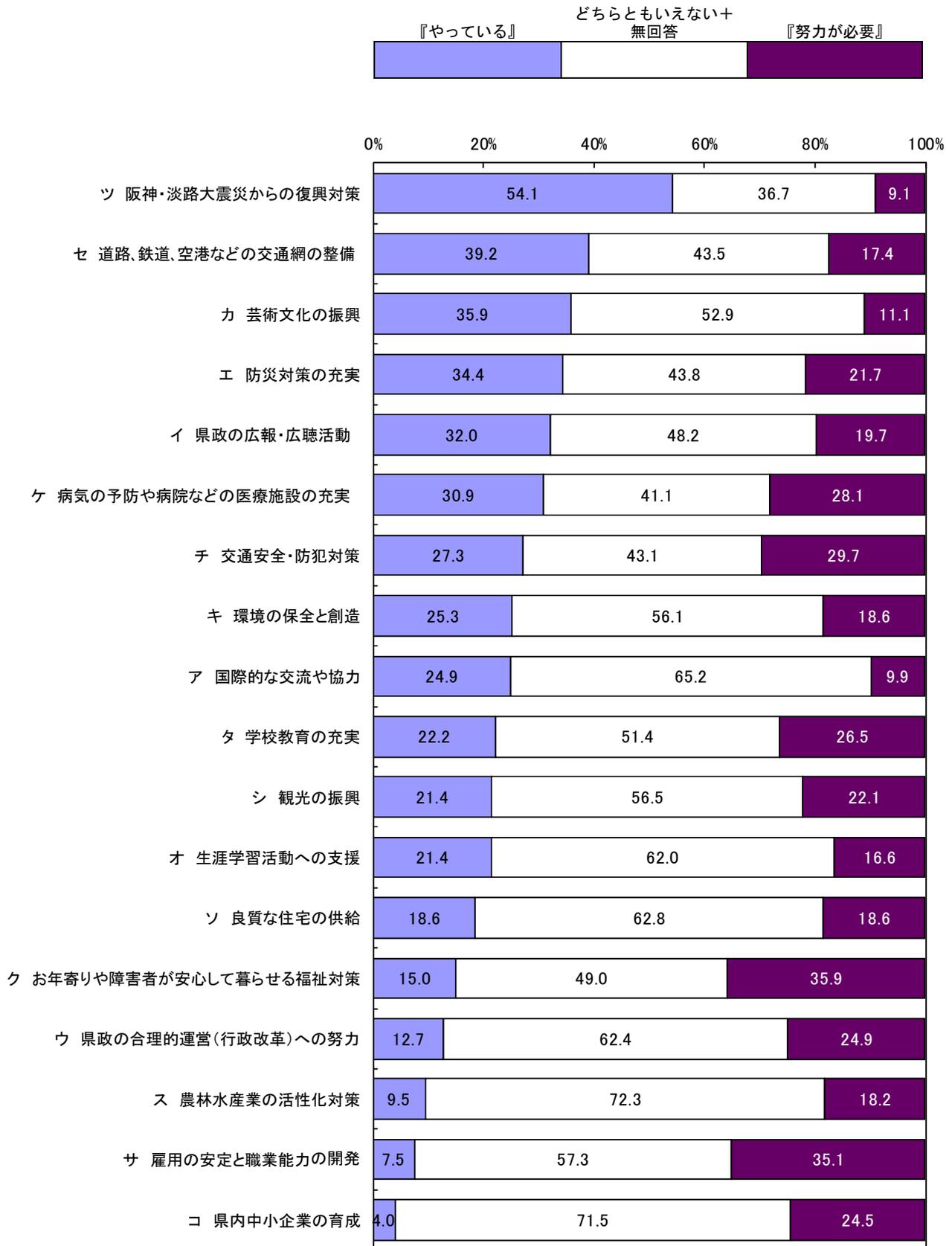
『努力が必要』	増減
カ 芸術文化の振興	7.8
オ 生涯学習活動への支援	4.9
シ 観光の振興	4.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.3
キ 環境の保全と創造	2.9
ソ 良質な住宅の供給	2.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.3
ス 農林水産業の活性化対策	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.2
ア 国際的な交流や協力	-0.2
コ 県内中小企業の育成	-0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.4
イ 県政の広報・広聴活動	-2.0
エ 防災対策の充実	-2.9
タ 学校教育の充実	-4.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.0
チ 交通安全・防犯対策	-8.5

全県との比較では、〔カ 芸術文化の振興〕等の評価が高く、〔オ 生涯学習活動への支援〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔タ 学校教育の充実〕等の評価が高く、〔カ 芸術文化の振興〕等で努力が求められている。

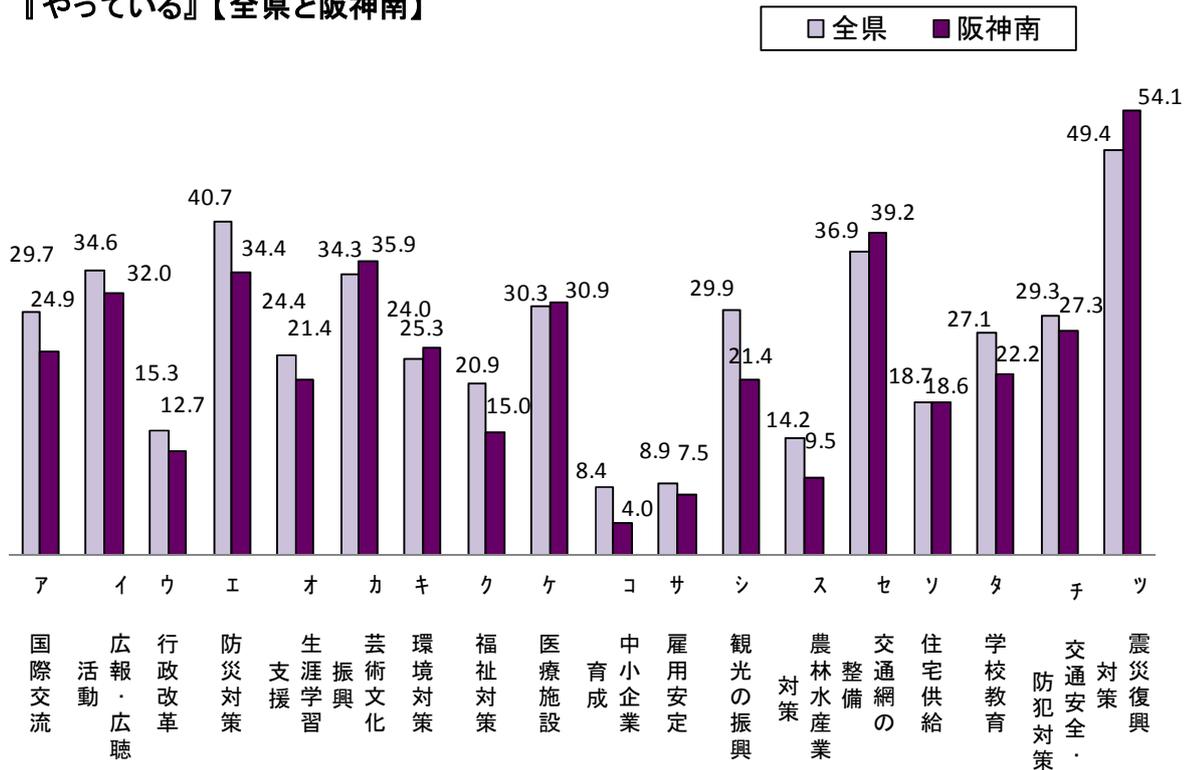
《阪神南地域》

〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



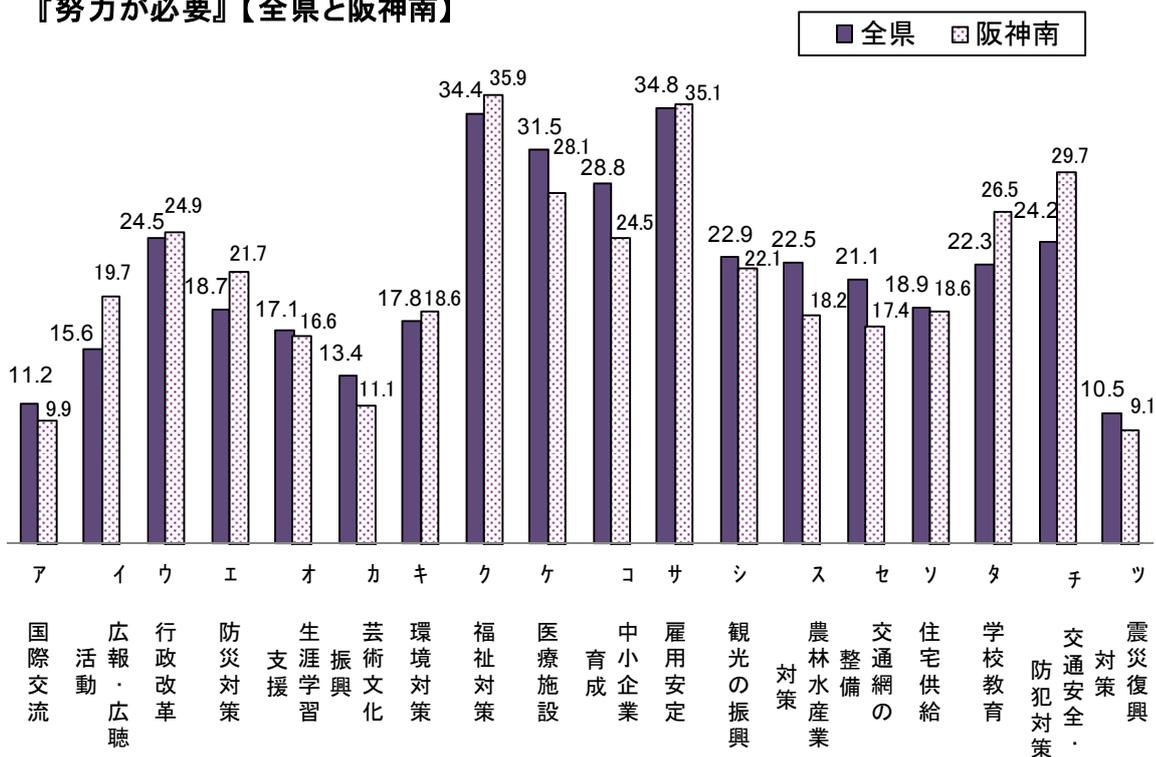
『やっている』【全県と阪神南】

(%)



『努力が必要』【全県と阪神南】

(%)



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	4.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.3
カ 芸術文化の振興	1.6
キ 環境の保全と創造	1.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.6
ソ 良質な住宅の供給	-0.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.4
チ 交通安全・防犯対策	-2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.6
イ 県政の広報・広聴活動	-2.6
オ 生涯学習活動への支援	-3.0
コ 県内中小企業の育成	-4.4
ス 農林水産業の活性化対策	-4.7
ア 国際的な交流や協力	-4.8
タ 学校教育の充実	-4.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.9
エ 防災対策の充実	-6.3
シ 観光の振興	-8.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
チ 交通安全・防犯対策	5.5
タ 学校教育の充実	4.2
イ 県政の広報・広聴活動	4.1
エ 防災対策の充実	3.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.5
キ 環境の保全と創造	0.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.3
ソ 良質な住宅の供給	-0.3
オ 生涯学習活動への支援	-0.5
シ 観光の振興	-0.8
ア 国際的な交流や協力	-1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.4
カ 芸術文化の振興	-2.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.7
コ 県内中小企業の育成	-4.3
ス 農林水産業の活性化対策	-4.3

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	10.2
イ 県政の広報・広聴活動	4.7
オ 生涯学習活動への支援	4.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.0
チ 交通安全・防犯対策	3.4
ア 国際的な交流や協力	2.5
カ 芸術文化の振興	0.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.9
ス 農林水産業の活性化対策	-1.1
キ 環境の保全と創造	-2.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.8
タ 学校教育の充実	-3.5
コ 県内中小企業の育成	-4.7
シ 観光の振興	-4.8
ソ 良質な住宅の供給	-4.9
エ 防災対策の充実	-8.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-9.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

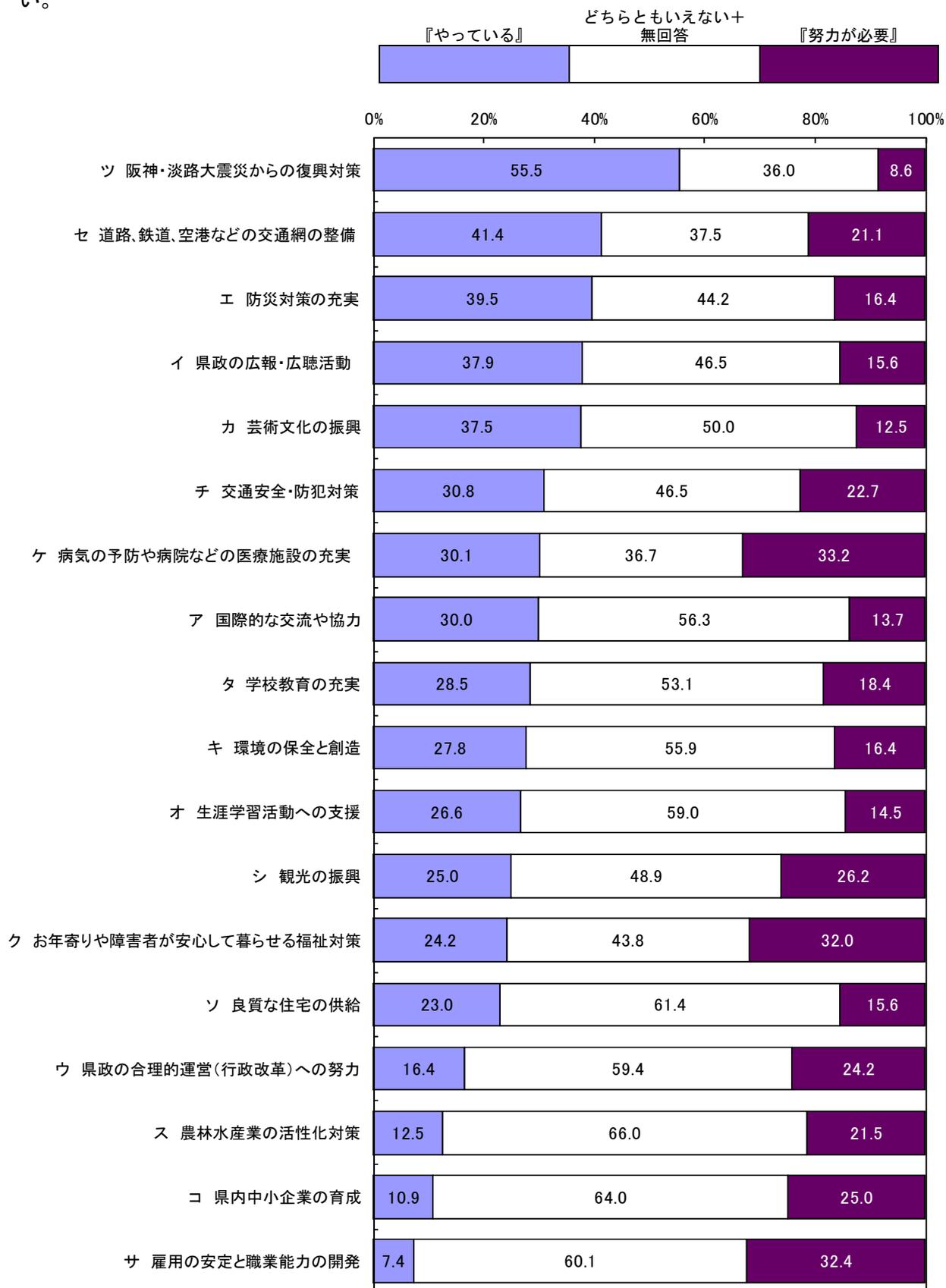
『努力が必要』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	5.3
タ 学校教育の充実	4.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.5
チ 交通安全・防犯対策	4.4
シ 観光の振興	3.9
キ 環境の保全と創造	3.8
エ 防災対策の充実	1.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.5
カ 芸術文化の振興	0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.5
ア 国際的な交流や協力	-1.4
ソ 良質な住宅の供給	-1.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.9
オ 生涯学習活動への支援	-3.1
コ 県内中小企業の育成	-5.0

全県との比較では、〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等の評価が高く、〔チ 交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等の評価が高く、〔イ 県政の広報・広聴活動〕等で努力が求められている。

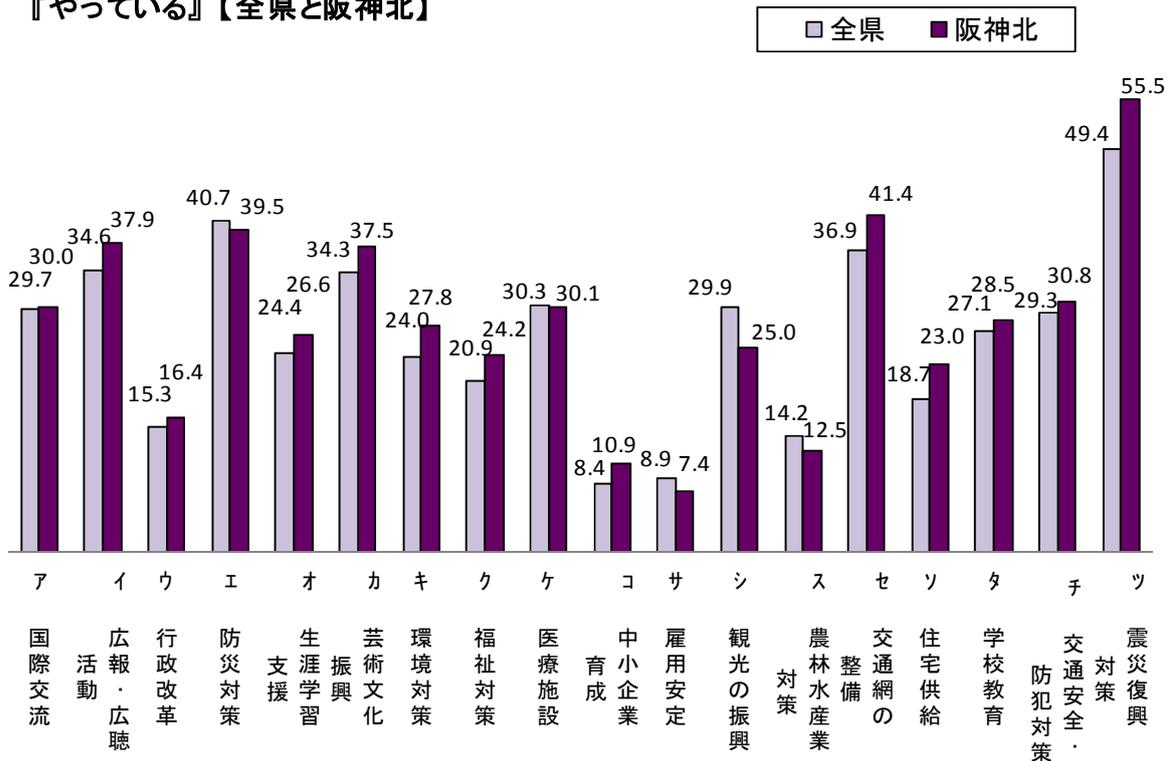
《阪神北地域》

〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕などで評価が高い。



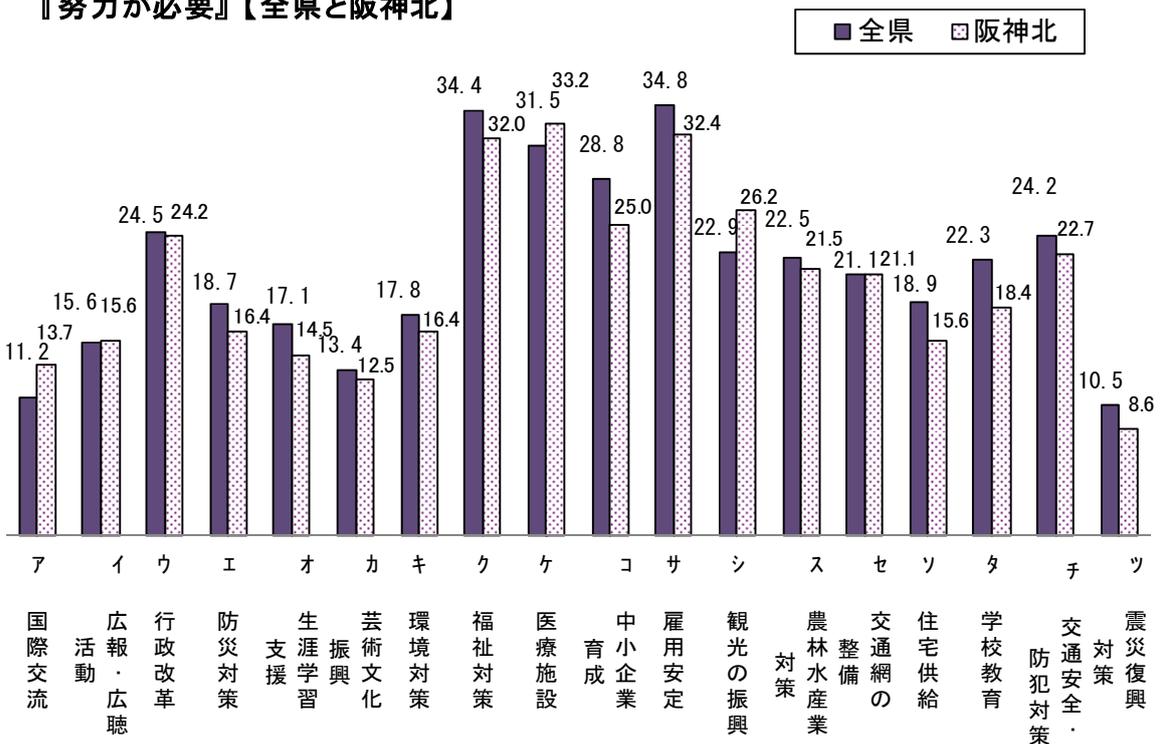
『やっている』【全県と阪神北】

(%)



『努力が必要』【全県と阪神北】

(%)



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	6.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.5
ソ 良質な住宅の供給	4.3
キ 環境の保全と創造	3.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.3
イ 県政の広報・広聴活動	3.3
カ 芸術文化の振興	3.2
コ 県内中小企業の育成	2.5
オ 生涯学習活動への支援	2.2
チ 交通安全・防犯対策	1.5
タ 学校教育の充実	1.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.1
ア 国際的な交流や協力	0.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.2
エ 防災対策の充実	-1.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.5
ス 農林水産業の活性化対策	-1.7
シ 観光の振興	-4.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
シ 観光の振興	3.3
ア 国際的な交流や協力	2.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.7
イ 県政の広報・広聴活動	0.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.3
カ 芸術文化の振興	-0.9
ス 農林水産業の活性化対策	-1.0
キ 環境の保全と創造	-1.4
チ 交通安全・防犯対策	-1.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.9
エ 防災対策の充実	-2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.4
オ 生涯学習活動への支援	-2.6
ソ 良質な住宅の供給	-3.3
コ 県内中小企業の育成	-3.8
タ 学校教育の充実	-3.9

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	8.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	6.6
チ 交通安全・防犯対策	6.4
オ 生涯学習活動への支援	5.8
カ 芸術文化の振興	5.5
キ 環境の保全と創造	5.3
ア 国際的な交流や協力	5.1
ソ 良質な住宅の供給	5.0
コ 県内中小企業の育成	4.8
エ 防災対策の充実	4.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.5
イ 県政の広報・広聴活動	2.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.3
ス 農林水産業の活性化対策	0.2
シ 観光の振興	-1.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

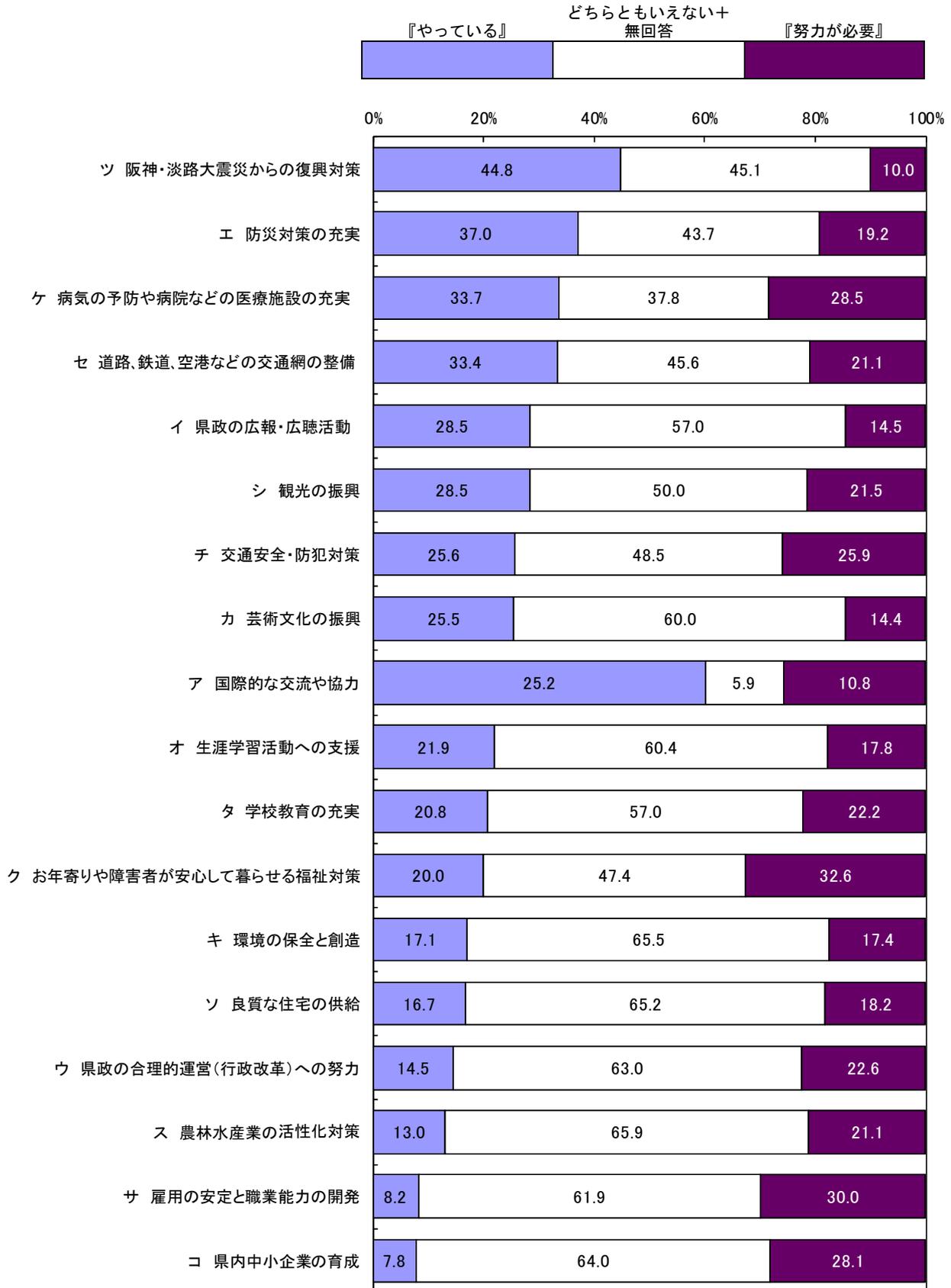
『努力が必要』	増減
サ 雇用の安定と職業能力の開発	5.5
カ 芸術文化の振興	4.0
ス 農林水産業の活性化対策	3.5
シ 観光の振興	3.1
コ 県内中小企業の育成	2.6
ア 国際的な交流や協力	2.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.0
キ 環境の保全と創造	1.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.7
イ 県政の広報・広聴活動	0.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.1
ソ 良質な住宅の供給	-1.4
チ 交通安全・防犯対策	-1.4
エ 防災対策の充実	-2.0
オ 生涯学習活動への支援	-2.2
タ 学校教育の充実	-5.4

全県との比較では、〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等で評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔タ 学校教育の充実〕等で評価が高く、〔サ 雇用の安定と職業能力の開発〕等で努力が求められている。

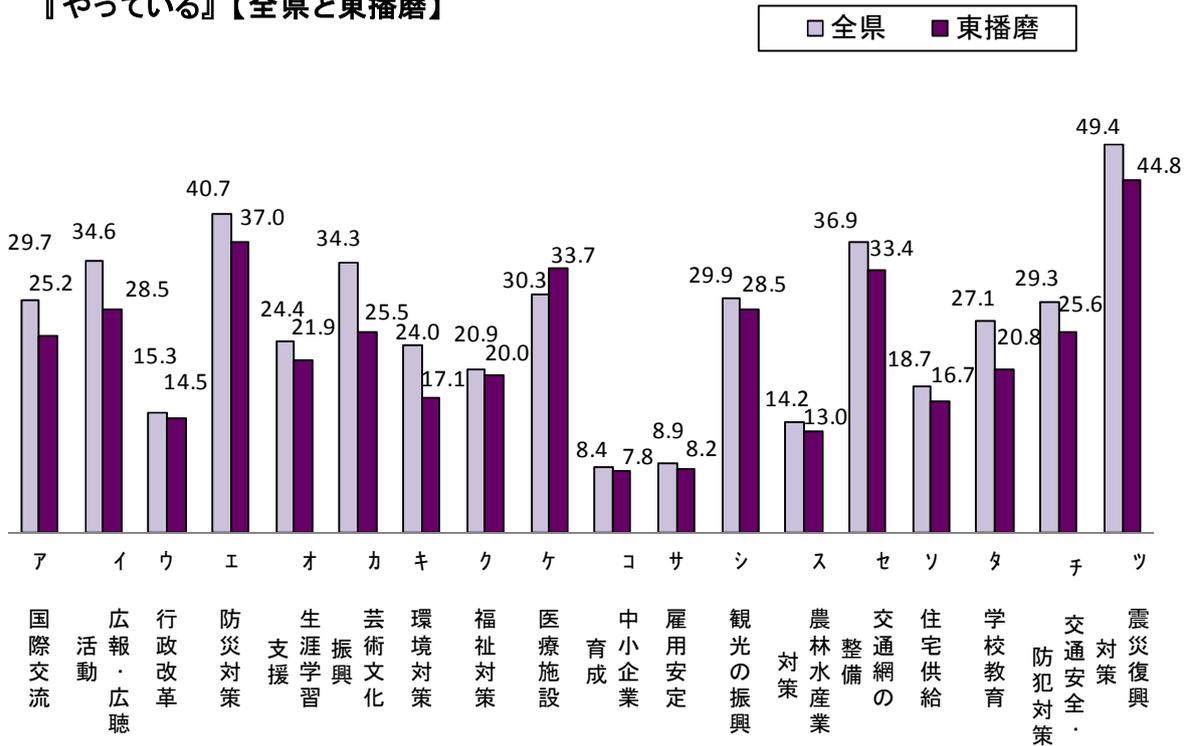
《東播磨地域》

〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



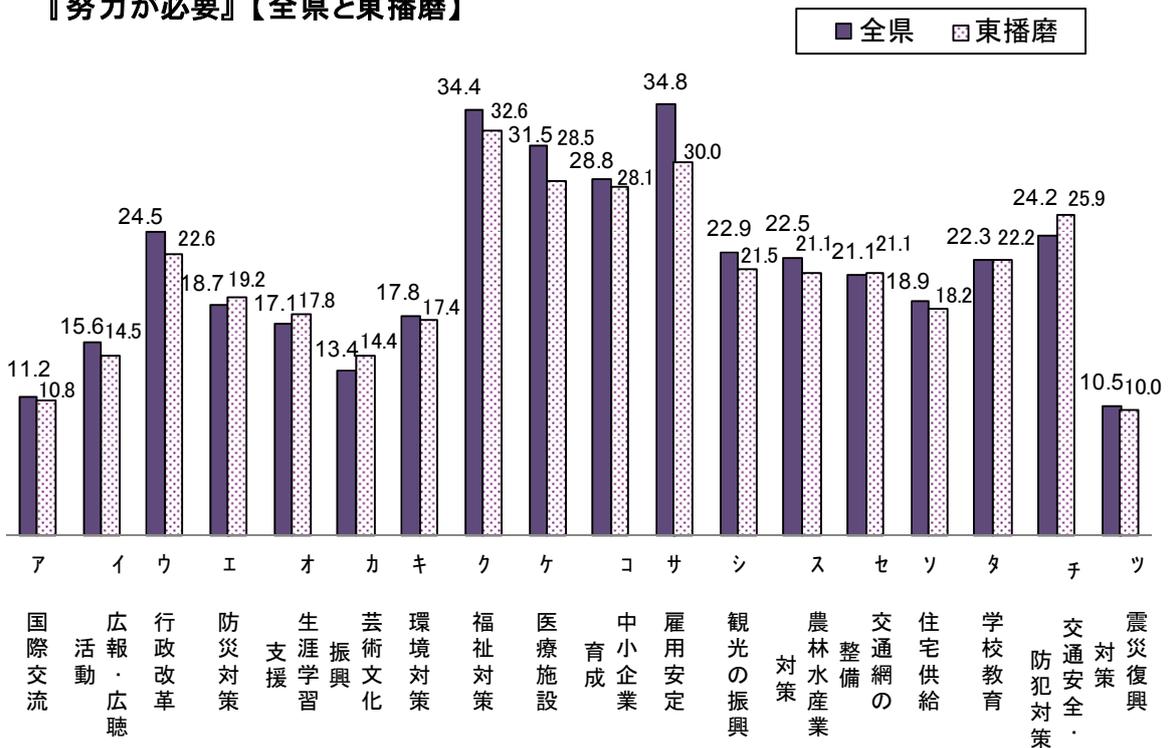
『やっている』【全県と東播磨】

(%)



『努力が必要』【全県と東播磨】

(%)



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.4
コ 県内中小企業の育成	-0.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.9
ス 農林水産業の活性化対策	-1.2
シ 観光の振興	-1.4
ソ 良質な住宅の供給	-2.0
オ 生涯学習活動への支援	-2.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.5
エ 防災対策の充実	-3.7
チ 交通安全・防犯対策	-3.7
ア 国際的な交流や協力	-4.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.6
イ 県政の広報・広聴活動	-6.1
タ 学校教育の充実	-6.3
キ 環境の保全と創造	-6.9
カ 芸術文化の振興	-8.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
チ 交通安全・防犯対策	1.7
カ 芸術文化の振興	1.0
オ 生涯学習活動への支援	0.7
エ 防災対策の充実	0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.0
タ 学校教育の充実	-0.1
ア 国際的な交流や協力	-0.4
キ 環境の保全と創造	-0.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.5
コ 県内中小企業の育成	-0.7
ソ 良質な住宅の供給	-0.7
イ 県政の広報・広聴活動	-1.1
シ 観光の振興	-1.4
ス 農林水産業の活性化対策	-1.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.8

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	4.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.7
シ 観光の振興	1.5
チ 交通安全・防犯対策	1.4
ソ 良質な住宅の供給	0.6
オ 生涯学習活動への支援	-0.2
タ 学校教育の充実	-0.3
カ 芸術文化の振興	-0.6
ス 農林水産業の活性化対策	-1.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.7
コ 県内中小企業の育成	-1.8
キ 環境の保全と創造	-2.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.2
ア 国際的な交流や協力	-4.3
イ 県政の広報・広聴活動	-7.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

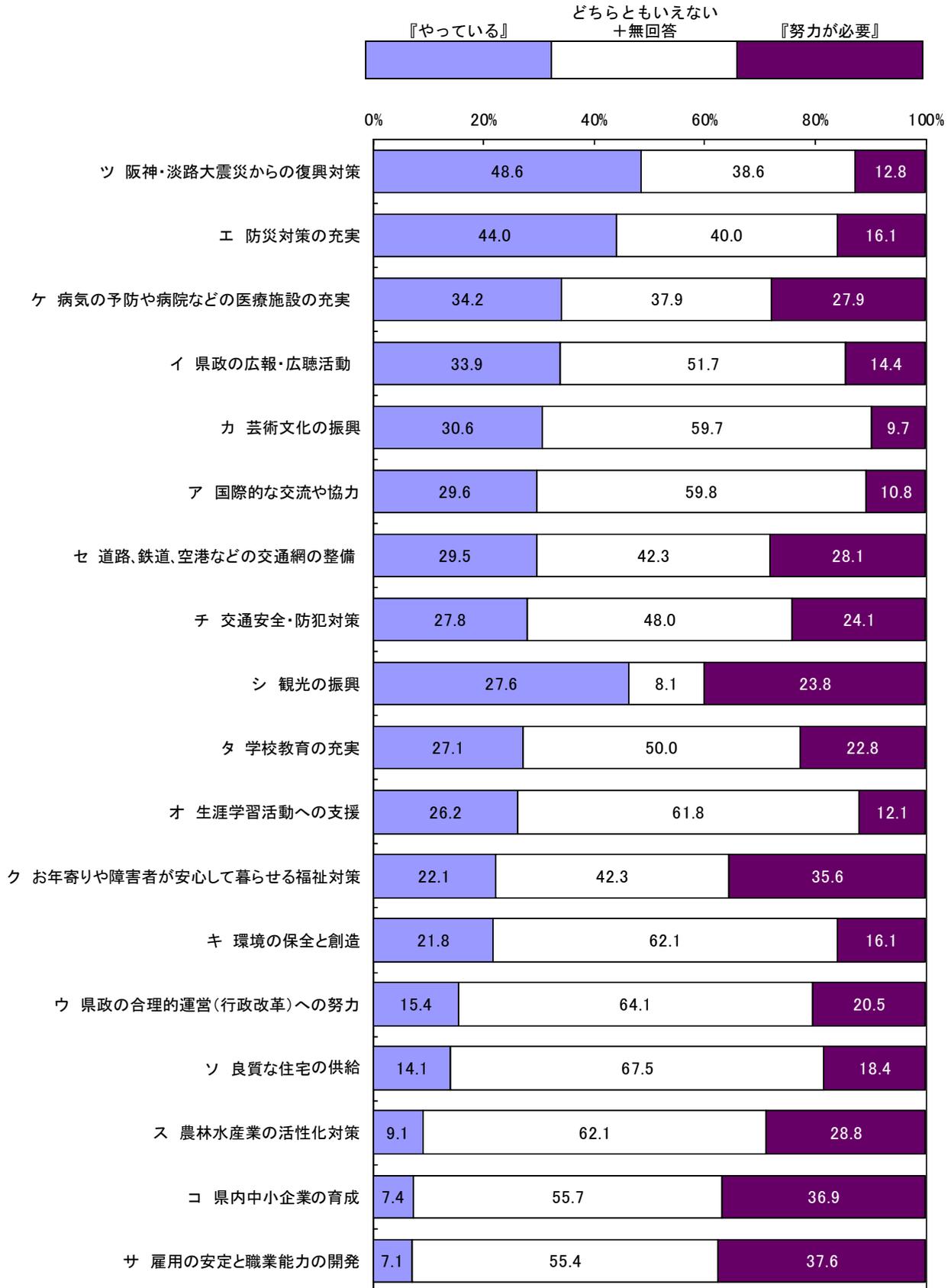
『努力が必要』	増減
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.5
オ 生涯学習活動への支援	1.1
カ 芸術文化の振興	1.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.5
キ 環境の保全と創造	0.4
ス 農林水産業の活性化対策	0.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.2
ア 国際的な交流や協力	-0.4
イ 県政の広報・広聴活動	-0.4
エ 防災対策の充実	-0.4
コ 県内中小企業の育成	-0.7
タ 学校教育の充実	-1.1
ソ 良質な住宅の供給	-1.7
チ 交通安全・防犯対策	-1.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.3
シ 観光の振興	-3.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.5

全県との比較では、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕の評価が高く、〔チ 交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔エ 防災対策の充実〕等の評価が高く、〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等で努力が求められている。

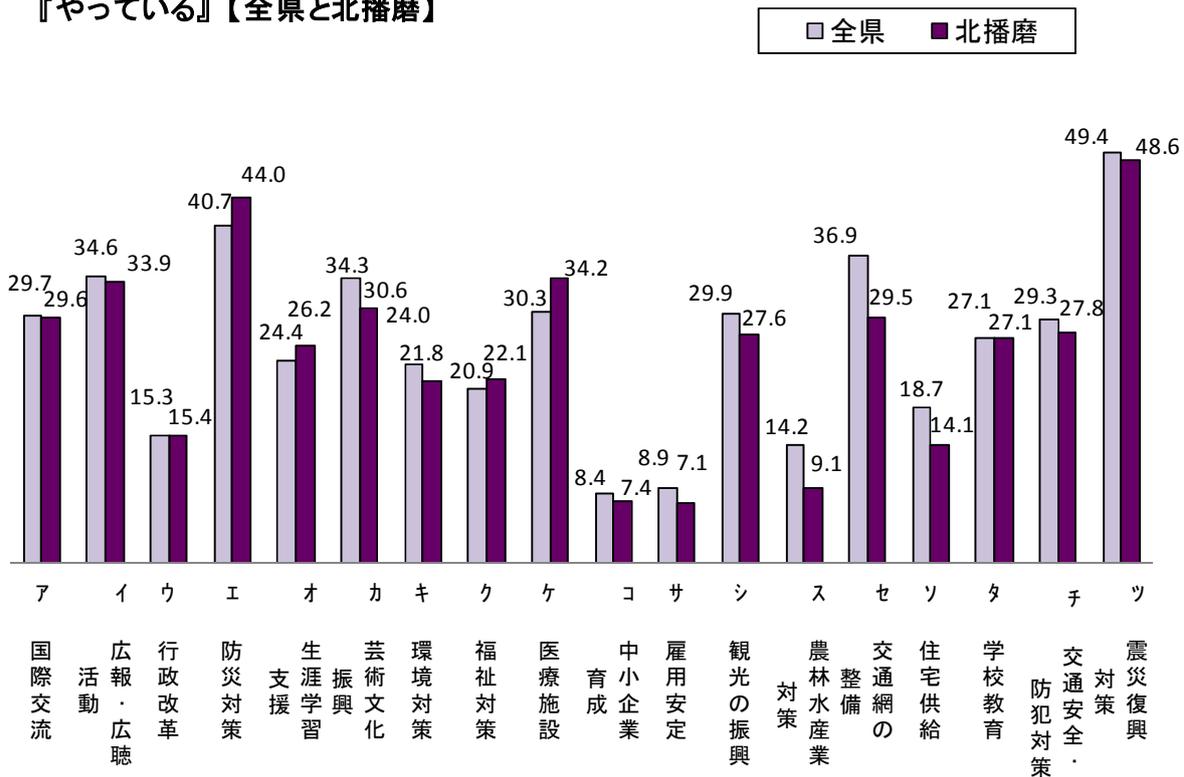
《北播磨地域》

〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



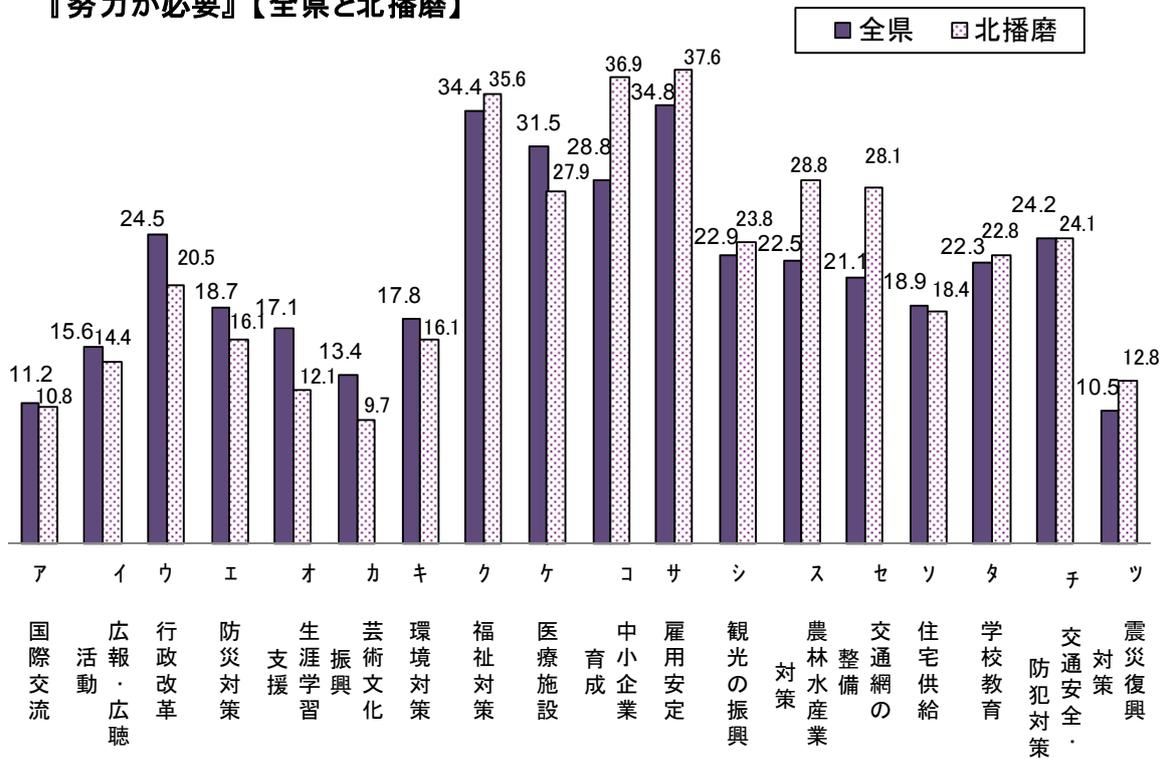
『やっている』【全県と北播磨】

(%)



『努力が必要』【全県と北播磨】

(%)



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.9
エ 防災対策の充実	3.3
オ 生涯学習活動への支援	1.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.1
タ 学校教育の充実	0.0
ア 国際的な交流や協力	-0.1
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.8
コ 県内中小企業の育成	-1.0
チ 交通安全・防犯対策	-1.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.8
キ 環境の保全と創造	-2.2
シ 観光の振興	-2.3
カ 芸術文化の振興	-3.7
ソ 良質な住宅の供給	-4.6
ス 農林水産業の活性化対策	-5.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.4

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
コ 県内中小企業の育成	8.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	7.0
ス 農林水産業の活性化対策	6.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.2
シ 観光の振興	0.9
タ 学校教育の充実	0.5
チ 交通安全・防犯対策	-0.1
ア 国際的な交流や協力	-0.4
ソ 良質な住宅の供給	-0.5
イ 県政の広報・広聴活動	-1.2
キ 環境の保全と創造	-1.7
エ 防災対策の充実	-2.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.6
カ 芸術文化の振興	-3.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.0
オ 生涯学習活動への支援	-5.0

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
シ 観光の振興	0.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.3
タ 学校教育の充実	-0.9
カ 芸術文化の振興	-0.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.0
チ 交通安全・防犯対策	-1.4
エ 防災対策の充実	-1.6
ス 農林水産業の活性化対策	-1.6
オ 生涯学習活動への支援	-3.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.2
ソ 良質な住宅の供給	-3.5
イ 県政の広報・広聴活動	-3.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.0
ア 国際的な交流や協力	-4.1
キ 環境の保全と創造	-4.6
コ 県内中小企業の育成	-5.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-5.5

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

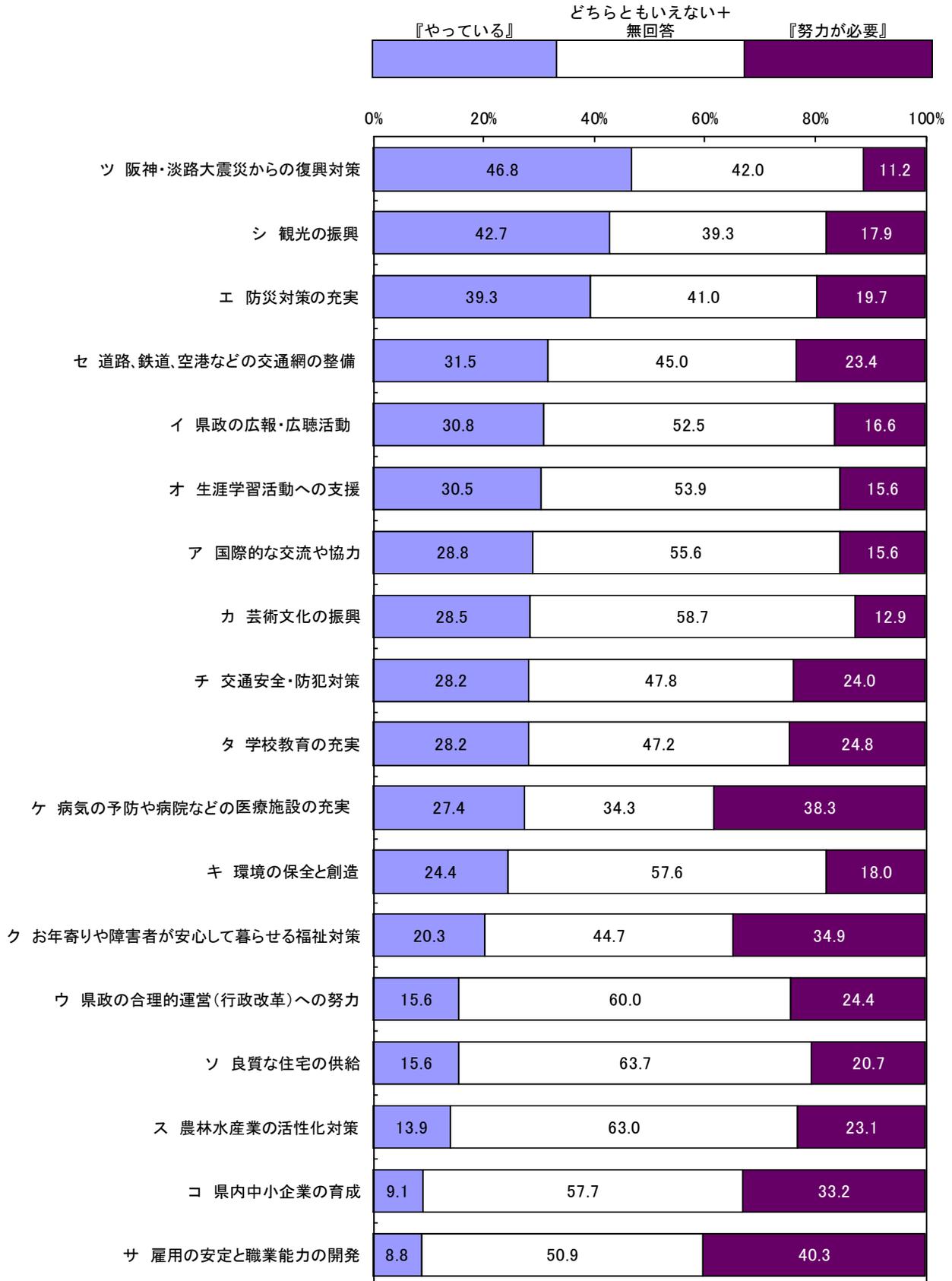
『努力が必要』	増減
コ 県内中小企業の育成	4.9
エ 防災対策の充実	4.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.7
シ 観光の振興	3.0
チ 交通安全・防犯対策	3.0
キ 環境の保全と創造	2.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.9
ス 農林水産業の活性化対策	2.3
ソ 良質な住宅の供給	2.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.7
ア 国際的な交流や協力	1.0
タ 学校教育の充実	0.5
イ 県政の広報・広聴活動	0.3
オ 生涯学習活動への支援	-0.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.8
カ 芸術文化の振興	-1.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.9

全県との比較では、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等の評価が高く、〔コ 県内中小企業の育成〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔シ 観光の振興〕等の評価が高く、〔コ 県内中小企業の育成〕等で努力が求められている。

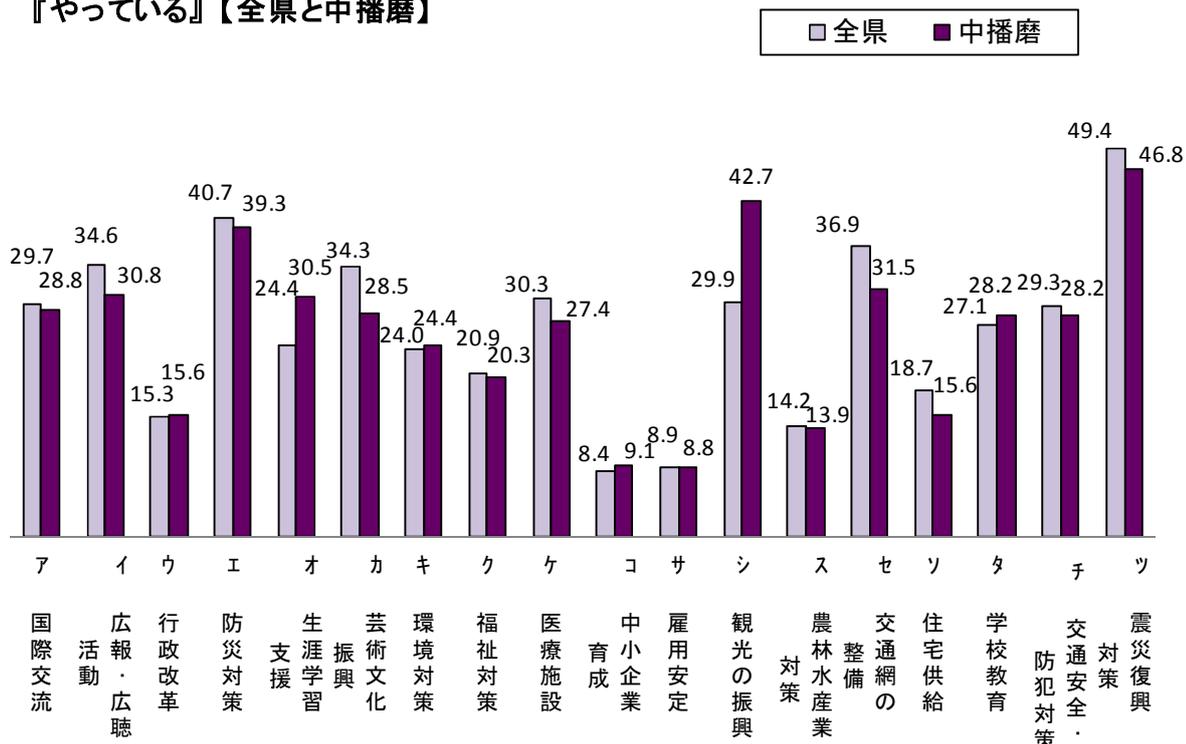
《中播磨地域》

〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔シ 観光の振興〕などで評価が高い。



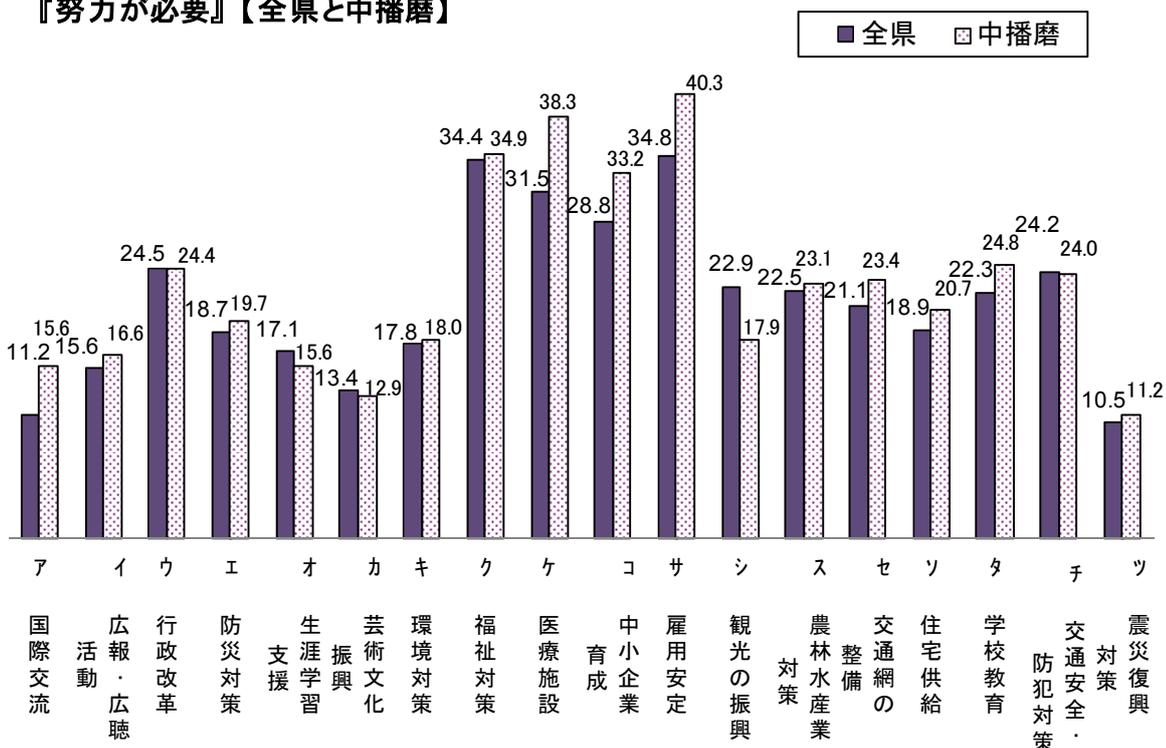
『やっている』【全県と中播磨】

(%)



『努力が必要』【全県と中播磨】

(%)



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
シ 観光の振興	12.8
オ 生涯学習活動への支援	6.1
タ 学校教育の充実	1.1
コ 県内中小企業の育成	0.7
キ 環境の保全と創造	0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.6
ア 国際的な交流や協力	-0.9
チ 交通安全・防犯対策	-1.1
エ 防災対策の充実	-1.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.9
ソ 良質な住宅の供給	-3.1
イ 県政の広報・広聴活動	-3.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.4
カ 芸術文化の振興	-5.8

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	5.5
コ 県内中小企業の育成	4.4
ア 国際的な交流や協力	4.4
タ 学校教育の充実	2.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.3
ソ 良質な住宅の供給	1.8
イ 県政の広報・広聴活動	1.0
エ 防災対策の充実	1.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.7
ス 農林水産業の活性化対策	0.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.5
キ 環境の保全と創造	0.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.1
チ 交通安全・防犯対策	-0.2
カ 芸術文化の振興	-0.5
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
シ 観光の振興	-5.0

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
チ 交通安全・防犯対策	5.7
タ 学校教育の充実	4.7
シ 観光の振興	3.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.6
ソ 良質な住宅の供給	0.6
ス 農林水産業の活性化対策	0.2
キ 環境の保全と創造	0.0
コ 県内中小企業の育成	-0.3
エ 防災対策の充実	-0.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.9
ア 国際的な交流や協力	-0.9
オ 生涯学習活動への支援	-1.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.5
カ 芸術文化の振興	-3.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.2
イ 県政の広報・広聴活動	-3.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

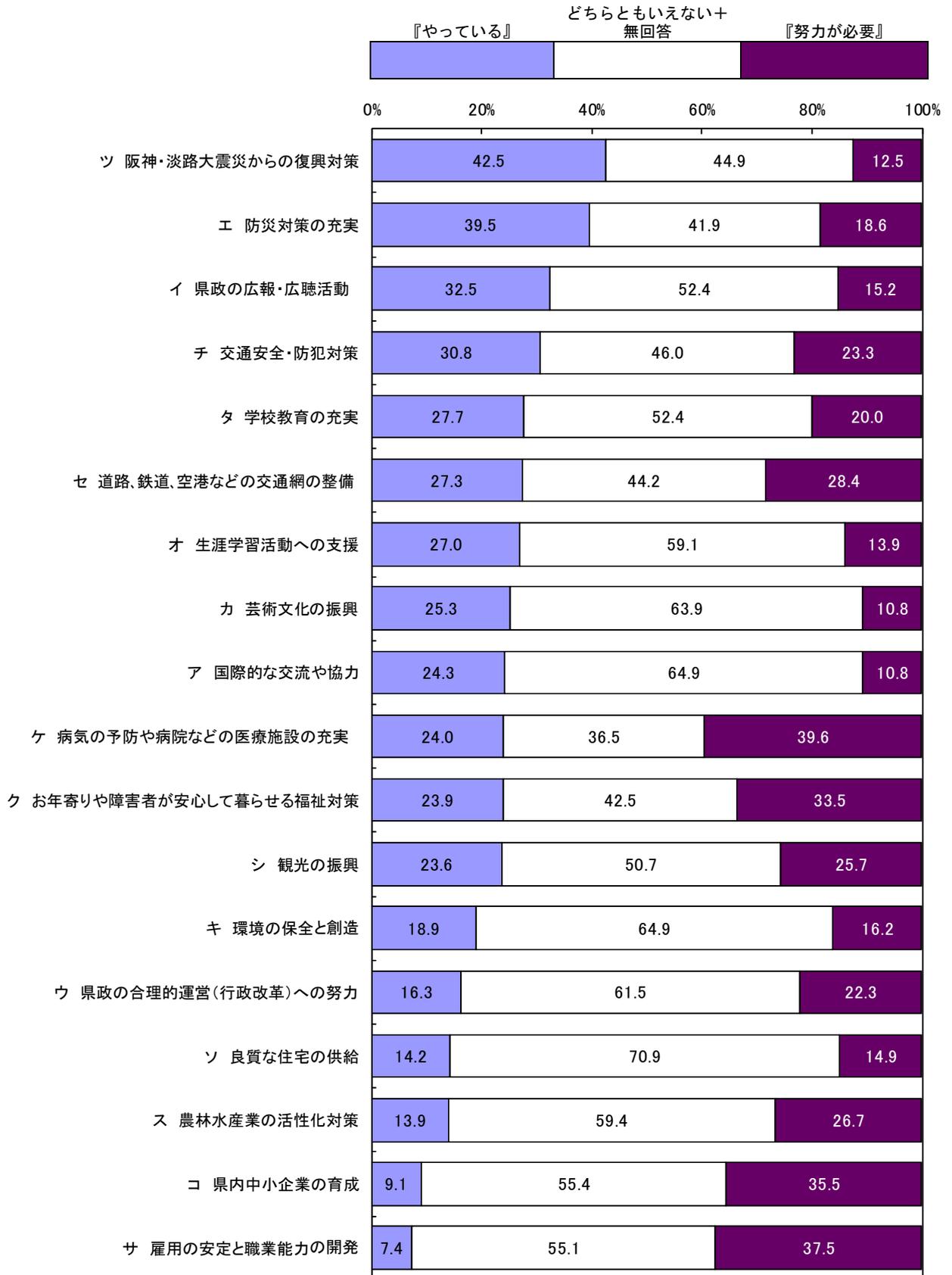
『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	7.3
エ 防災対策の充実	6.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	6.6
ア 国際的な交流や協力	6.5
ソ 良質な住宅の供給	5.1
キ 環境の保全と創造	4.8
シ 観光の振興	4.1
ス 農林水産業の活性化対策	4.0
オ 生涯学習活動への支援	4.0
イ 県政の広報・広聴活動	3.8
コ 県内中小企業の育成	3.5
カ 芸術文化の振興	3.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.8
タ 学校教育の充実	1.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.5
チ 交通安全・防犯対策	0.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.1

全県との比較では、〔シ 観光の振興〕等の評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

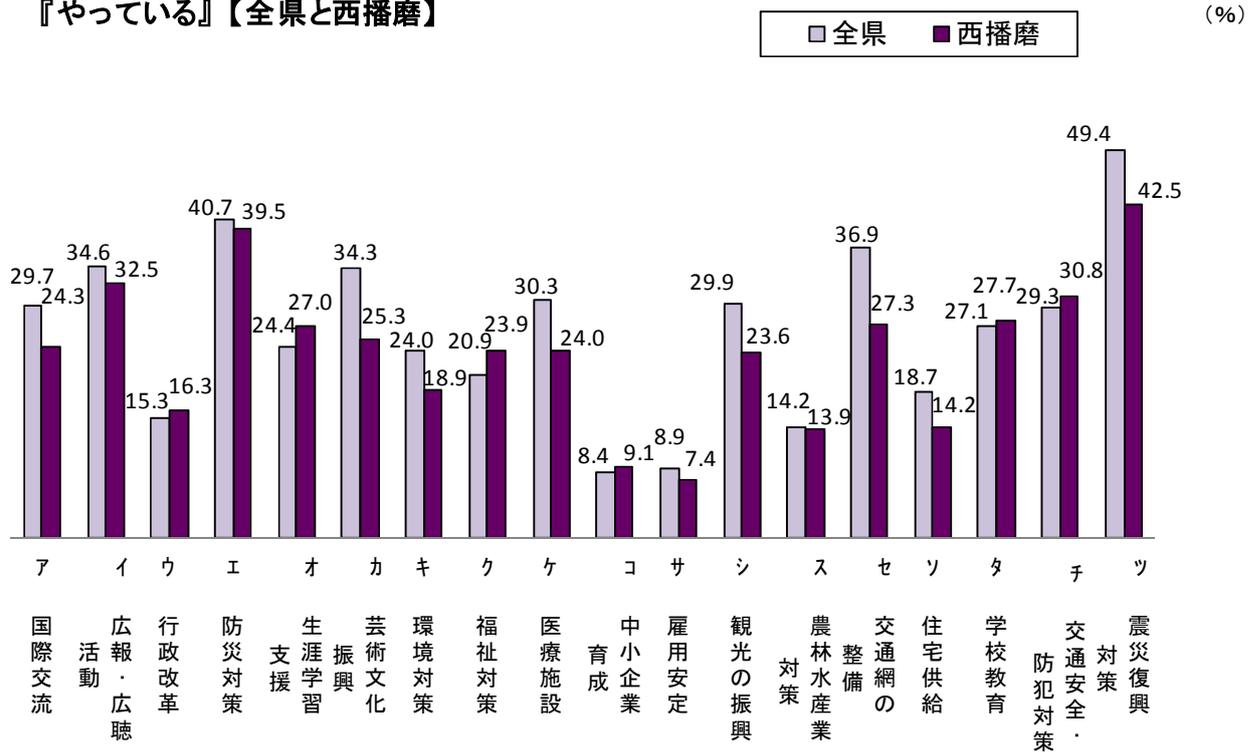
前年との比較では、〔チ 交通安全・防犯対策〕等の評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

《西播磨地域》

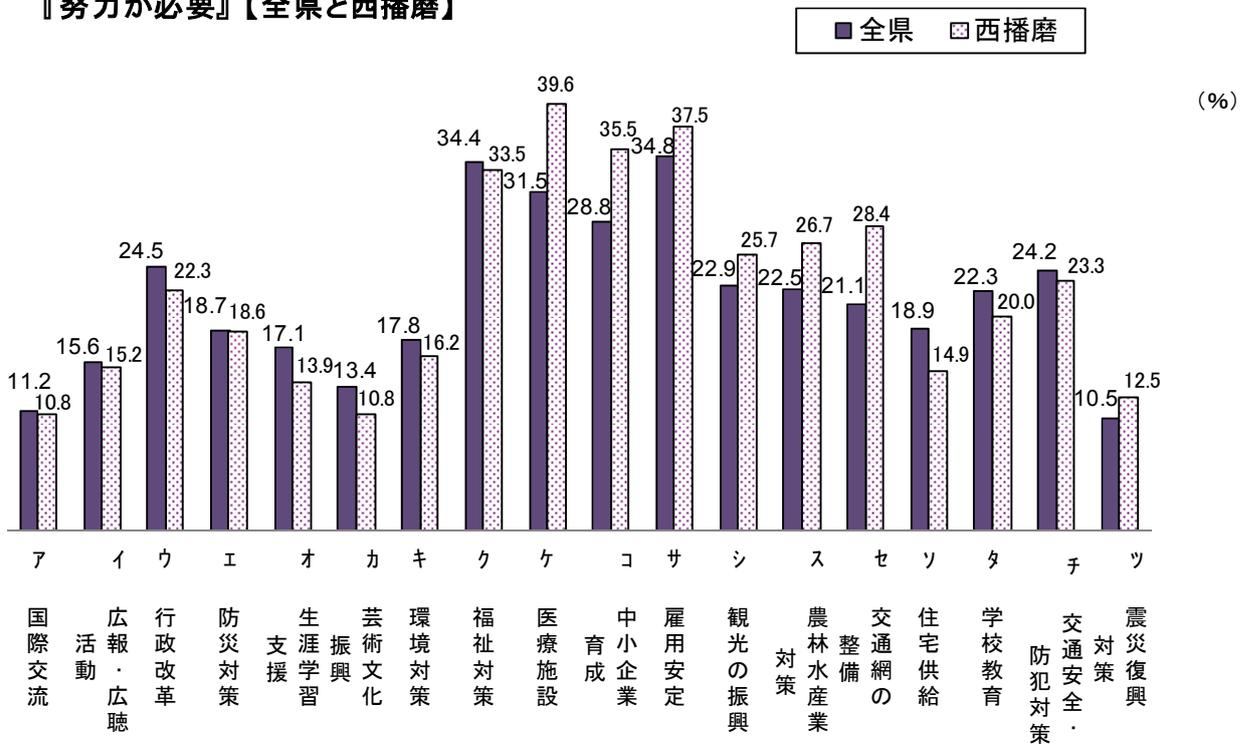
〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



『やっている』【全県と西播磨】



『努力が必要』【全県と西播磨】



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.0
オ 生涯学習活動への支援	2.6
チ 交通安全・防犯対策	1.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.0
コ 県内中小企業の育成	0.7
タ 学校教育の充実	0.6
ス 農林水産業の活性化対策	-0.3
エ 防災対策の充実	-1.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.5
イ 県政の広報・広聴活動	-2.1
ソ 良質な住宅の供給	-4.5
キ 環境の保全と創造	-5.1
ア 国際的な交流や協力	-5.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.3
シ 観光の振興	-6.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-6.9
カ 芸術文化の振興	-9.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-9.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	8.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	7.3
コ 県内中小企業の育成	6.7
ス 農林水産業の活性化対策	4.2
シ 観光の振興	2.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.0
エ 防災対策の充実	-0.1
ア 国際的な交流や協力	-0.4
イ 県政の広報・広聴活動	-0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.9
チ 交通安全・防犯対策	-0.9
キ 環境の保全と創造	-1.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.2
タ 学校教育の充実	-2.3
カ 芸術文化の振興	-2.6
オ 生涯学習活動への支援	-3.2
ソ 良質な住宅の供給	-4.0

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
エ 防災対策の充実	0.7
ス 農林水産業の活性化対策	0.4
イ 県政の広報・広聴活動	-0.9
コ 県内中小企業の育成	-1.5
ソ 良質な住宅の供給	-1.5
タ 学校教育の充実	-2.0
ア 国際的な交流や協力	-2.0
チ 交通安全・防犯対策	-2.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.5
オ 生涯学習活動への支援	-2.7
カ 芸術文化の振興	-2.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.0
シ 観光の振興	-5.7
キ 環境の保全と創造	-6.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-6.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

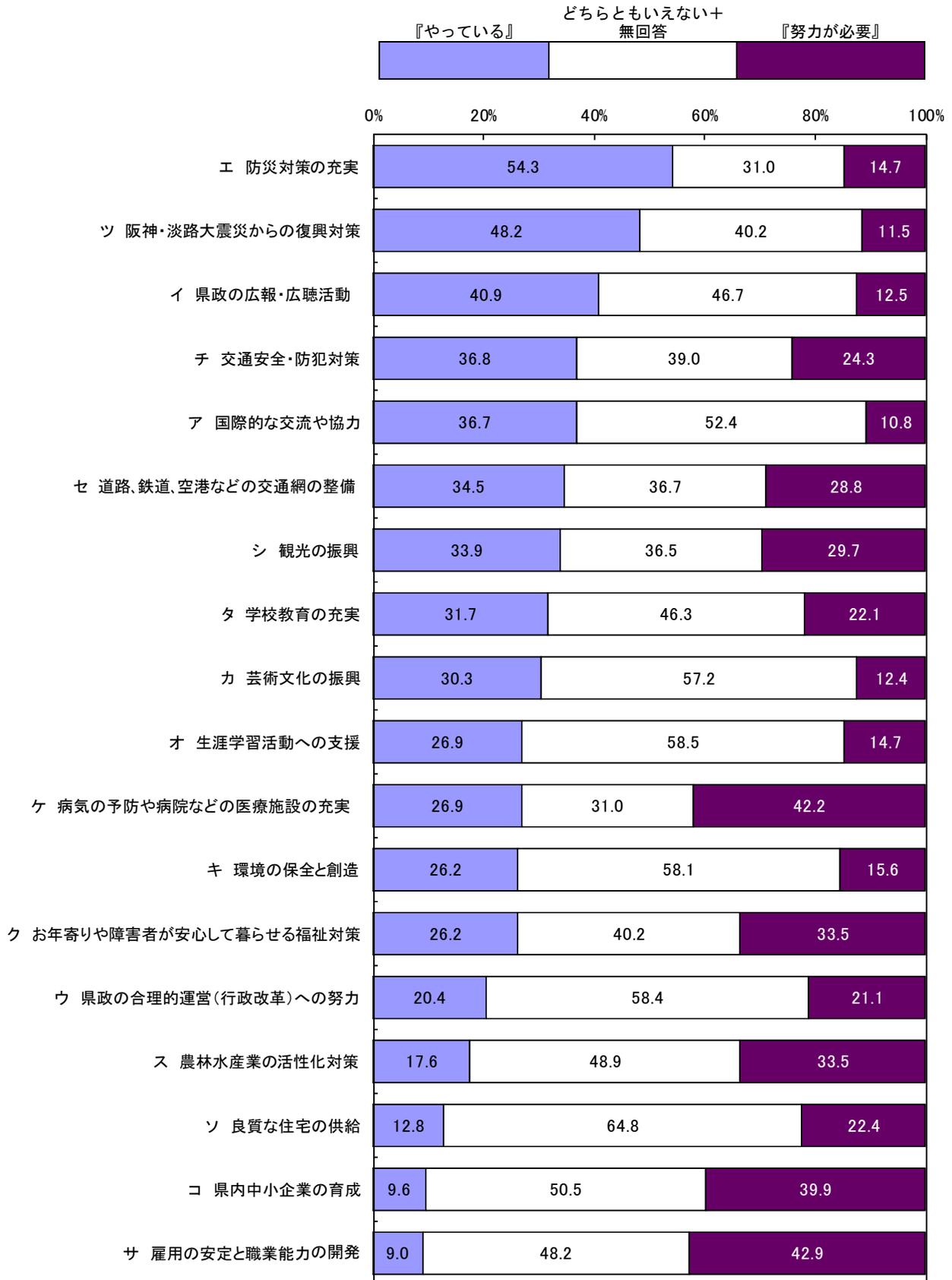
『努力が必要』	増減
チ 交通安全・防犯対策	7.0
エ 防災対策の充実	6.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.4
シ 観光の振興	4.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	4.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.8
キ 環境の保全と創造	3.7
オ 生涯学習活動への支援	3.6
タ 学校教育の充実	3.5
カ 芸術文化の振興	3.0
コ 県内中小企業の育成	3.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.5
イ 県政の広報・広聴活動	0.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.6
ア 国際的な交流や協力	-0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.4
ソ 良質な住宅の供給	-2.3

全県との比較では、〔ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕等の評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

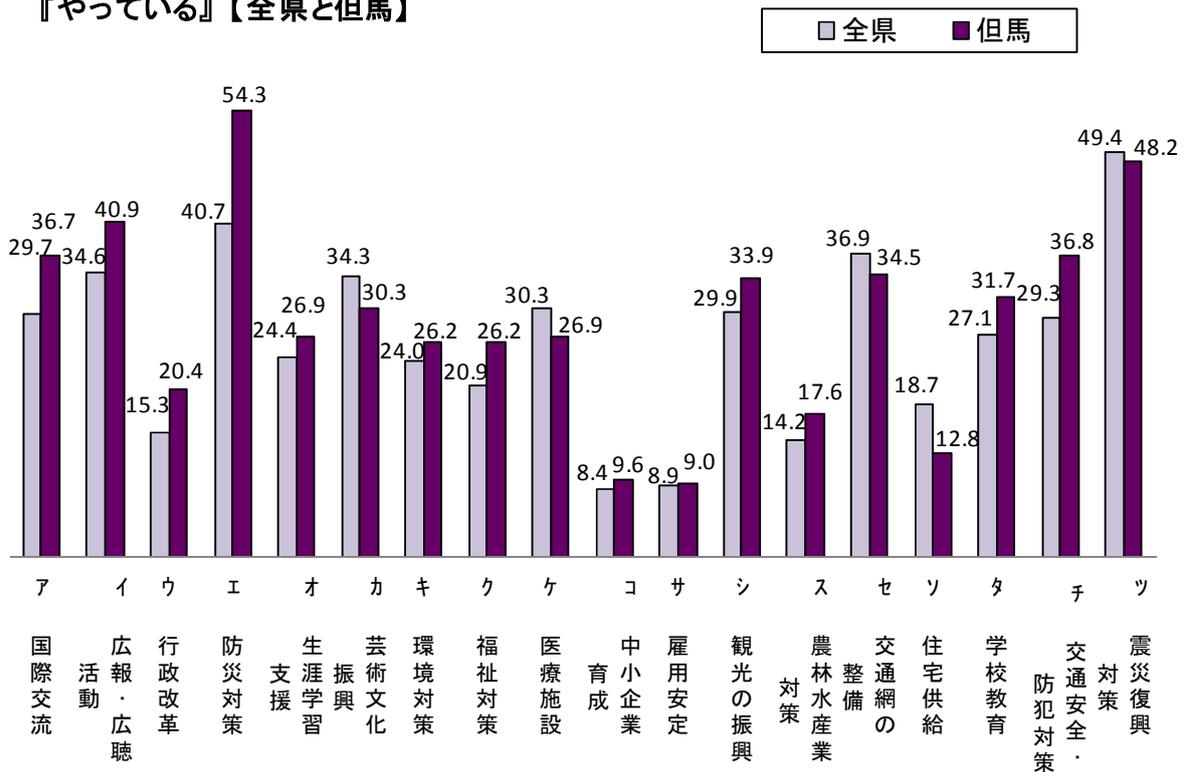
前年との比較では、〔エ 防災対策の充実〕等の評価が高く、〔チ 交通安全・防犯対策〕等で努力が求められている。

《但馬地域》

〔エ 防災対策の充実〕〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕などで評価が高い。

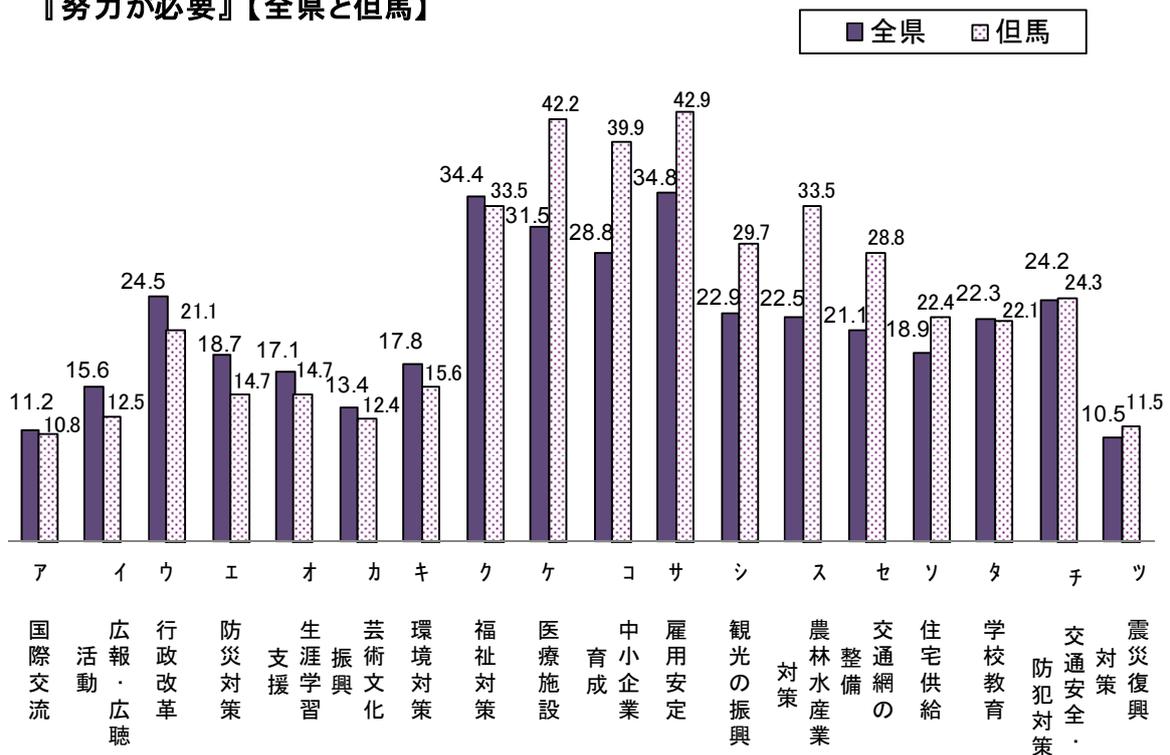


『やっている』【全県と但馬】



(%)

『努力が必要』【全県と但馬】



(%)

【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
エ 防災対策の充実	13.6
チ 交通安全・防犯対策	7.5
ア 国際的な交流や協力	7.0
イ 県政の広報・広聴活動	6.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	5.1
タ 学校教育の充実	4.6
シ 観光の振興	4.0
ス 農林水産業の活性化対策	3.4
オ 生涯学習活動への支援	2.5
キ 環境の保全と創造	2.2
コ 県内中小企業の育成	1.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.4
カ 芸術文化の振興	-4.0
ソ 良質な住宅の供給	-5.9

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
コ 県内中小企業の育成	11.1
ス 農林水産業の活性化対策	11.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	10.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	8.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	7.7
シ 観光の振興	6.8
ソ 良質な住宅の供給	3.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.0
チ 交通安全・防犯対策	0.1
タ 学校教育の充実	-0.2
ア 国際的な交流や協力	-0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.9
カ 芸術文化の振興	-1.0
キ 環境の保全と創造	-2.2
オ 生涯学習活動への支援	-2.4
イ 県政の広報・広聴活動	-3.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.4
エ 防災対策の充実	-4.0

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	7.7
エ 防災対策の充実	7.0
チ 交通安全・防犯対策	5.8
ア 国際的な交流や協力	5.4
イ 県政の広報・広聴活動	4.5
キ 環境の保全と創造	3.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.5
シ 観光の振興	2.6
ス 農林水産業の活性化対策	2.6
ソ 良質な住宅の供給	2.2
コ 県内中小企業の育成	1.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.6
オ 生涯学習活動への支援	1.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.9
カ 芸術文化の振興	0.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.0

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

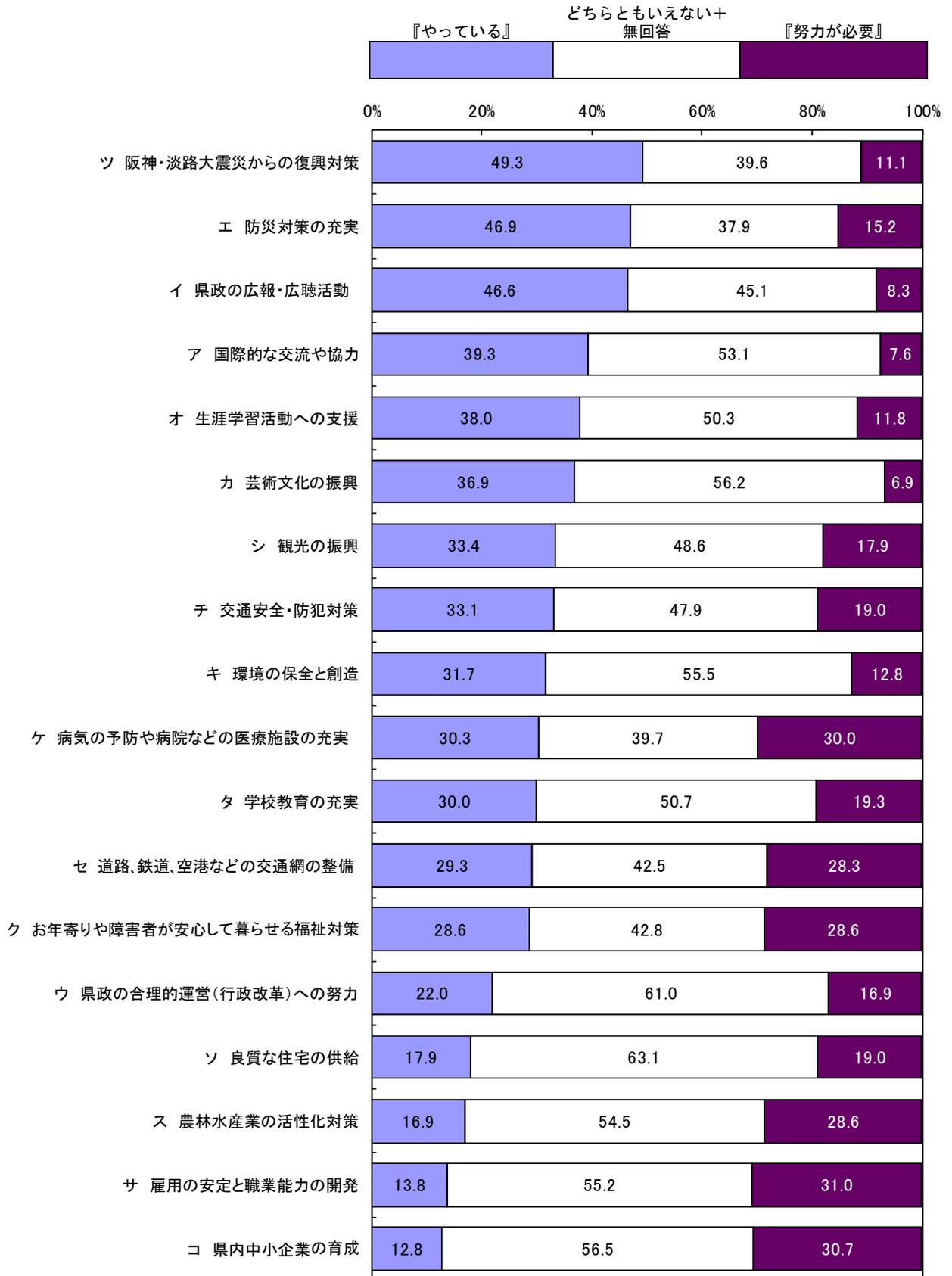
『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	7.7
ス 農林水産業の活性化対策	7.0
チ 交通安全・防犯対策	6.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.8
コ 県内中小企業の育成	4.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	4.1
ア 国際的な交流や協力	2.5
キ 環境の保全と創造	2.5
カ 芸術文化の振興	2.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.3
オ 生涯学習活動への支援	1.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.6
ソ 良質な住宅の供給	1.4
エ 防災対策の充実	0.6
タ 学校教育の充実	0.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.0
イ 県政の広報・広聴活動	-2.2

全県との比較では、〔エ 防災対策の充実〕等の評価が高く、〔コ 県内中小企業の育成〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔タ 学校教育の充実〕等の評価が高く、〔シ 観光の振興〕等で努力が求められている。

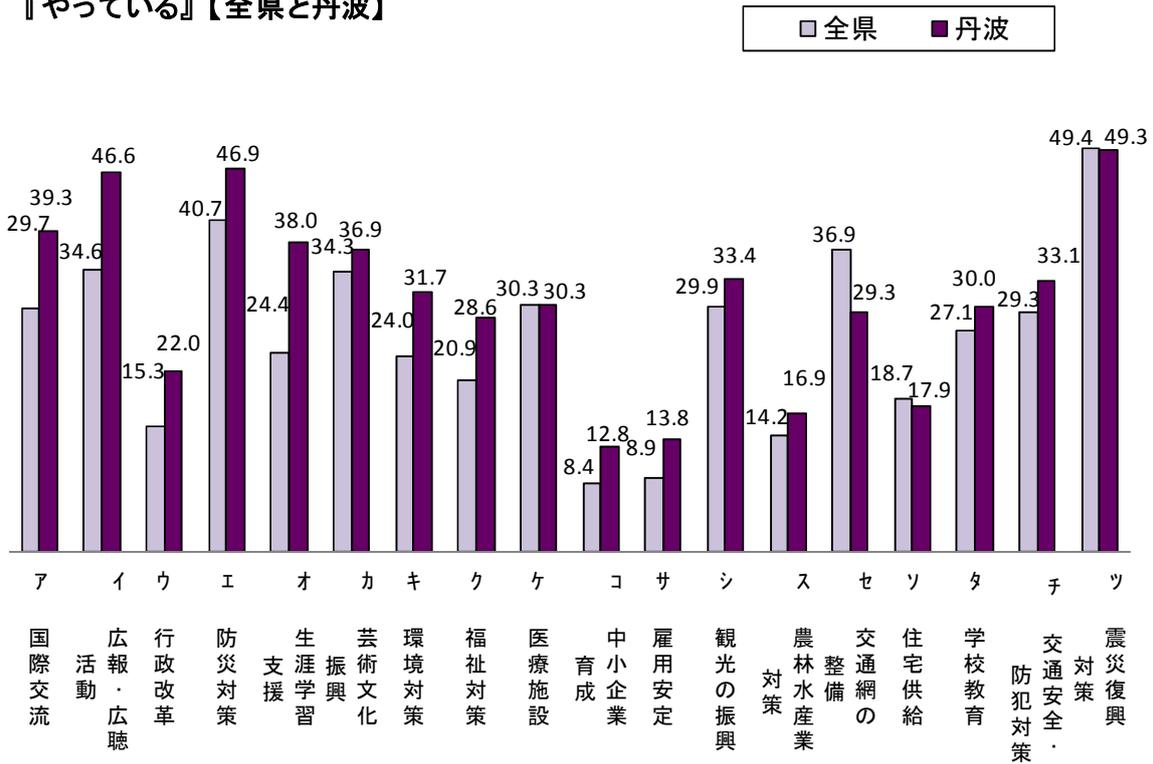
《丹波地域》

〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



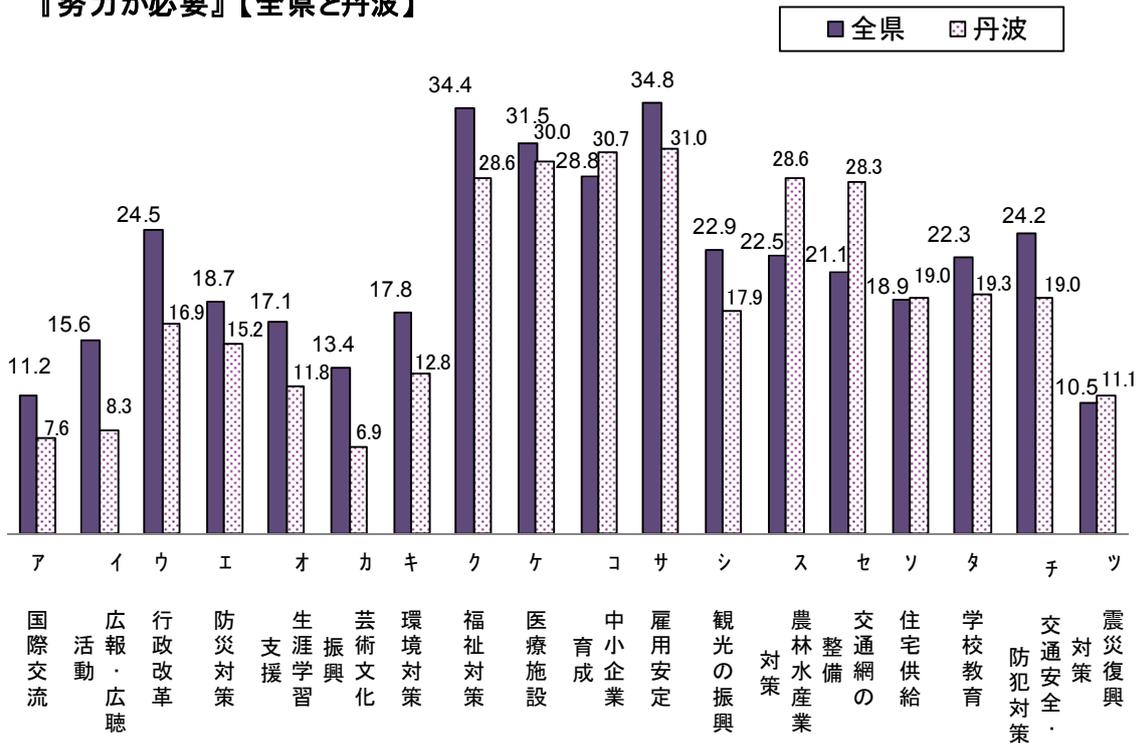
『やっている』【全県と丹波】

(%)



『努力が必要』【全県と丹波】

(%)



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	13.6
イ 県政の広報・広聴活動	12.0
ア 国際的な交流や協力	9.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	7.7
キ 環境の保全と創造	7.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	6.7
エ 防災対策の充実	6.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.9
コ 県内中小企業の育成	4.4
チ 交通安全・防犯対策	3.8
シ 観光の振興	3.5
タ 学校教育の充実	2.9
ス 農林水産業の活性化対策	2.7
カ 芸術文化の振興	2.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.1
ソ 良質な住宅の供給	-0.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.6

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	7.2
ス 農林水産業の活性化対策	6.1
コ 県内中小企業の育成	1.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.6
ソ 良質な住宅の供給	0.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.5
タ 学校教育の充実	-3.0
エ 防災対策の充実	-3.5
ア 国際的な交流や協力	-3.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.8
キ 環境の保全と創造	-5.0
シ 観光の振興	-5.0
チ 交通安全・防犯対策	-5.2
オ 生涯学習活動への支援	-5.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.8
カ 芸術文化の振興	-6.5
イ 県政の広報・広聴活動	-7.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-7.6

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	11.6
オ 生涯学習活動への支援	10.7
ア 国際的な交流や協力	9.1
エ 防災対策の充実	8.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	7.6
タ 学校教育の充実	6.9
キ 環境の保全と創造	6.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.9
ス 農林水産業の活性化対策	5.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	5.0
チ 交通安全・防犯対策	4.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.5
ソ 良質な住宅の供給	4.4
コ 県内中小企業の育成	4.1
シ 観光の振興	4.1
カ 芸術文化の振興	2.8
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

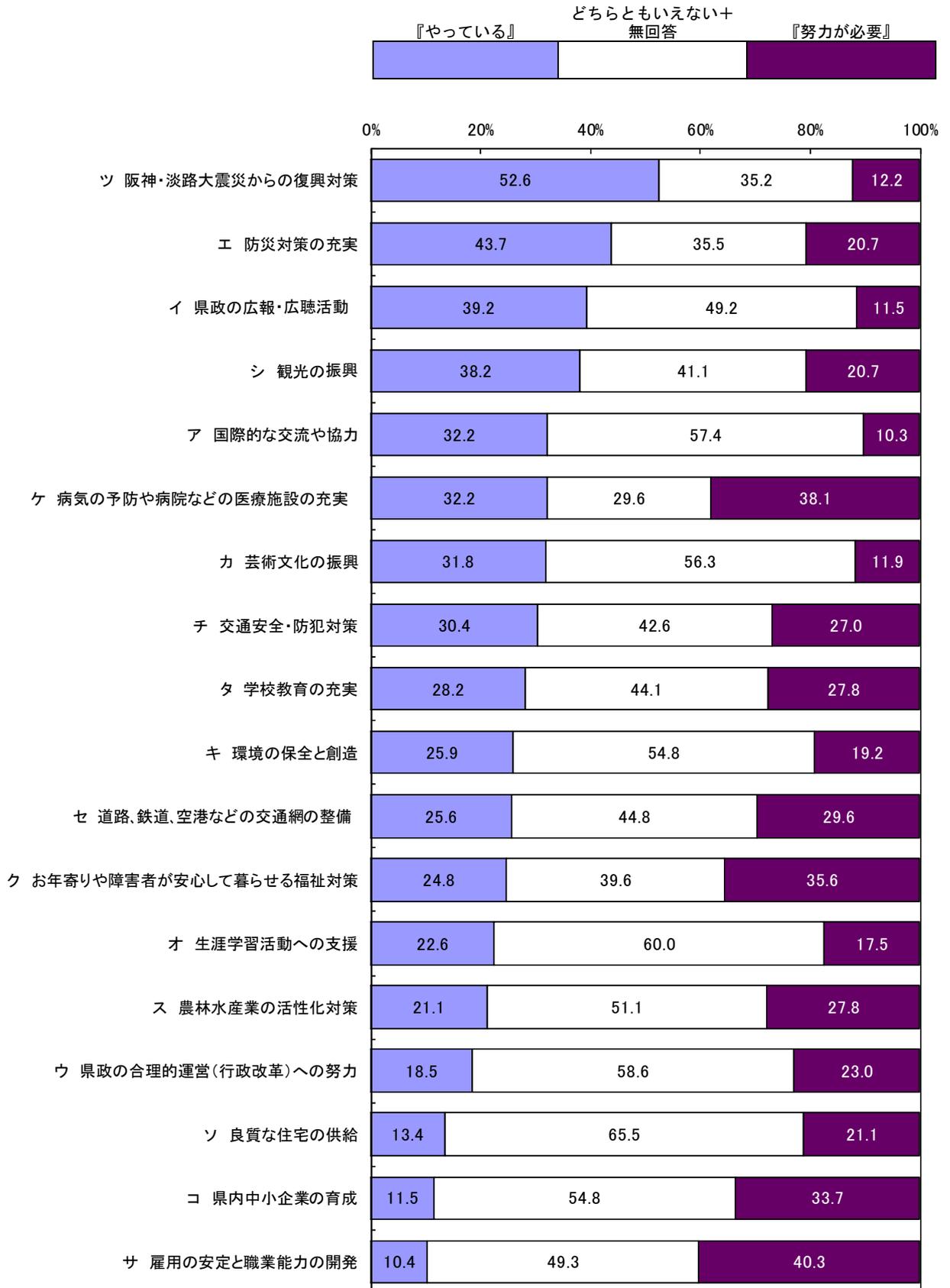
『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.3
シ 観光の振興	-1.3
オ 生涯学習活動への支援	-1.7
ス 農林水産業の活性化対策	-2.0
カ 芸術文化の振興	-2.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.4
キ 環境の保全と創造	-3.1
エ 防災対策の充実	-3.1
ア 国際的な交流や協力	-3.5
ソ 良質な住宅の供給	-4.1
コ 県内中小企業の育成	-4.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.9
イ 県政の広報・広聴活動	-6.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-8.4
タ 学校教育の充実	-8.6
チ 交通安全・防犯対策	-8.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-8.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-10.1

全県との比較では、〔オ 生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔イ 県政の広報・広聴活動〕等の評価が高く、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

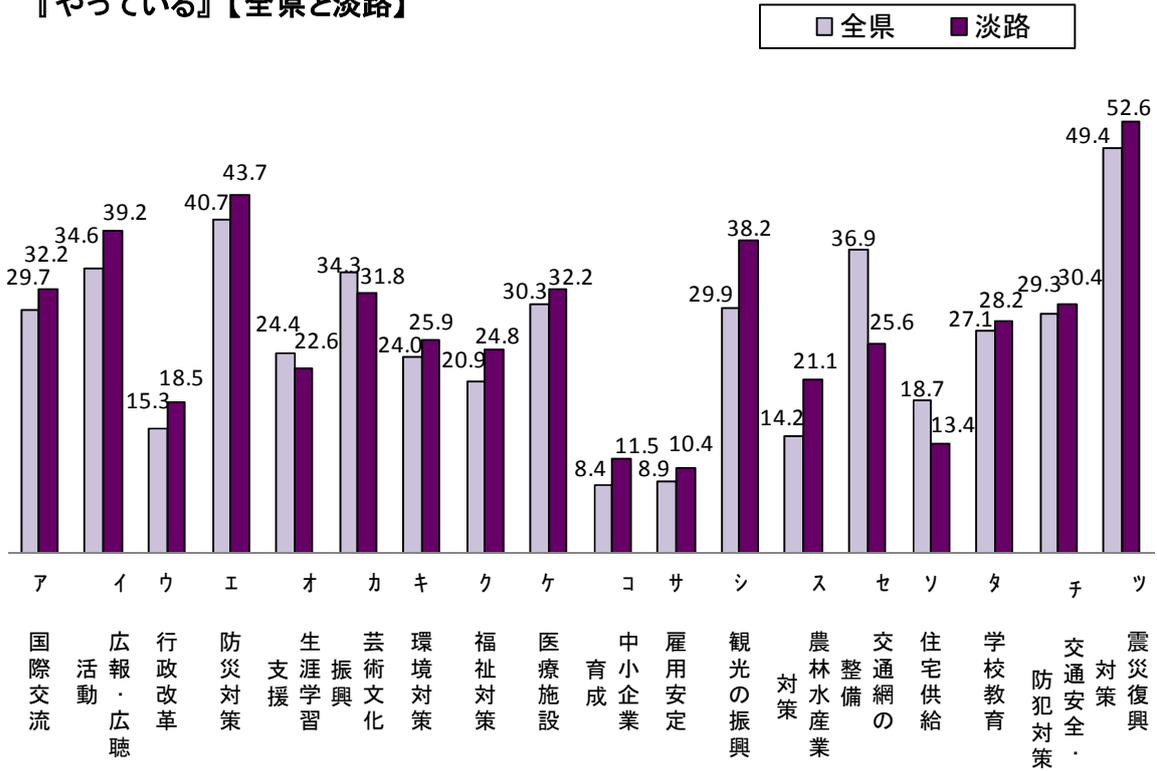
《淡路地域》

〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔エ 防災対策の充実〕などで評価が高い。



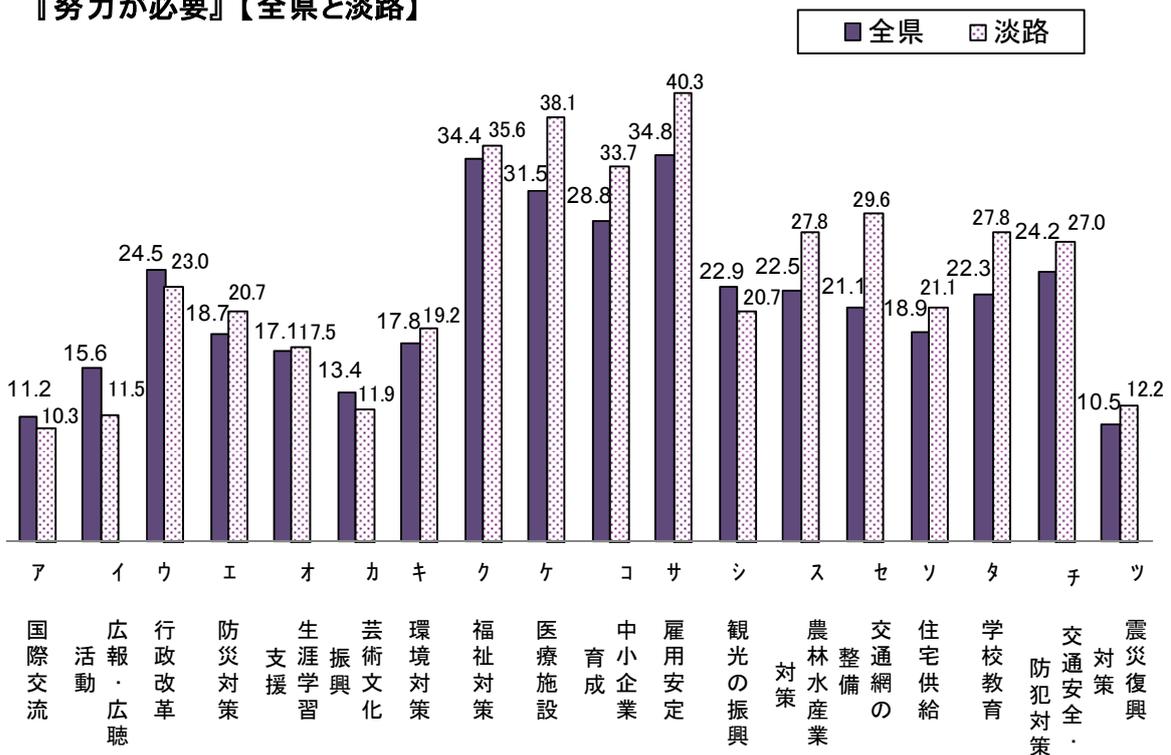
『やっている』【全県と淡路】

(%)



『努力が必要』【全県と淡路】

(%)



【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
シ 観光の振興	8.3
ス 農林水産業の活性化対策	6.9
イ 県政の広報・広聴活動	4.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	3.2
コ 県内中小企業の育成	3.1
エ 防災対策の充実	3.0
ア 国際的な交流や協力	2.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.9
キ 環境の保全と創造	1.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.5
タ 学校教育の充実	1.1
チ 交通安全・防犯対策	1.1
オ 生涯学習活動への支援	-1.8
カ 芸術文化の振興	-2.5
ソ 良質な住宅の供給	-5.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-11.3

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	8.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	5.5
タ 学校教育の充実	5.5
ス 農林水産業の活性化対策	5.3
コ 県内中小企業の育成	4.9
チ 交通安全・防犯対策	2.8
ソ 良質な住宅の供給	2.2
エ 防災対策の充実	2.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.7
キ 環境の保全と創造	1.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.2
オ 生涯学習活動への支援	0.4
ア 国際的な交流や協力	-0.9
カ 芸術文化の振興	-1.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.5
シ 観光の振興	-2.2
イ 県政の広報・広聴活動	-4.1

【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	10.3
シ 観光の振興	7.2
タ 学校教育の充実	4.8
ス 農林水産業の活性化対策	4.5
チ 交通安全・防犯対策	4.4
イ 県政の広報・広聴活動	4.2
ア 国際的な交流や協力	3.5
エ 防災対策の充実	2.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.0
カ 芸術文化の振興	0.7
コ 県内中小企業の育成	0.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.2
ソ 良質な住宅の供給	-0.1
キ 環境の保全と創造	-0.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.1
オ 生涯学習活動への支援	-4.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.2

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.5
タ 学校教育の充実	3.1
チ 交通安全・防犯対策	2.9
カ 芸術文化の振興	2.3
エ 防災対策の充実	2.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.7
ア 国際的な交流や協力	1.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.5
オ 生涯学習活動への支援	1.3
キ 環境の保全と創造	0.7
コ 県内中小企業の育成	0.4
ソ 良質な住宅の供給	0.3
イ 県政の広報・広聴活動	-0.4
シ 観光の振興	-1.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.3
ス 農林水産業の活性化対策	-4.8

全県との比較では、〔シ 観光の振興〕等の評価が高いが、〔セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

前年との比較では、〔ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策〕等の評価が高く、〔ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実〕等で努力が求められている。

問2 1 県民局・県民センターの認知度

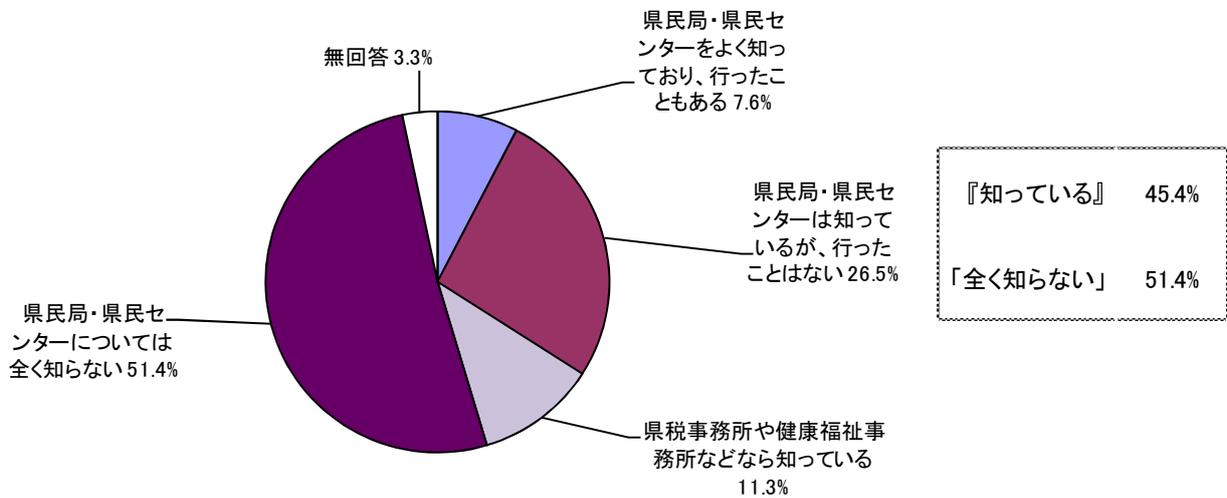
問2 1

あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
- 4 県民局・県民センターについては全く知らない

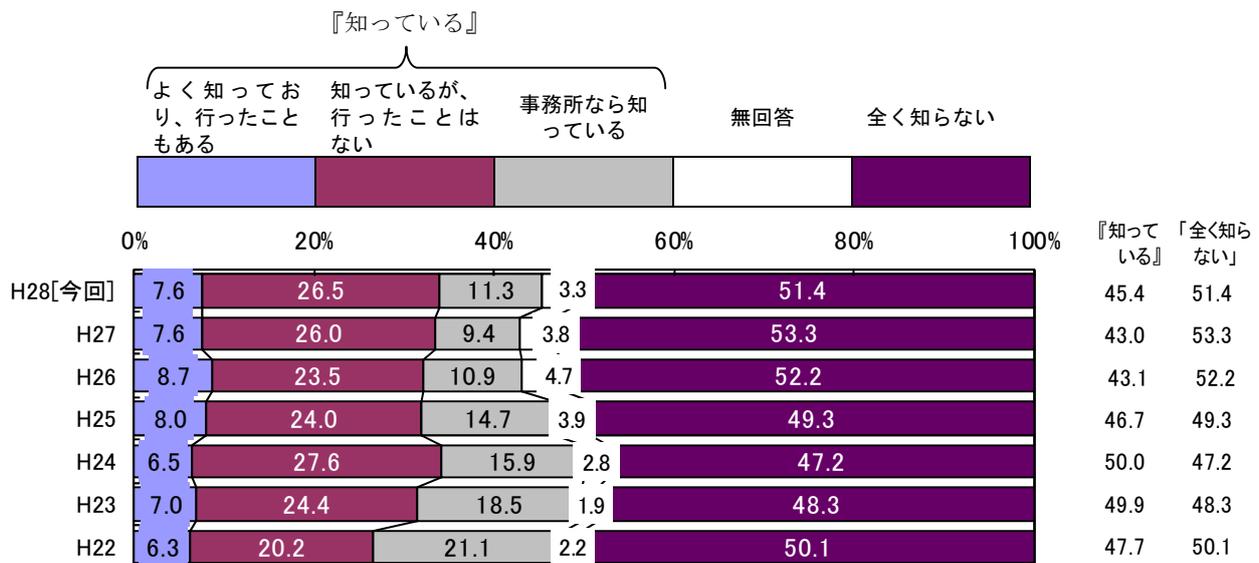
【全 県】

「よく知っており、行ったこともある(7.6%)」、「知っているが行ったことはない(26.5%)」、「事務所なら知っている(11.3%)」を合わせた『知っている』は45.4%となった。



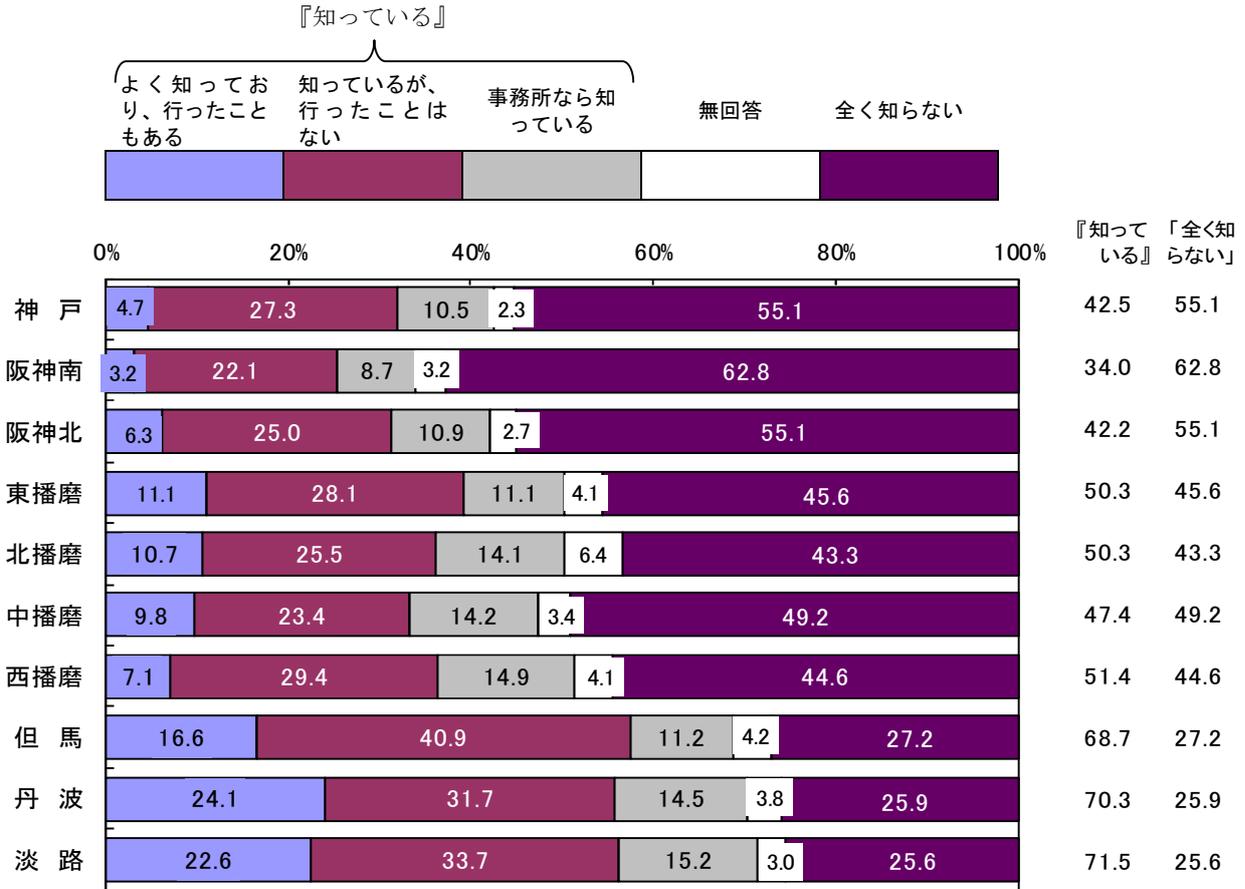
【経年比較】

『知っている(45.4%)』は昨年度0.1ポイント減少したが、今年度は2.4ポイント増加した。



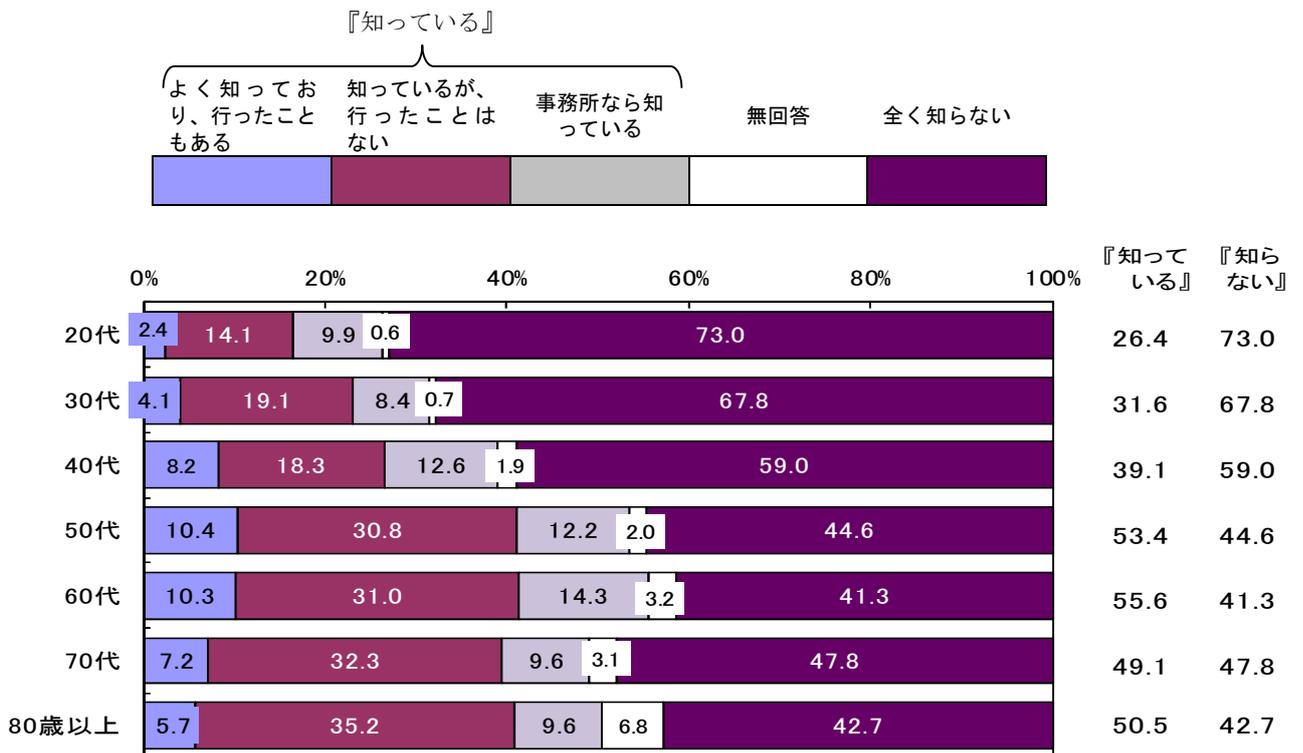
【地域別】

『知っている』は、淡路(71.5%)、丹波(70.3%)、但馬(68.7%)が高い。



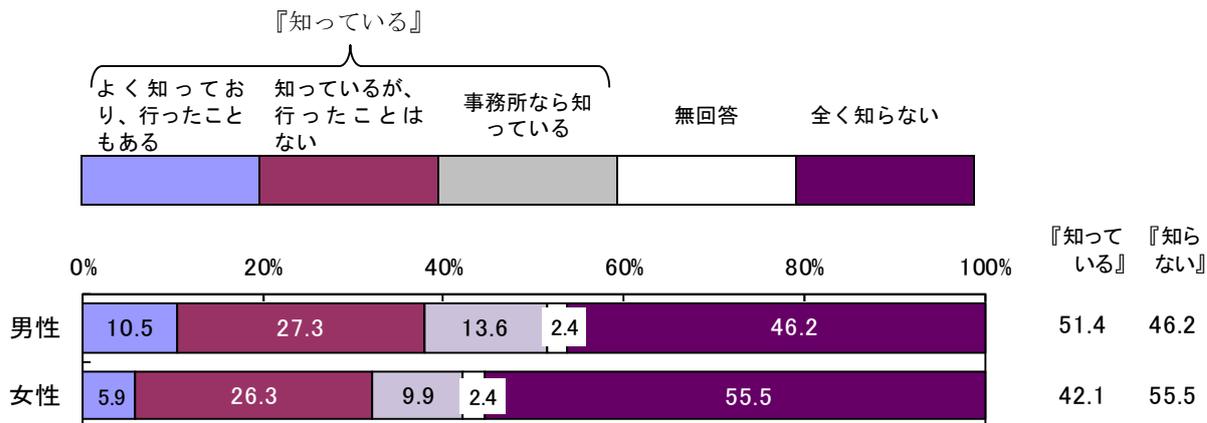
【性・年代別】

『知っている』は60代が最も高い(55.6%)。



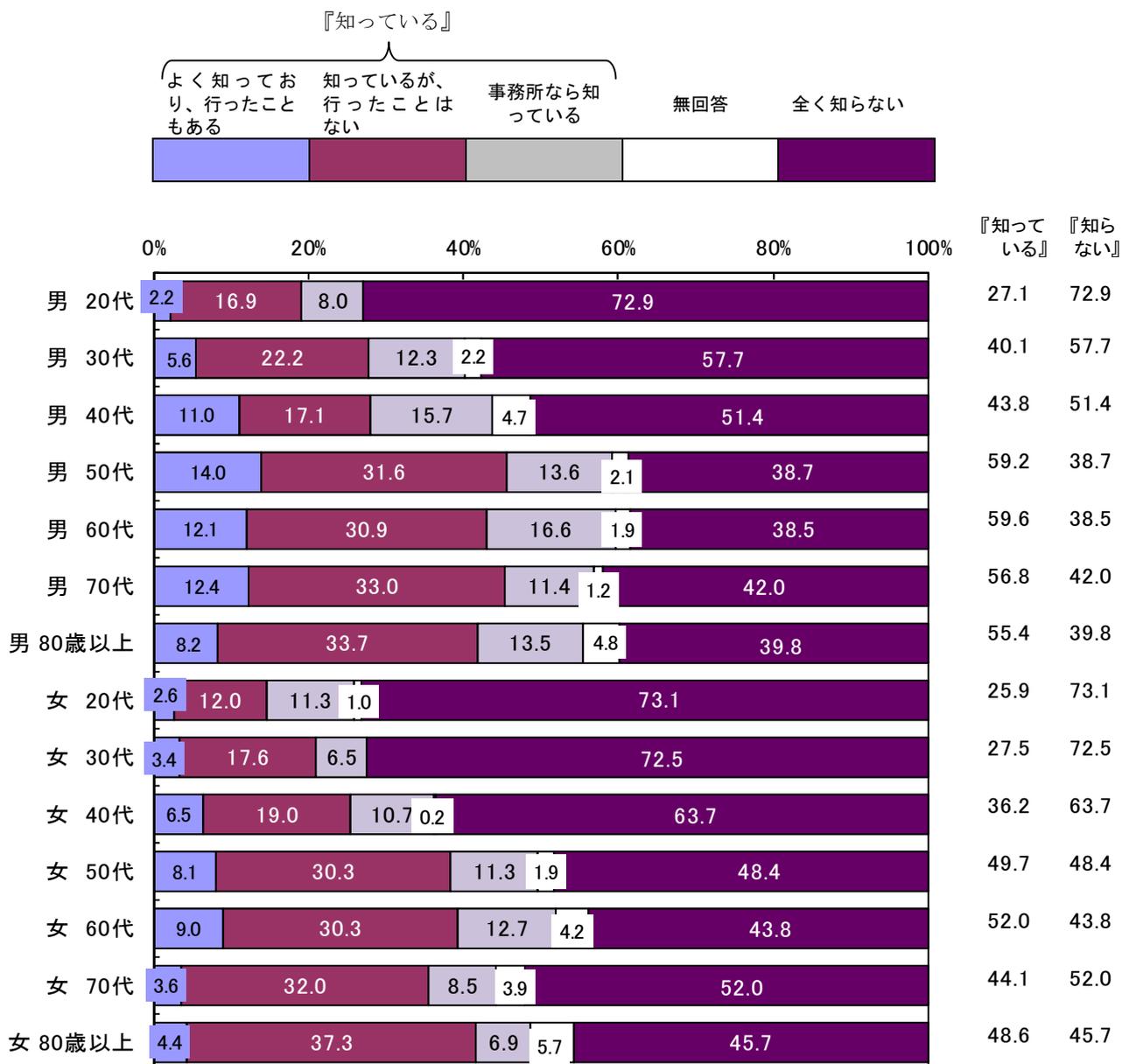
【性別】

『知っている』は男性の方が女性より9.3ポイント高い。



【性・年代別】

『知っている』は、男性は60代が最も高く（59.6%）、女性も60代が最も高い（52.0%）。





ひょうごの少子対策・子育て支援

平成28年度県民意識調査

兵庫県では、誰もが安心して子育てができる地域社会を実現するため、少子化の要因や子育て支援、子育て環境等についてご意見をお伺いし、「ひょうご子ども・子育て未来プラン」(H27～31年度)や「兵庫県地域創生戦略」のフォローアップに活用していきたいと考えています。

今回、多くの県民の皆さんの中から、あなたを回答者として選ばせていただきました。お忙しい中誠に恐縮ですが、下記によりご回答いただきますようお願いいたします。



平成28年8月
兵庫県知事 井戸 敏三

※ 回答ご記入についてのお願い

- ご回答は、必ず**あて名の方が**ご記入くださいますようお願いいたします。なお、調査票は、両面刷りになっておりますので、お開きいただき1から4ページまでの全てに回答をお願いします。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、恐縮ですが、**9月20日(火)までに**ご返送くださいますようお願いいたします。
- この調査は**無記名**でお願いしておりますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。
- 調査結果は、来年2月をめどに、県ホームページなどで公表するとともに、県政の貴重な資料として活用させていただきます。
- ご不明な点がありましたら、下記にお問い合わせください。また、点字の調査票を用意いたしますので、必要な場合は下記までご連絡ください。

◆ 兵庫県企画県民部 広聴室広聴相談班 TEL078(362)3021

問1 あなたは、子育てをする人にとって、地域の支えは重要だと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 とても重要
- 2 やや重要
- 3 どちらとも言えない
- 4 あまり重要ではない
- 5 まったく重要ではない
- 6 わからない

問2 あなたは、地域で子育てを支える活動に参加したいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している
- 2 参加したい
- 3 どちらかといえば参加したい
- 4 どちらかといえば参加したくない
- 5 参加したくない
- 6 どちらとも言えない

問3 あなたが参加したいと思う、地域で子育てを支える活動はありますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 子育てに関する悩みについて相談にのる
- 2 子育てをする親同士で話しができる仲間づくり
- 3 子育てに関する情報を提供する
- 4 子育て家庭の家事を支援する
- 5 親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預かる
- 6 子どもと一緒に遊ぶ
- 7 子どもにスポーツや勉強を教える
- 8 地域の伝統文化を子どもに伝える
- 9 子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える
- 10 小中学校の校外学習や行事をサポートする
- 11 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする
- 12 子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う
- 13 その他 ()
- 14 参加したい活動はない
- 15 わからない

問4 地域で子育てを支える活動に、参加しない人がいる理由は何だと思いますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 活動の内容がよく分からないから
- 2 いつ、どこで活動しているか分からないから
- 3 時間がとれないから
- 4 お金がかかりそうだから
- 5 知識がなく不安だから
- 6 経験がなく不安だから
- 7 一人では参加しにくいから
- 8 関わるのがわずらわしいから
- 9 子育ては家庭内の問題であり、その家庭で行うべきと思うから
- 10 子育てに関係がないから
- 11 その他 ()
- 12 特にない
- 13 わからない

問5 あなたは、地域で子育てを支える活動が活発に行われるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを全て選んで番号に○をつけてください。

- 1 子育て支援ができる場所
- 2 子育て支援の情報
- 3 近隣家庭の子育ての状況を普段から共有しておくこと
- 4 子育て支援を行うグループ等の組織づくり
- 5 地域のシニア世帯が子育て支援を行うなどの仕組みづくり
- 6 近隣や自治会等の理解や協力
- 7 企業の理解や協力
- 8 金銭的な援助
- 9 その他 ()

調査票を開いて **問6** へ



兵庫県マスコット はばタン

問6 あなたがお住まいの地域は、次のようなことが、どの程度あてはまりますか。次のア～シについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

	よくあてはまる	少しあてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
--	---------	---------	-----------	------------	-----------

- | | | | | | | |
|---|--------------------------------|---|---|---|---|---|
| ア | 近所の人に子育ての悩みが相談できる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| イ | 子育てをする親同士で話ができる仲間がいる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ウ | 子育ての情報が手に入りやすい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| エ | 近所の人が子育て家庭の家事を手伝ってくれる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| オ | 親の不意の外出や帰りが遅くなったときなどに子どもを預けやすい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| カ | 近所の大人が子どもにスポーツや勉強を教えている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| キ | 地域の伝統文化が子どもに伝えられている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ク | 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りがされている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ケ | 子ども会活動が活発に行われている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| コ | 子どもが近所の家で気軽にごはんを食べてくる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| サ | 子どもが夜泣きしていてもあまり気兼ねすることがない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| シ | 地域の子どもの名前（下の名前）を5人以上言える | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問7 あなたは、結婚について、どのようなイメージを持っていますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 好きな人と明るく楽しい生活が送れる
- 2 精神的な安らぎがある
- 3 忍耐が必要
- 4 楽しい結婚生活は最初だけである
- 5 社会的な信用が得られる
- 6 老後の生活が安心できる
- 7 子どもを生み、育てる基盤となる
- 8 自由に使えるお金や時間、行動が制約される
- 9 相手の家族や親族との付き合いがわずらわしい
- 10 その他（ ）

問8 あなたは、義務教育終了までの子育てについて、どのようなイメージを持っていますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 家族が増え明るく楽しい生活が送れる
- 2 子どもの成長に喜びを感じられる
- 3 責任が増す
- 4 自分自身が成長する
- 5 地域や近隣との関係を築くことができる
- 6 育児がうまくできるか不安
- 7 家族の絆ができる
- 8 子どもの将来を考えると不安
- 9 自由に使えるお金や時間、行動が制約される
- 10 子どもの親同士の付き合いや人間関係がわずらわしい
- 11 その他（ ）

問9 全国的に子どもの数が減少する「少子化」が進んでいる中、あなたは「少子化」となっている主な原因は何だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚や子育てに対する意識・価値観の多様化
- 2 男女が出会う機会の減少
- 3 晩婚化による出産年齢の上昇
- 4 家事や子育てに対する夫婦間での分担が不公平
- 5 子育てと仕事の両立の難しさ
- 6 生活費や教育費など、経済的な不安
- 7 雇用・就業環境における収入の不安定さ
- 8 出産・子育ての身体的・精神的な負担
- 9 祖父母との同居・近居の減少
- 10 地域住民同士の関係の希薄化
- 11 出産・子育てなどに関する支援制度が不十分
- 12 その他（ ）

問10 女性が子育てをしながら働く場合に、どういった点が困難だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 仕事をしている間、子どもを預ける人や施設の確保が難しい
- 2 病気やけがなど、子どもの緊急時に対応しにくい
- 3 職場に時短勤務や休みを取りにくい雰囲気がある
- 4 職場で育児休業の復帰前後の支援が少ない
- 5 職場での昇進・昇格に影響する
- 6 夫の協力が得られない
- 7 夫以外の家族の協力が得られない
- 8 家事、子育てを自分一人で頑張ろうとする意識が強い
- 9 子どもと過ごせる時間が少ない
- 10 妊娠などを理由とする不利益な取扱い（いわゆる「マタニティハラスメント」）が懸念される
- 11 その他（ ）
- 12 特にない
- 13 わからない

問11 全国の企業における育児休業の取得率が、女性で86.6%、男性で2.3%【※】となっています。今後、男女ともに育児休業制度をさらに利用しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。【※】平成26年度雇用均等基本調査（厚生労働省）

- 1 経営者の意識等の改革
- 2 職場の上司や同僚の理解
- 3 制度を利用しても、昇進・昇格に不利益がないこと
- 4 育児休業中の給与等の一部支給
- 5 育児休業中の従業員の能力開発の支援
- 6 職場に復帰するための研修の実施
- 7 育児休業を推進する企業への国や自治体からの経済的な支援
- 8 育児休業を推進する企業への国や自治体による公表・表彰
- 9 その他（ ）
- 10 特にない
- 11 わからない

問 12 子どもを育てながら仕事と両立ができる環境づくりを進めていく際、あなたはどのような制度が職場にあれば、より働きやすくなると思いますか。あてはまるもの3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 育児休業期間（※）の更なる延長
※育児・介護休業法：子どもが1歳になるまで（事情により、1歳6か月まで延長可能）
- 2 短時間勤務制度やフレックスタイム制
- 3 残業をさせない制度
- 4 出産時の父親への休暇付与
- 5 事業所内託児所の設置
- 6 在宅勤務制度
- 7 子育てを理由に退職した従業員の再雇用制度
- 8 子育てと仕事の両立に関する相談窓口の設置
- 9 育児休業中の給与等の一部支給
- 10 本人が希望する業務・部署への異動制度
- 11 転勤への配慮や勤務地を選択できる制度
- 12 その他（ ）
- 13 特にない
- 14 わからない

問 13 少子対策・子育て支援として取り組まれている、次のア～セについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

	よくやっている	まあまあやっている	どちらともいえない	もう少し努力が必要	もっと努力が必要	取組を知らない
ア 若者の就業支援	1	2	3	4	5	6
イ 出会い・結婚支援	1	2	3	4	5	6
ウ 若者に対する職業・結婚観についての意識啓発	1	2	3	4	5	6
エ 特定不妊治療への支援	1	2	3	4	5	6
オ 出産費用や医療費等の軽減・助成	1	2	3	4	5	6
カ 出産や育児に関する相談機関の充実	1	2	3	4	5	6
キ 小児医療体制の充実	1	2	3	4	5	6
ク 保育所の増設・充実	1	2	3	4	5	6
ケ 保育料の軽減・助成	1	2	3	4	5	6
コ 放課後児童クラブ（学童保育）の増設・充実	1	2	3	4	5	6
サ 奨学金など教育費用の軽減・助成	1	2	3	4	5	6
シ 児童手当等による経済的支援の充実	1	2	3	4	5	6
ス 子育てに関する情報の発信	1	2	3	4	5	6
セ 子どもと一緒に集まれる場づくり	1	2	3	4	5	6

◆「生活全般や県政」に関することについてお聞きします。

問 14 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 満足
- 2 まあ満足
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満
- 5 不満

問 15 あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
ア 所得・収入	1	2	3	4	5
イ 貯蓄などの金融資産	1	2	3	4	5
ウ 住居	1	2	3	4	5
エ 車、家具などの耐久消費財	1	2	3	4	5
オ 時間のゆとり	1	2	3	4	5
カ 趣味やレクリエーションへの取組	1	2	3	4	5
キ 地域活動やボランティアへの取組	1	2	3	4	5
ク 仕事の内容	1	2	3	4	5
ケ 家族との関係	1	2	3	4	5
コ 知人や近所の人との関係	1	2	3	4	5
サ 住んでいる地域の住み心地	1	2	3	4	5
シ あなた自身の健康	1	2	3	4	5
ス 家族の健康	1	2	3	4	5

問 16 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

問 17 あなたの住んでいる地域で、今後10年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 起こると思う
- 2 可能性は高いと思う
- 3 可能性は低いと思う
- 4 絶対起こらないと思う
- 5 わからない

問 18 あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している
- 2 過去に参加したことがある
- 3 参加していない
- 4 わからない

問 19 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある
- 2 多少関心がある
- 3 ほとんど関心がない
- 4 全く関心がない



4ページの最後までよろしく
お願いします。

兵庫県マスコット はばタン

問 20 県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

	よくやっている	まあまあやっている	どちらともいえない	もう少し努力が必要	もっと努力が必要
ア 国際的な交流や協力	1	2	3	4	5
イ 県政の広報・広聴活動	1	2	3	4	5
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1	2	3	4	5
エ 防災対策の充実	1	2	3	4	5
オ 生涯学習活動への支援	1	2	3	4	5
カ 芸術文化の振興	1	2	3	4	5
キ 環境の保全と創造	1	2	3	4	5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1	2	3	4	5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1	2	3	4	5
コ 県内中小企業の育成	1	2	3	4	5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1	2	3	4	5
シ 観光の振興	1	2	3	4	5
ス 農林水産業の活性化対策	1	2	3	4	5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1	2	3	4	5
ソ 良質な住宅の供給	1	2	3	4	5
タ 学校教育の充実	1	2	3	4	5
チ 交通安全・防犯対策	1	2	3	4	5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1	2	3	4	5

問 21 あなたがお住まいの地域の県民局・県民センターについて、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局・県民センターをよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局・県民センターは知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
- 4 県民局・県民センターについては全く知らない

★ 最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身や家族構成等についてお聞かせください。下記のことについて、あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性
- 2 女性

F 2 あなたの年代は

- 1 20代
- 2 30代
- 3 40代
- 4 50代
- 5 60代
- 6 70代
- 7 80歳以上

F 3 あなたの職業は

- 1 自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む）
- 2 会社・団体などの正規社員（職員）
- 3 会社・団体などの役員
- 4 契約社員や派遣社員など
- 5 短時間勤務のパートタイマーやアルバイト
- 6 専業主婦（主夫）
- 7 学生
- 8 無職（専業主婦（主夫）・学生を除く）

F 4 あなたが現在お住まいのところの郵便番号は

（ご不明の場合、当調査票をお届けした封筒に記載の郵便番号をご覧ください）

□	□	□	□	-	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---

F 5 あなたの同居のご家族の構成は

- 1 1人世帯
- 2 夫婦だけ（1世代）
- 3 自分（たち）と子ども、または親と自分（たち）（2世代）
- 4 親と子と孫（3世代）
- 5 その他（ ）

F 6 あなたは現在、結婚していますか

- 1 結婚している（いわゆる事実婚を含む）
- 2 結婚していたが、離別・死別した
- 3 結婚したことはない

F 7 あなたには次の年齢に該当する子どもがいますか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

	いない	1人	2人	3人	4人	5人以上
ア 就学前(0～2歳)	0	1	2	3	4	5
イ 就学前(3～6歳)	0	1	2	3	4	5
ウ 小学1～3年生	0	1	2	3	4	5
エ 小学4～6年生	0	1	2	3	4	5
オ 中学生	0	1	2	3	4	5
カ 16～18歳	0	1	2	3	4	5
キ 19～22歳	0	1	2	3	4	5
ク 23～29歳	0	1	2	3	4	5

F 8 あなたの世帯全体の年収をお聞かせください。

- 1 200万円未満
- 2 200～300万円未満
- 3 300～400万円未満
- 4 400～600万円未満
- 5 600～1,000万円未満
- 6 1,000万円以上
- 7 わからない

F 9 あなたは現在、お住まいのところに通算、何年お住まいですか。

- 1 1年未満
- 2 1～3年未満
- 3 3～5年未満
- 4 5～10年未満
- 5 10～15年未満
- 6 15～20年未満
- 7 20年以上

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒でご返送ください。



兵庫県マスコット はばたん